

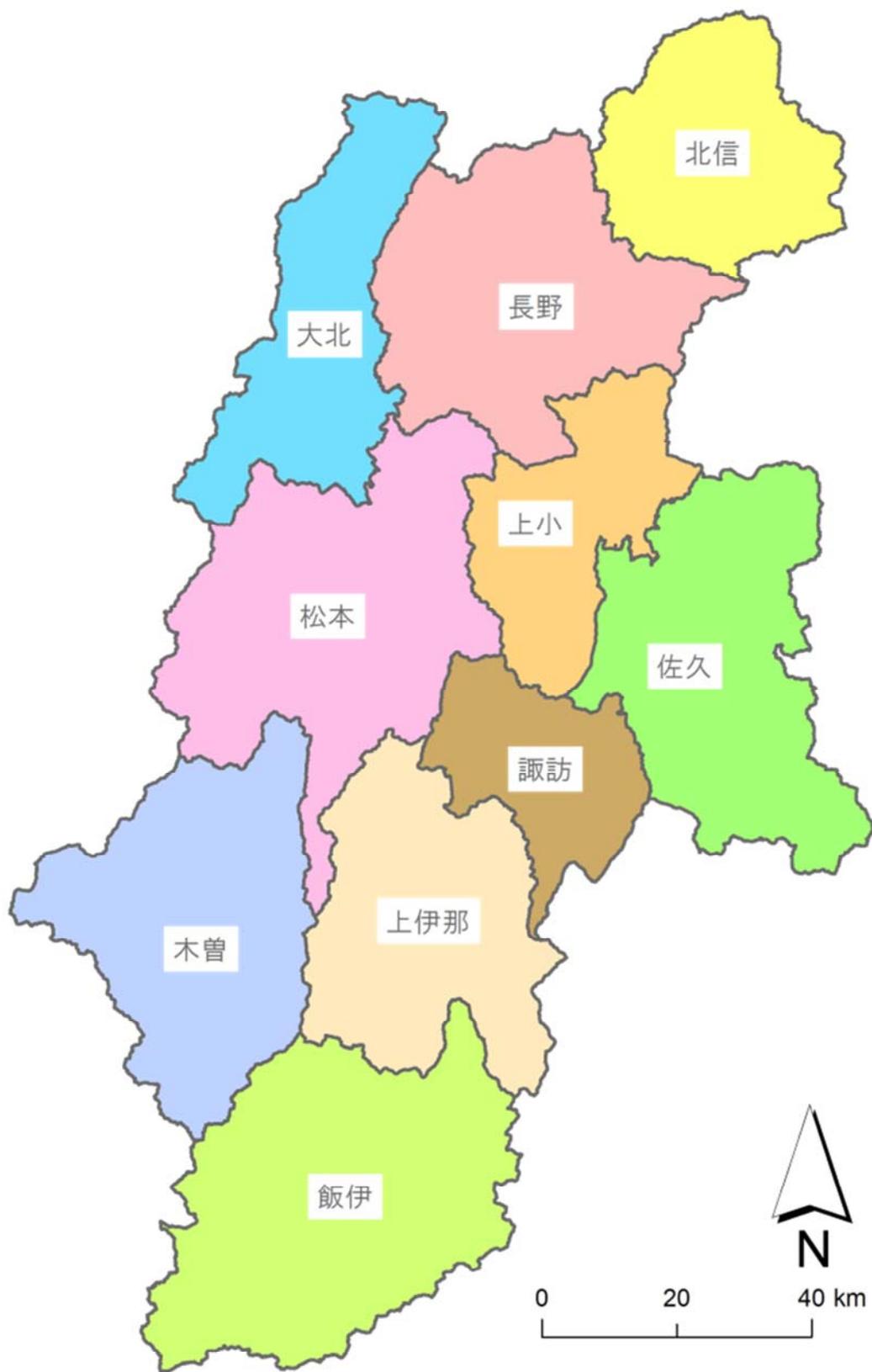


2015年
長野県水資源分析シート
(77市町村)

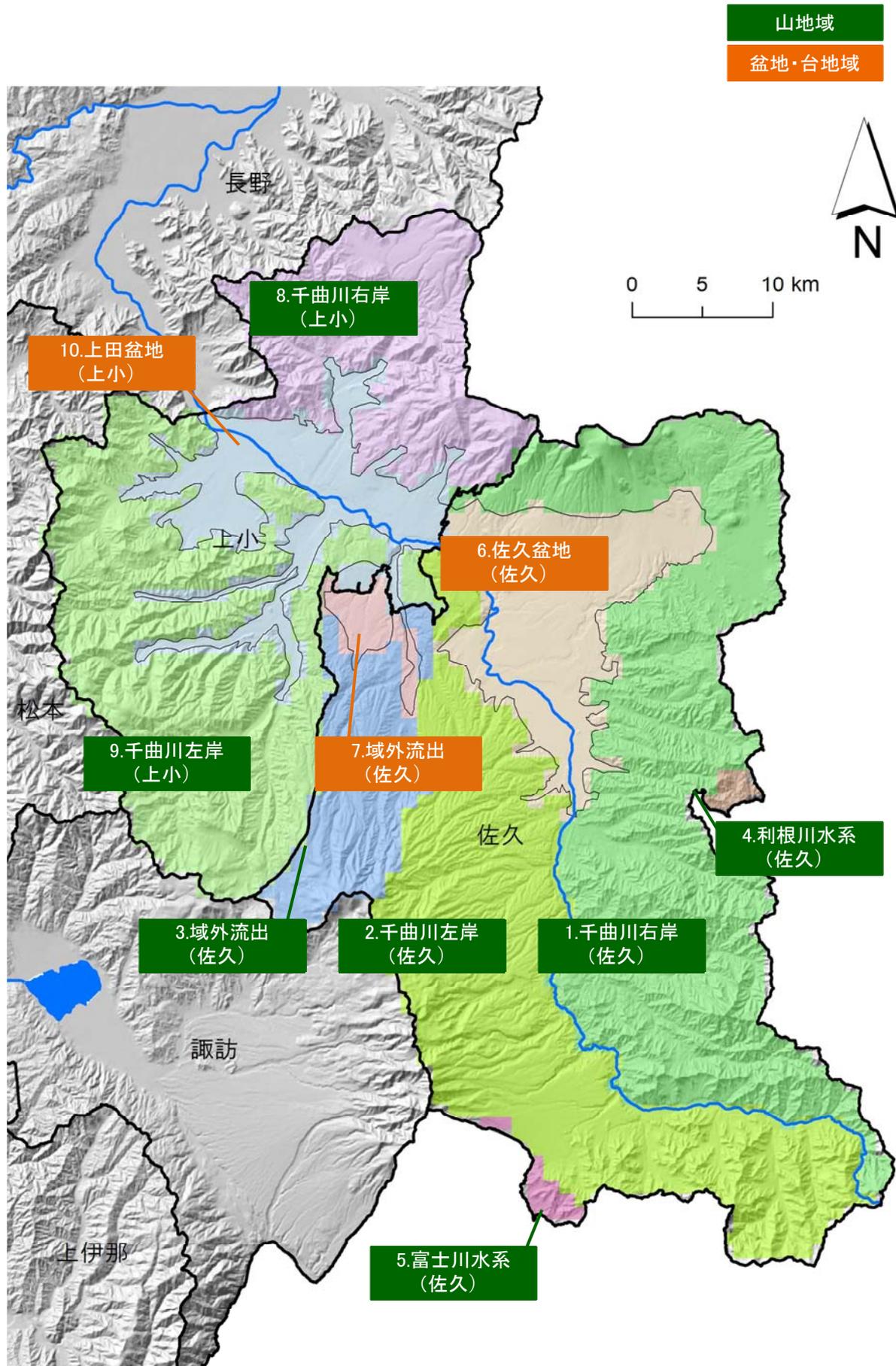
長野県環境部 水大気環境課



長野県の市町村位置図（77市町村）



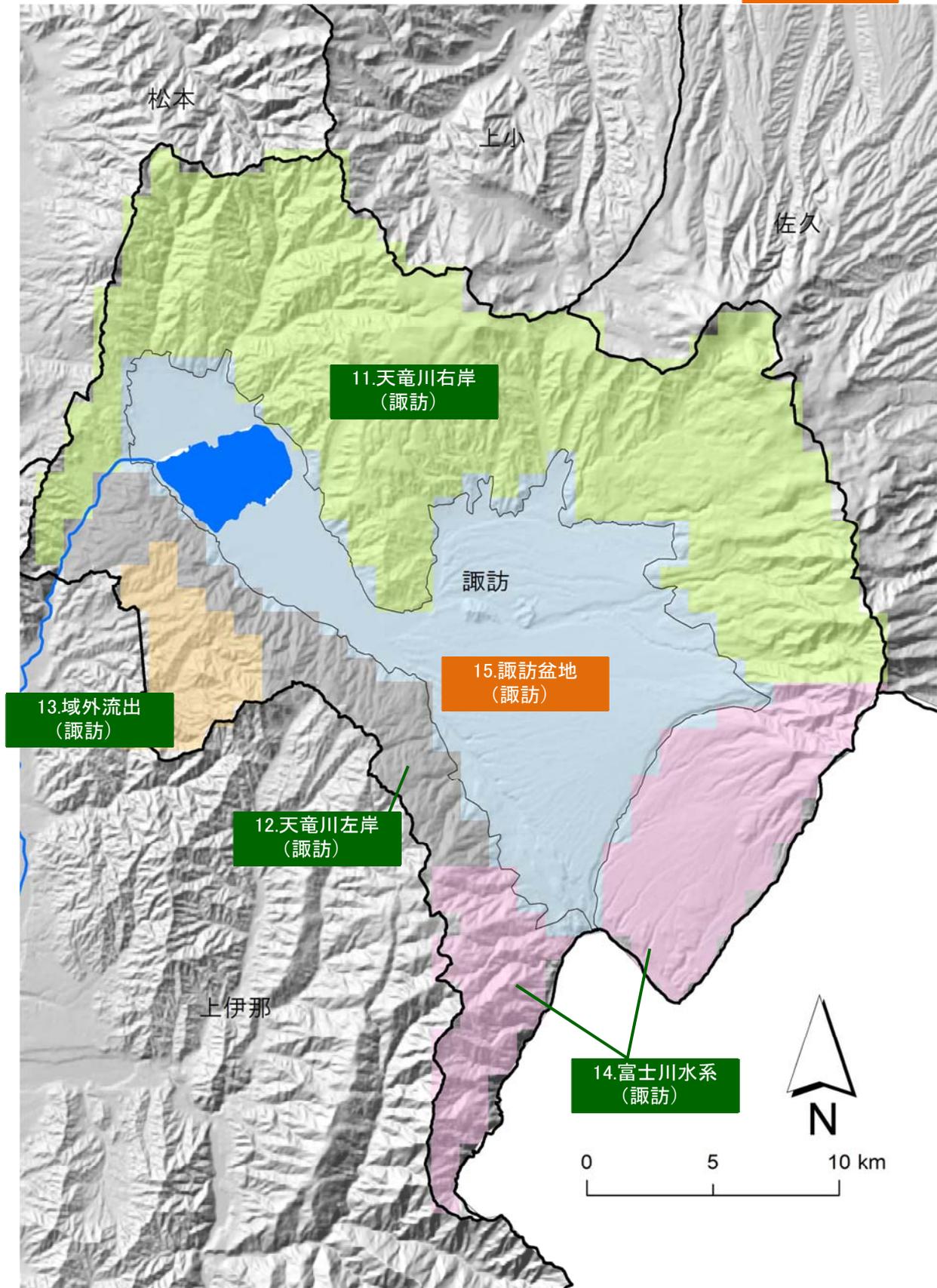
水文区（広域連合）



佐久、上小の集利水地域

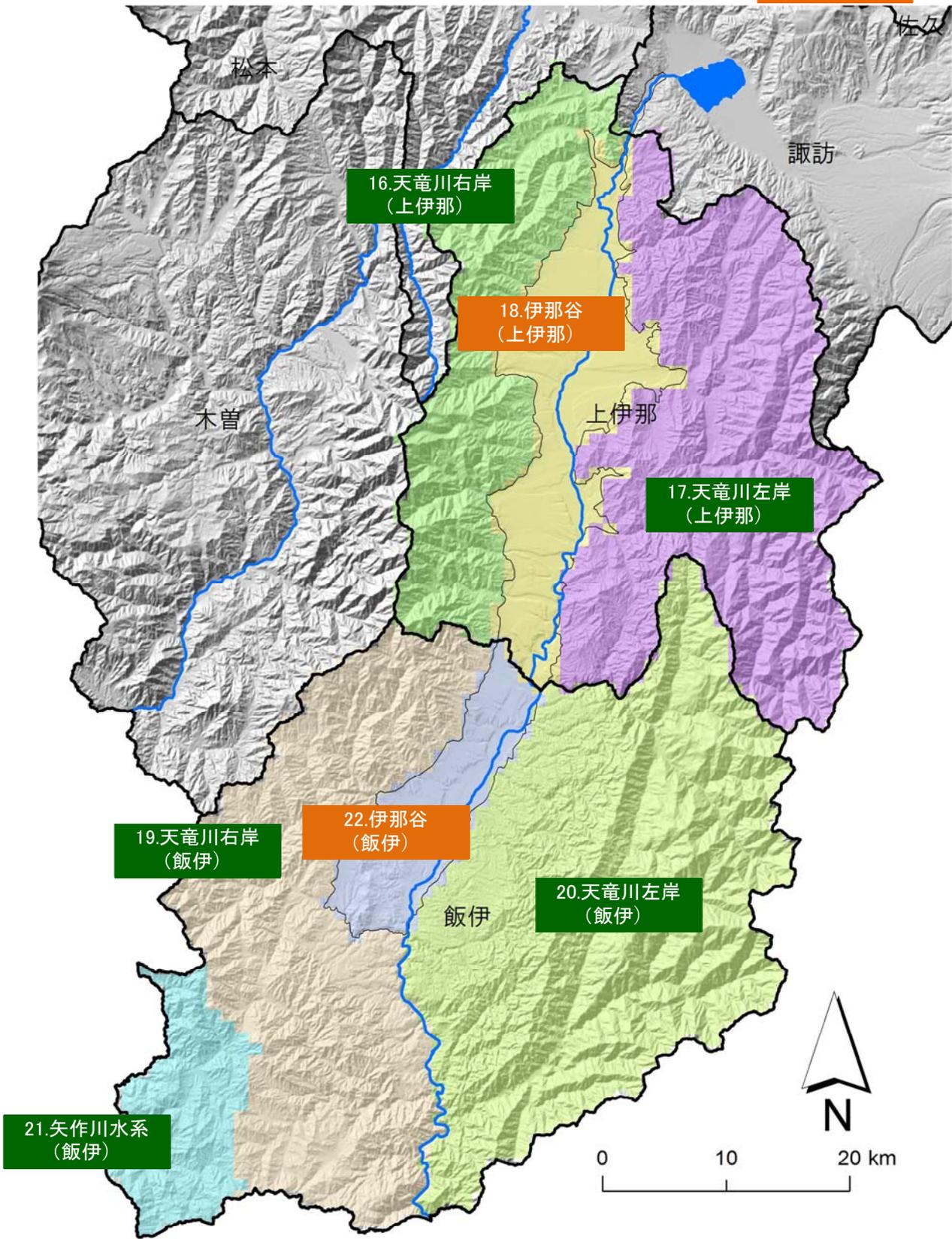
山地域

盆地・台地域



諏訪の集利水地域

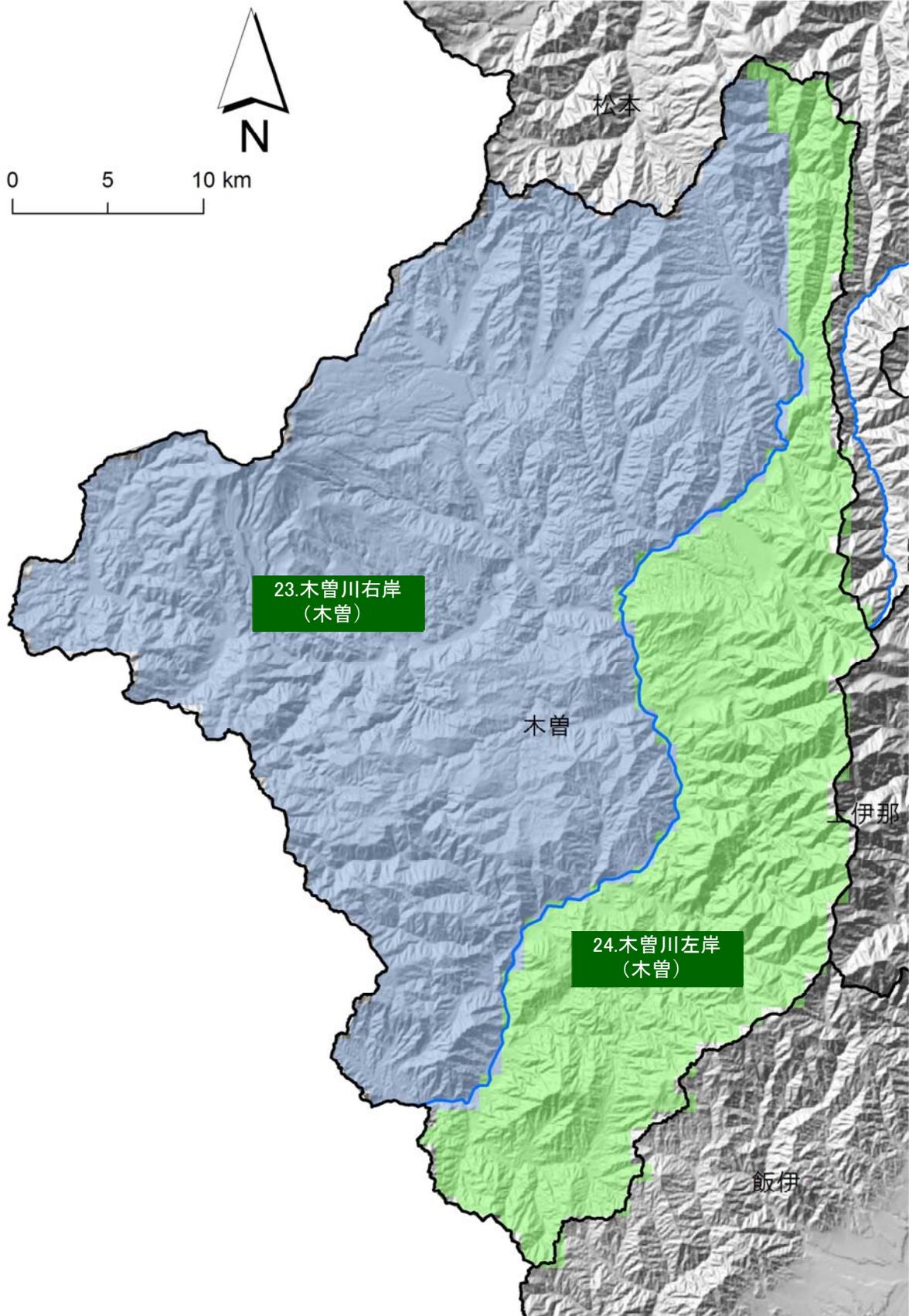
- 山地域
- 盆地・台地域



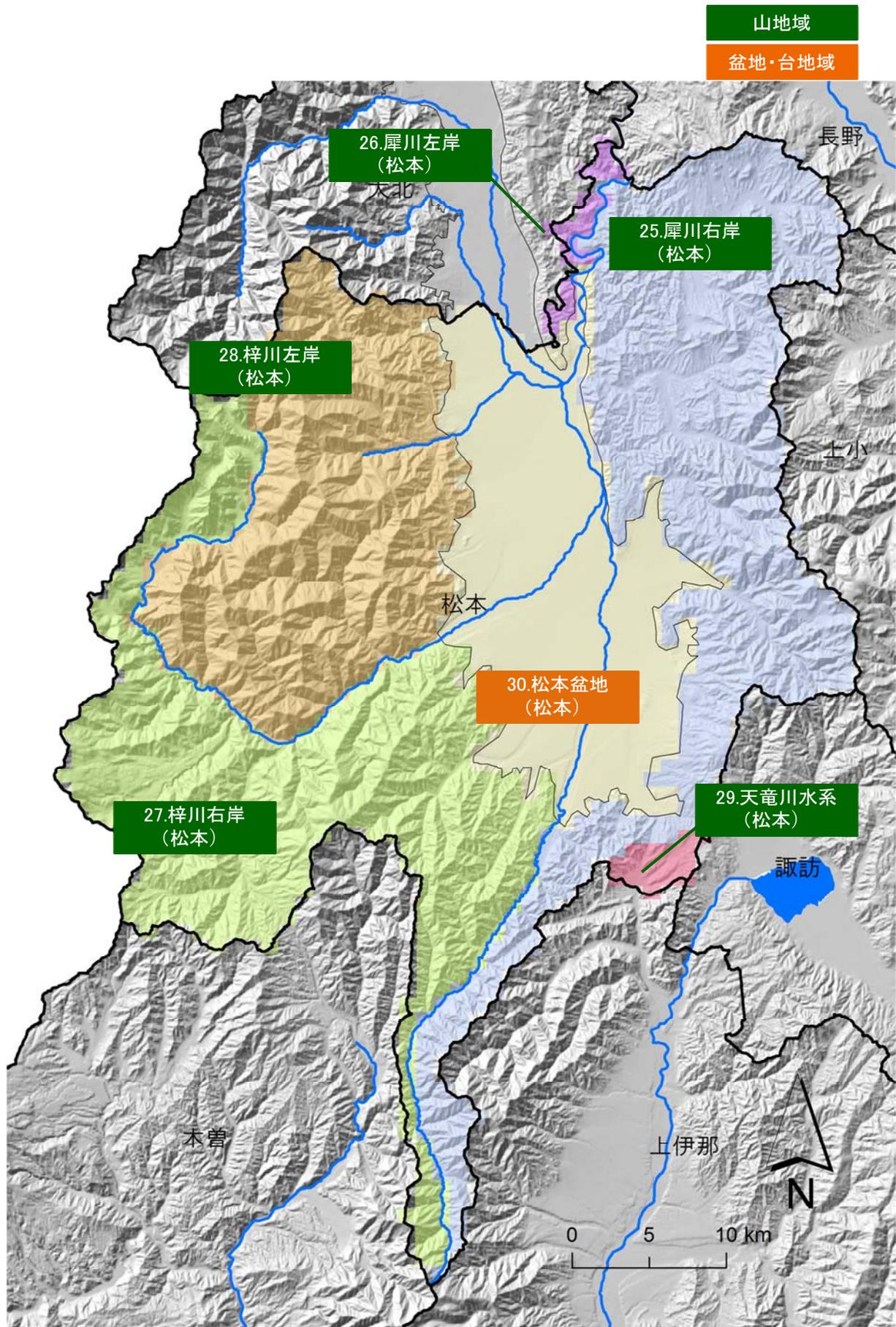
上伊那、飯伊の集利水地域

山地域

盆地・台地域



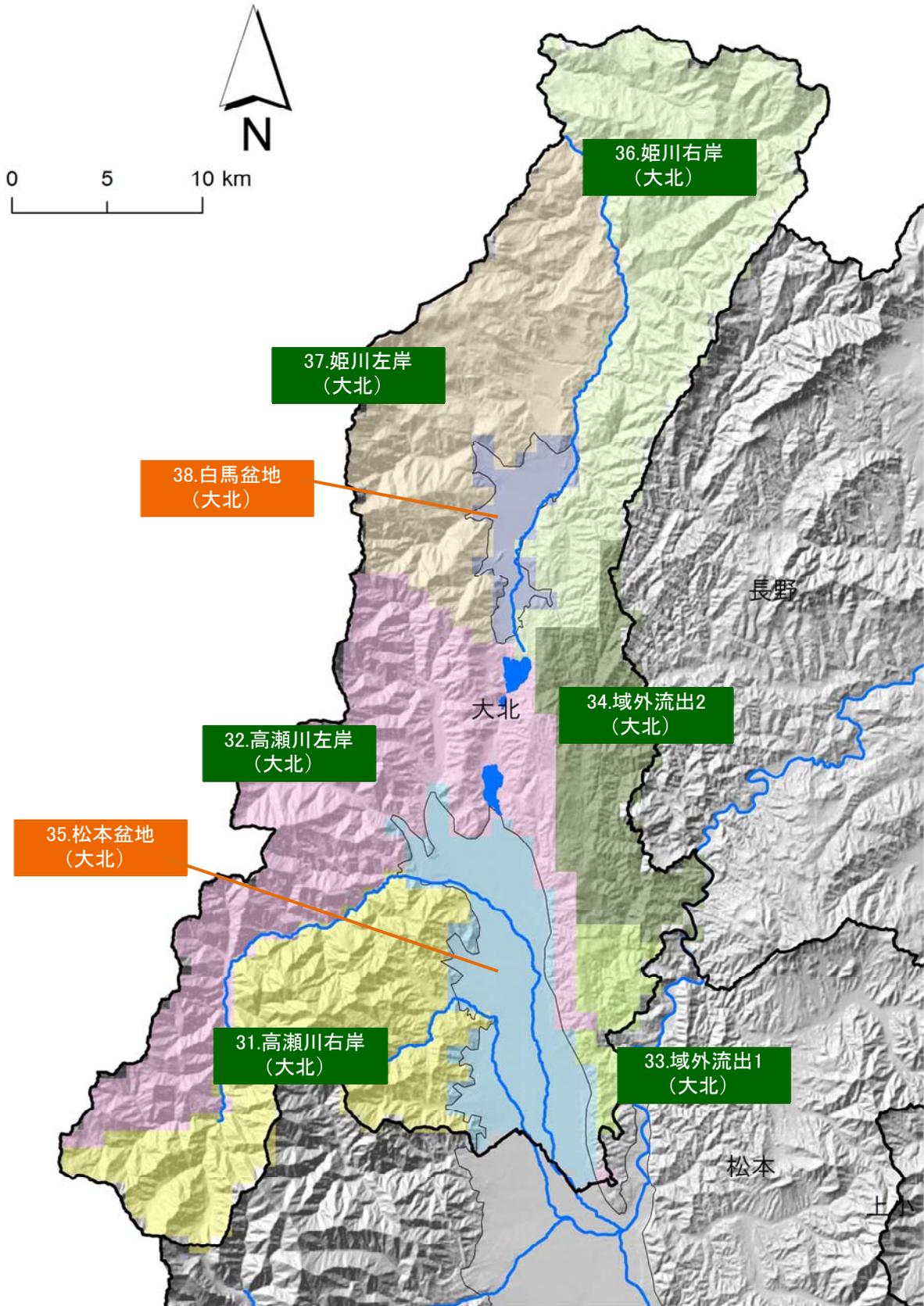
木曾の集利水地域



松本の集利水地域

山地域

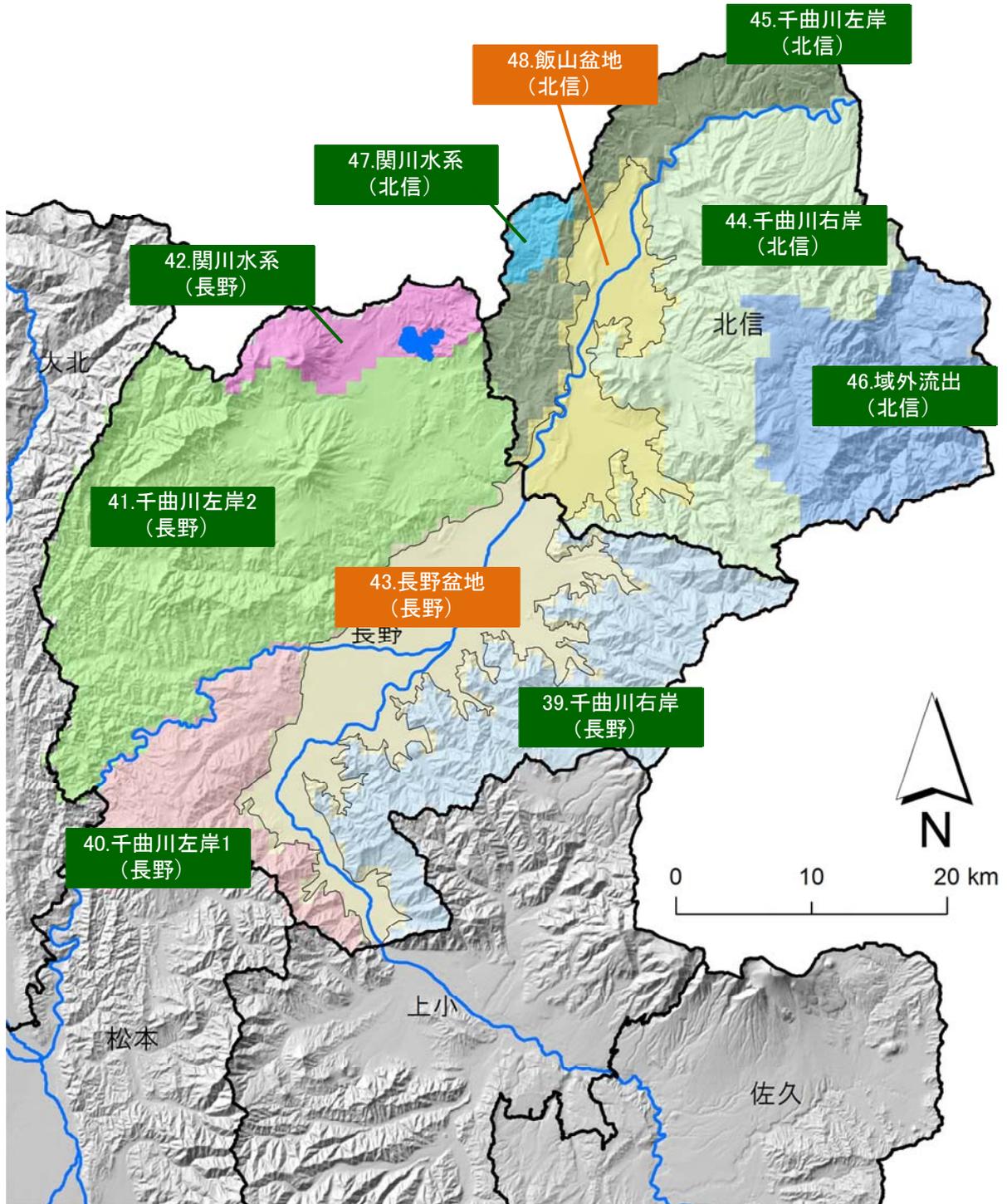
盆地・台地域



大北の集利水地域

山地域

盆地・台地域

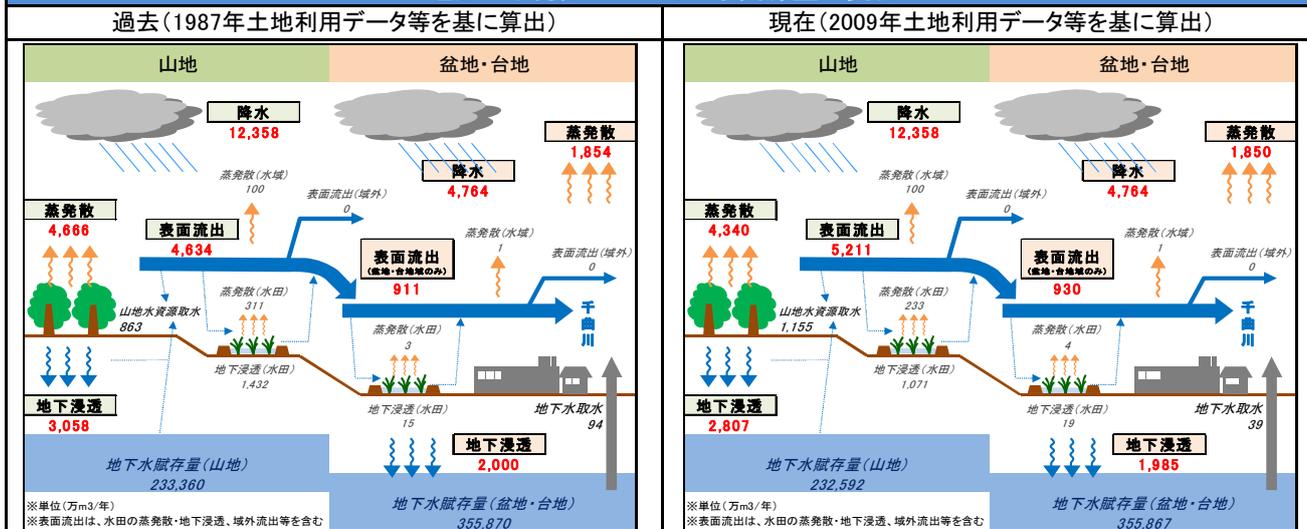


長野・北信の集利水地域

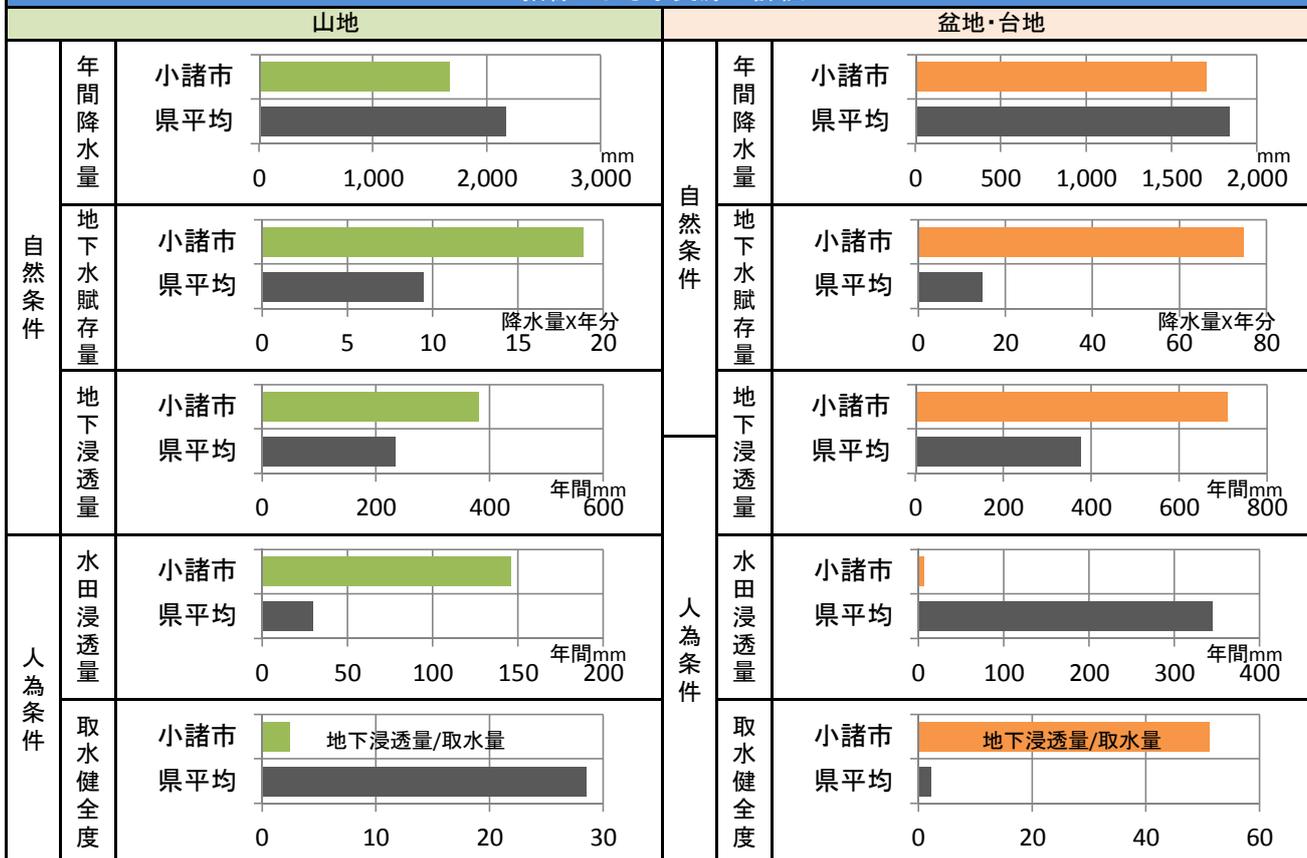
小諸市

| 水文区特徴 | 佐久 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 盆地・台地の水田がわずかで山地の取水(上水道水源等)が盛んなため、スコア上は盆地・台地の水田浸透と山地の取水健全度が小さい。ただし、浅間山麓に位置し火山体のフローの水資源を利用しており、この水が盆地・台地に流動しストックの水資源にもなるため、地域としての健全性が不安定になる可能性は小さい。フローの供給量を超えた取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



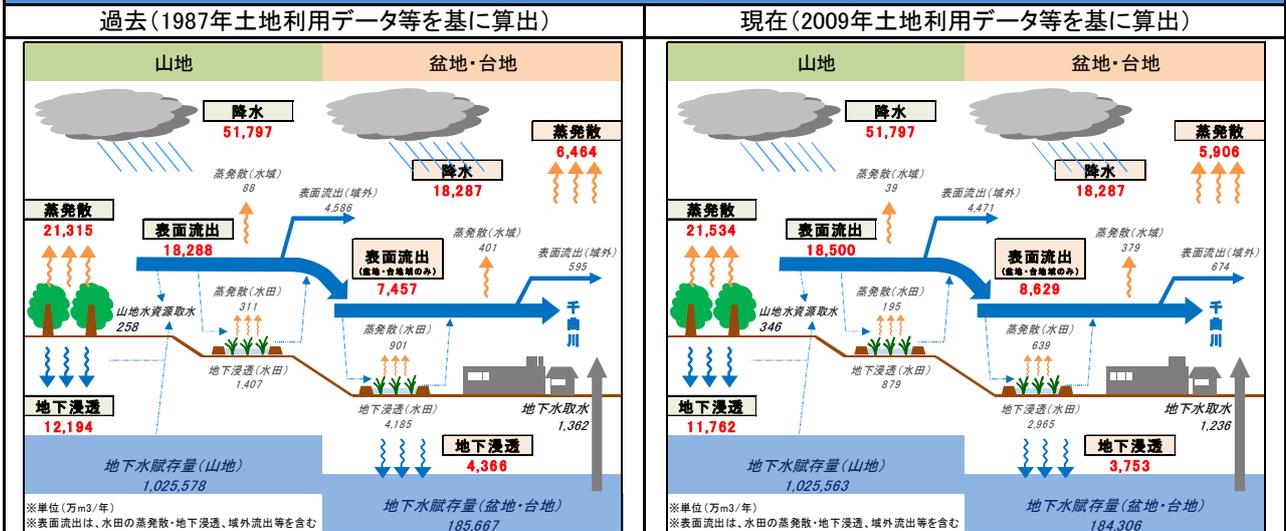
指標による水資源の評価



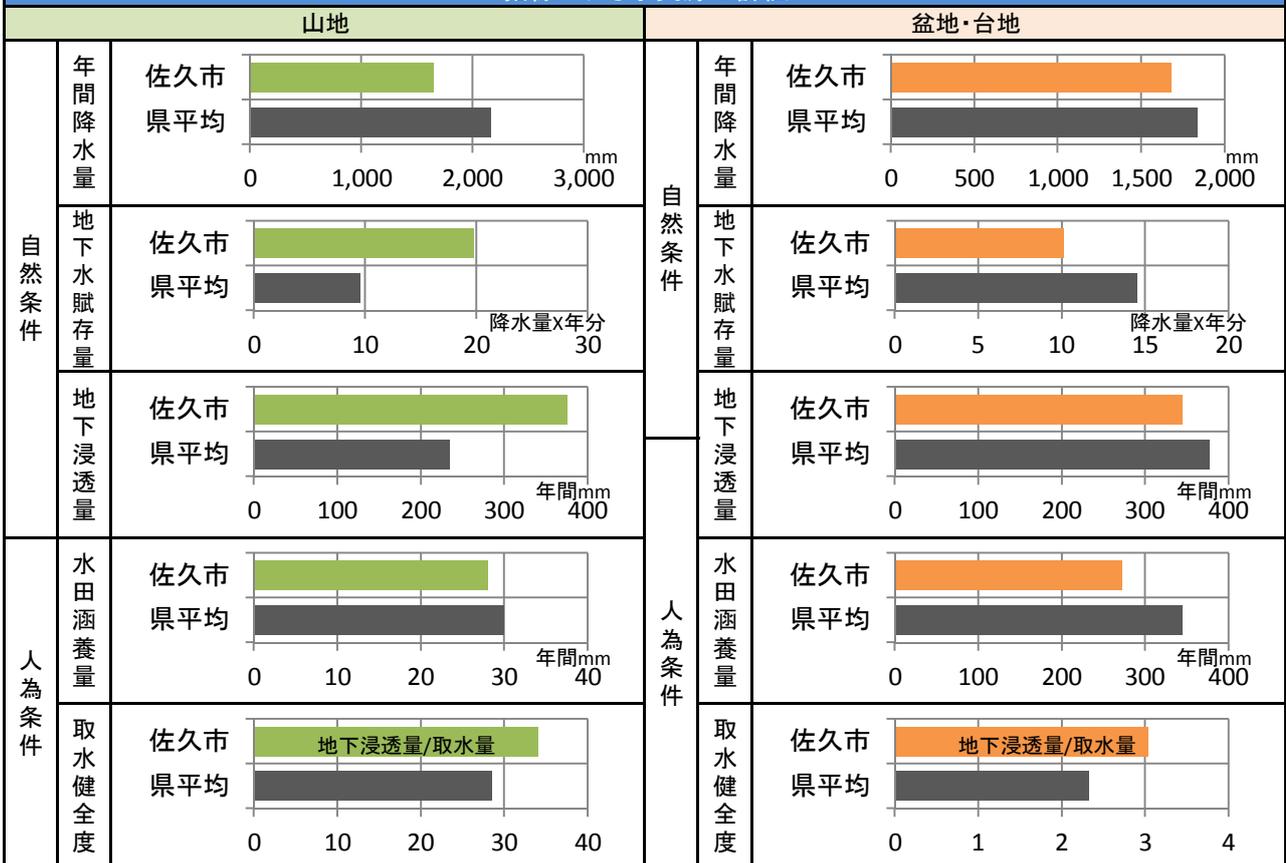
佐久市

| 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|----------------|---|
| 水文区特徴 | ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 降水量が少ないものの、千曲川左岸が八ヶ岳の火山体からなるため、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。現時点では取水健全度も良好であり、引き続き地域の水資源の管理を続けることが重要である。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【山地】域外流出(上小、群馬:利根川) 【盆地・台地】佐久盆地 【盆地・台地】域外流出(上小) | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



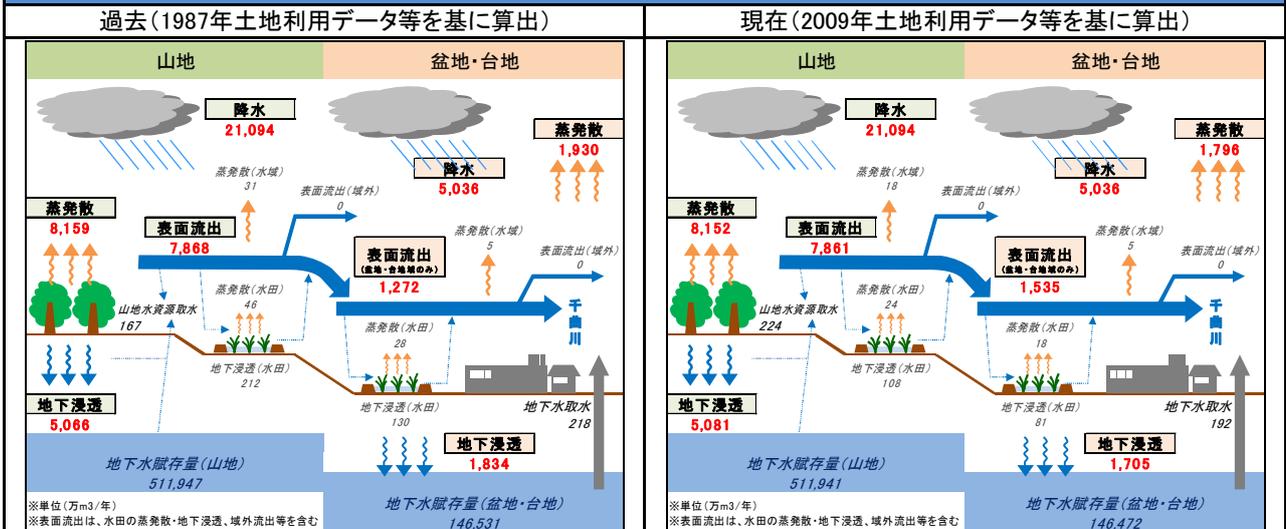
指標による水資源の評価



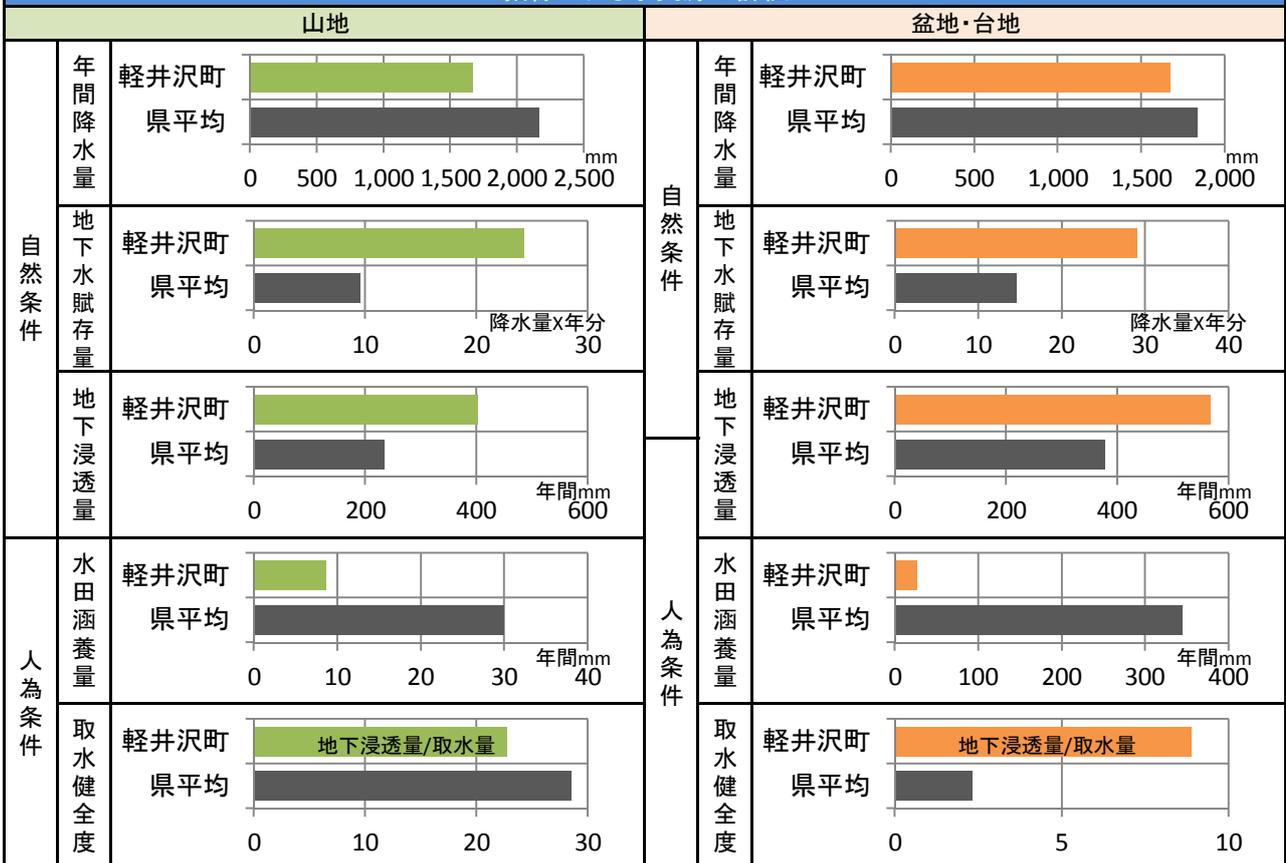
軽井沢町

| 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 水田がわずかで山地の取水(上水道水源等)が盛んなため、スコア上は水田浸透と山地の取水健全度が小さい。ただし、浅間山南麓に位置し火山体のフローの水資源を利用して、この水が盆地・台地に流動しストックの水資源にもなるため、地域としての健全性が不安定になる可能性は小さい。フローの供給量を超えた取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 【山地】千曲川右岸 【盆地・台地】佐久盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



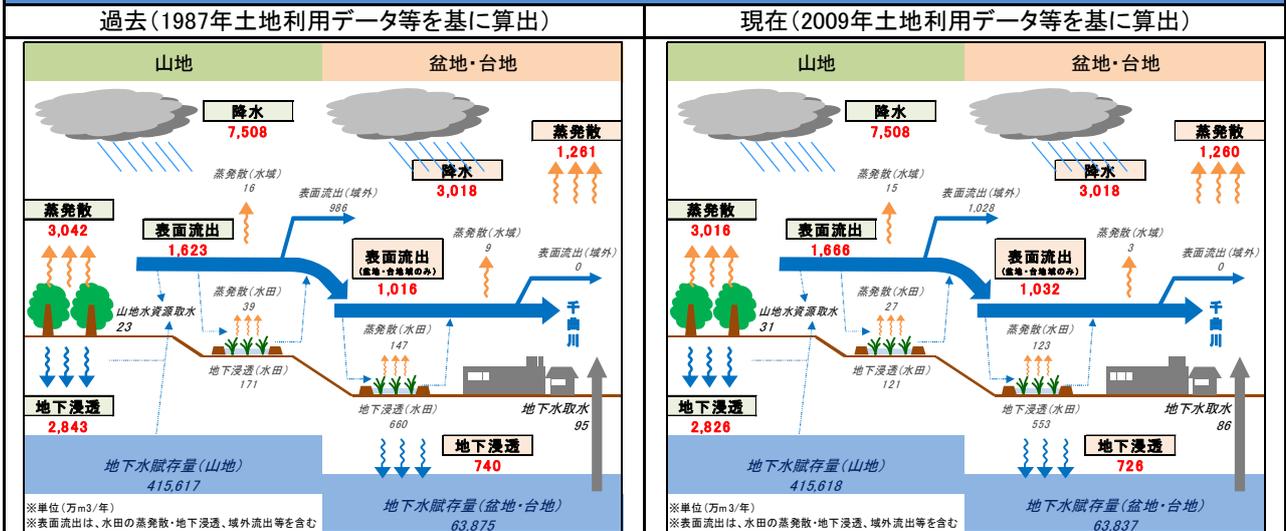
指標による水資源の評価



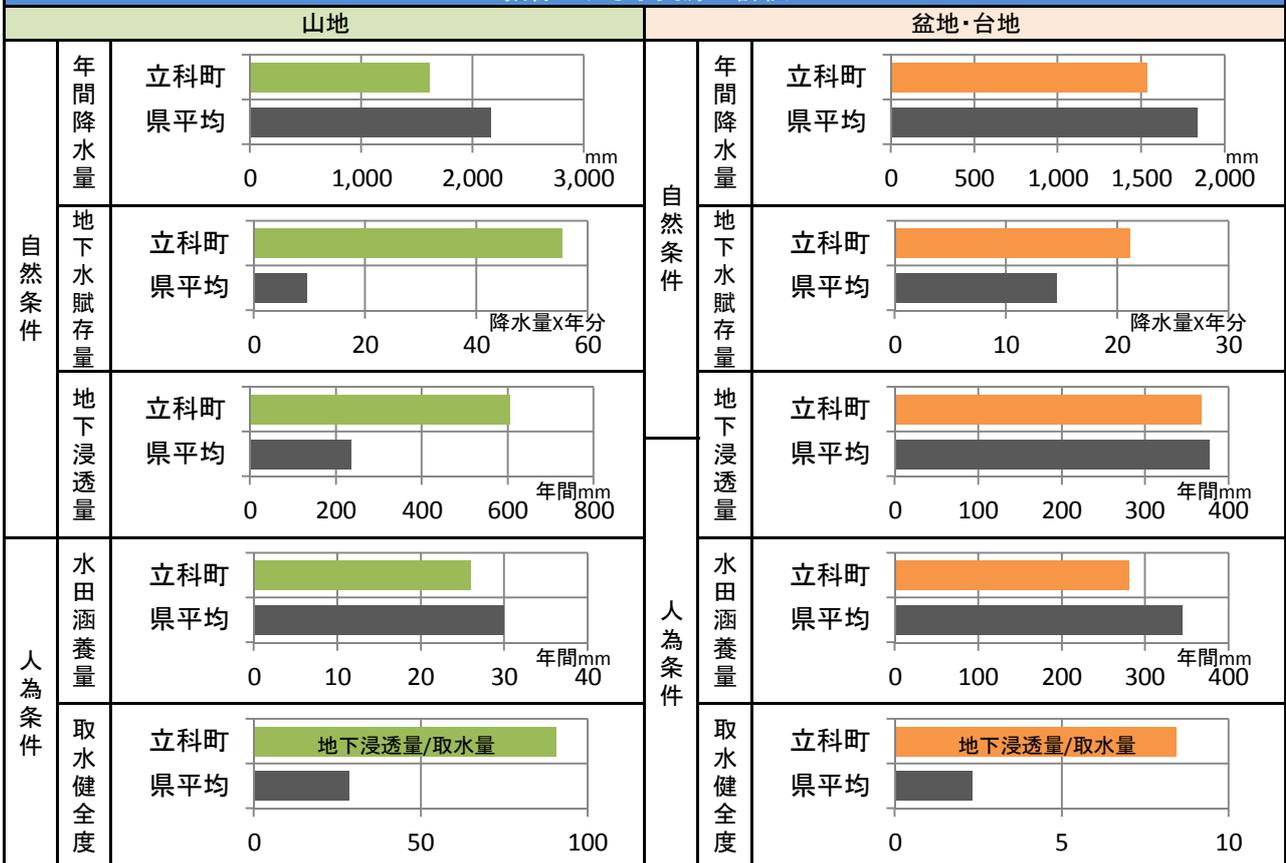
立科町

| 水文区特徴 | 佐久 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 八ヶ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。取水健全度も極めて高い。現時点では、この健全性が不安定になる可能性は小さい。水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



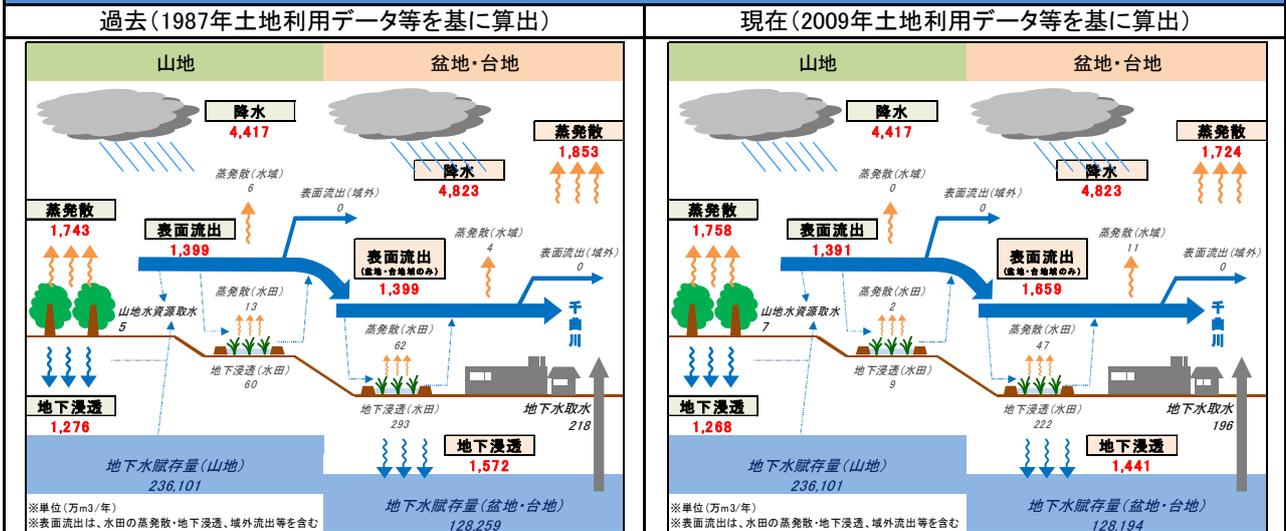
指標による水資源の評価



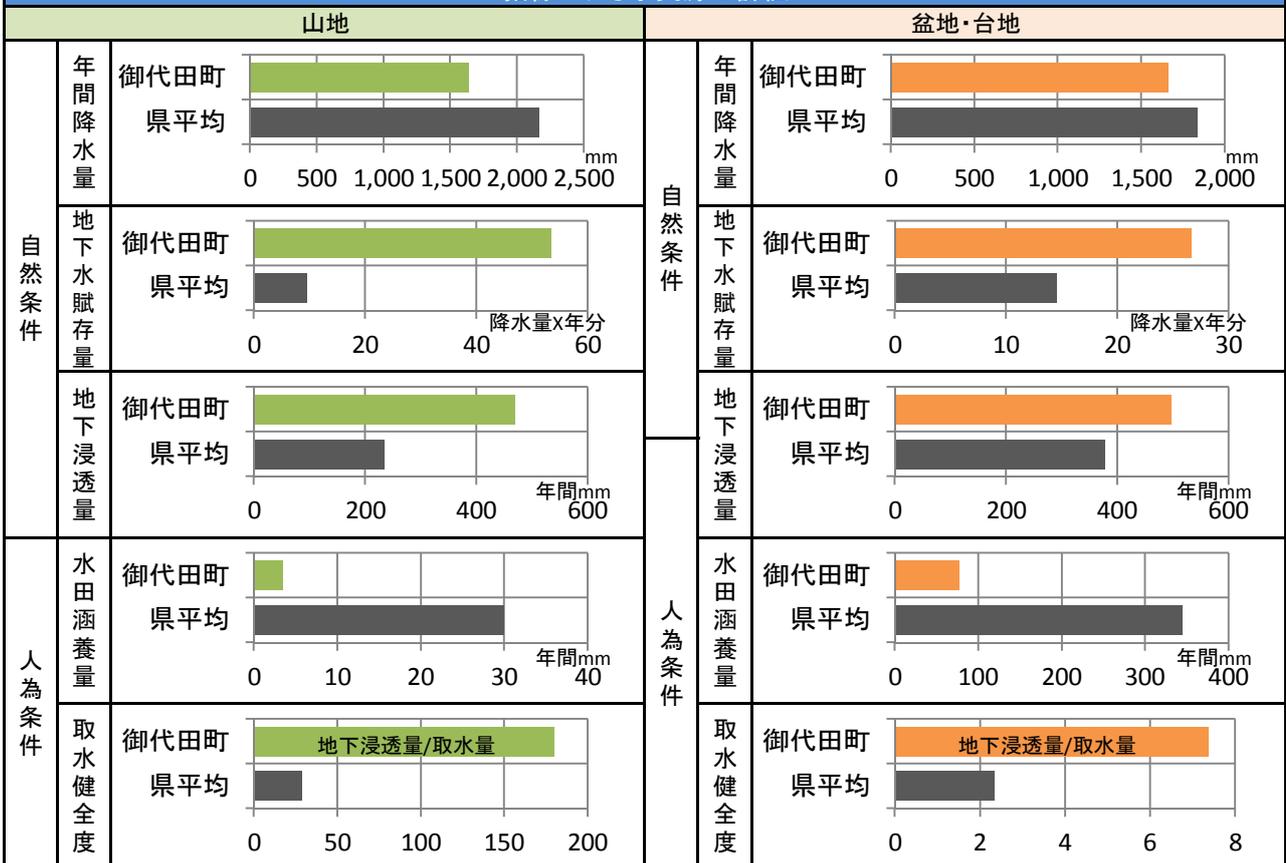
御代田町

| 水文区特徴 | 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|--|-------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | <ul style="list-style-type: none"> ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 水田がわずかなため、スコア上は水田浸透が小さい。ただし、地域の地下水は浅間山南麓への降水を起源とする浸透により賄われており、地域としての水資源の健全性が不安定になる可能性は小さい。取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川右岸 【盆地・台地】佐久盆地 | | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



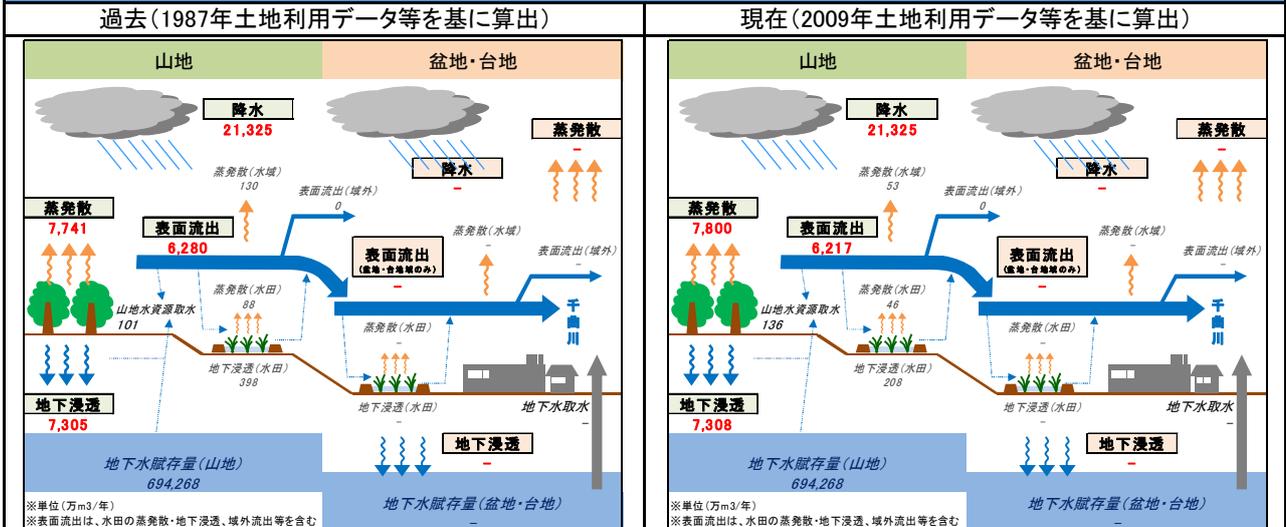
指標による水資源の評価



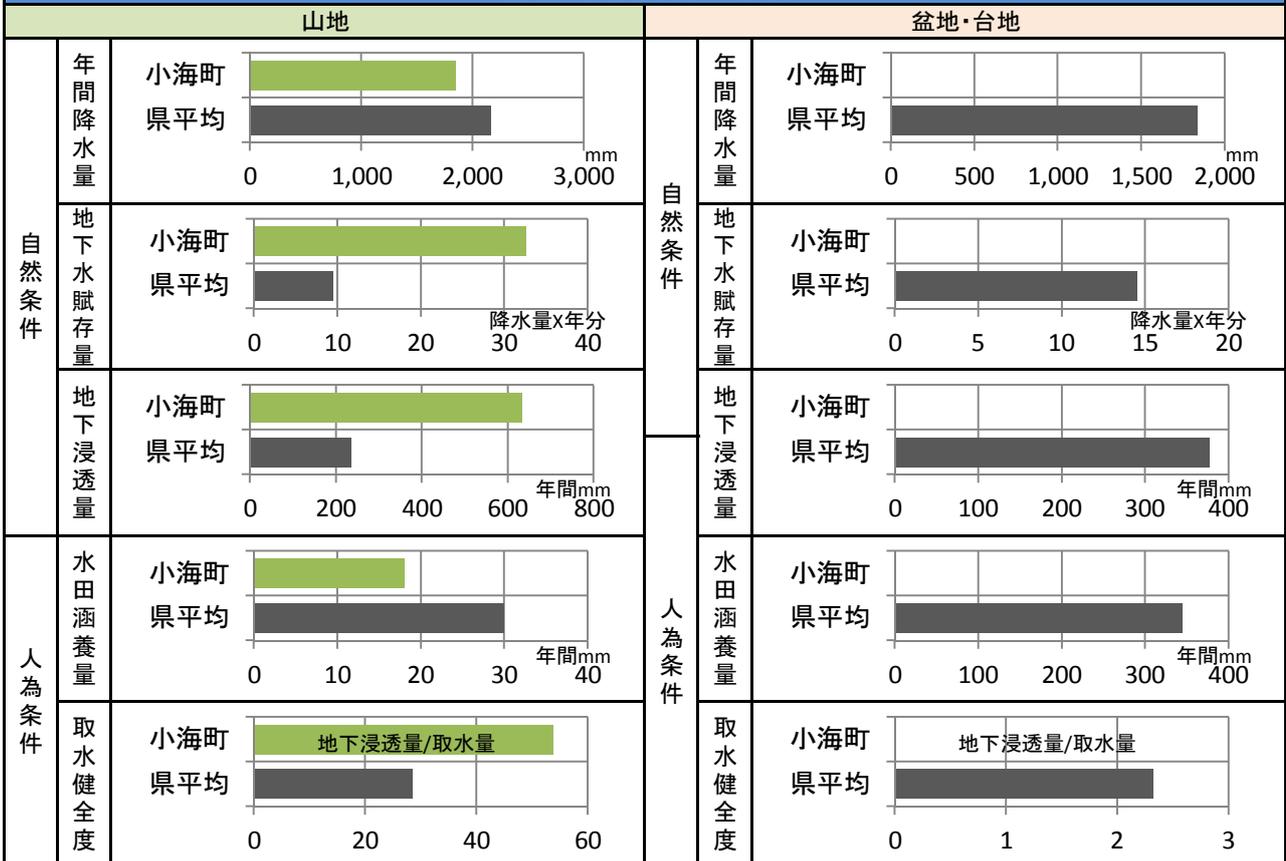
小海町

| 水文区特徴 | 佐久 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 千曲川左岸が八ヶ岳の火山体からなり、地域としての地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。これらに対する取水が多くないため、取水健全度も高い。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



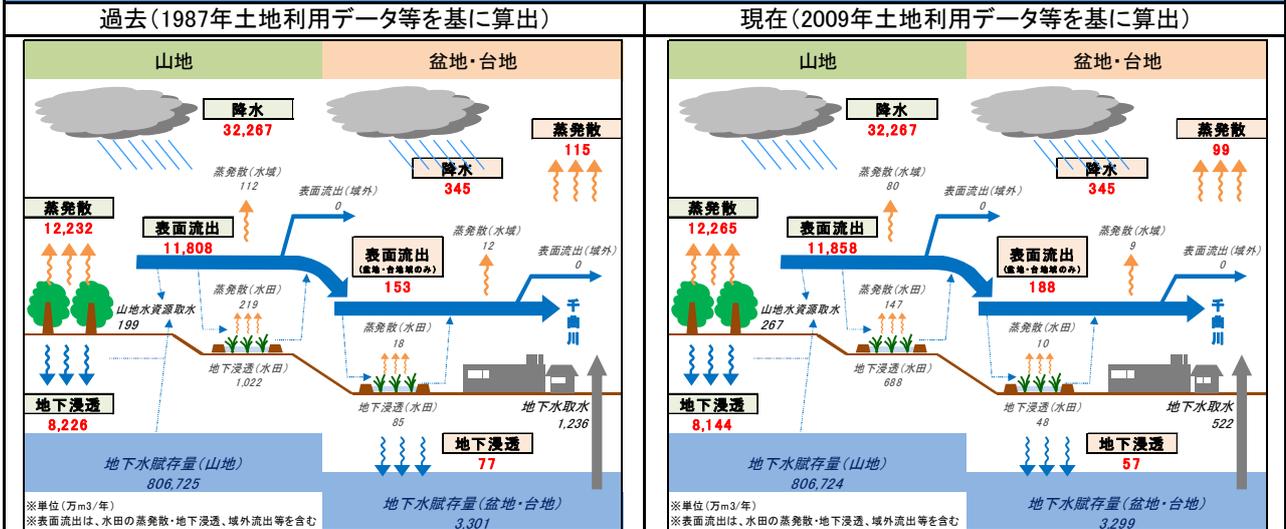
指標による水資源の評価



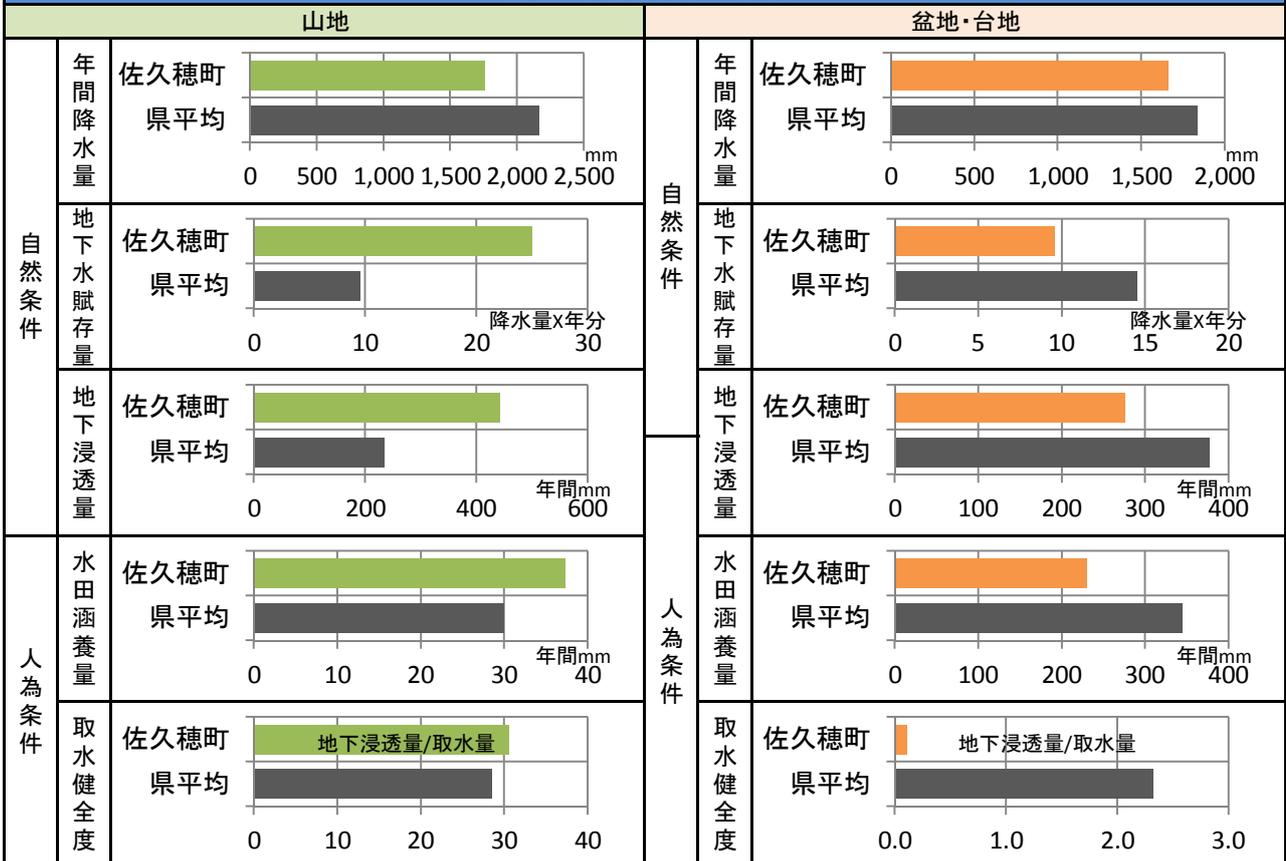
佐久穂町

| 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 千曲川左岸が八ヶ岳の火山体からなり山地の地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。一方、盆地・台地の地下水取水は減ってはいるものの地下浸透に対しては多いため、取水健全度が低い。火山体のフローの水資源が盆地・台地に流動しストックの水資源になるため、直ちに地下水障害が生じる可能性は小さいが、盆地・台地での過剰な水利用には留意が必要である。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



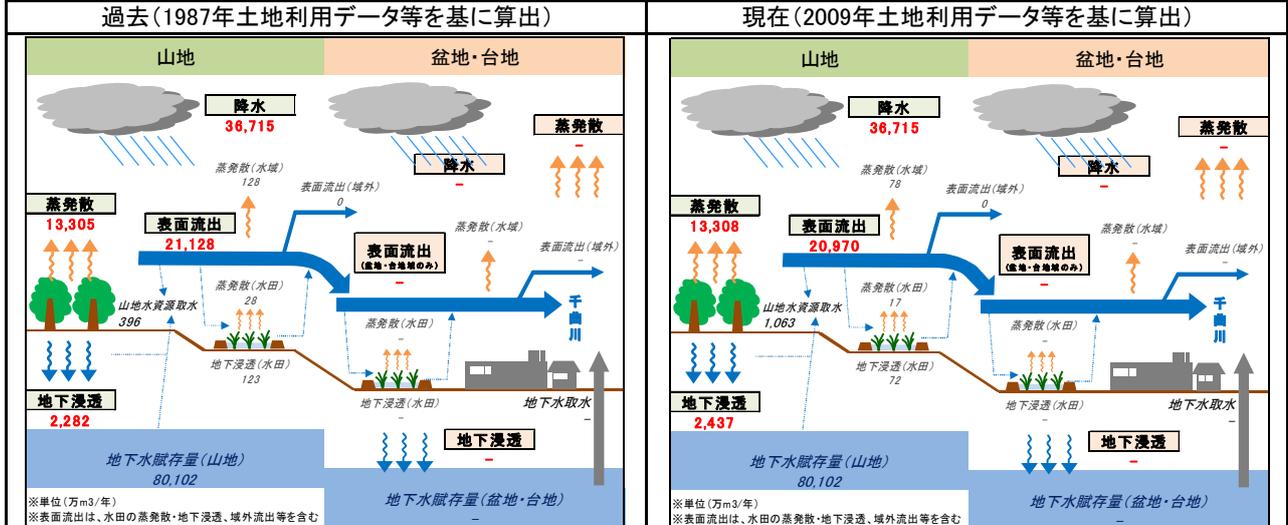
指標による水資源の評価



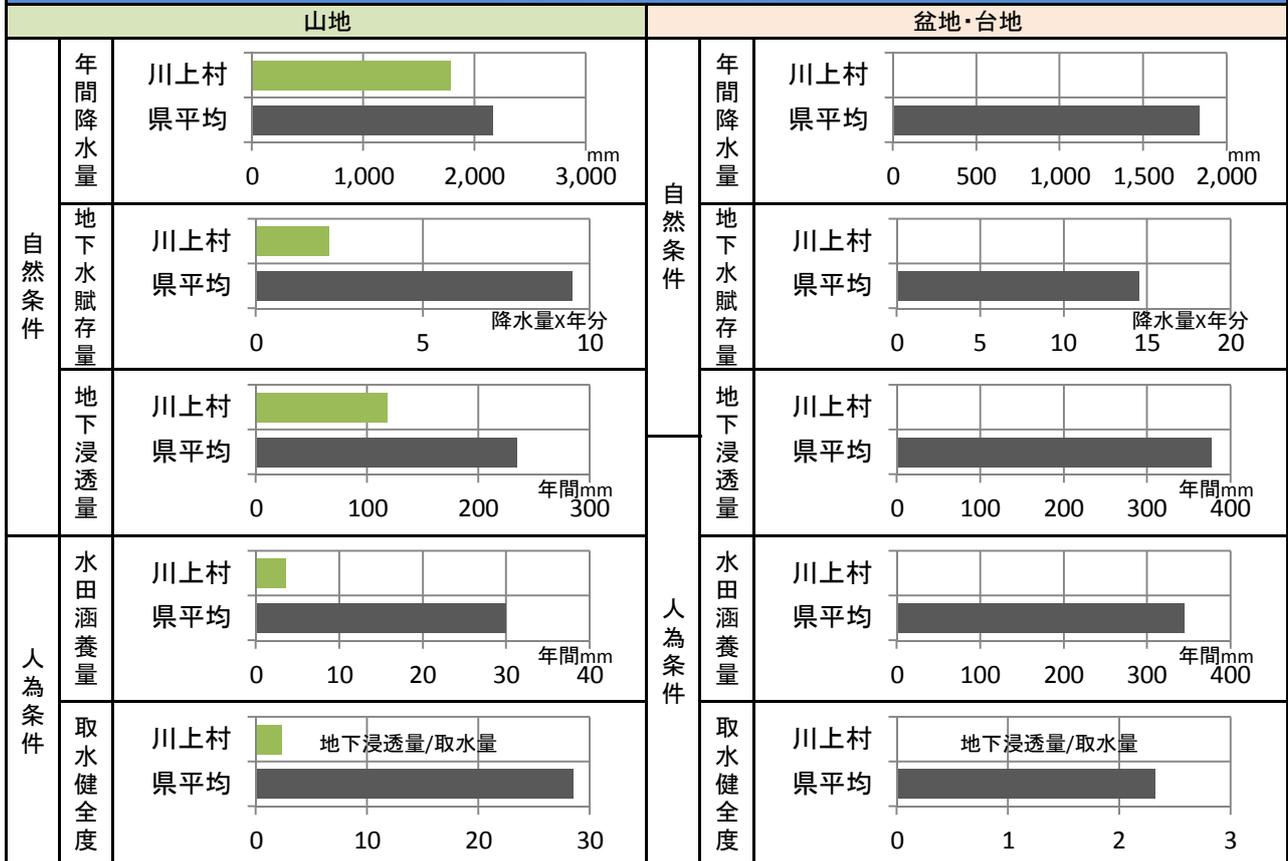
川上村

| 水文区特徴 | 佐久 | | 指標による水資源スコア | | 評価 | |
|-------|--|--|-------------|--|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | <ul style="list-style-type: none"> ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水でいずれのスコアも見かけ小さくなっている。ただし、降水は表流水として地域を潤しているため、その水資源は豊富である。千曲川源流に位置するため、地域の大部分を占める森林の適切な管理と環境と調和の取れた農業生産活動により、水資源の水量・水質の保全が重要となる。 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



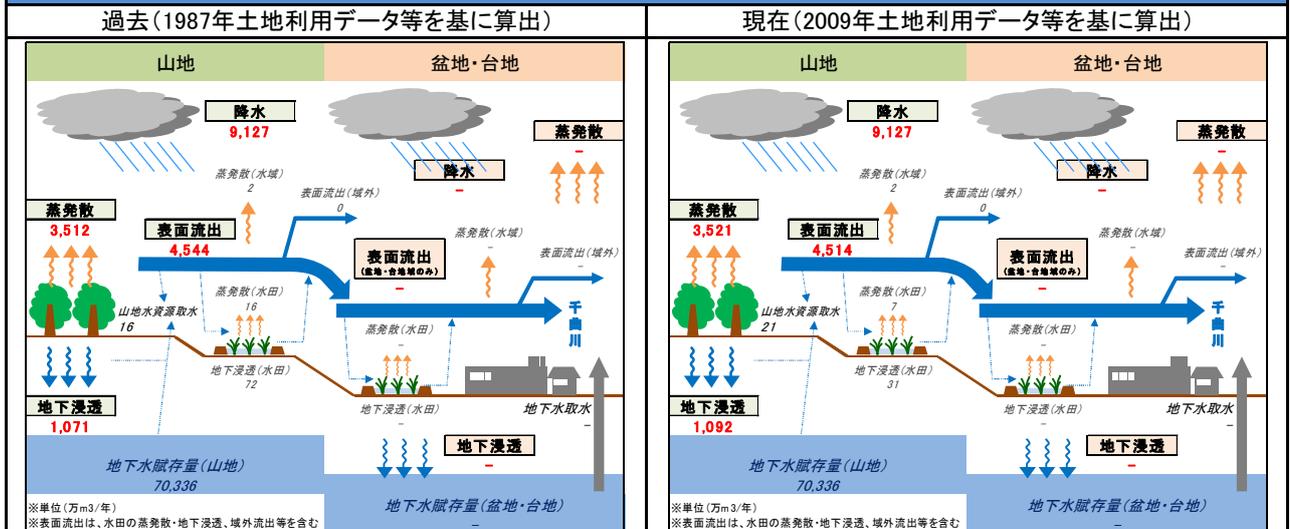
指標による水資源の評価



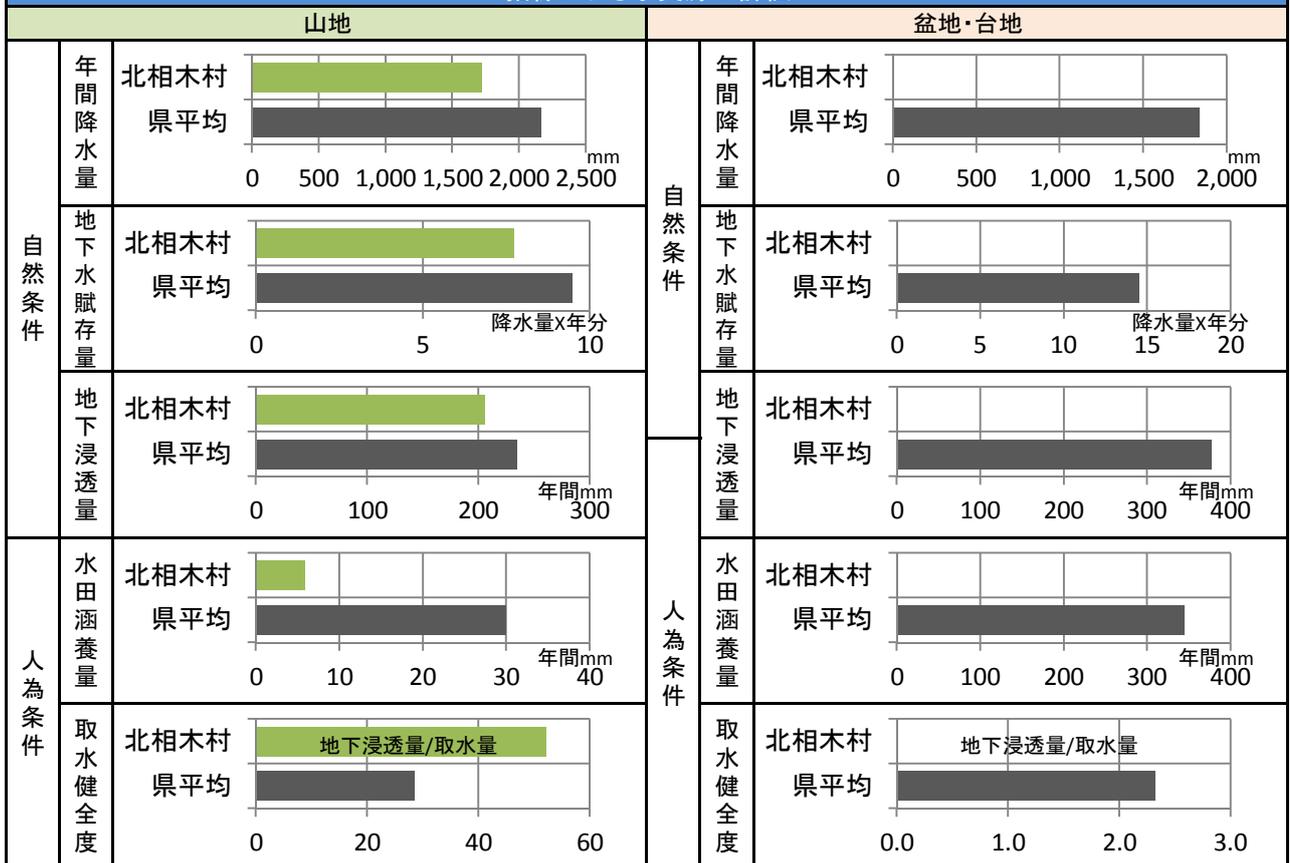
北相木村

| 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 地下浸透、地下水賦存ともに少なく取水も少ないため、現時点では水資源の収支バランスに大きな課題はない。水源林、洪水調節等の機能を発揮するためにも、村の大部分を占める森林の適切な管理が重要である。 |
| | 【山地】千曲川右岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



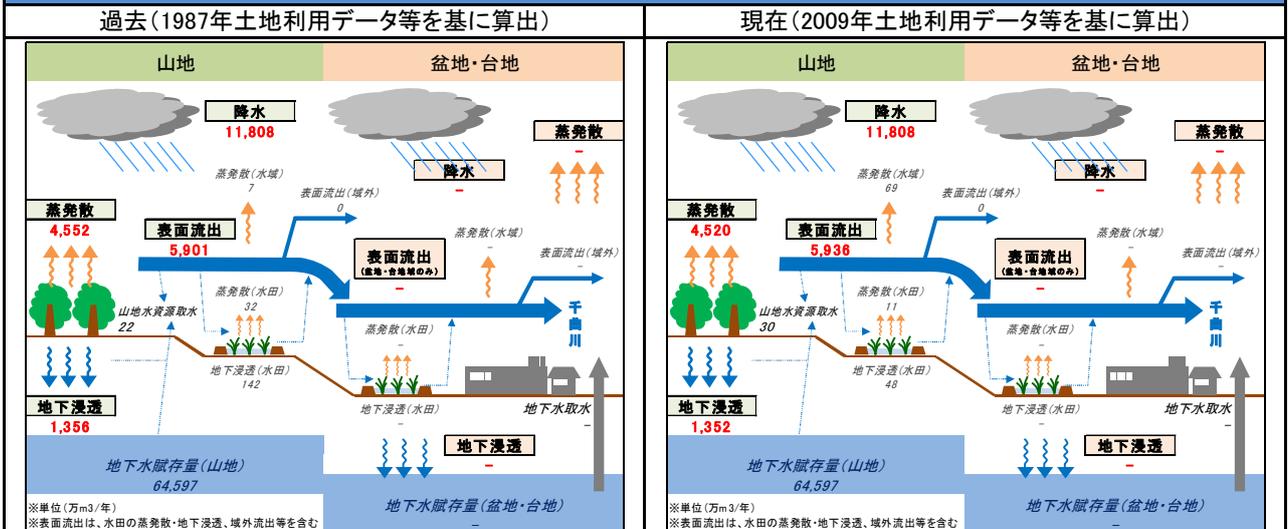
指標による水資源の評価



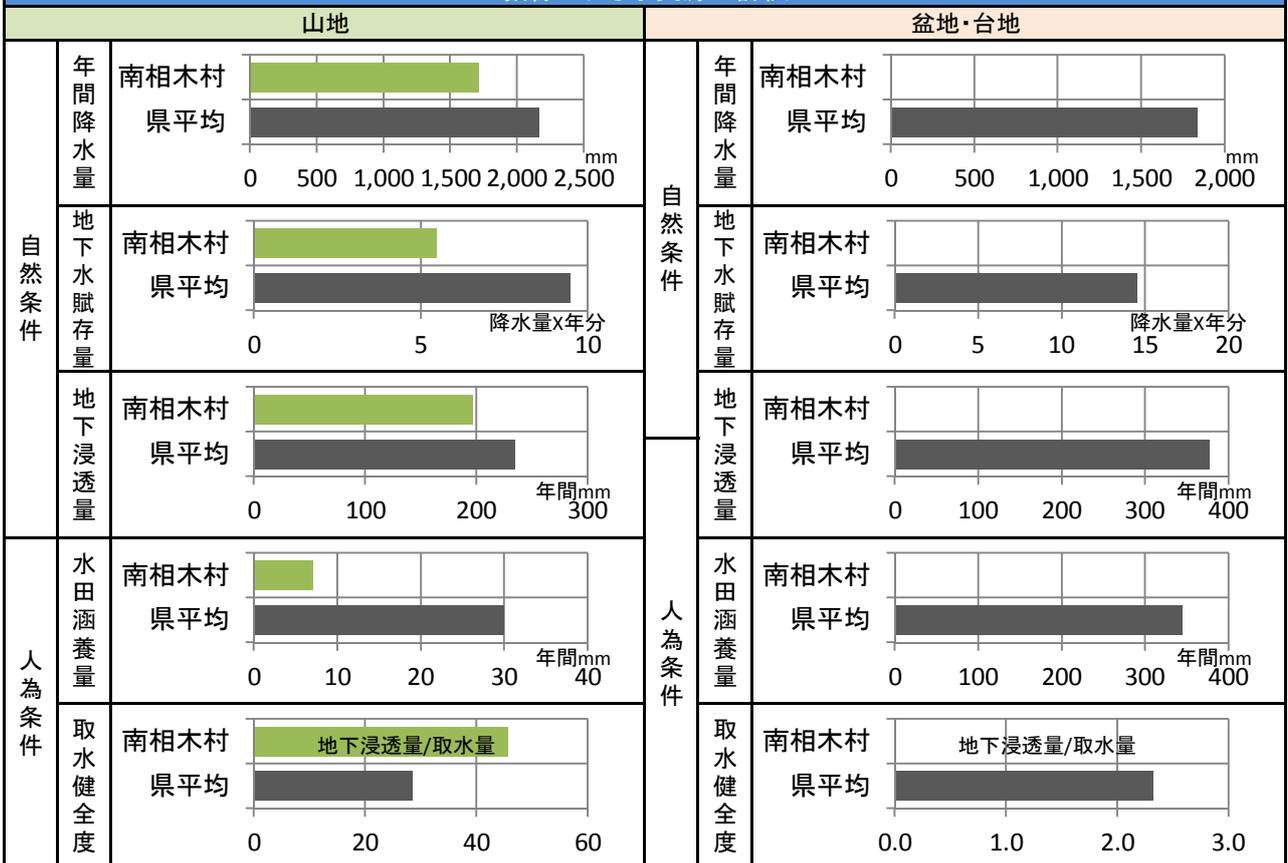
南相木村

| 佐久 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 地下浸透、地下水賦存ともに少なく取水も少ないため、現時点では水資源の収支バランスに大きな課題はない。水源林、洪水調節等の機能を発揮するためにも、村の大部分を占める森林の適切な管理が重要である。 |
| | 【山地】千曲川右岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



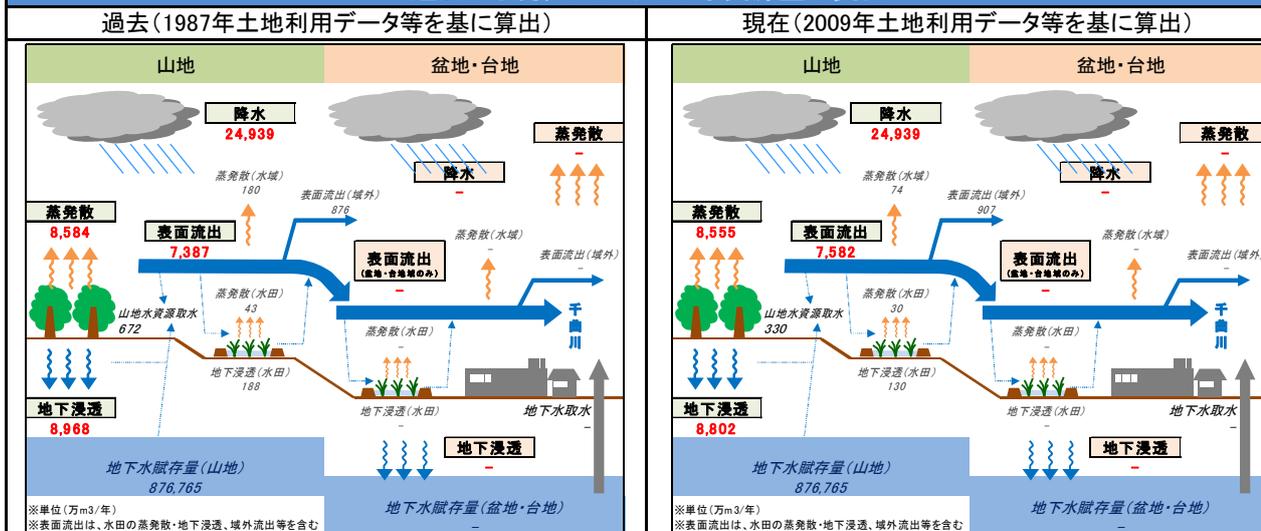
指標による水資源の評価



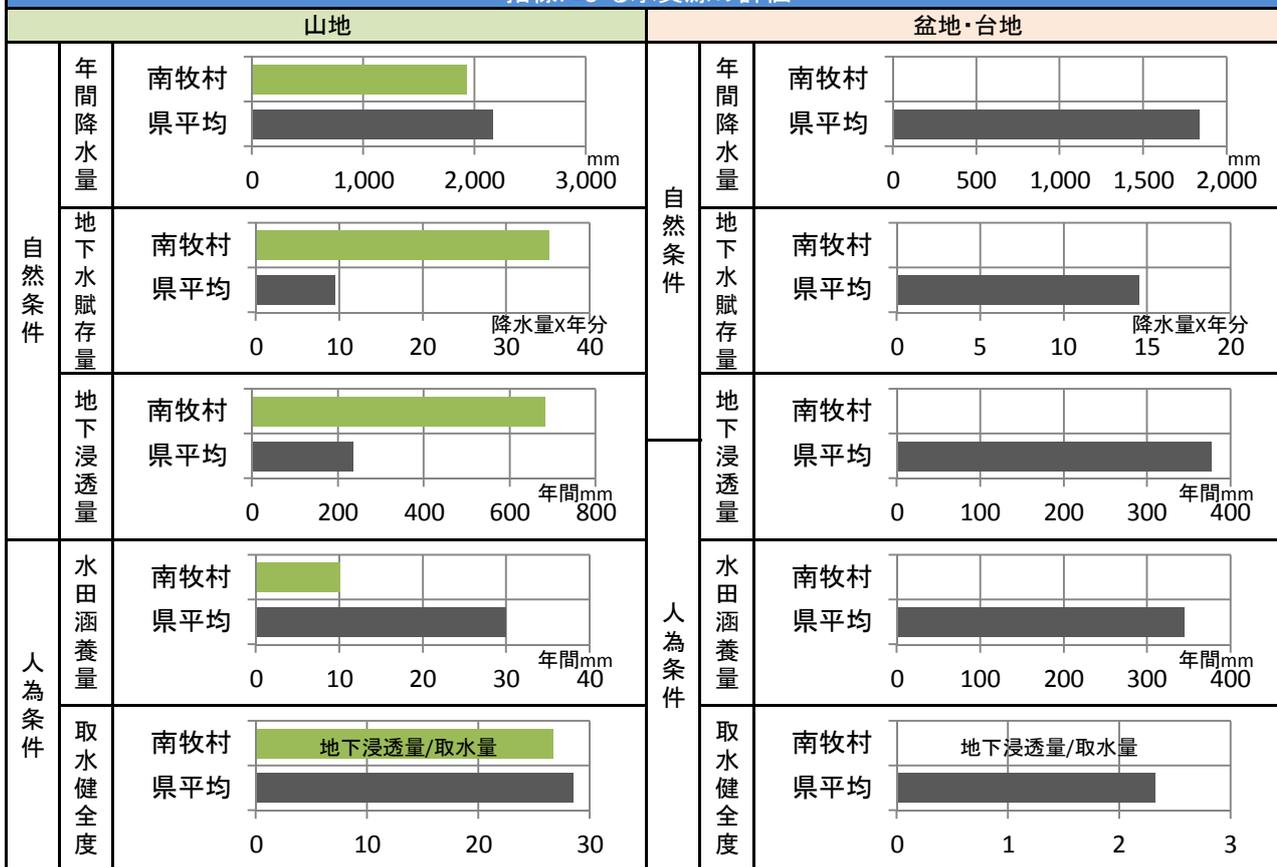
南牧村

| 水文区特徴 | 佐久 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 八ヶ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。千曲川の最上流域に位置するため、地域の大部分を占める森林の適切な管理と環境と調和の取れた農業生産活動により、水資源の水量・水質の保全が重要となる。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



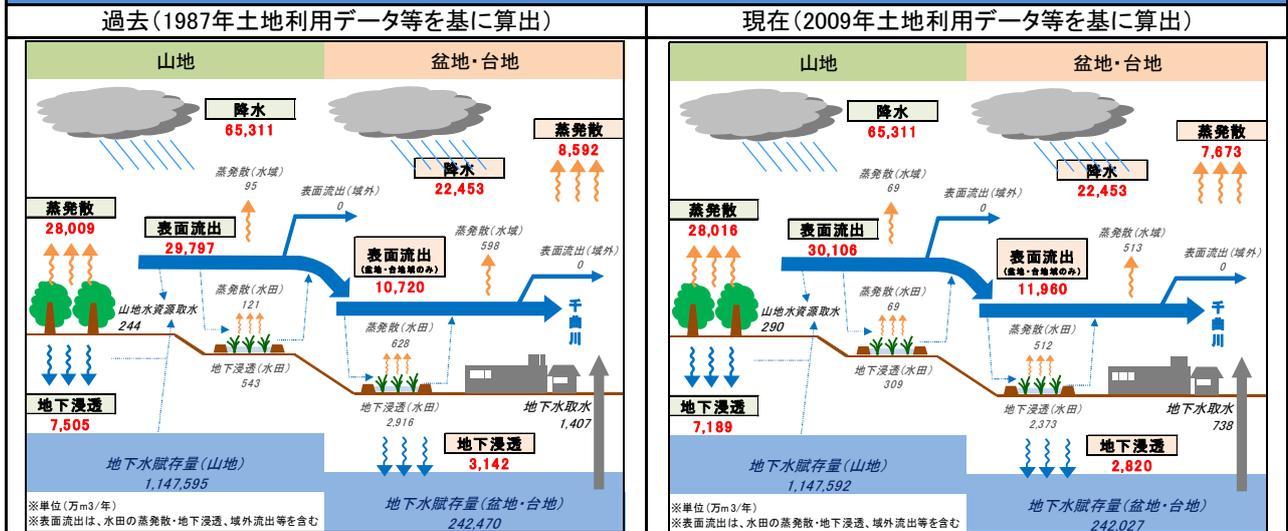
指標による水資源の評価



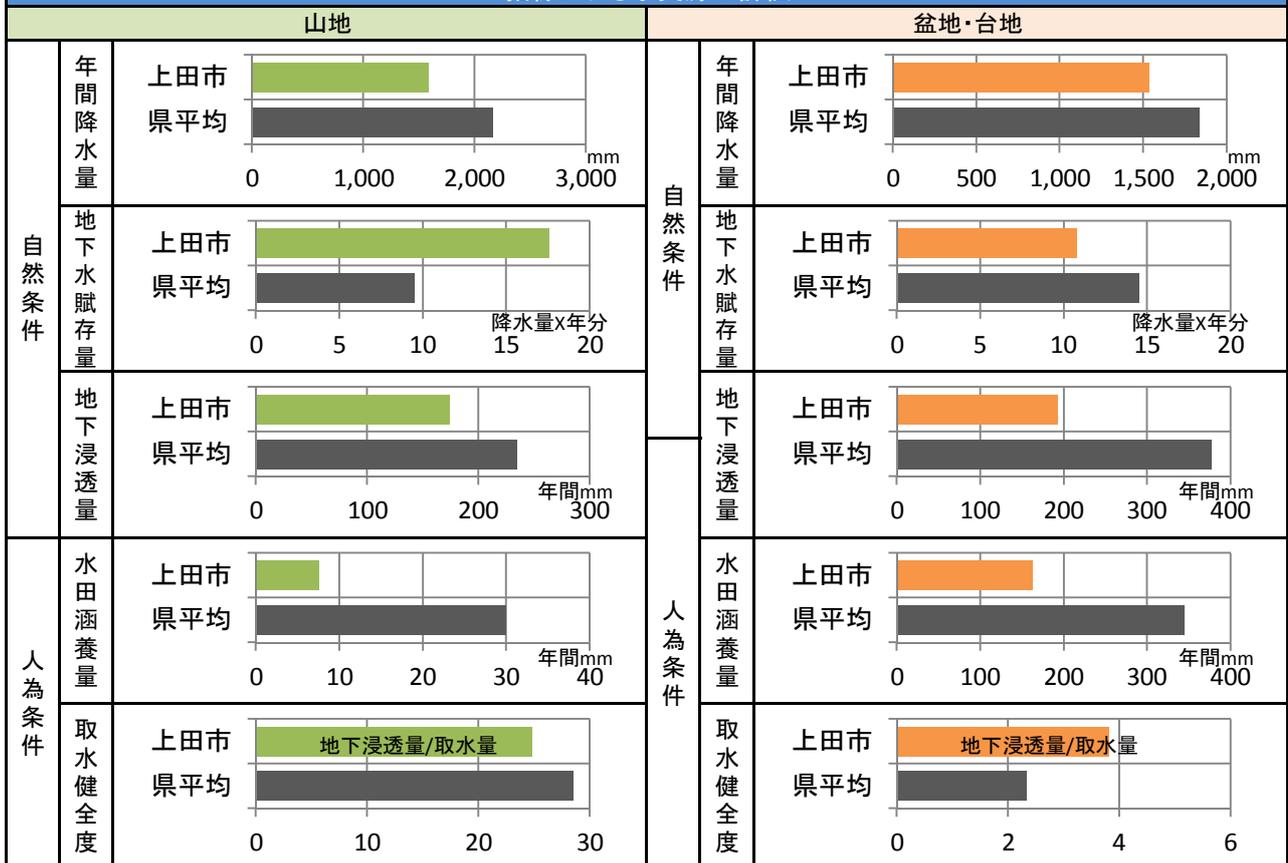
上田市

| 水文区特徴 | 上小 | | |
|-------|--|----------------------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多い ○水田による浸透が比較的多い | 指標による水資源スコア 指標1.0: 県平均 | 評価 山地の一部は浅間山の火山体からなり地下水賦存が多い。上田盆地と塩田平を主とする盆地・台地では、地下水賦存、地下浸透、水田浸透とすべて県平均より少ない。市街化がすすみ地下水の供給が減少傾向にあることに留意した水資源管理が必要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】上田盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



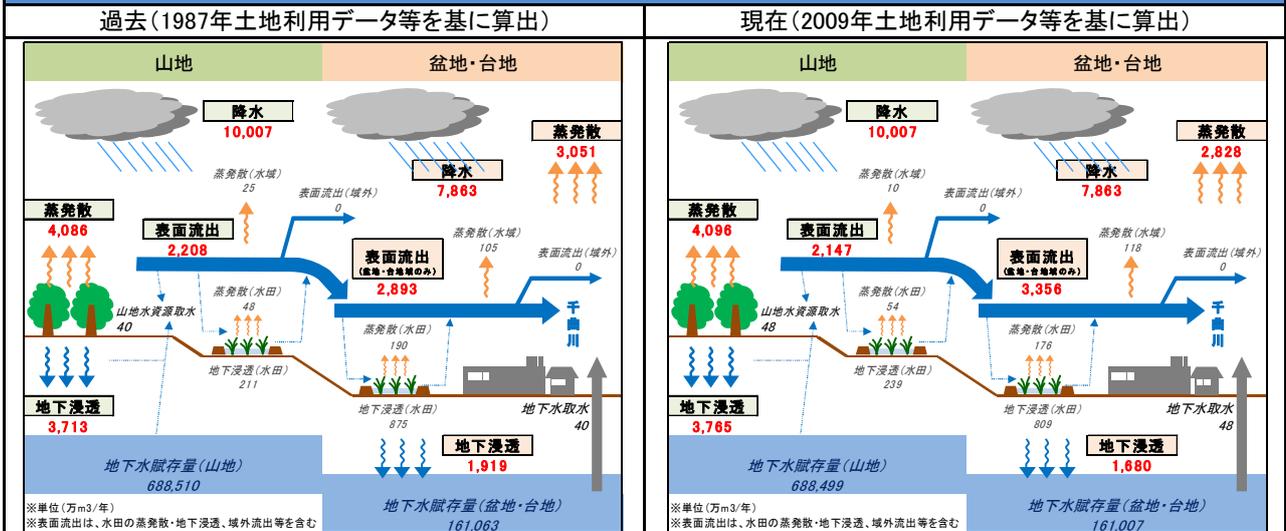
指標による水資源の評価



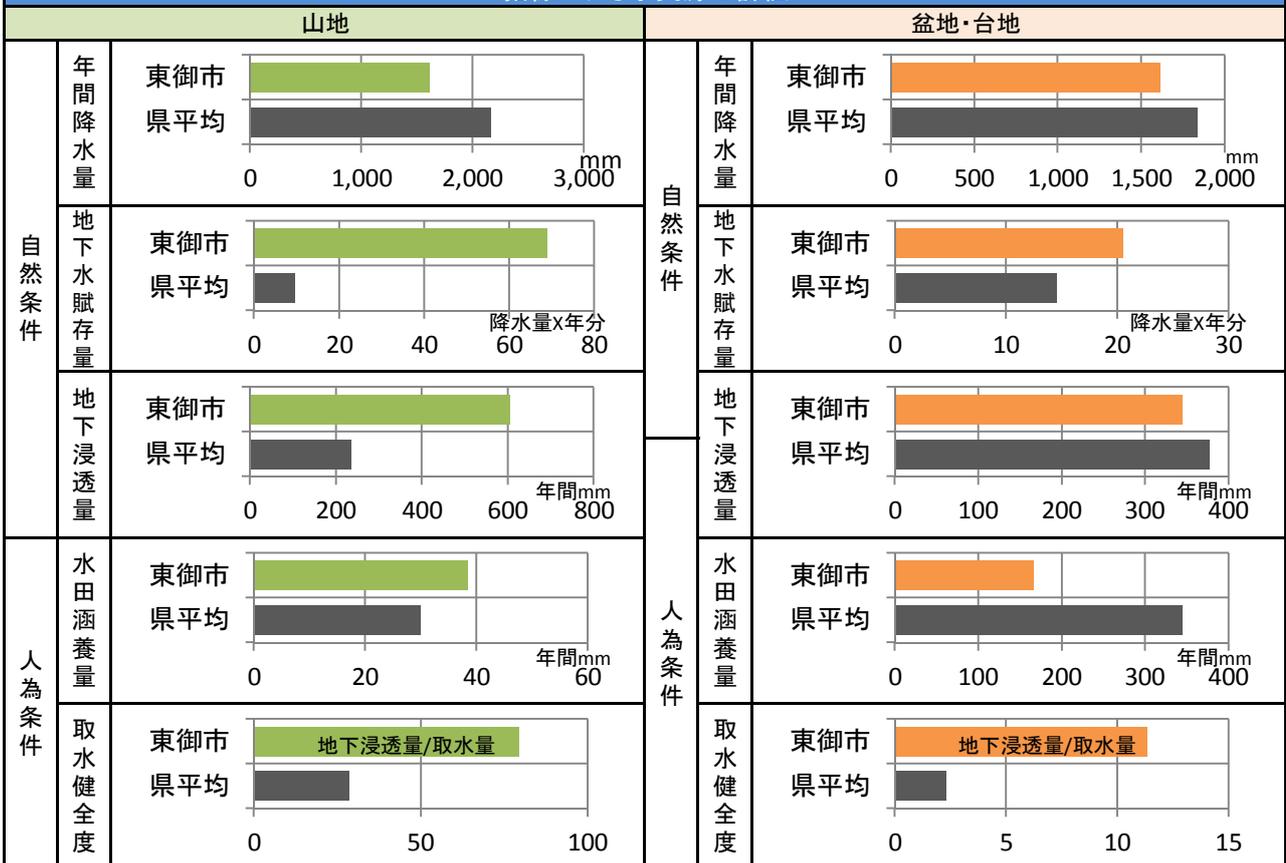
東御市

| 上小 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多い ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 浅間山の火山体に位置するため、山地・盆地・台地ともに地下水が多く賦存し、特に山地からの地下浸透が豊富である。盆地・台地における水田浸透は少ないが、火山体のフローの水資源が流下し盆地・台地のストックの水資源になるため、地域としての健全性が不安定になる可能性は小さい。フローの供給量を超えた取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



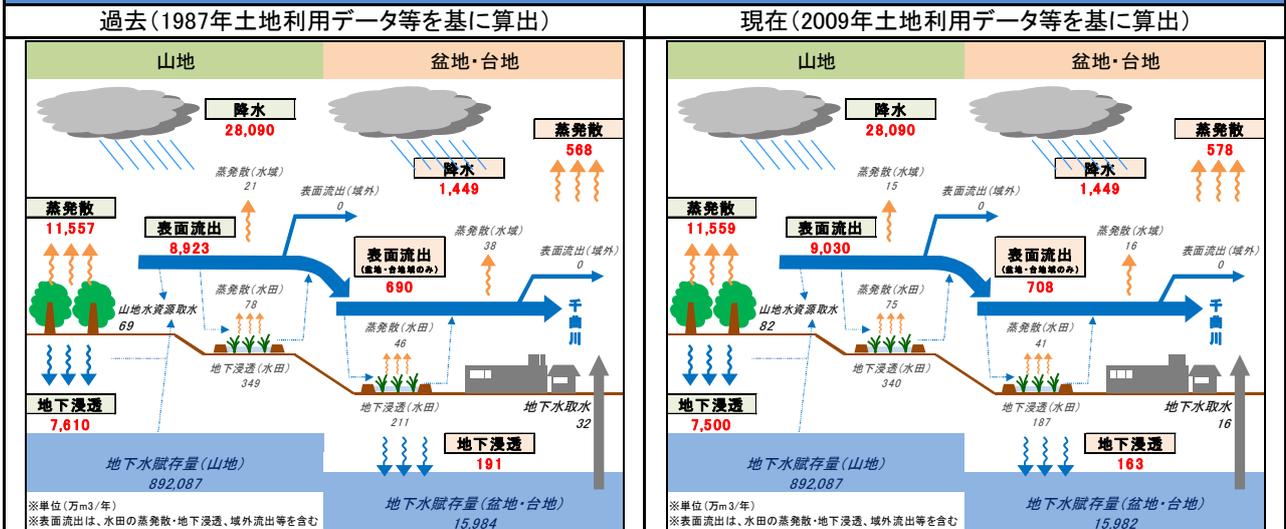
指標による水資源の評価



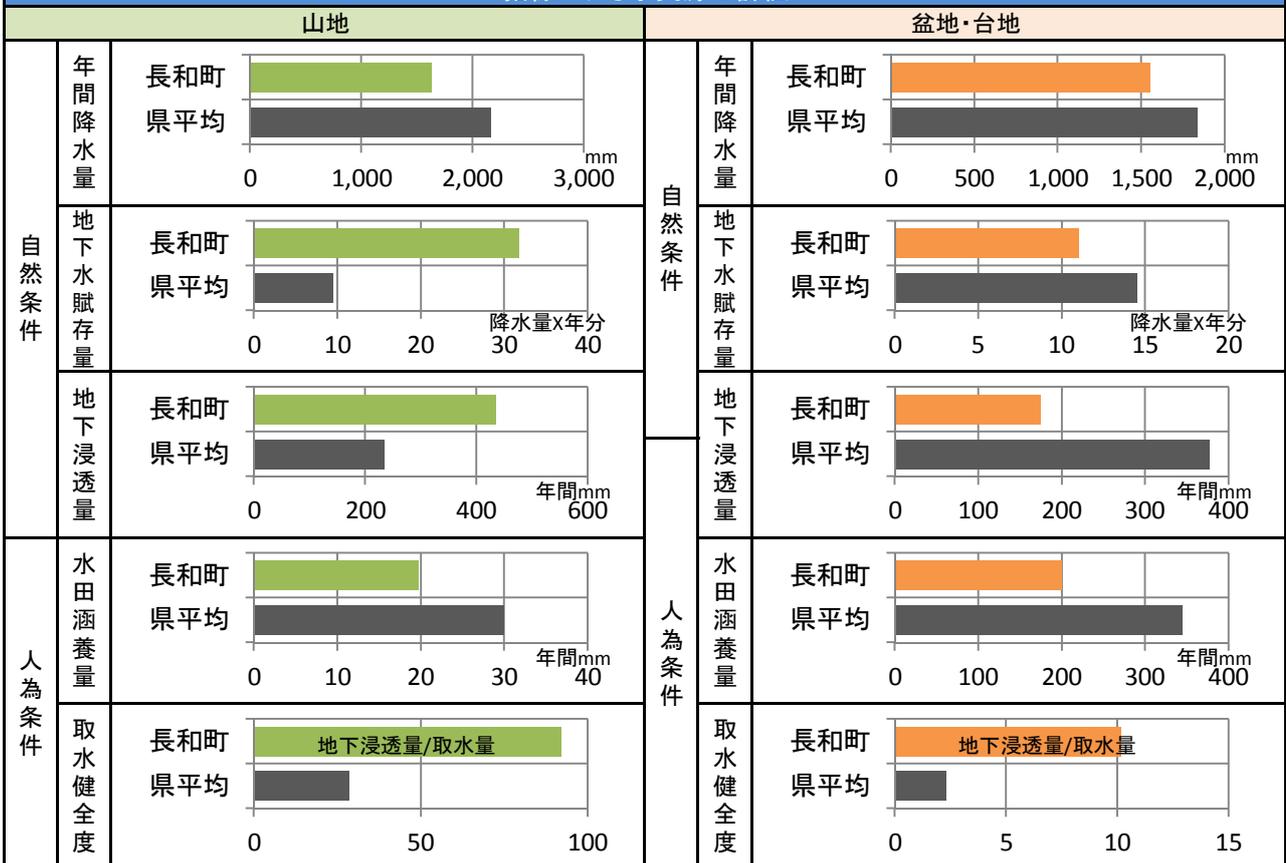
長和町

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 上小 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多い ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 八ヶ岳北麓に位置し地下浸透、地下水賦存とも県平均より多いが、盆地・台地では少ない。水田浸透は少ないが、取水が少ないため取水健全度は極めて高い。現時点では、この健全性が不安定になる可能性は小さい。水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】上田盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



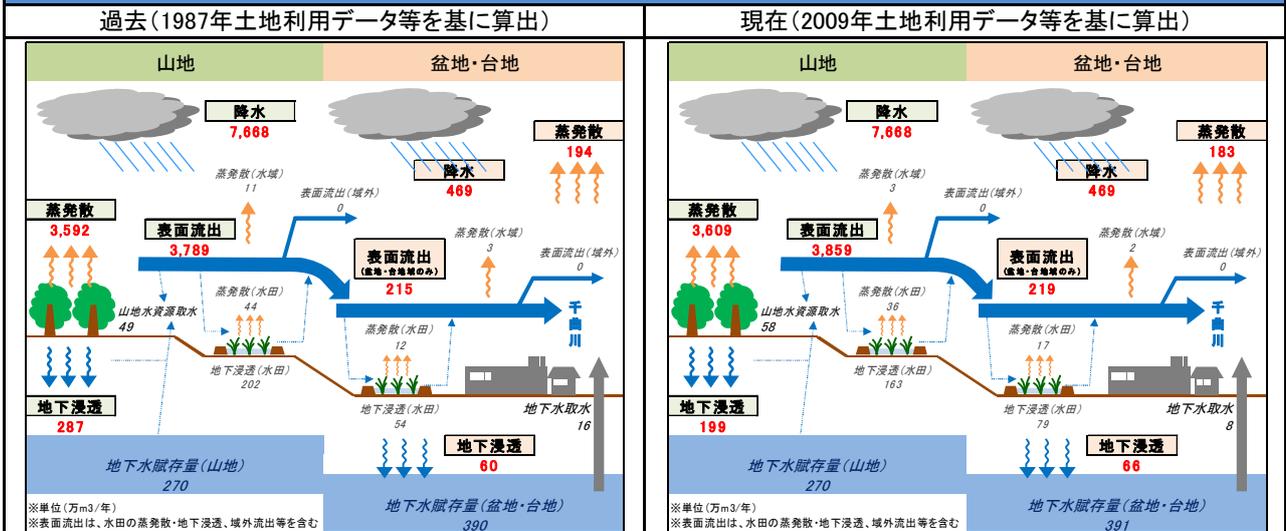
指標による水資源の評価



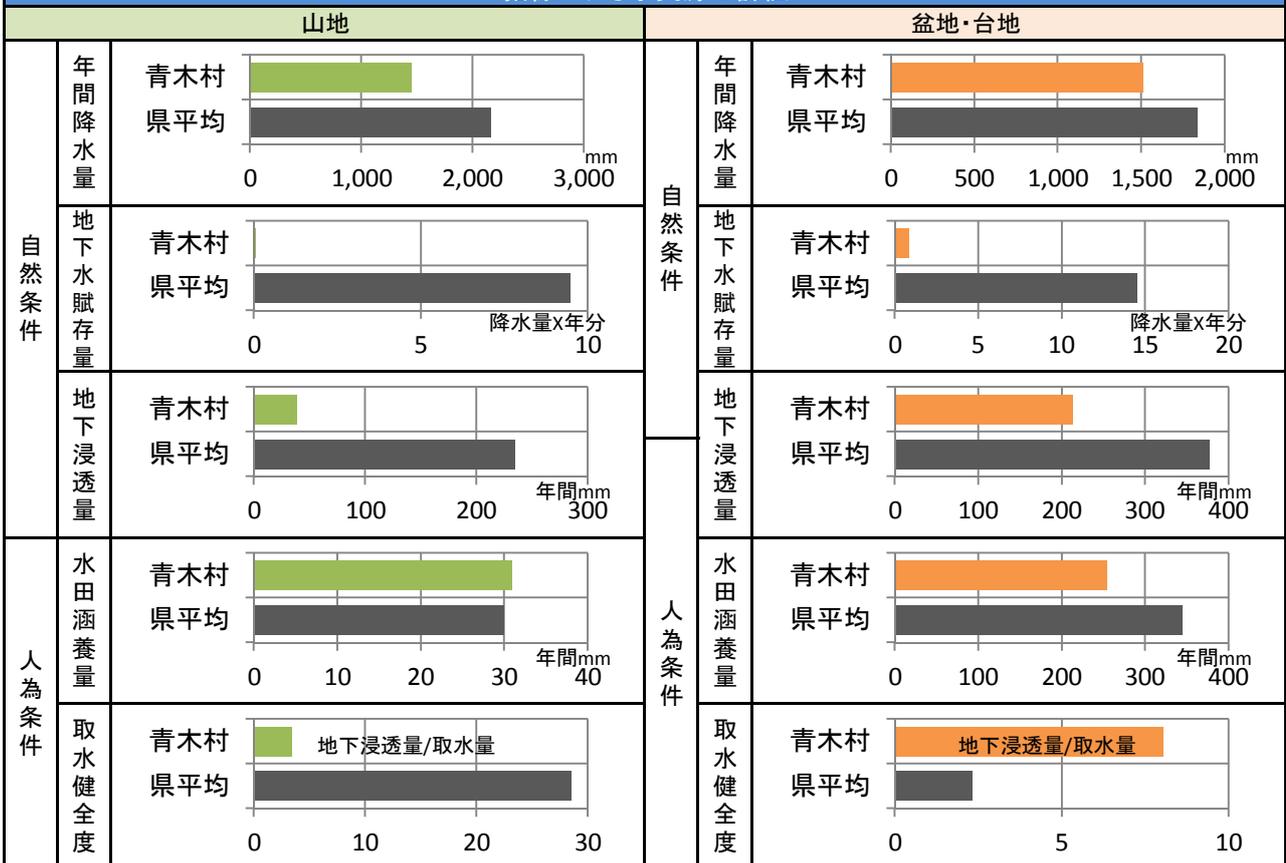
青木村

| | | | |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | 上小 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○県内でも降水量が少ない地域 ○盆地では市街化が進む ○火山体のため浸透量が多い ○水田による浸透が比較的多い | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水でスコアのほとんどは見かけ小さくなっている。ただし、降水は表流水として地域を潤しているため、その水資源は豊富である。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】上田盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



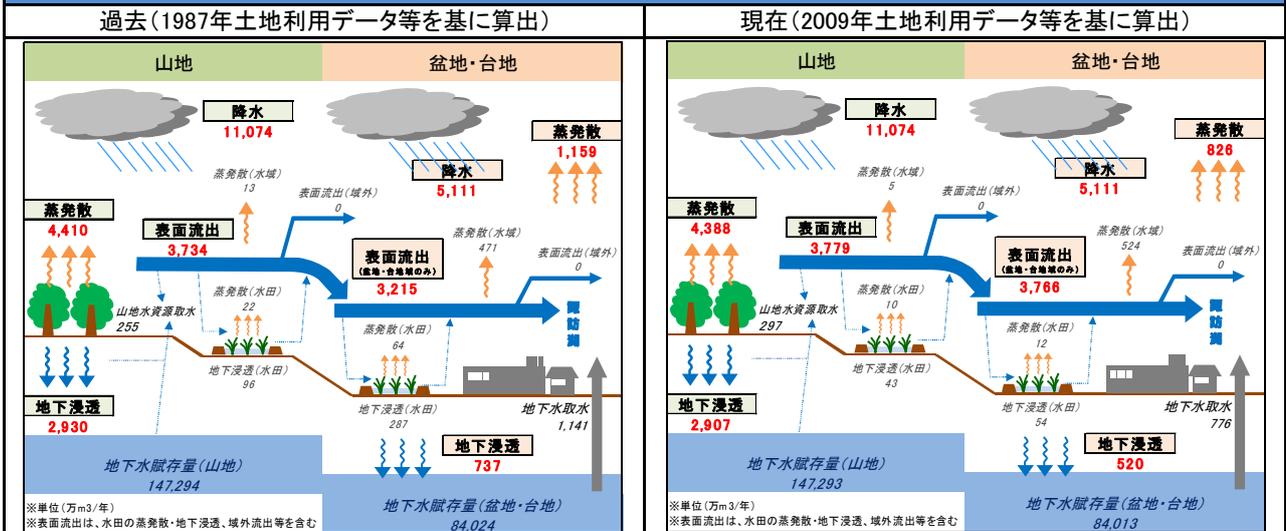
指標による水資源の評価



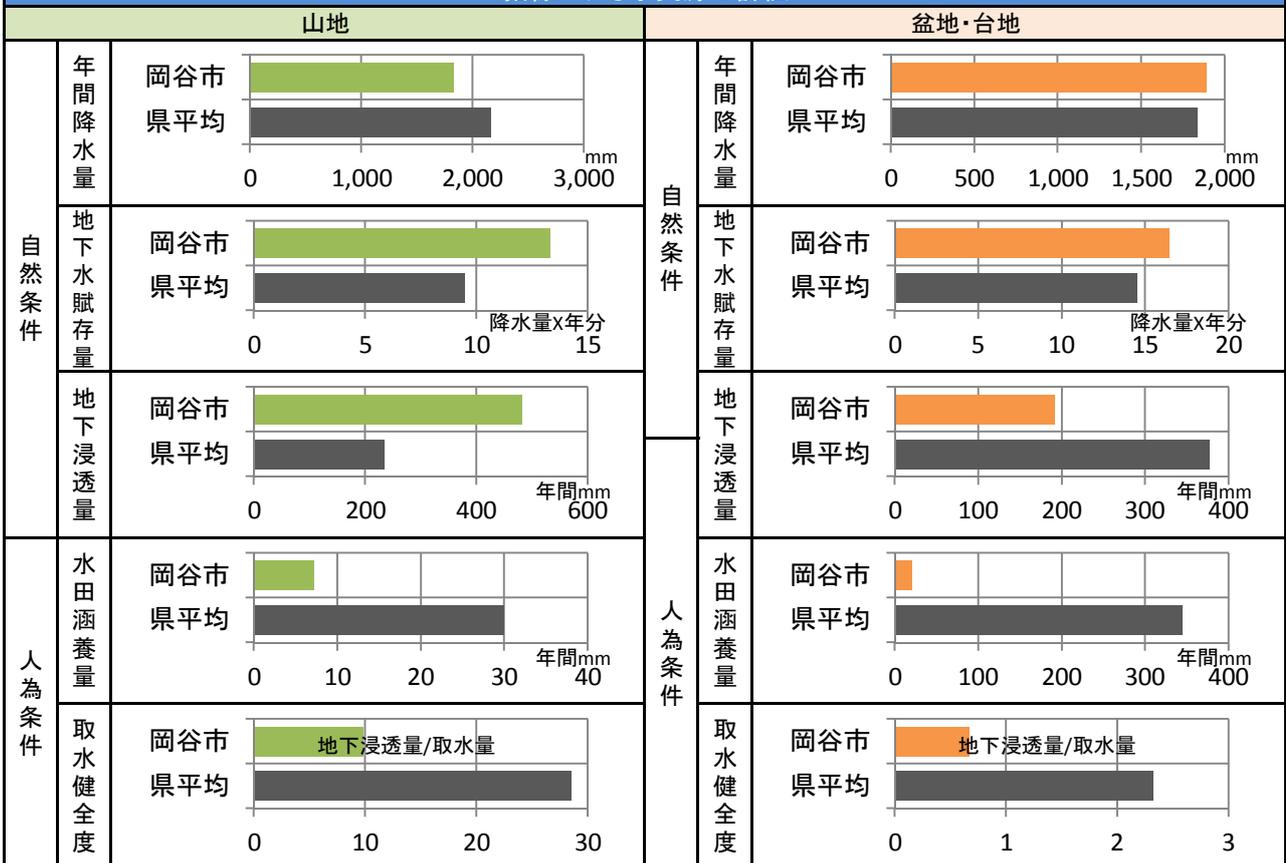
岡谷市

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○ハケ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 社会活動が盛んで水田もわずかなため、人為条件のスコア(水田涵養、取水健全度)が小さい。ただし、山地には火山体が広がるためフローの水資源が流下し、盆地・台地のストックの水資源を維持している。既に取水健全度が小さいため取水量の増加による地下水障害に留意する必要がある。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田涵養】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



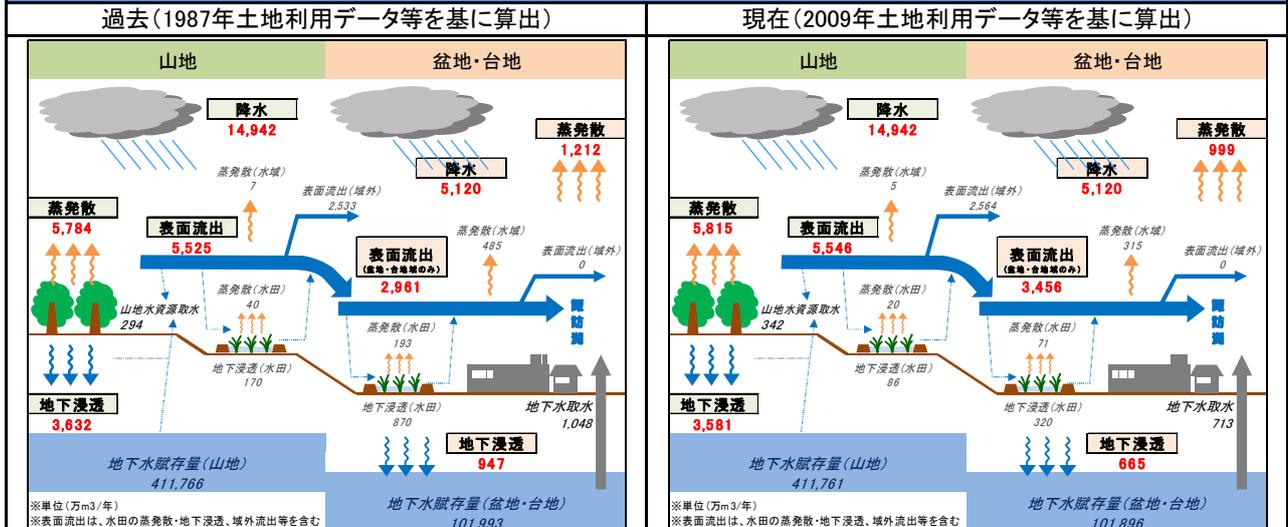
指標による水資源の評価



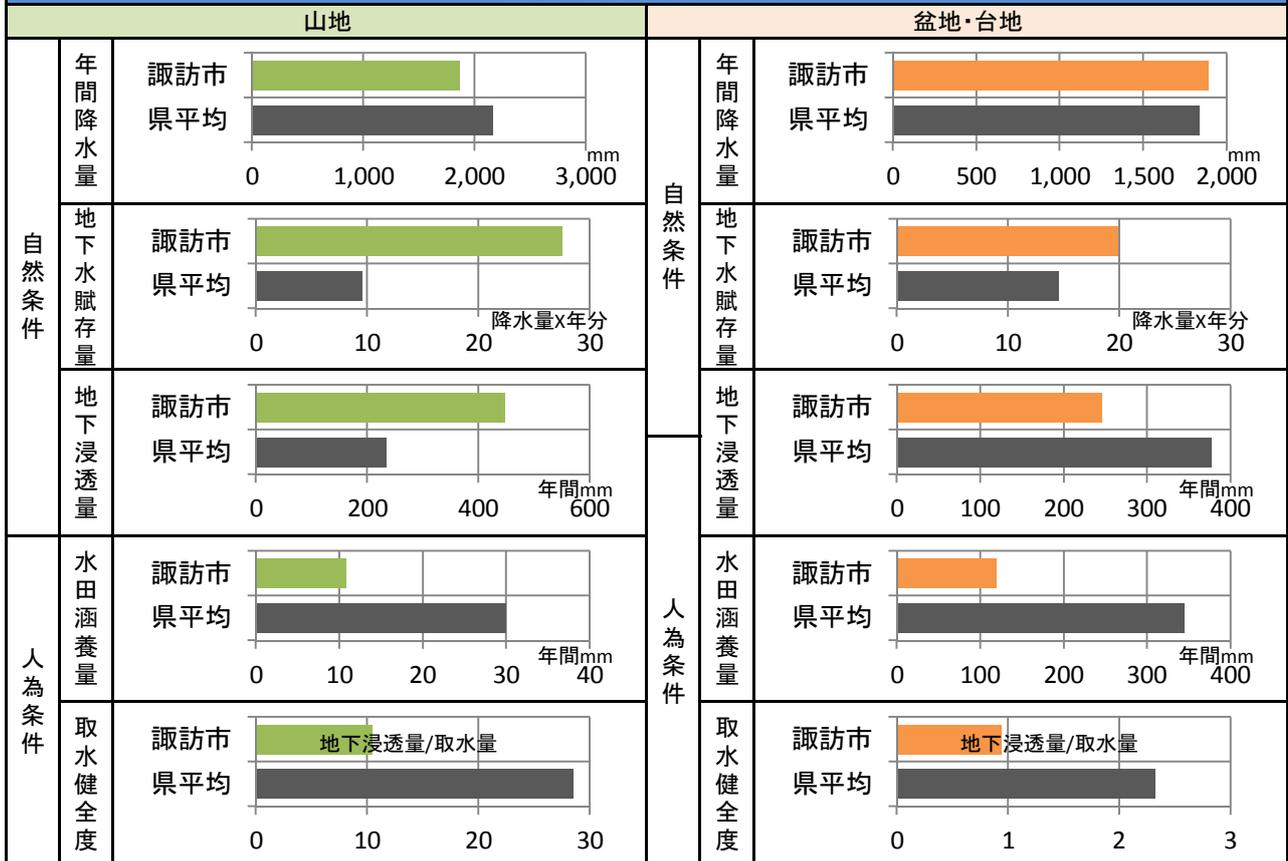
諏訪市

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○ハケ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 山地はハケ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。一方、盆地・台地は諏訪湖沿岸の市街化がすすみ、地下浸透、水田浸透がともに過去に比べ大きく減少している。特に、水田浸透は県内でも非常に少ない地域と言える。供給(地下浸透)の取水に対する比率が小さい(取水健全度が小さい)ことに留意が必要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



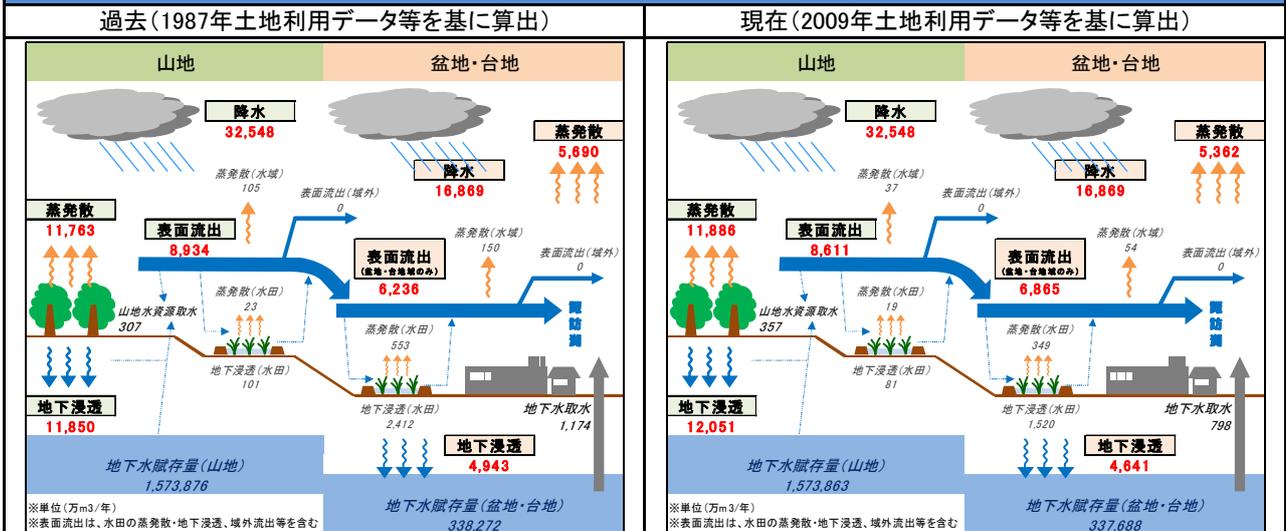
指標による水資源の評価



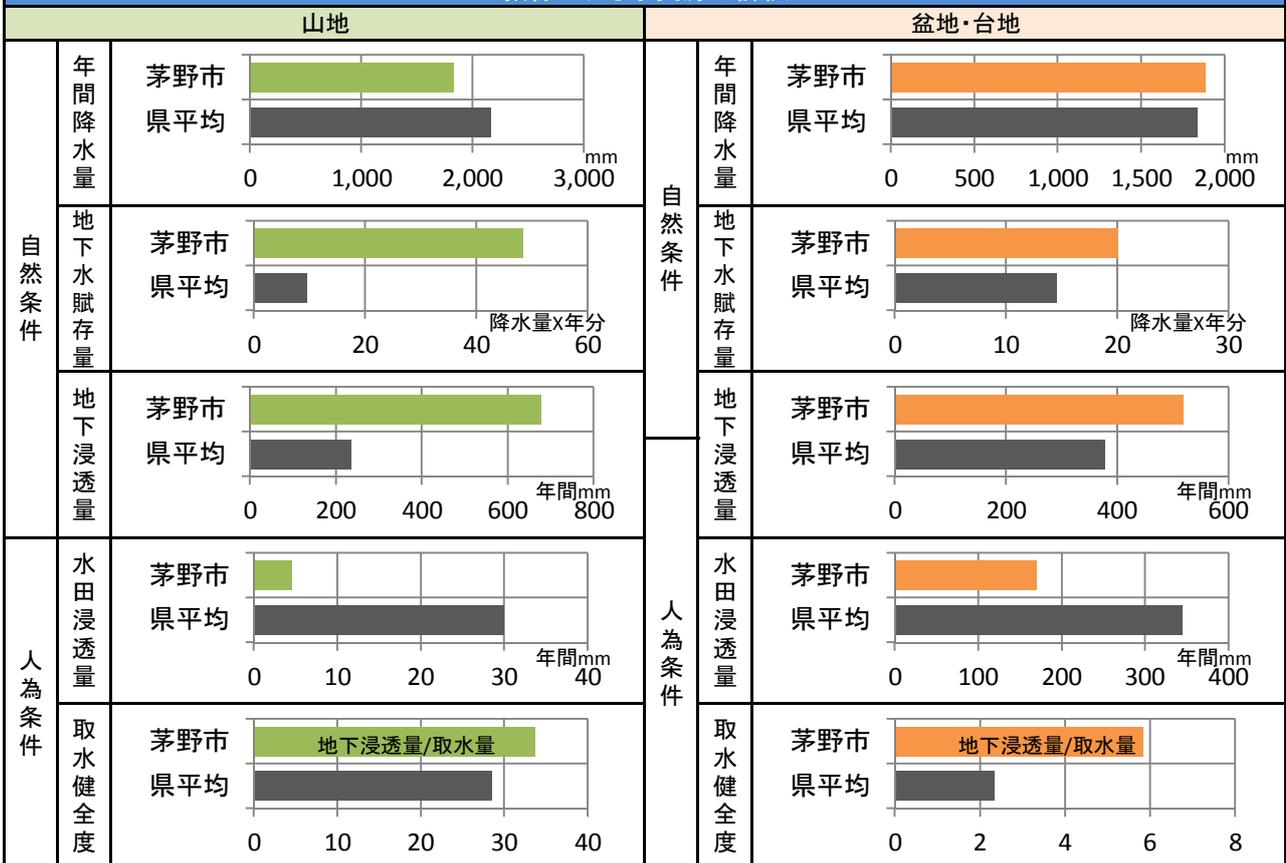
茅野市

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○八ヶ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 八ヶ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存は山地、盆地・台地ともに豊富である。ただし、盆地・台地は諏訪湖沿岸の市街化がすみ水田浸透の減少が顕著である。取水に対する浸透の比率は県内平均より大きい。さらなる市街化による供給(地下浸透)量の減少には留意が必要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



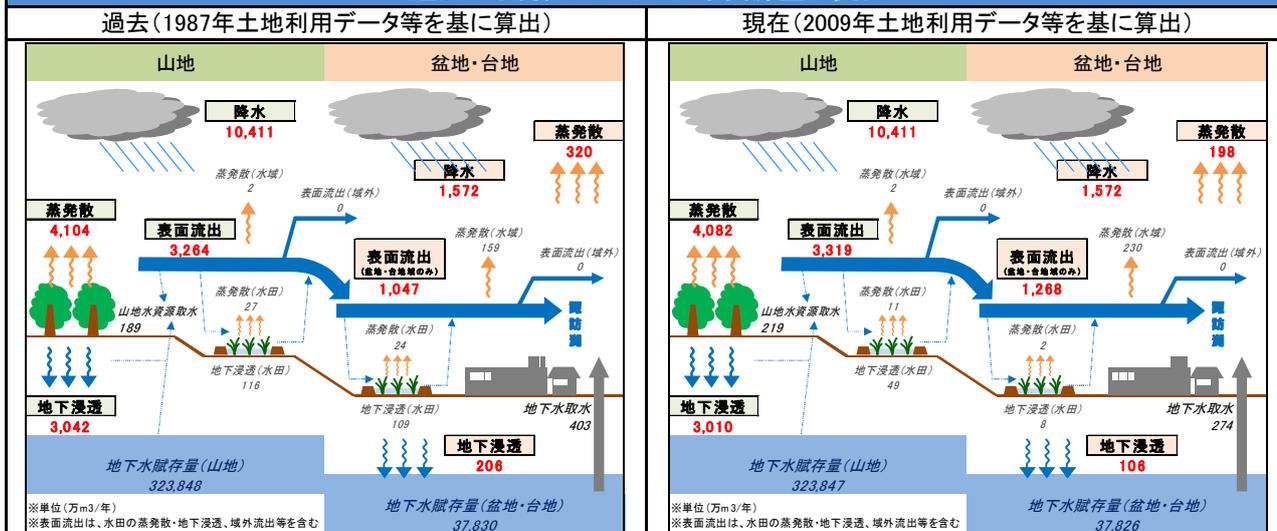
指標による水資源の評価



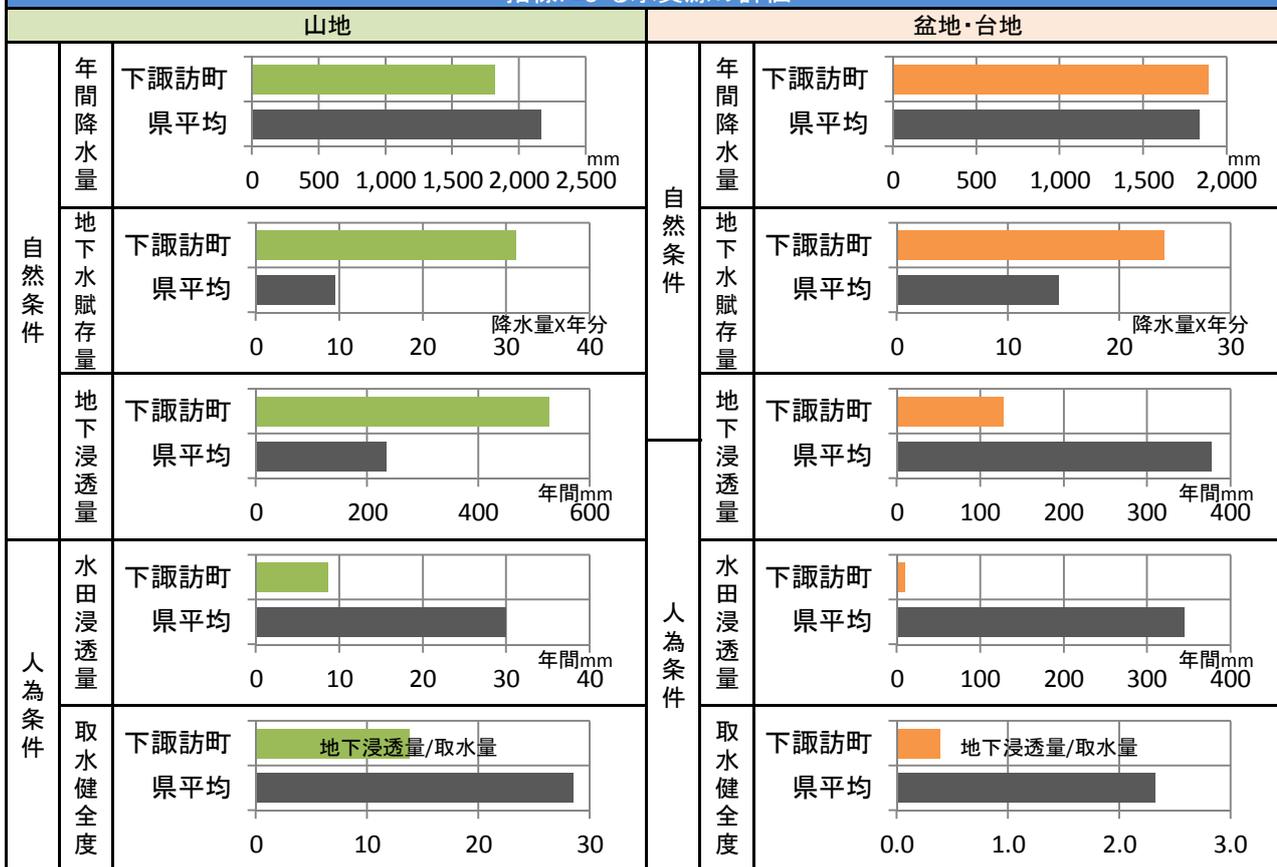
下諏訪町

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○ハケ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 山地はハケ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。一方、盆地・台地は諏訪湖沿岸の市街化がすすみ、地下浸透、水田浸透ともに大きく減少傾向にある。特に、水田からの浸透量は県内でも非常に少ない地域と言える。供給(地下浸透)の取水に対する比率が小さい(取水健全度が小さい)ことに留意が必要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



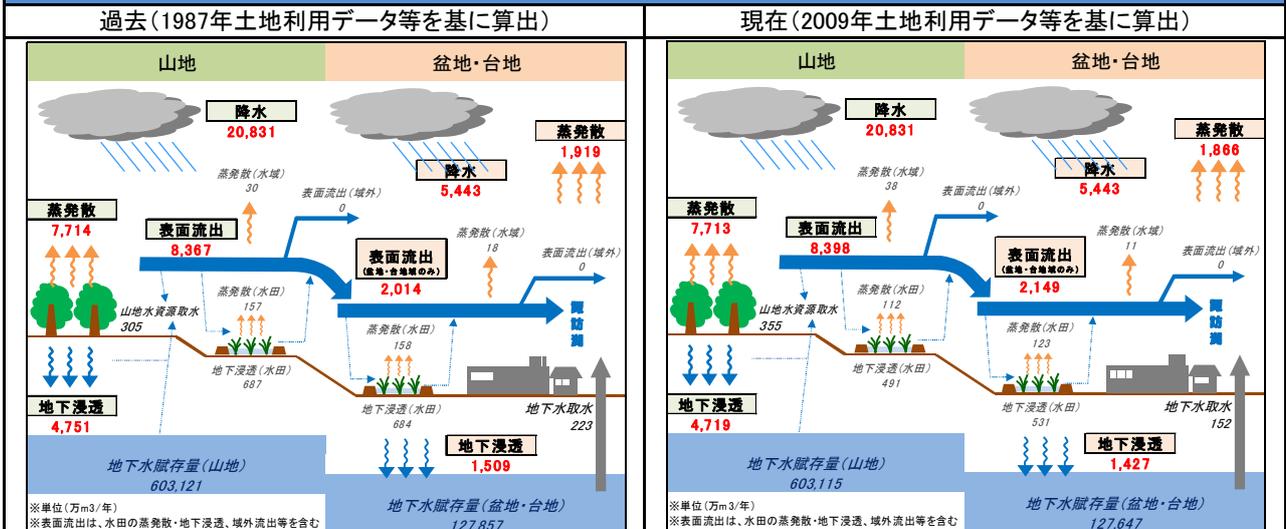
指標による水資源の評価



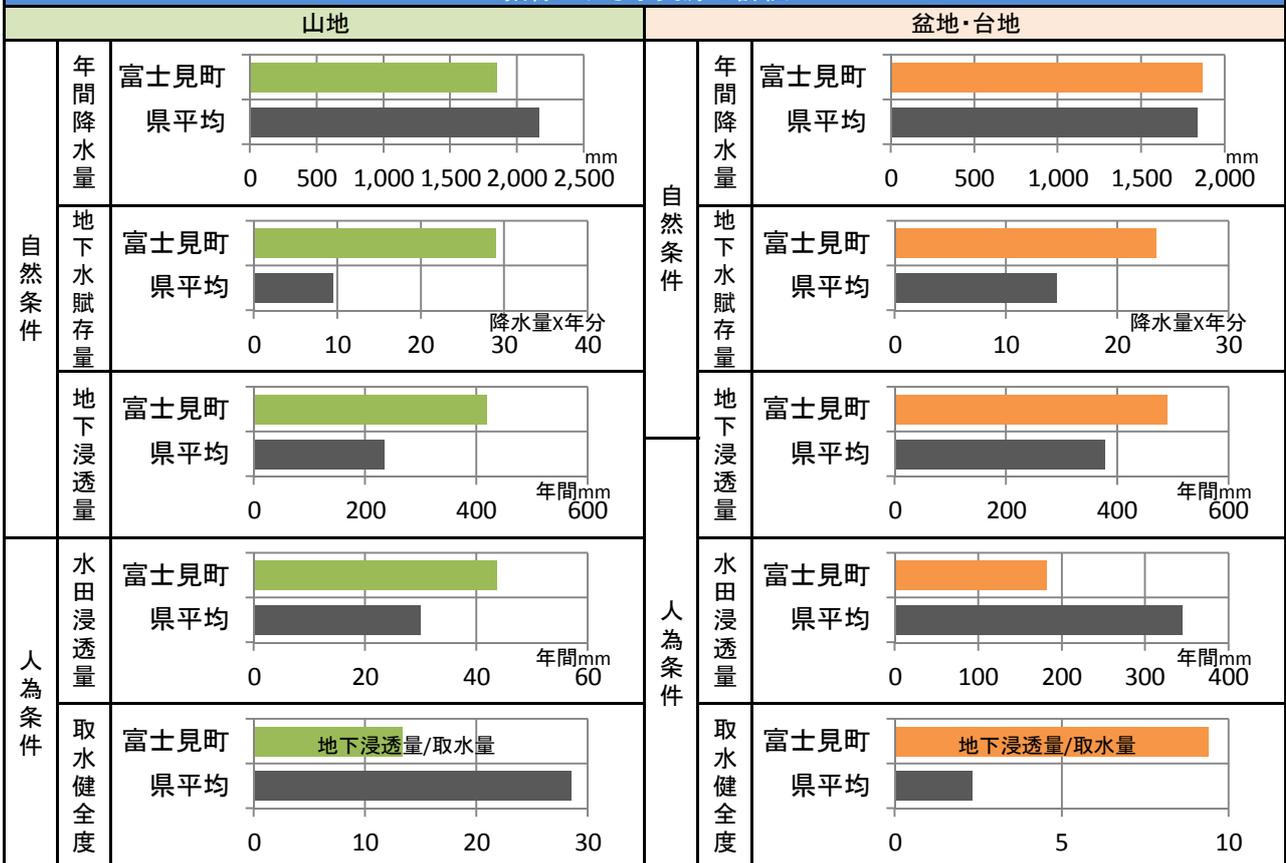
富士見町

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○ハケ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | ハケ岳の火山体に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。ただし盆地・台地では、水田浸透は減少傾向にある。山地での取水が多いが、背後の火山体からフローの水資源が常に供給されるため水が枯渇する等の実害とはなりにくい。表流水、地下水ともに一部は山梨県へ流出する。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



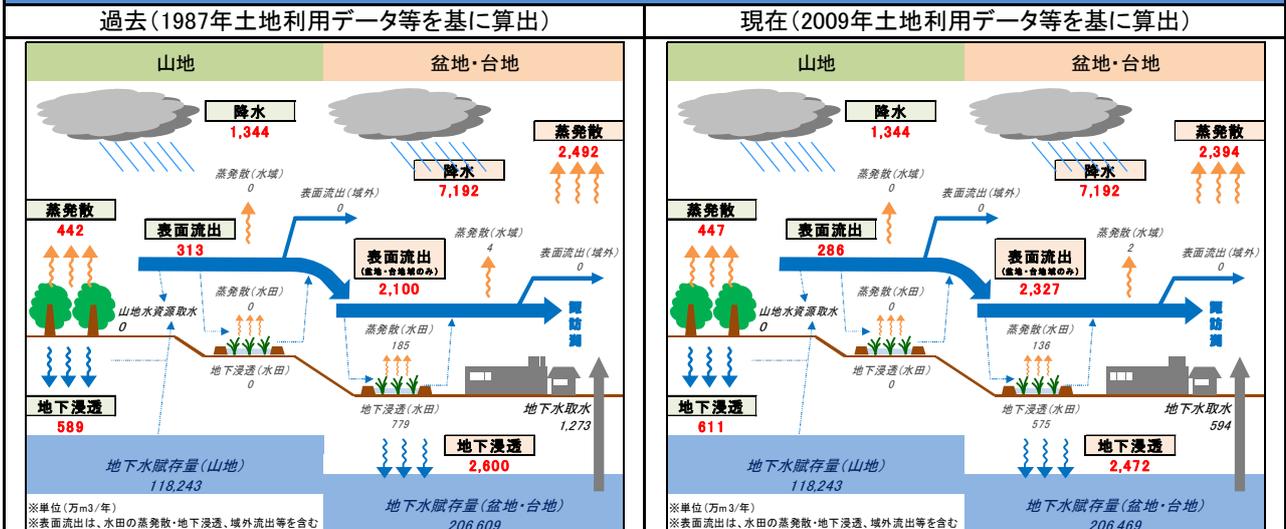
指標による水資源の評価



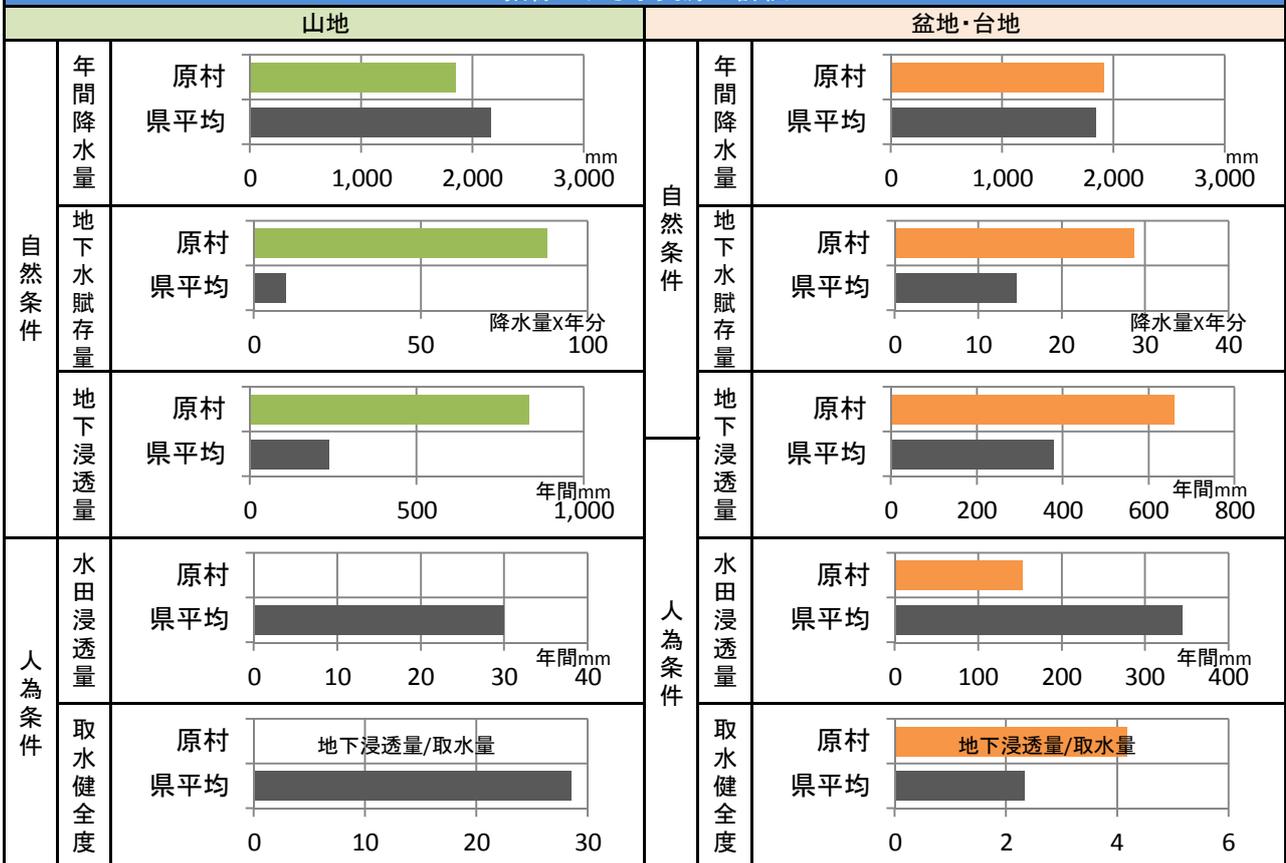
原村

| 水文区特徴 | 諏訪 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○諏訪湖を有する ○盆地では市街化が進む ○八ヶ岳西麓での地下浸透量が多く盆地の水資源を支えている ○降水量減少の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 山地、盆地・台地ともに八ヶ岳の西麓に位置し、地下浸透、地下水賦存ともに豊富である。一方、盆地・台地の水田浸透は過去に比べ減少しているが、地下水取水も減少しており、現時点で水資源管理上、大きなリスクはない。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいかほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



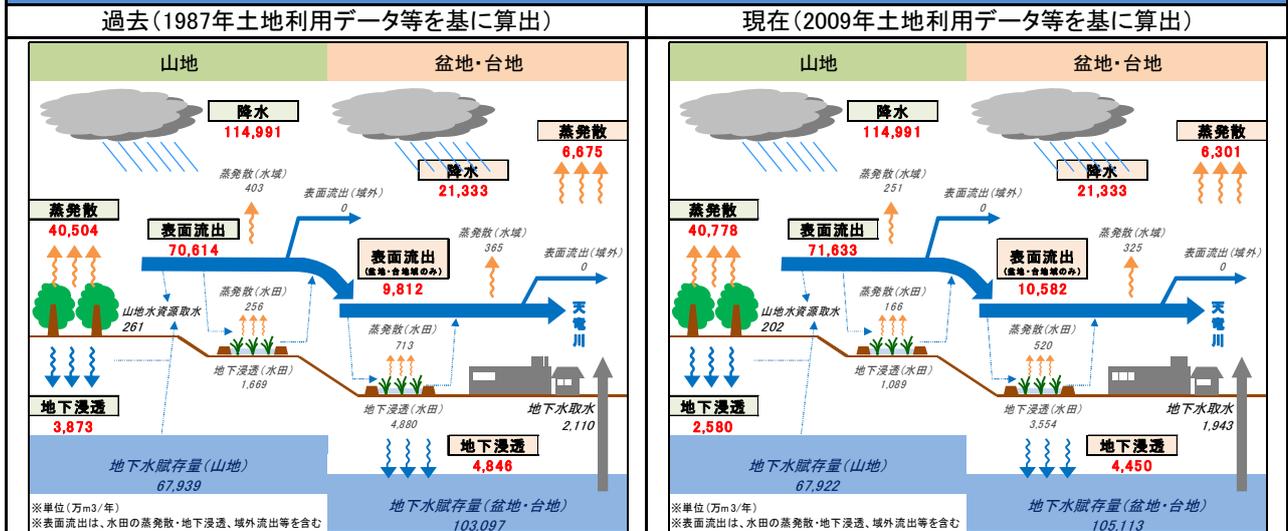
指標による水資源の評価



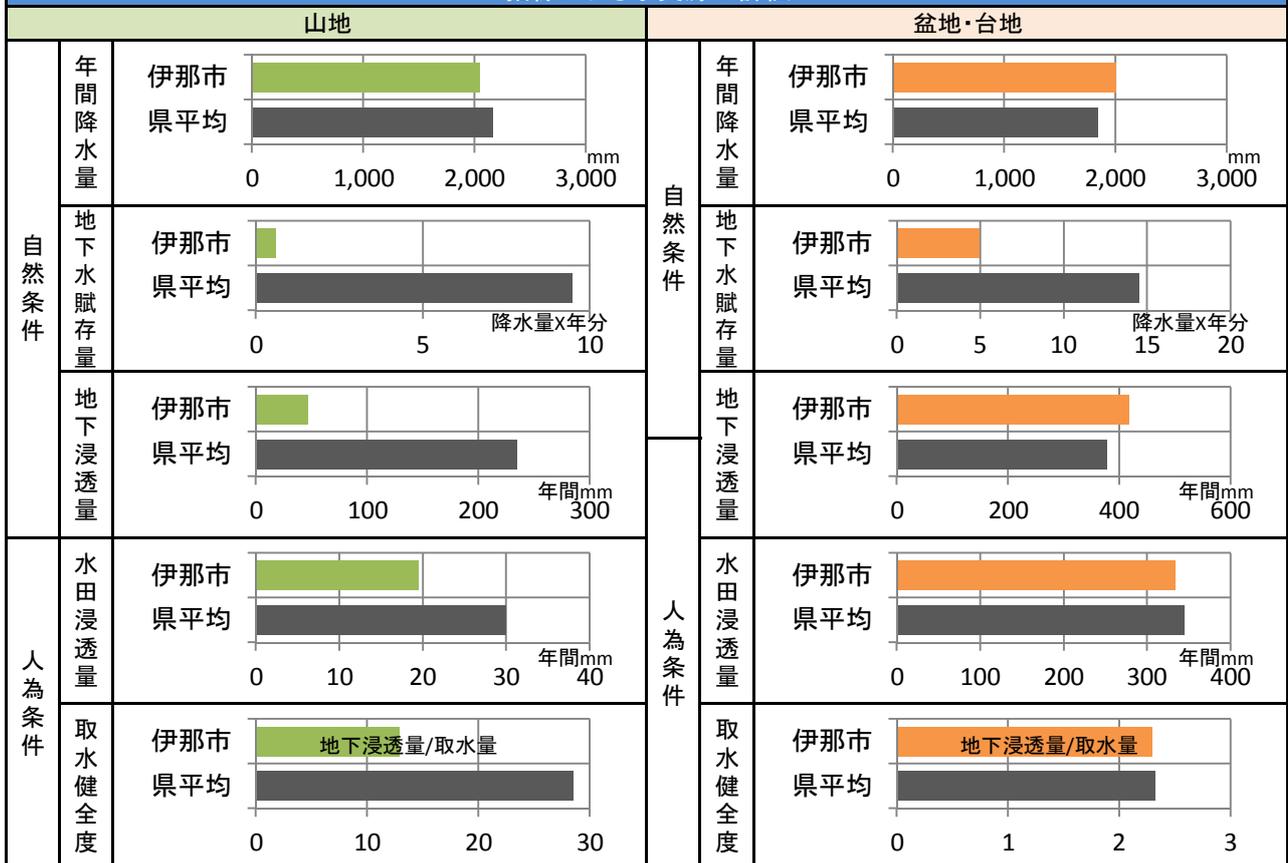
伊那市

| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下水浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下・浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



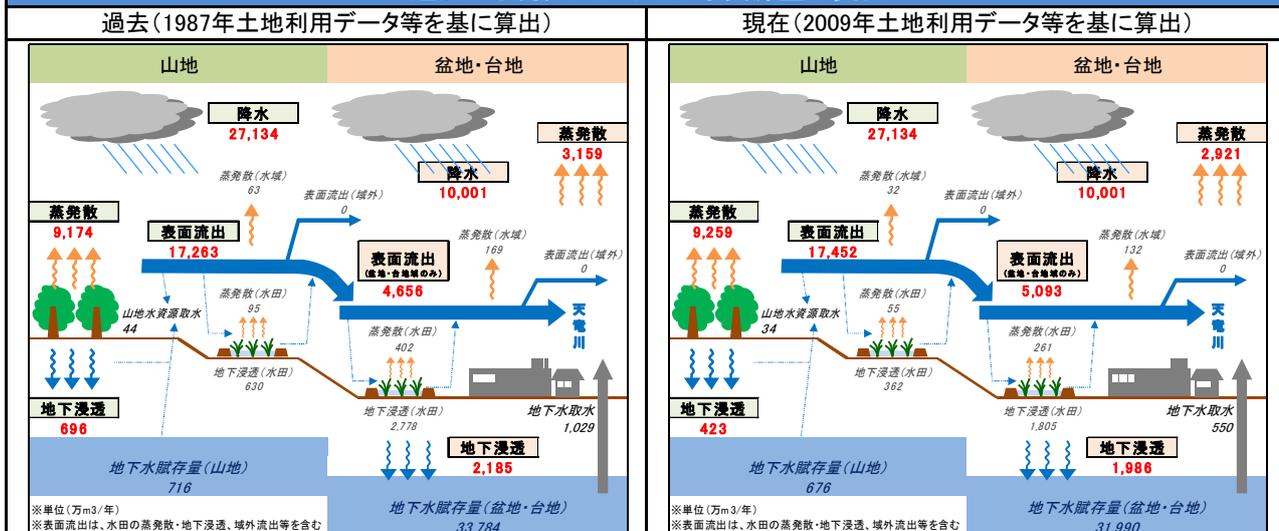
指標による水資源の評価



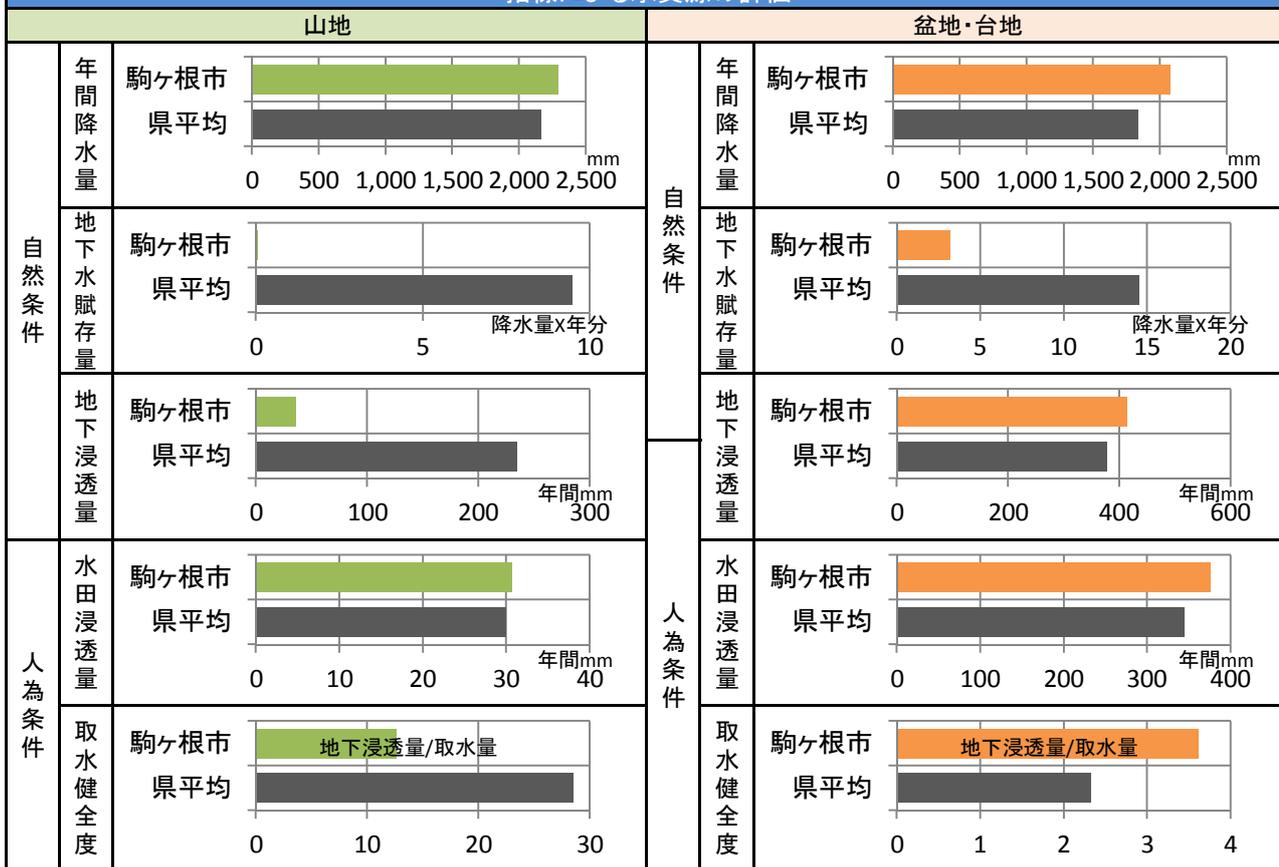
駒ヶ根市

| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



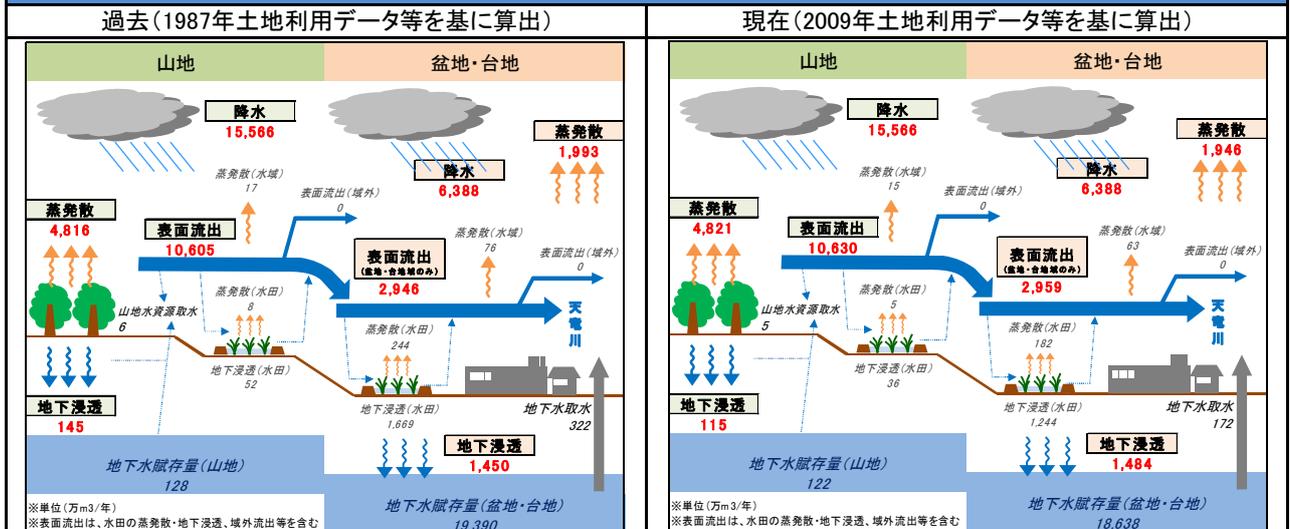
指標による水資源の評価



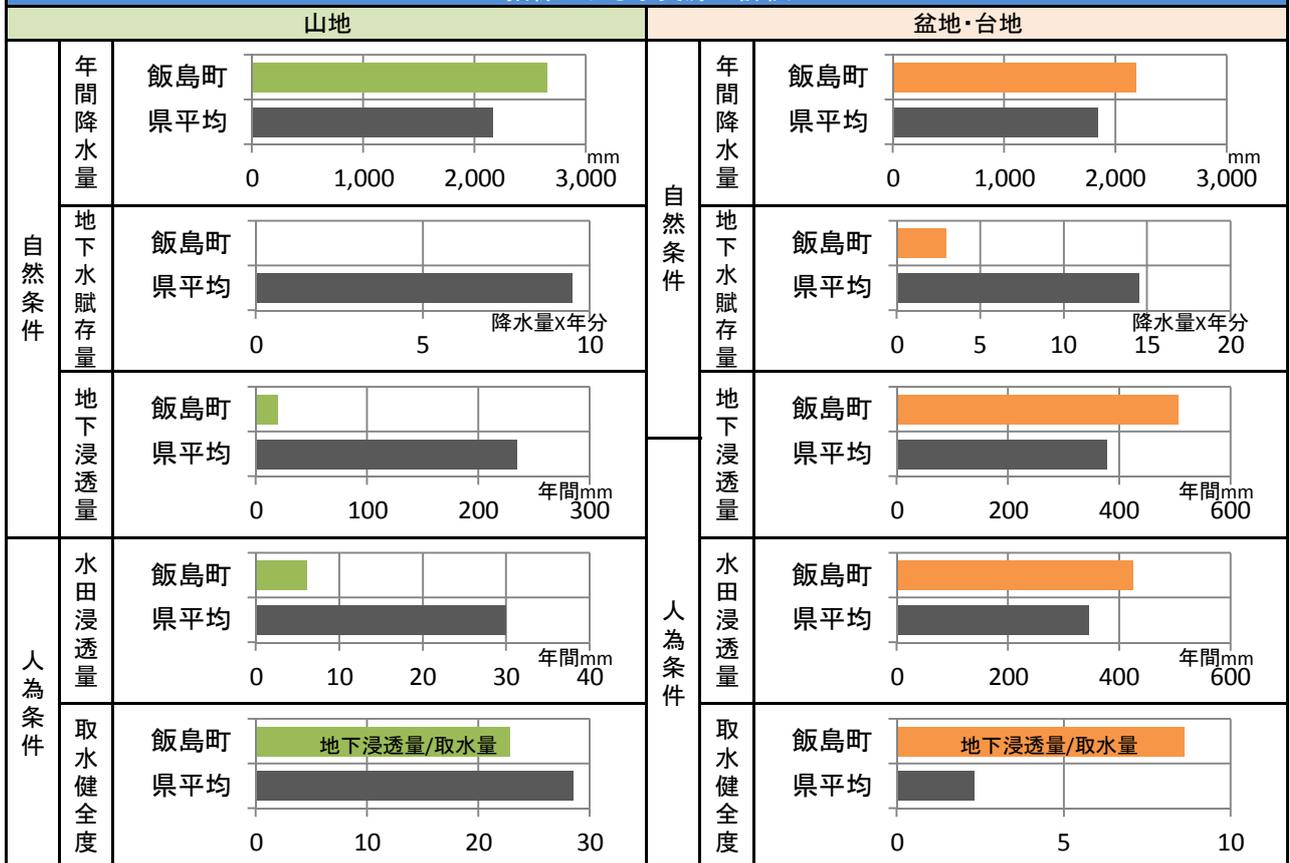
飯島町

| 上伊那 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は県他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



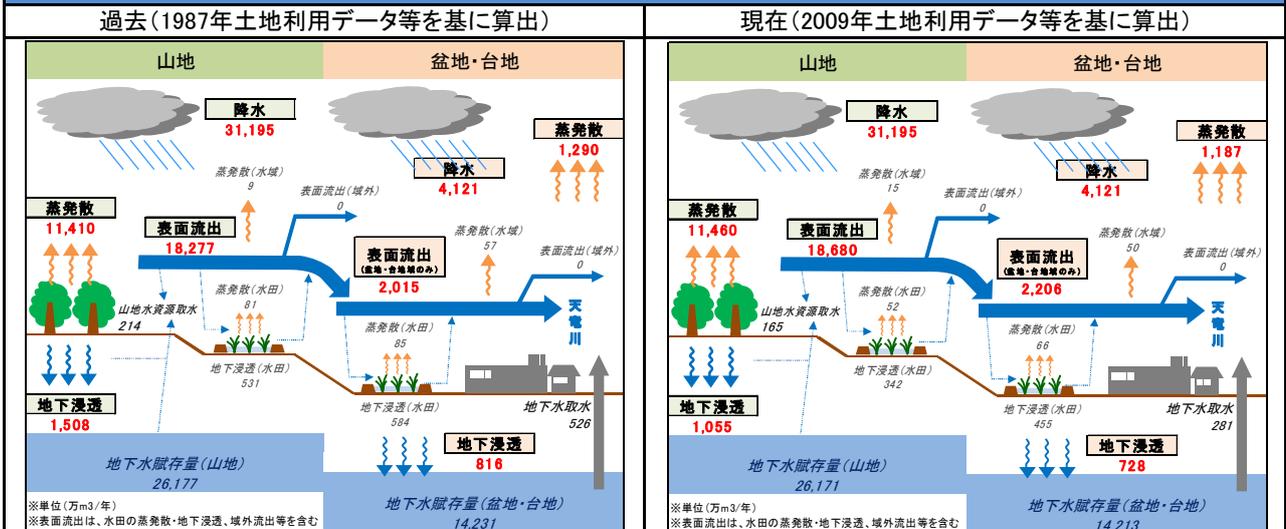
指標による水資源の評価



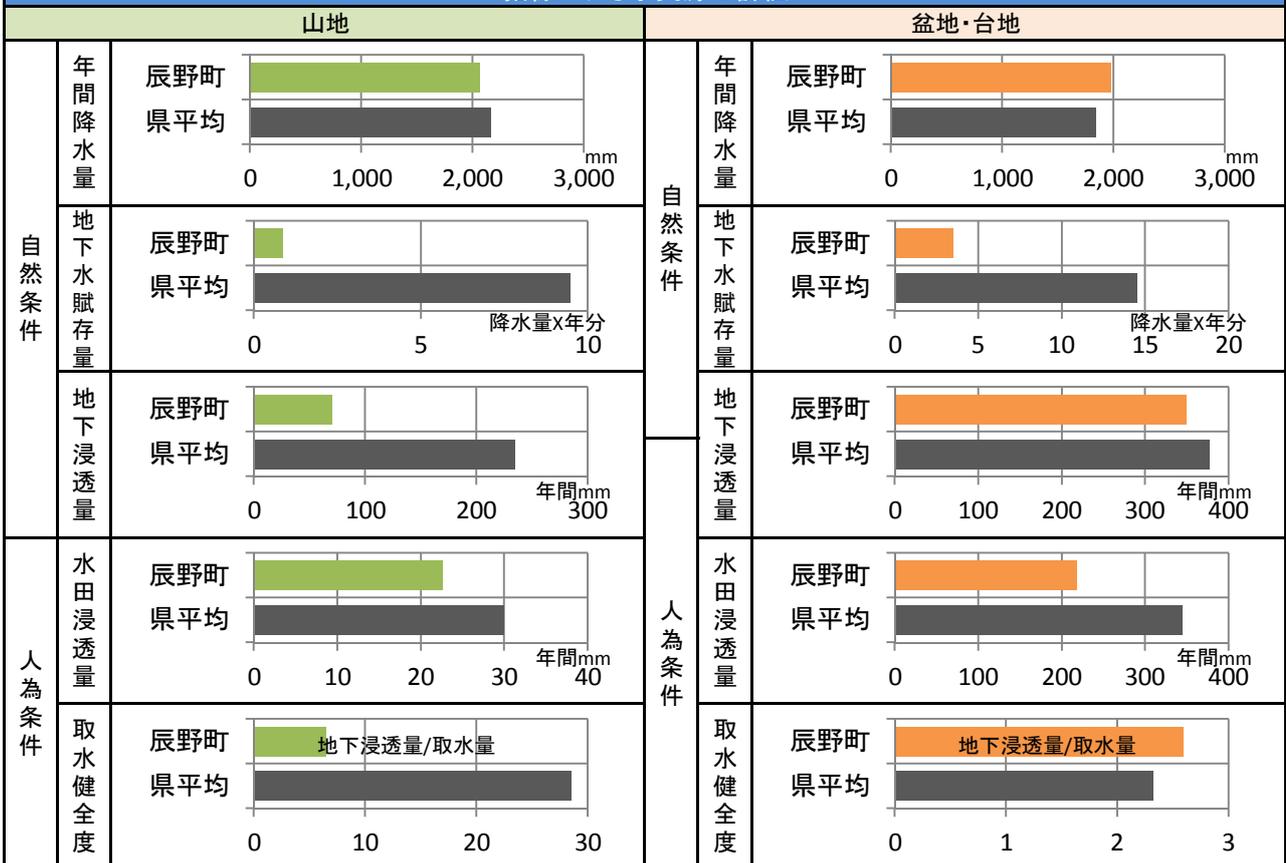
辰野町

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流出することで盆地・台地の水資源となっている。盆地・台地の地下水賦存、地下浸透、水田浸透は全て県平均よりも少ないが、地下水取水は過去に比べ減少しており、取水リスクは小さくなっている。天竜河流域の最上流域に位置するため、地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【山地】天竜川左岸 【盆地・台地】伊那谷 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



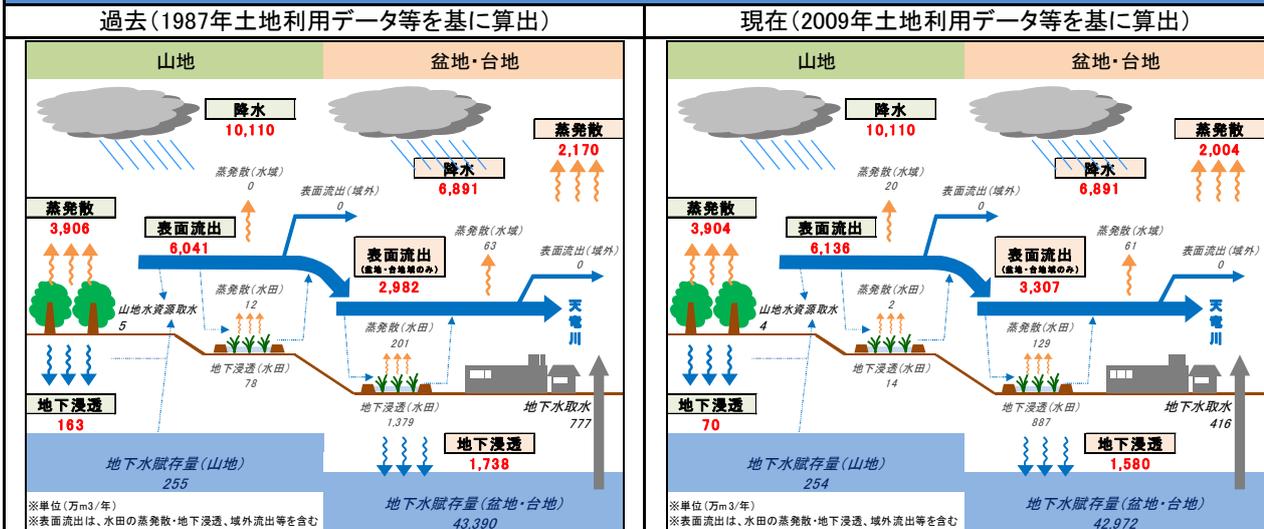
指標による水資源の評価



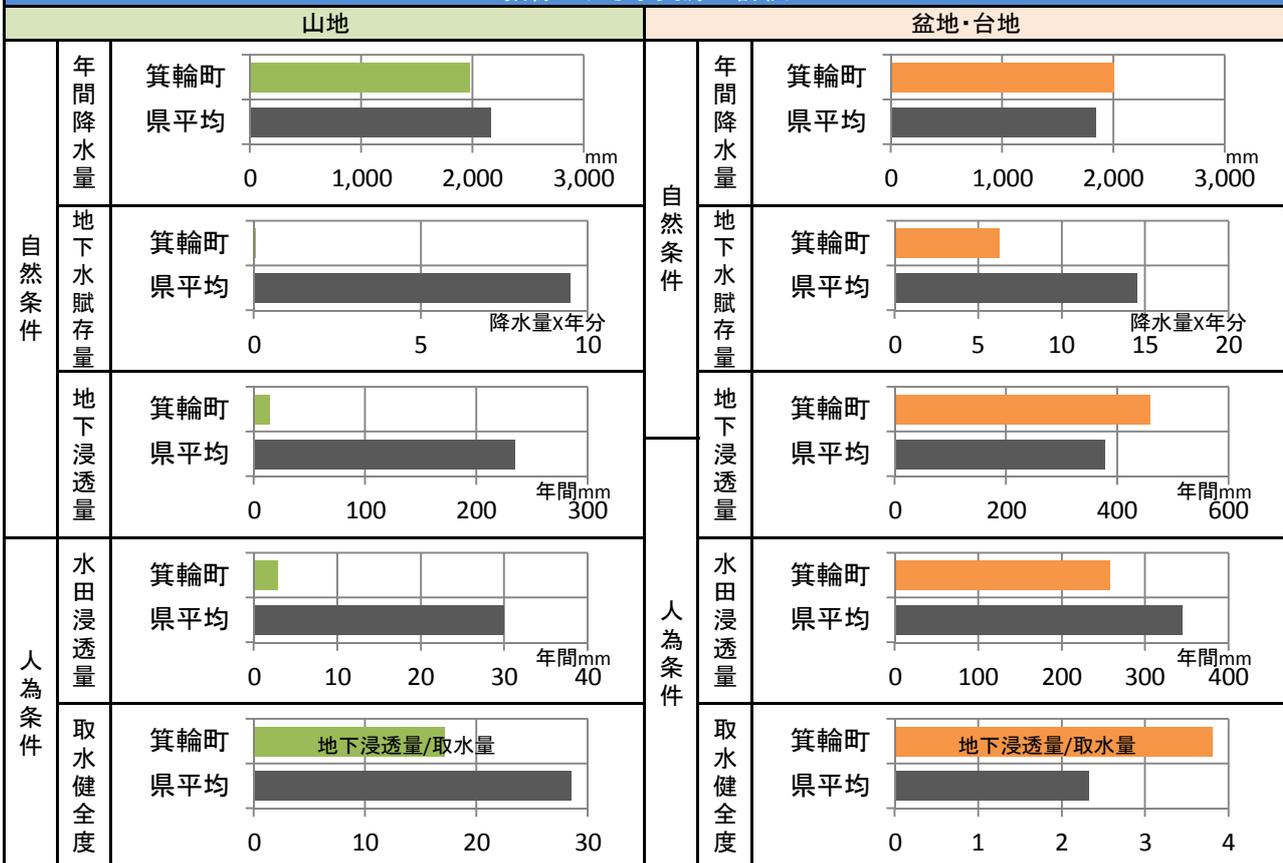
箕輪町

| | | | |
|-------|--|--------------------------------------|--|
| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は県他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| | 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【山地】天竜川左岸 【盆地・台地】伊那谷 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



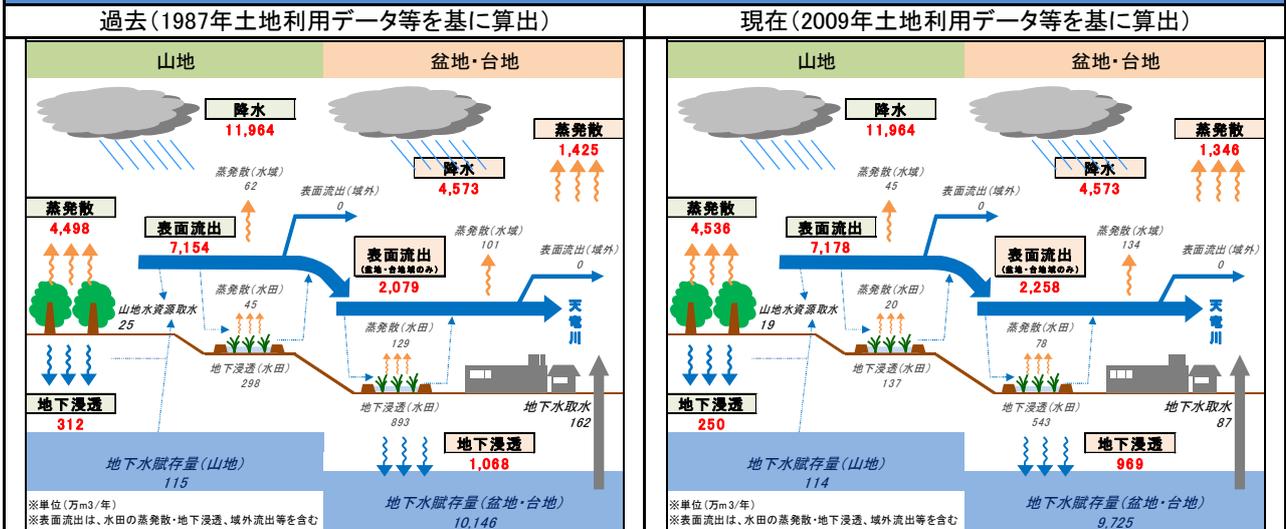
指標による水資源の評価



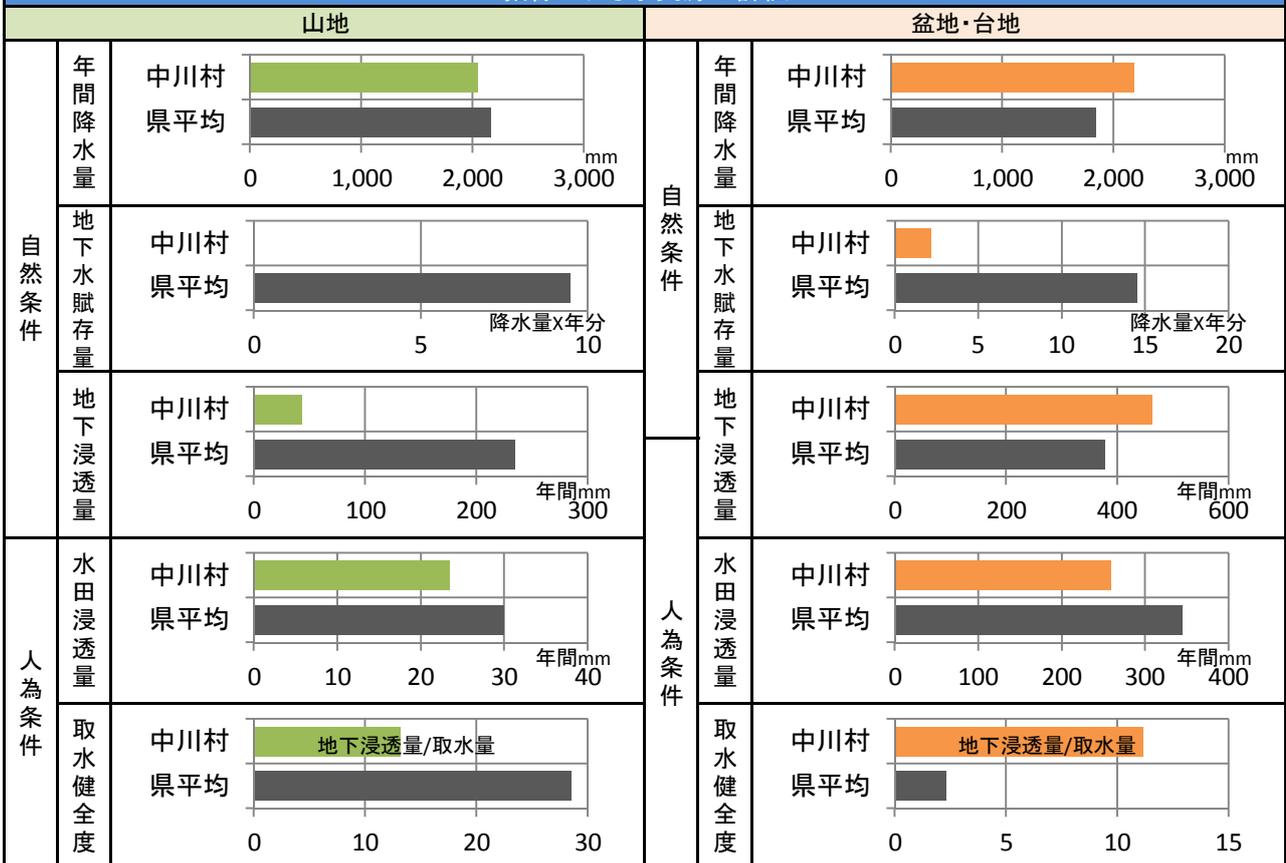
中川村

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下・浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川左岸 【盆地・台地】伊那谷 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



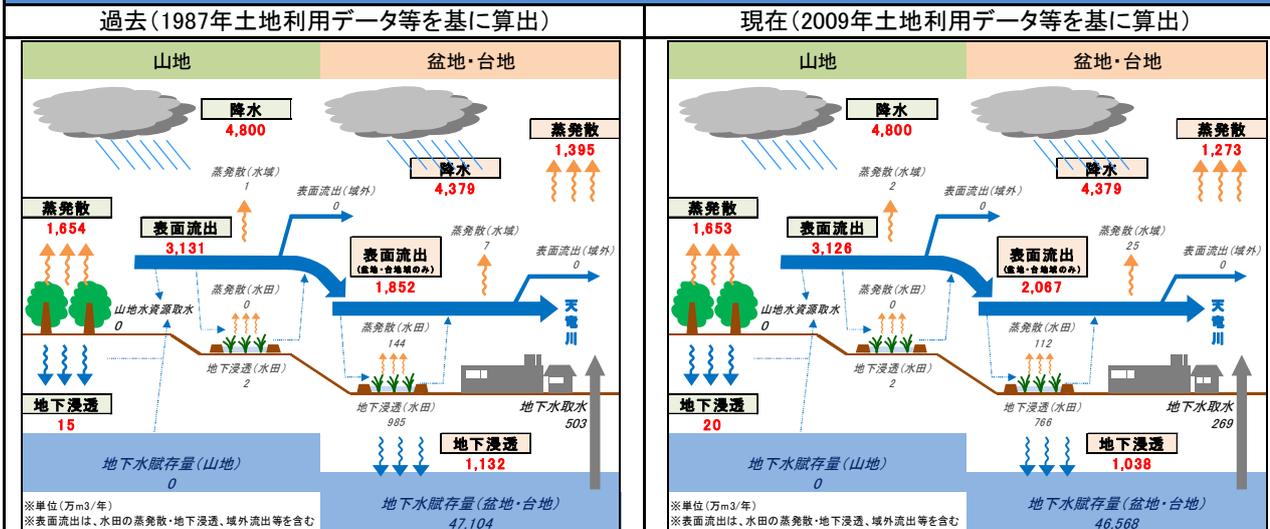
指標による水資源の評価



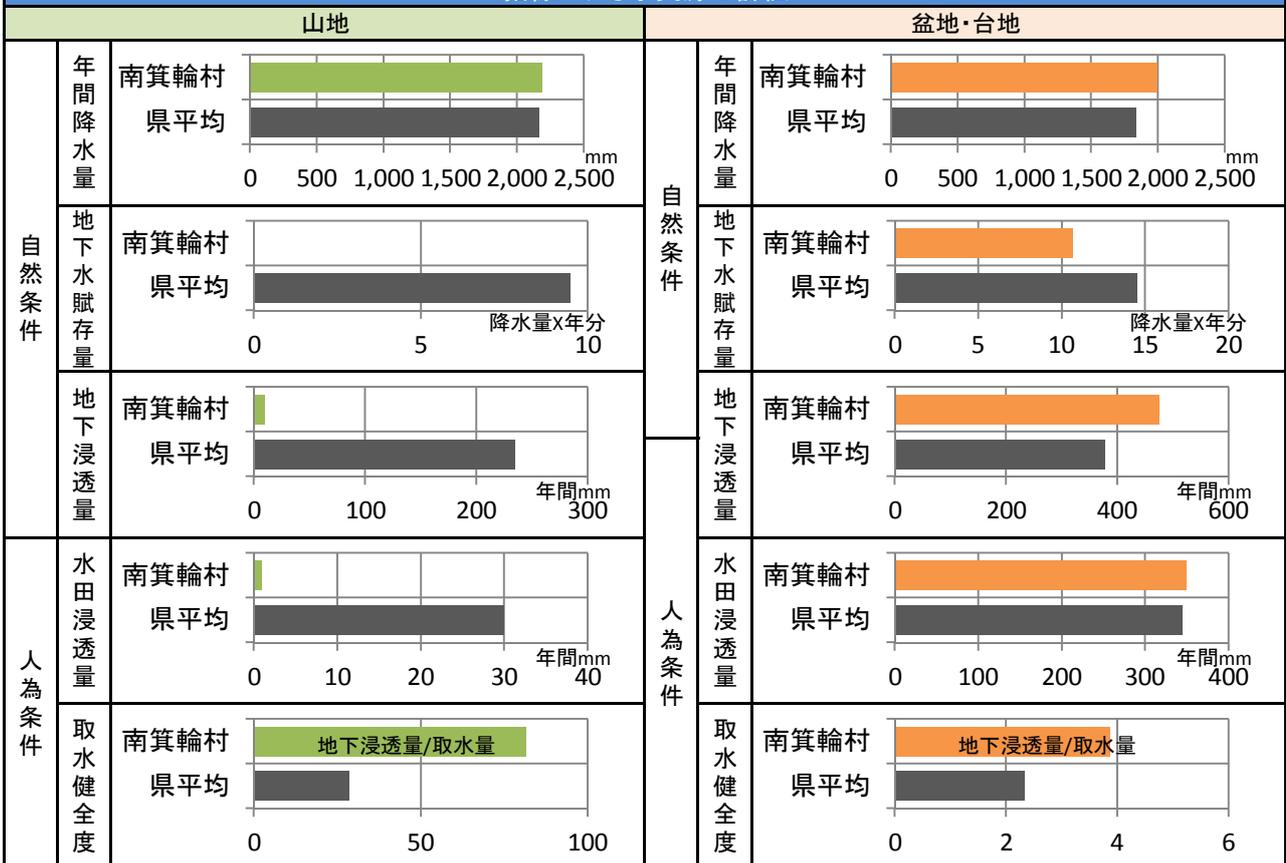
南箕輪村

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【盆地・台地】伊那谷 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいかほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



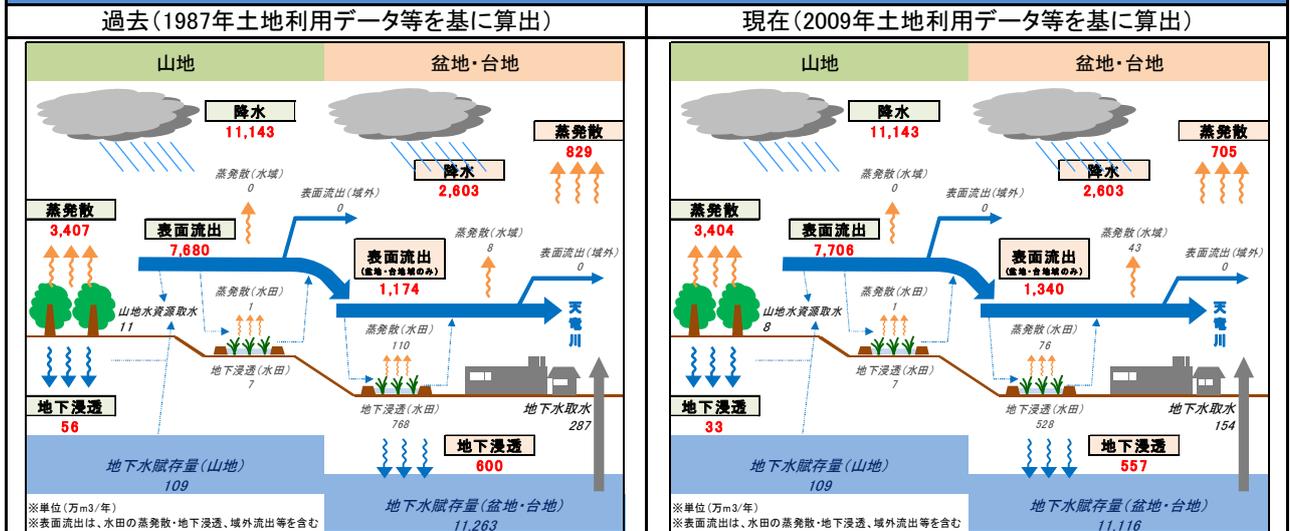
指標による水資源の評価



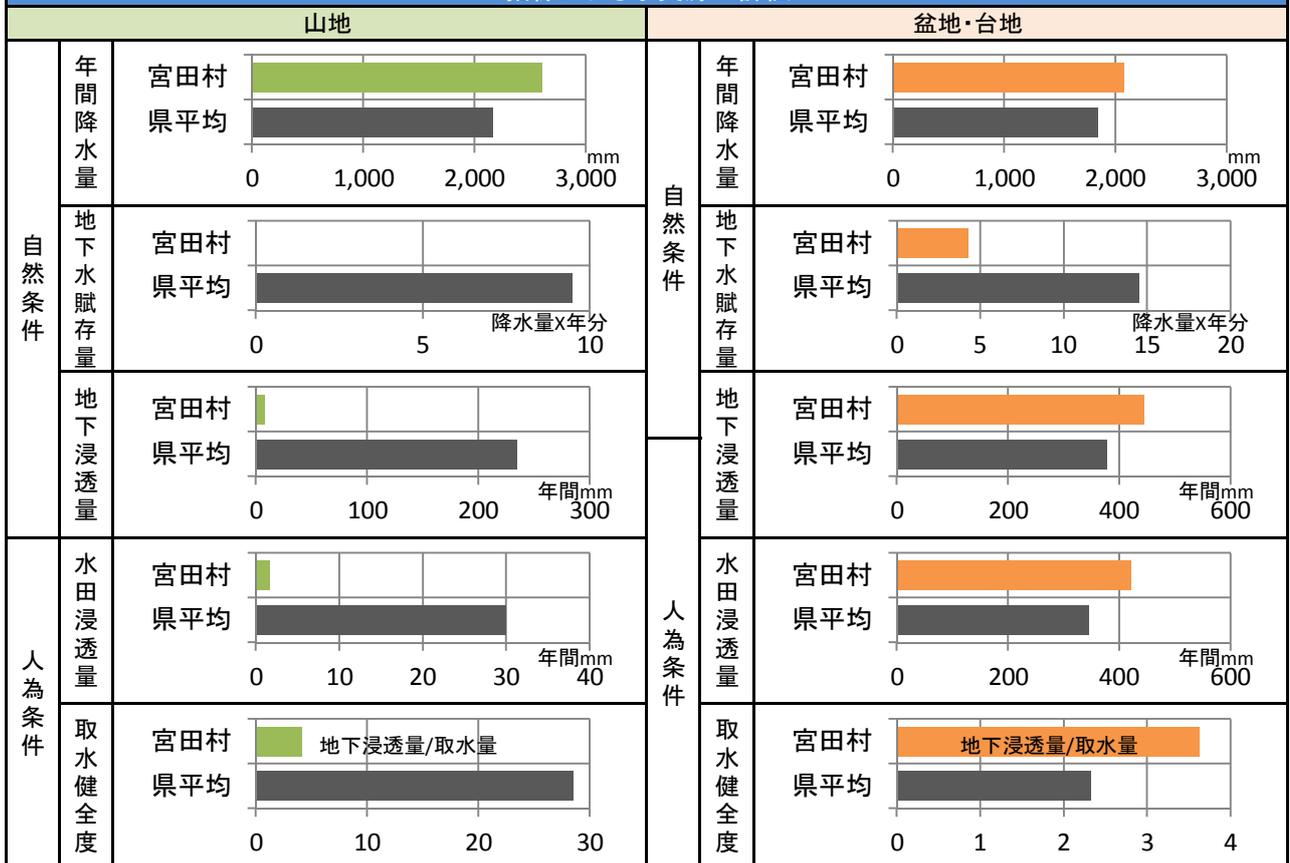
宮田村

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 上伊那 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【盆地・台地】伊那谷 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



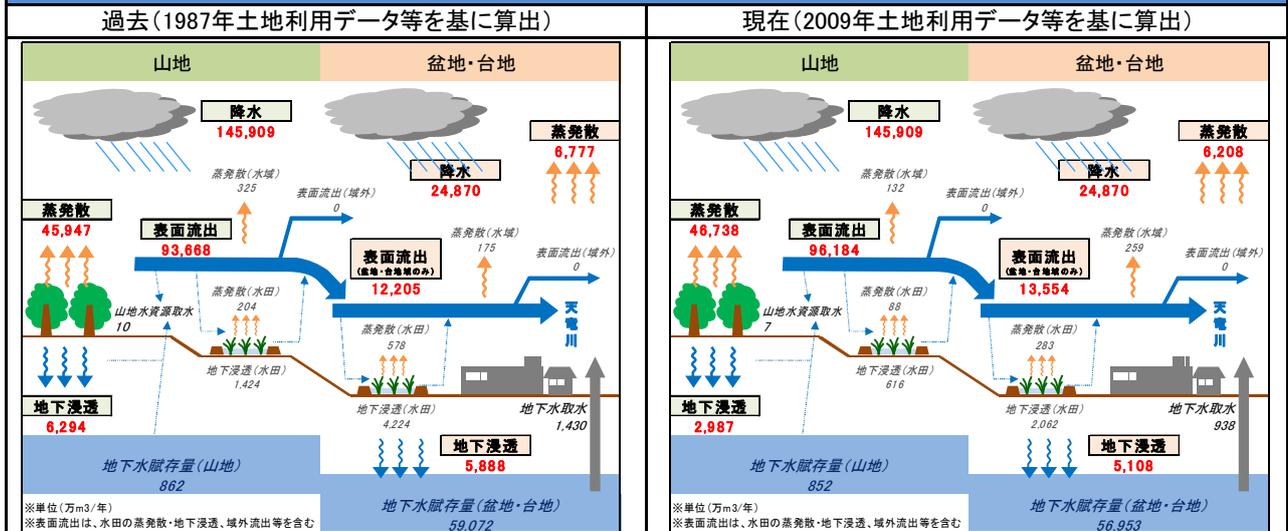
指標による水資源の評価



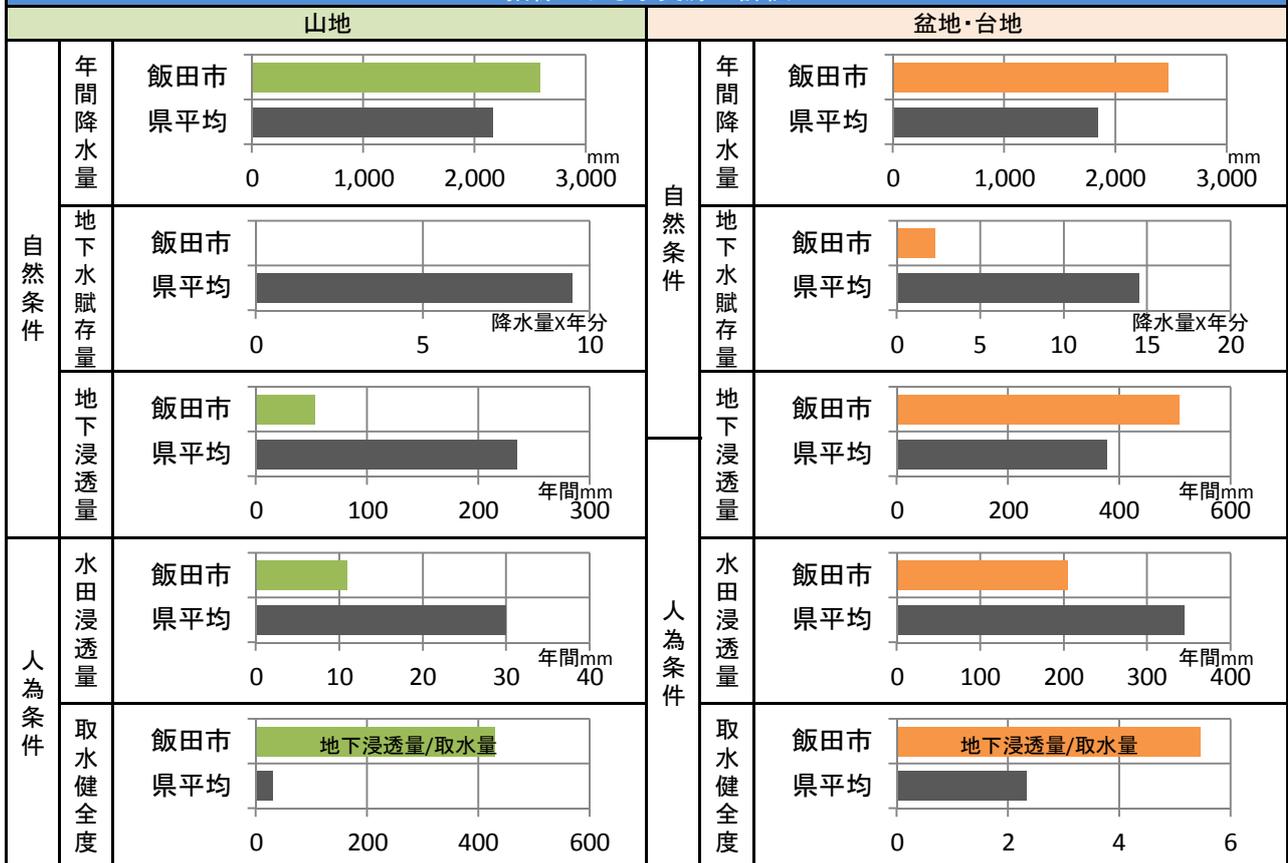
飯田市

| 飯伊 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、県内平均に比べ多い降水が表流水として河川を流下・浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は県他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



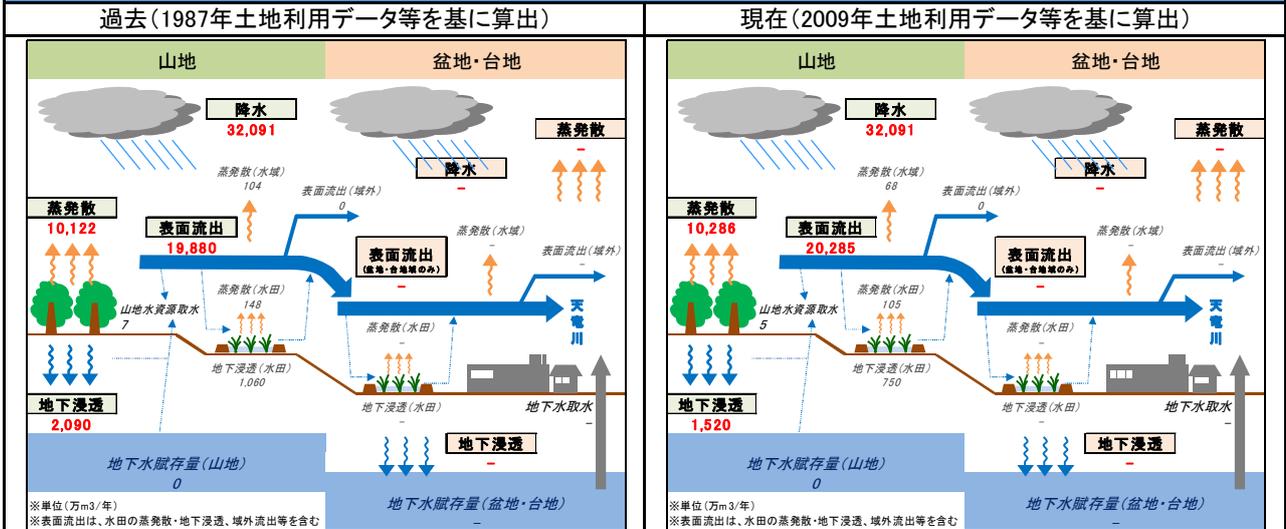
指標による水資源の評価



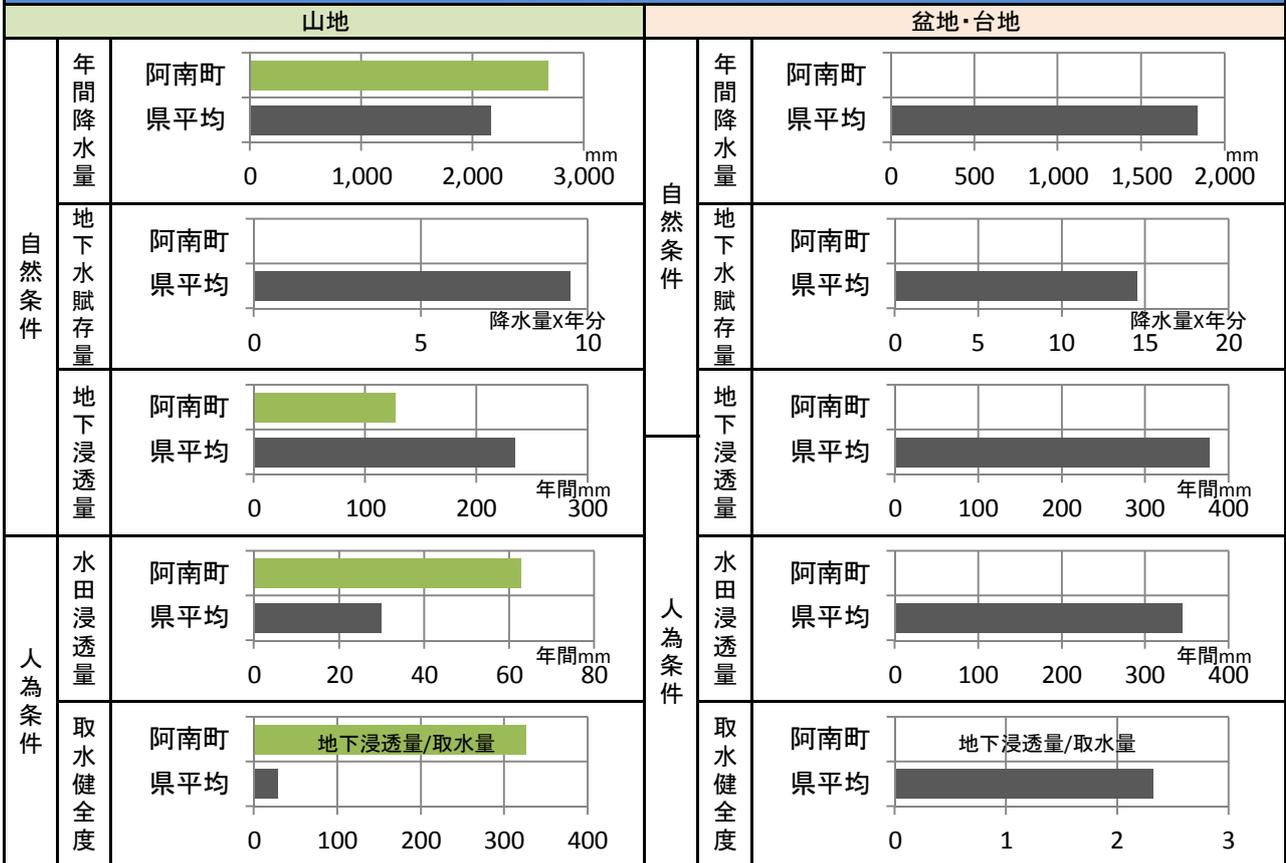
阿南町

| | | | |
|-------|--|-------------|--|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水増大の影響が顕在化しにくい | | |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 | | <p>山地の基盤は難透水のため地下水浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。山間部の平地には水田が広がり、単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも多い。浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。</p> |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



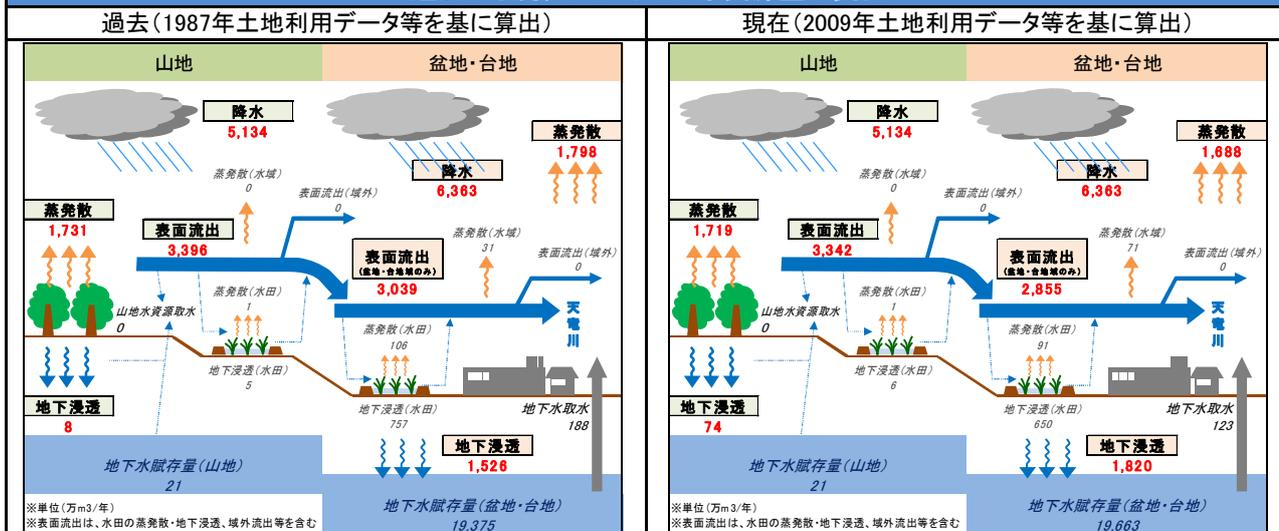
指標による水資源の評価



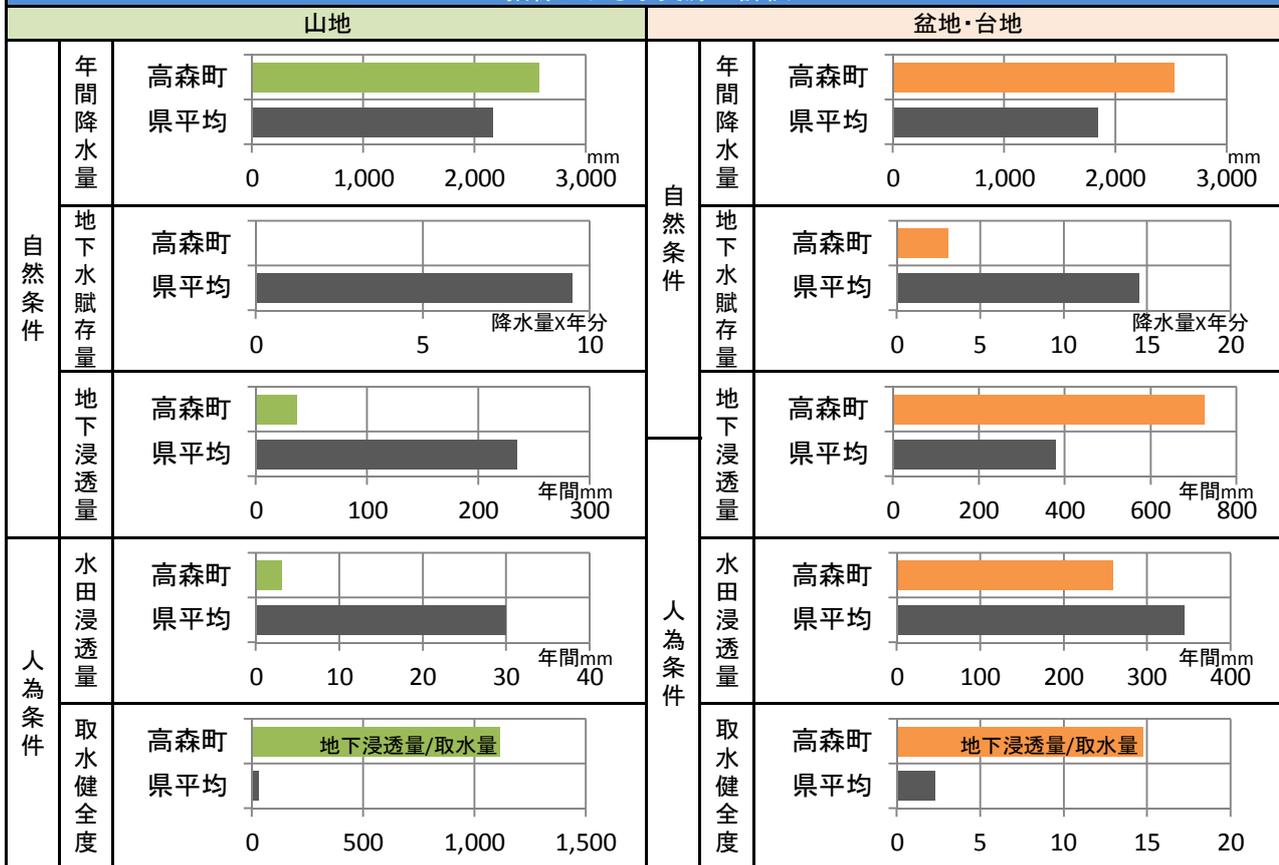
高森町

| | | | |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【盆地・台地】伊那谷 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



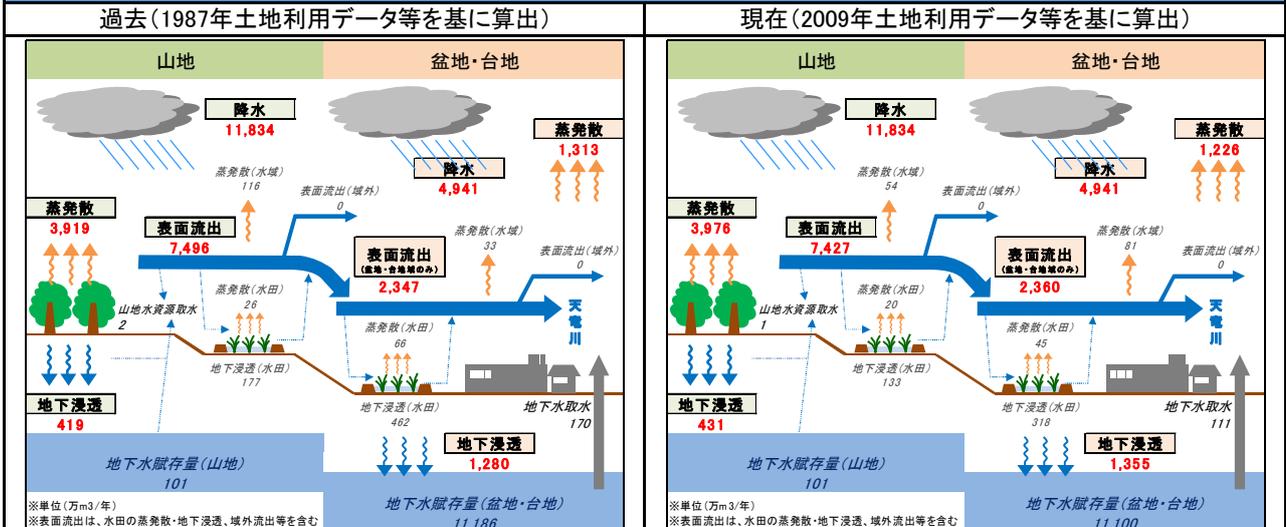
指標による水資源の評価



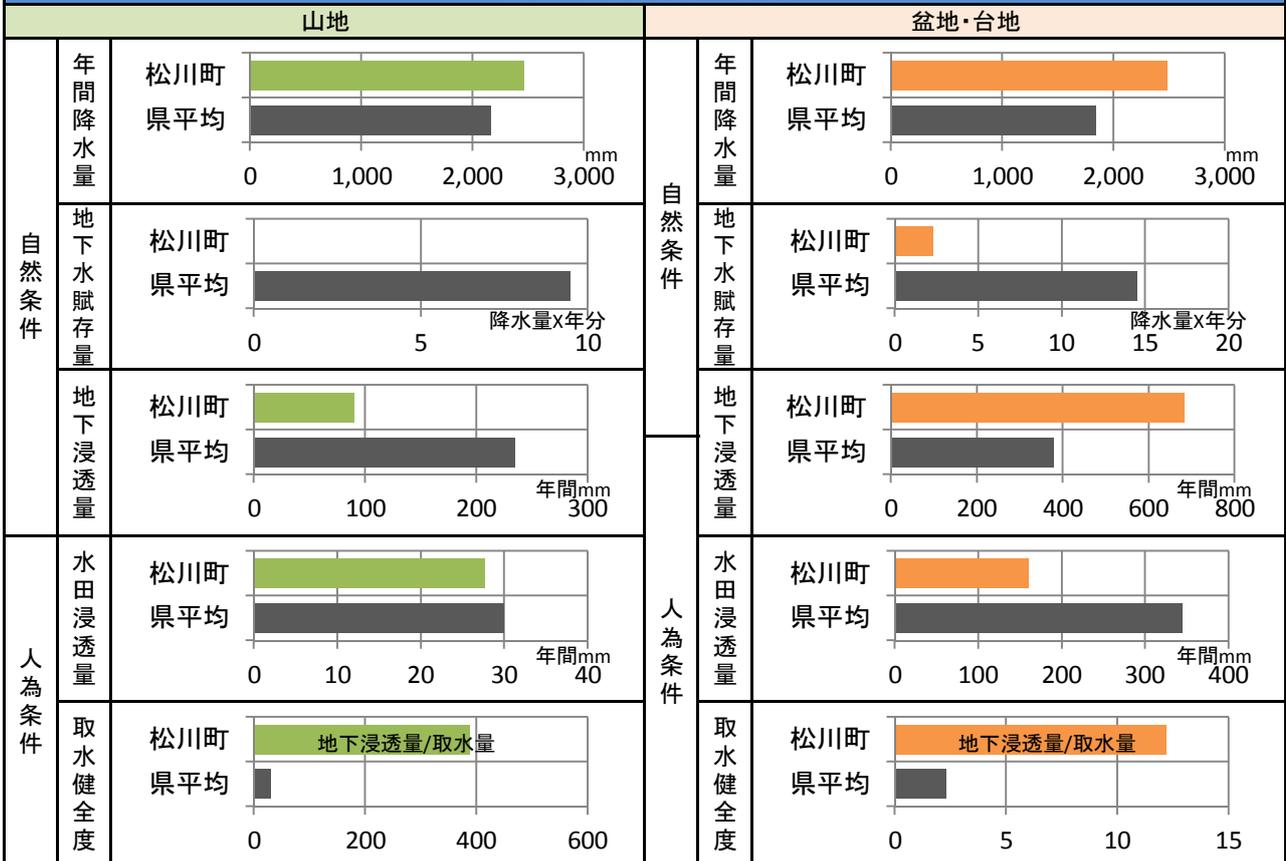
松川町

| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



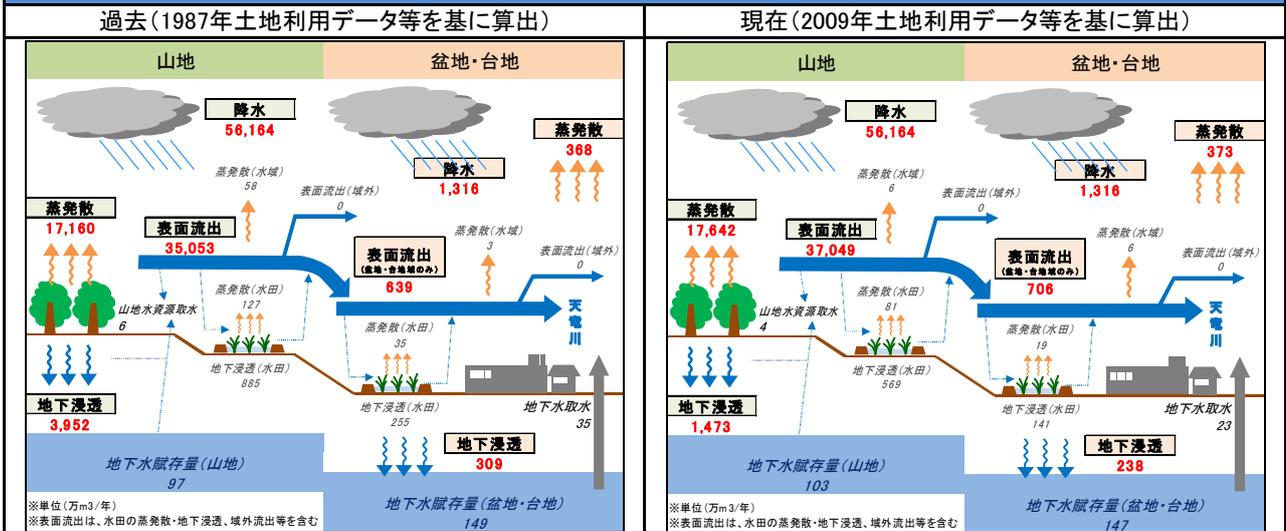
指標による水資源の評価



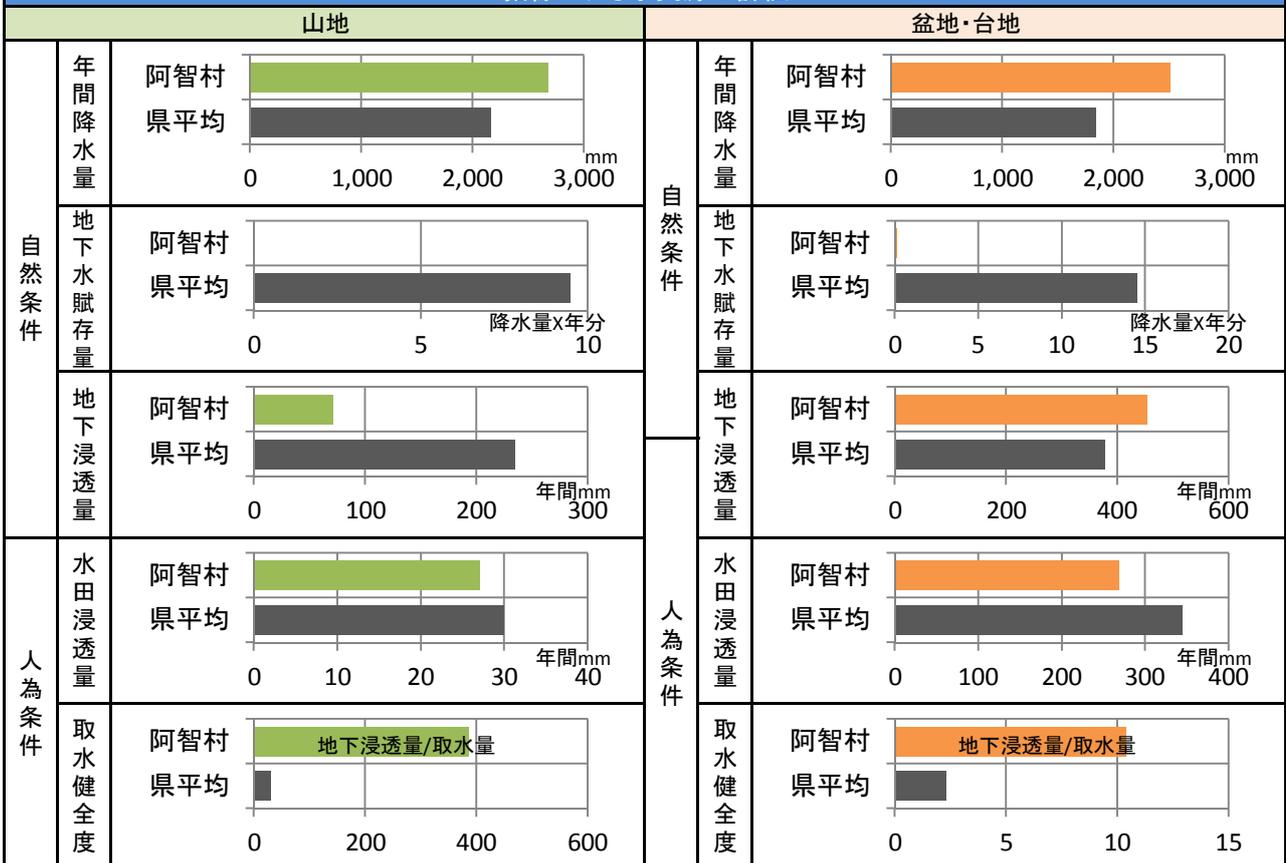
阿智村

| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|---------------------------------|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 【盆地・台地】伊那谷 | 取水健全度 地下水賦存 水田浸透 地下水浸透 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



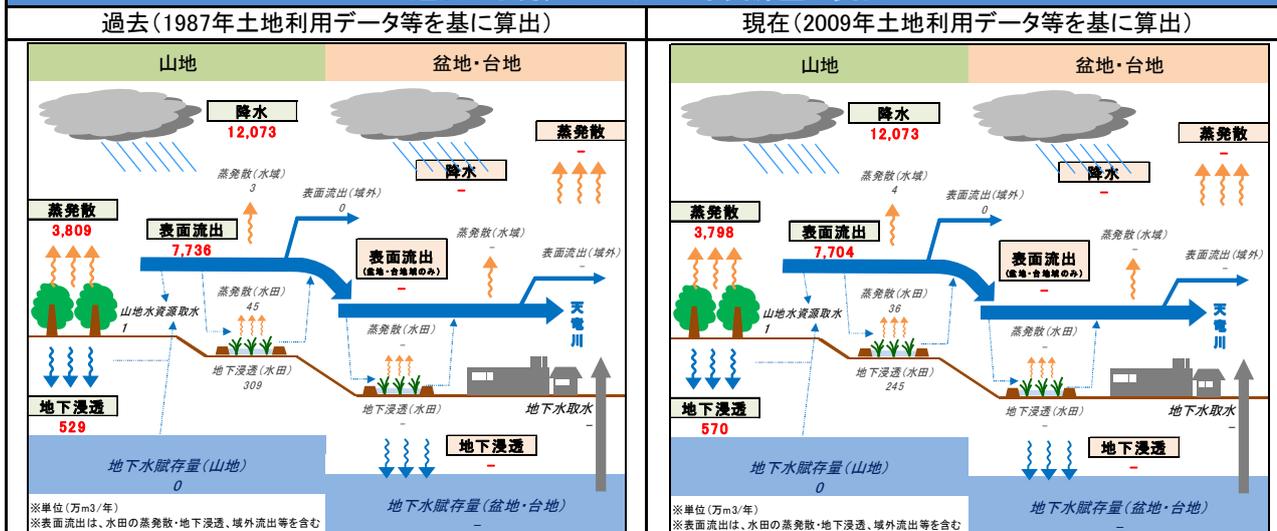
指標による水資源の評価



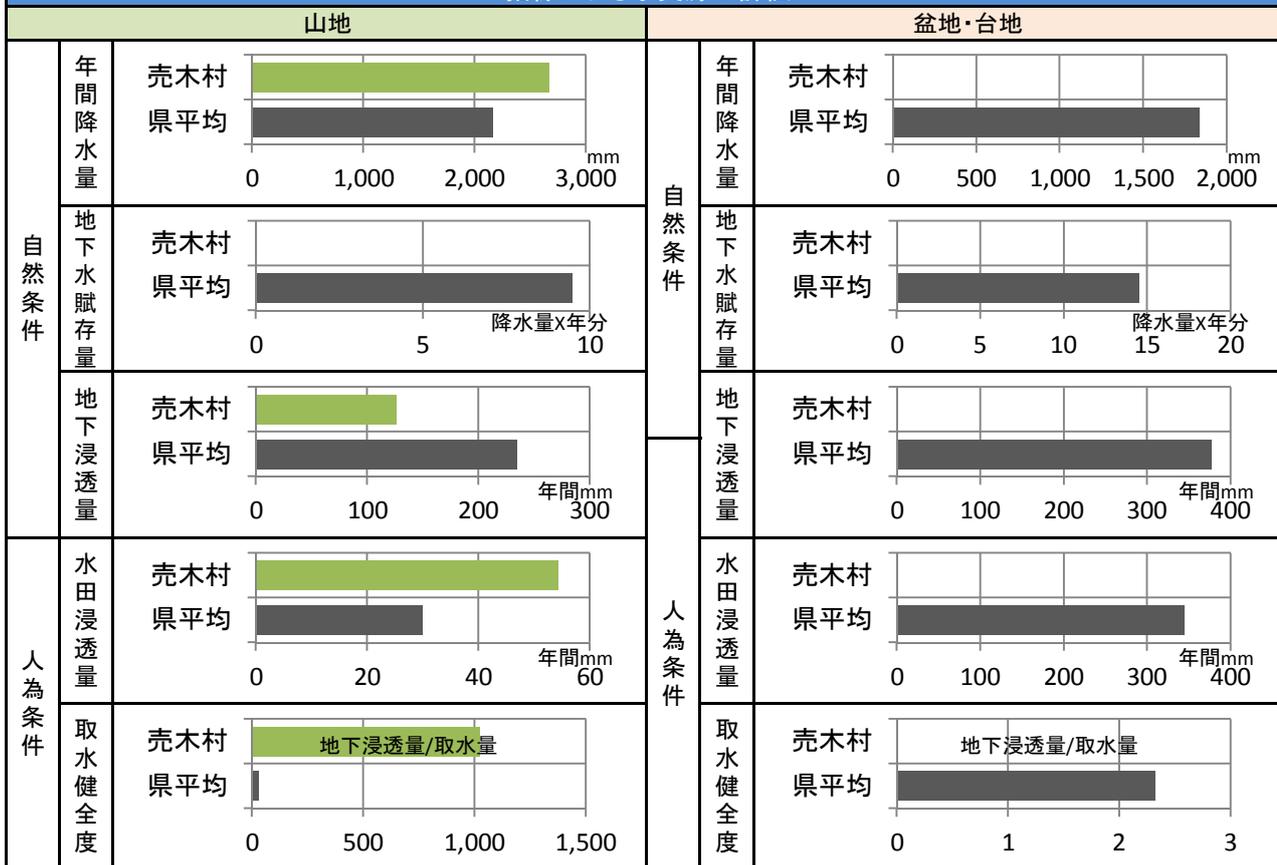
売木村

| | | | |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。山間部の平地には水田が広がり、単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも多い。浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



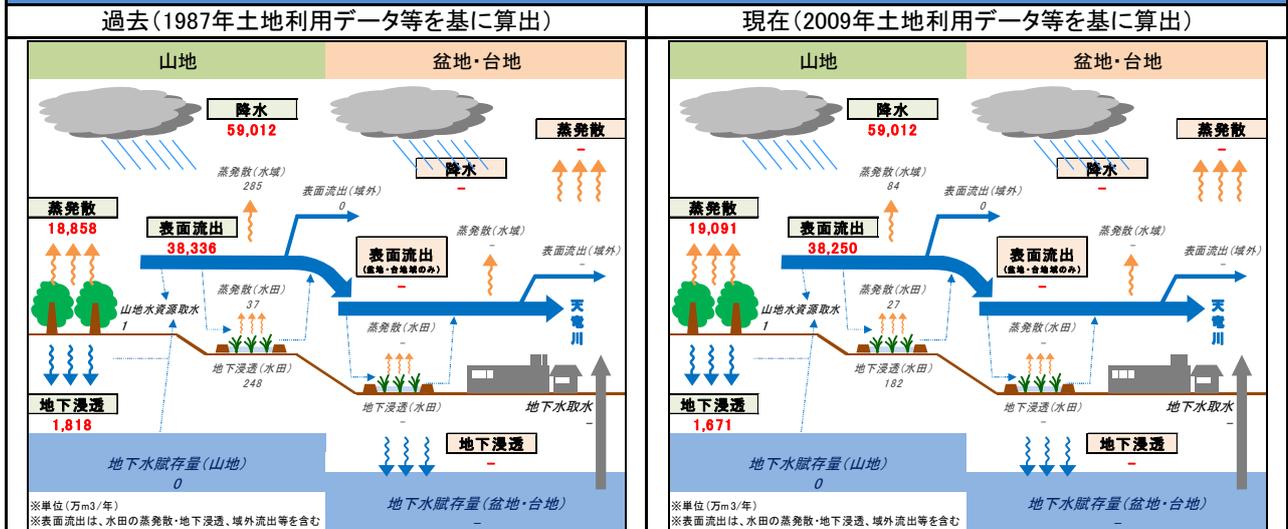
指標による水資源の評価



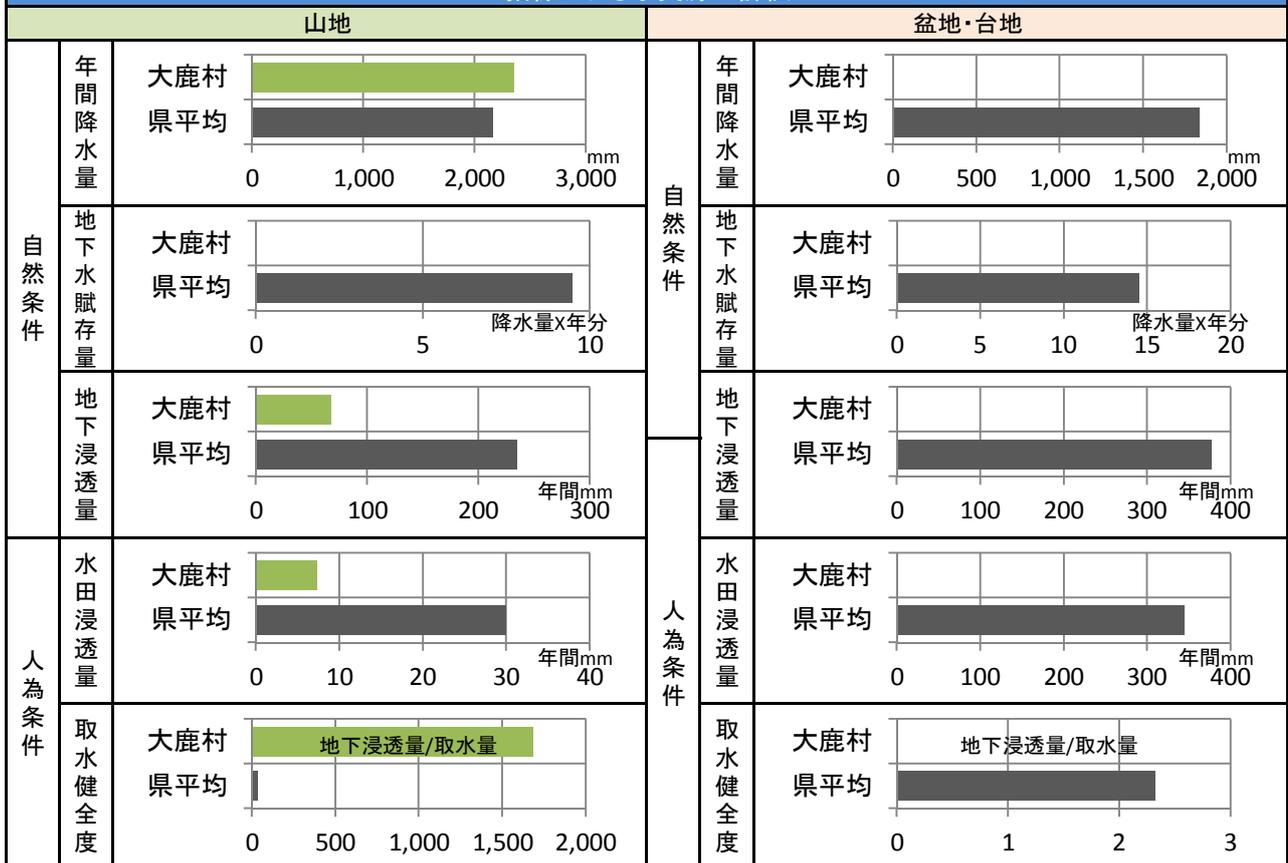
大鹿村

| 飯伊 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。水田の占有率が小さく単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも少ないが、浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



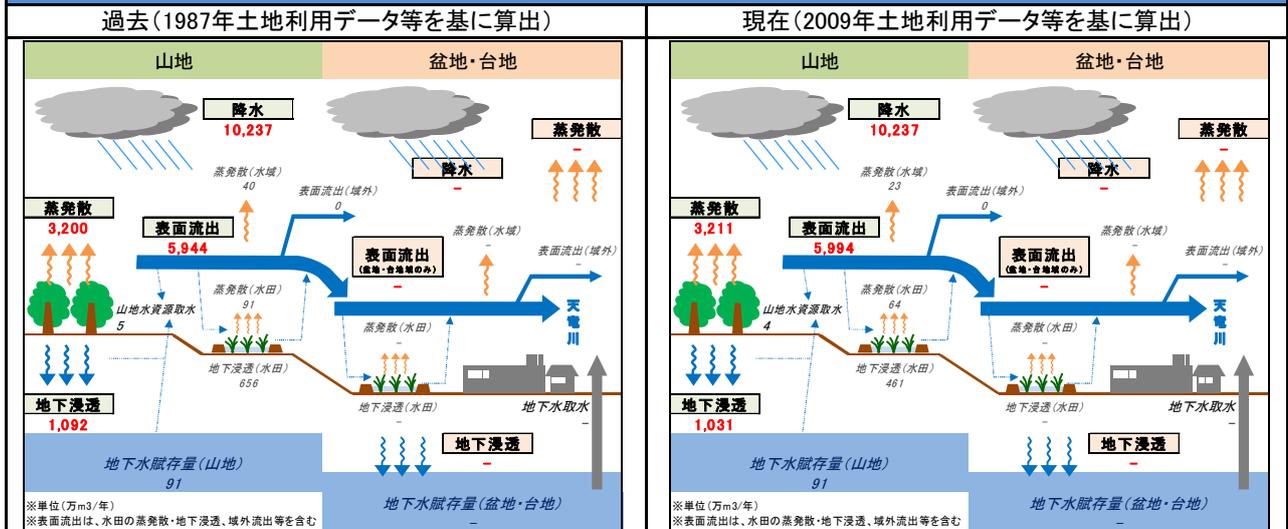
指標による水資源の評価



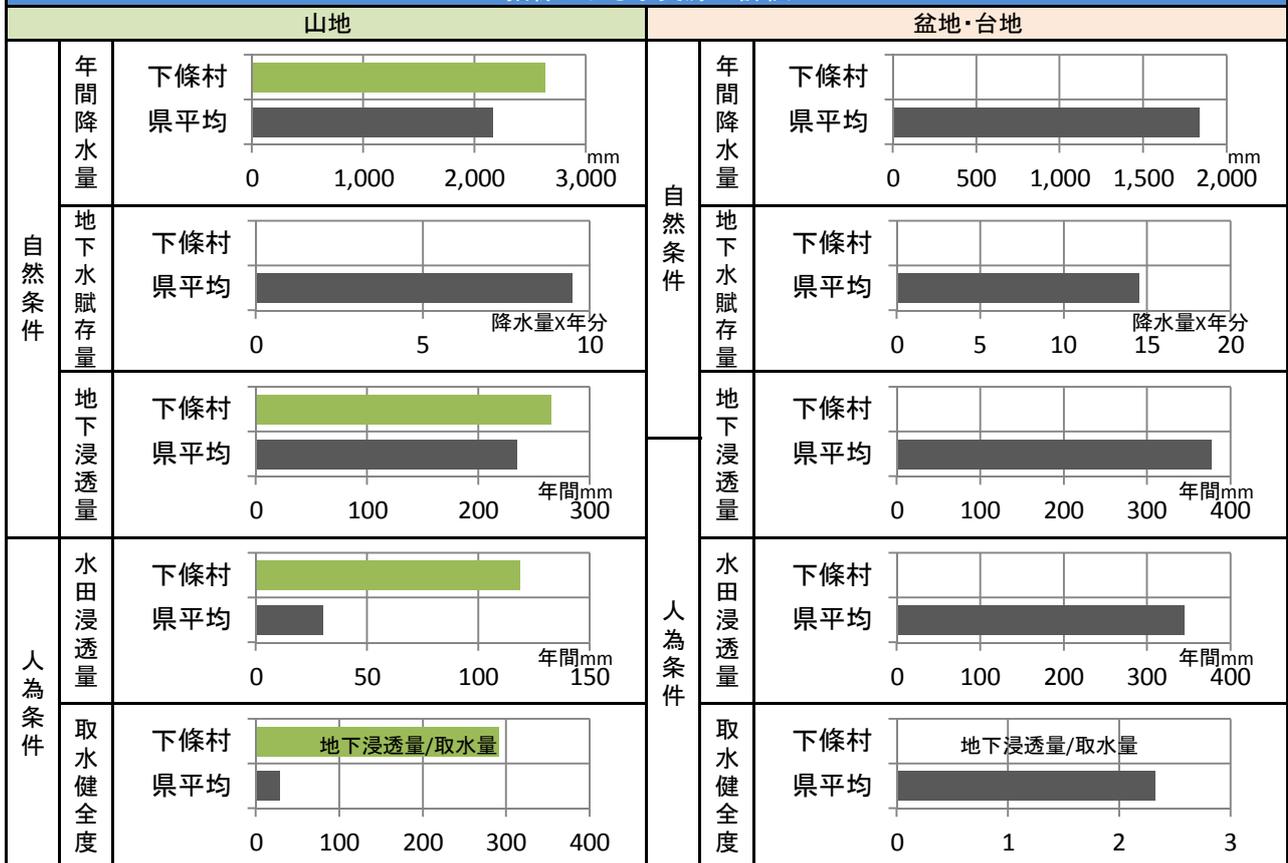
下條村

| | | | | |
|-------|--|-------------|--|---|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水増大の影響が顕在化しにくい | | | |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川右岸 | | | <p>山地の基盤は難透水のため地下浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。山間部の平地には水田が広がり、単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも多い。浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。</p> |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



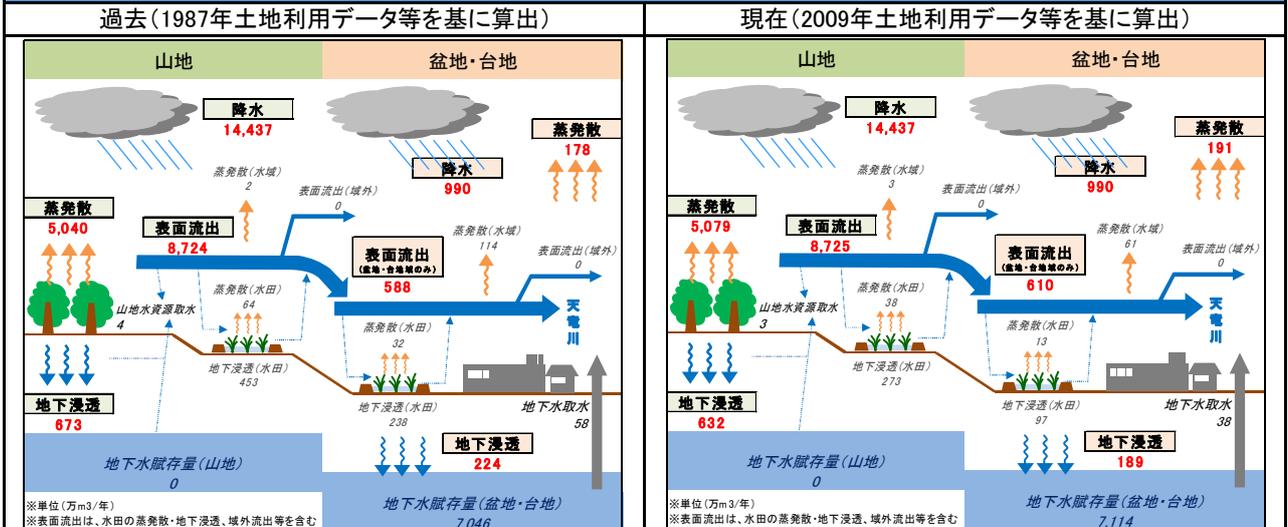
指標による水資源の評価



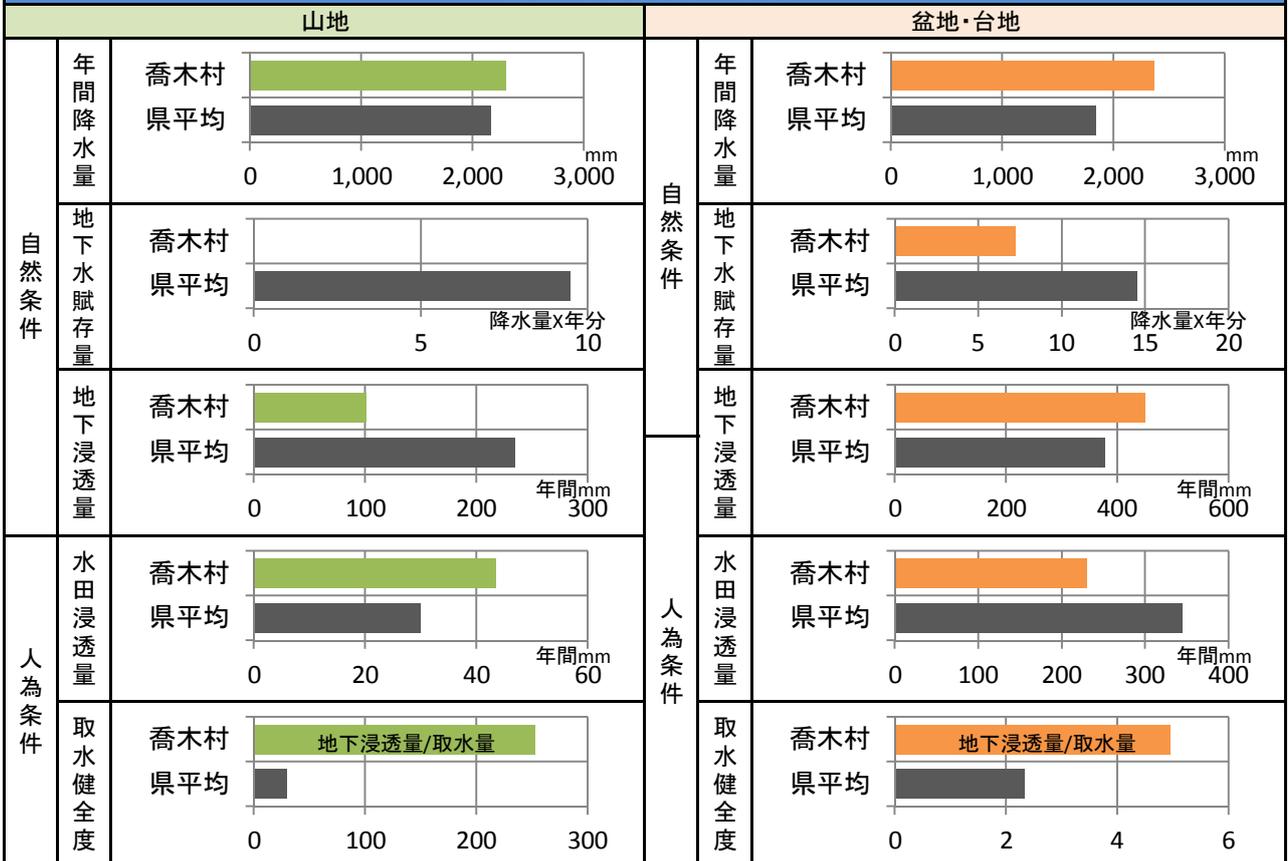
喬木村

| | | | | |
|-------|--|-------------|--|--|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | | | |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川左岸 | | | <p>山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下、浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。</p> |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる</p> <ul style="list-style-type: none"> 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



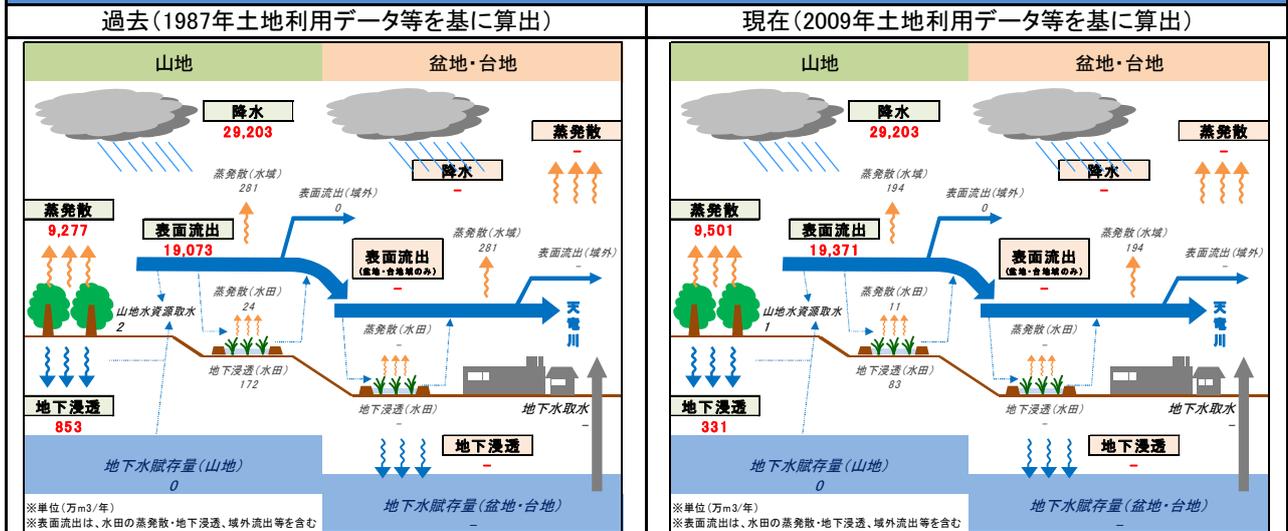
指標による水資源の評価



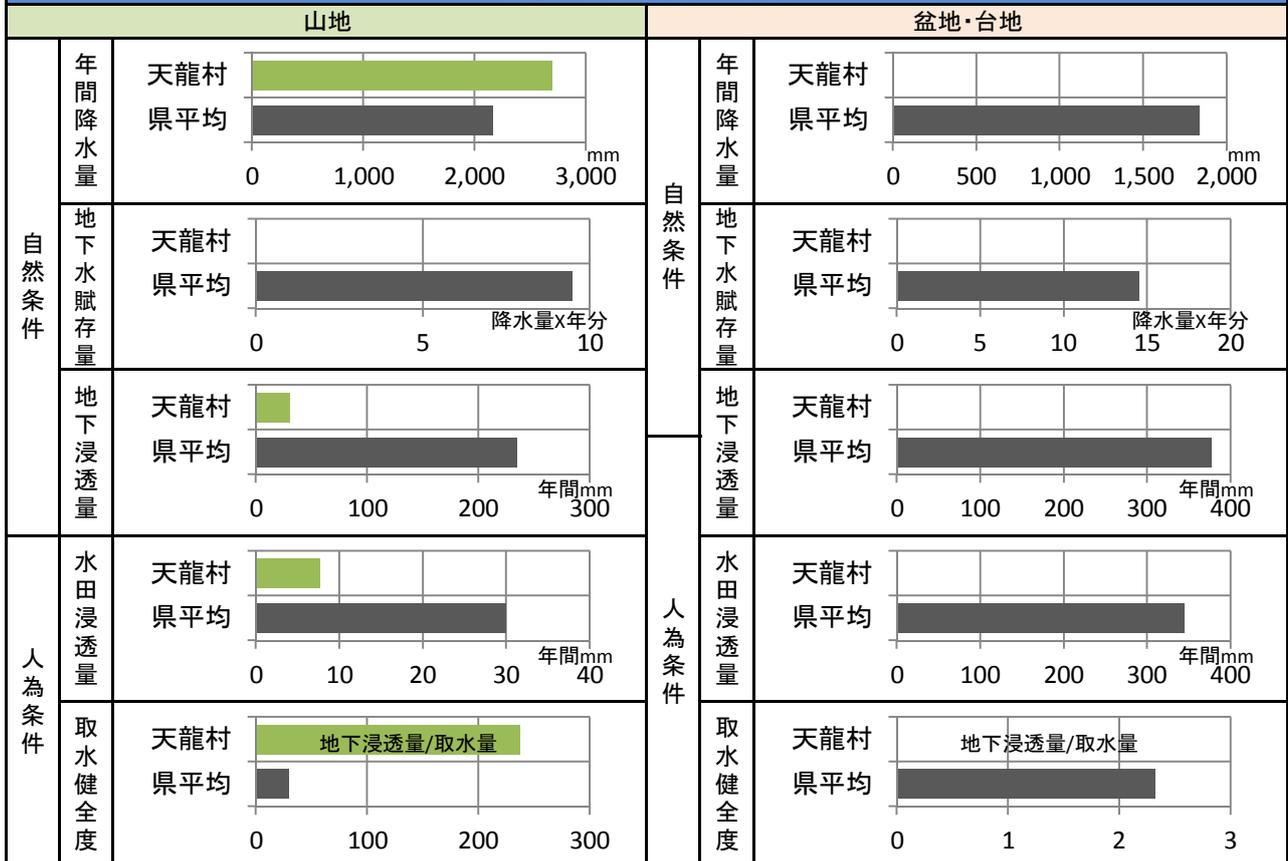
天龍村

| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。水田の占有率が小さく単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも少ないが、浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化

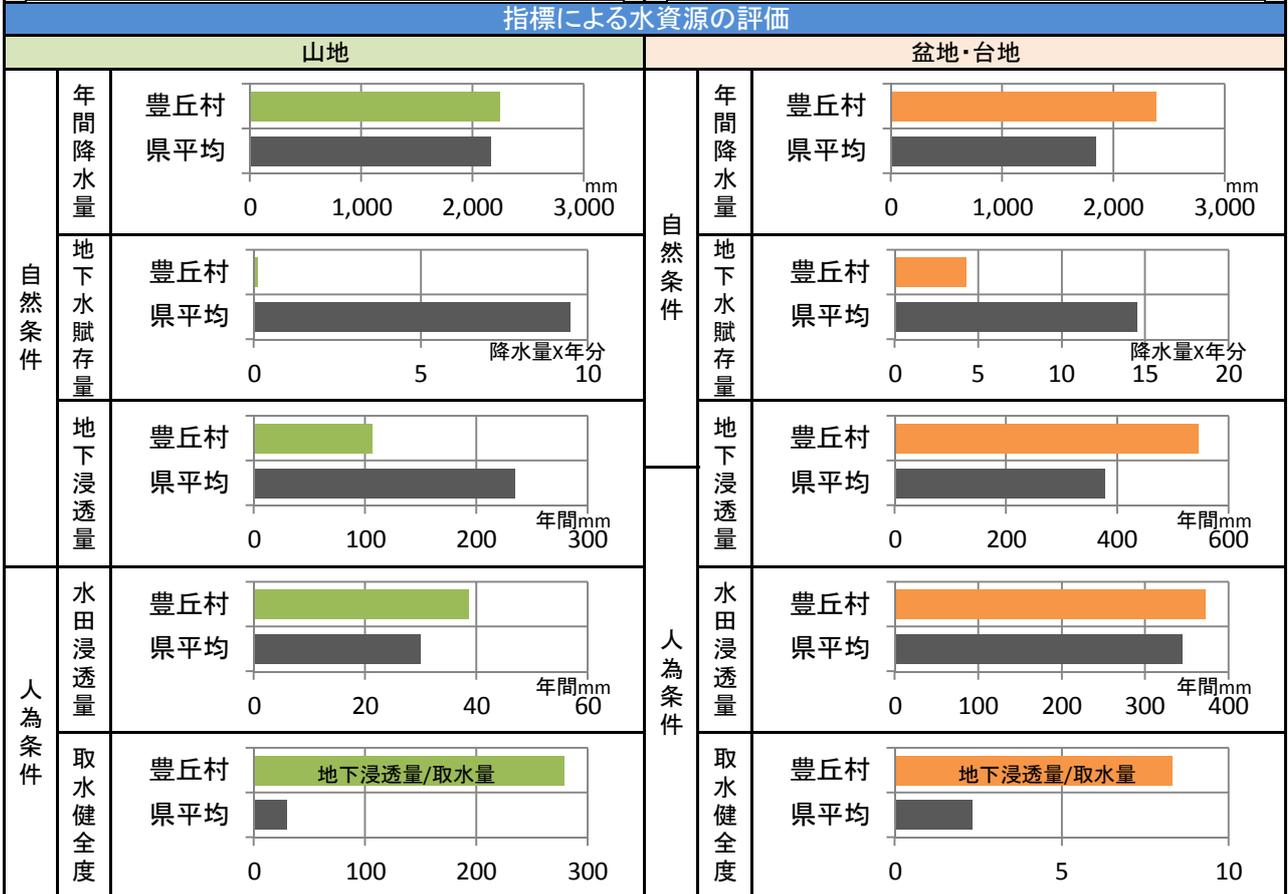
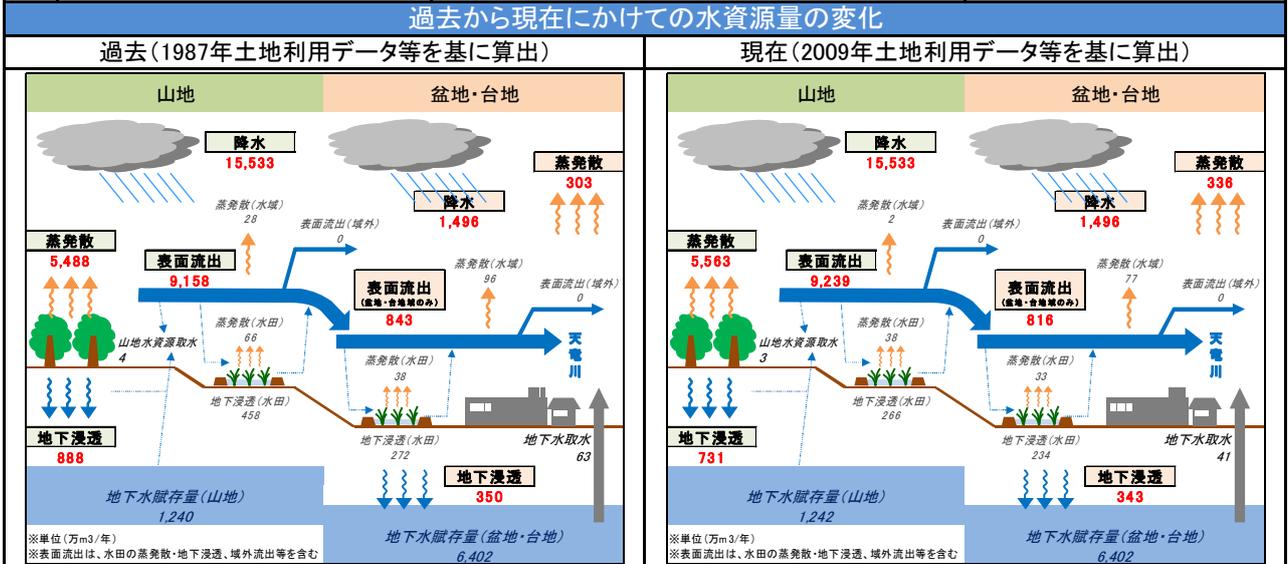


指標による水資源の評価



豊丘村

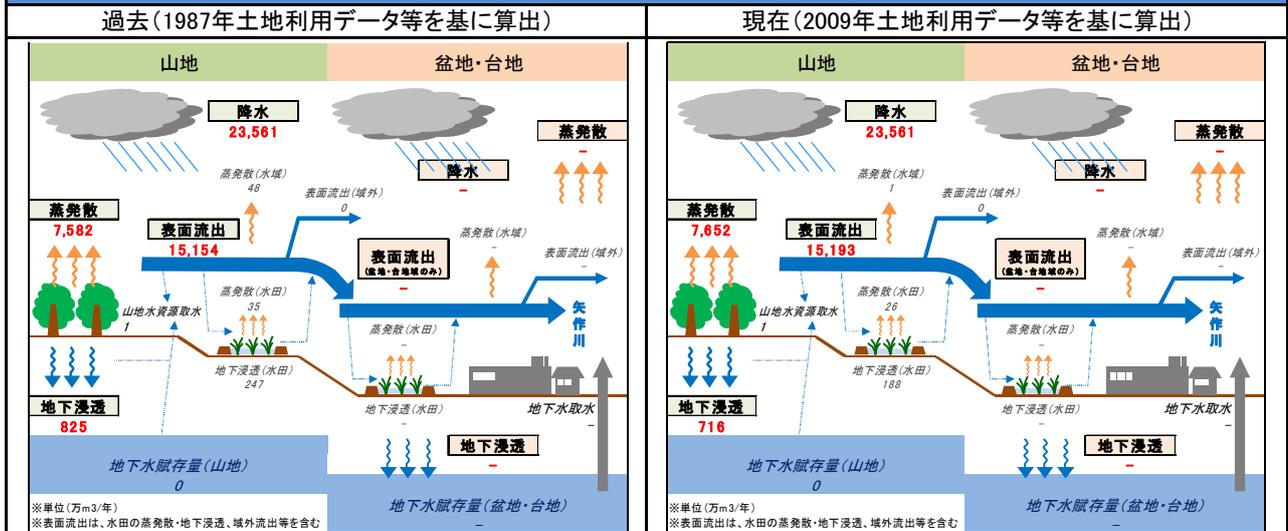
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|--------------------|--|--------------------------------|--|
| 集利水地域 | 【山地】天竜川左岸 【盆地・台地】伊那谷 | 指標1.0: 県平均 | <p>山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ないが、降水の多くが表流水として河川を流下・浸透することで盆地・台地の水資源となっている。伊那谷の地下水賦存は他地域に比べると相対的に少ないが、供給(地下浸透)と利用(取水)のバランスはとれており、現状で大きな水資源リスクはない。盆地・台地における農産業が水量・水質に与える影響を監視しながら水資源を保全していくことが重要である。</p> |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | |
| 過去から現在にかけての水資源量の変化 | <p>過去 (1987年土地利用データ等を基に算出)</p> | <p>現在 (2009年土地利用データ等を基に算出)</p> | |



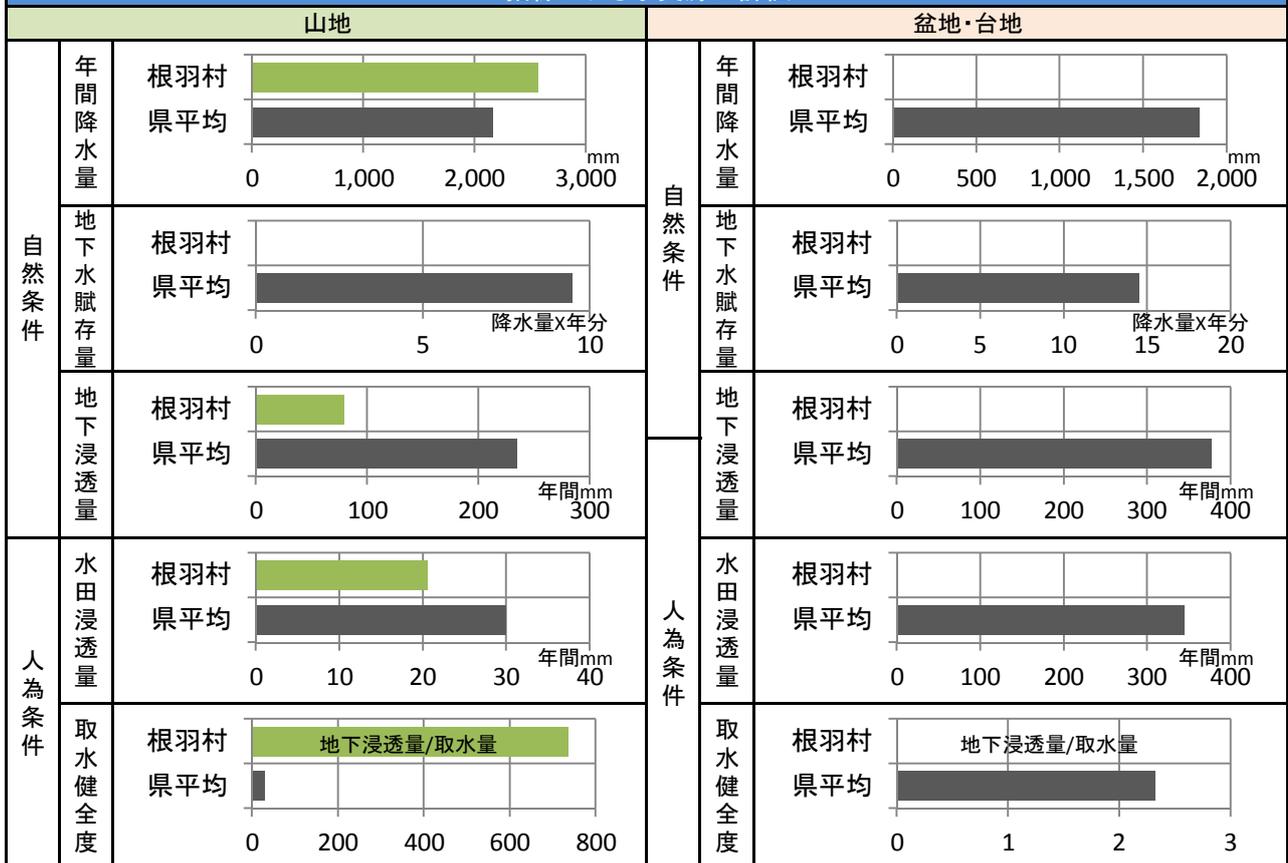
根羽村

| 飯伊 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存は少なく降水の多くは矢作川水系の河川へ流出する。この流出過程の表流水または浸透した地下水を利用してはいるが、その量は少なく、水収支バランスに課題はない。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 集利水地域 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



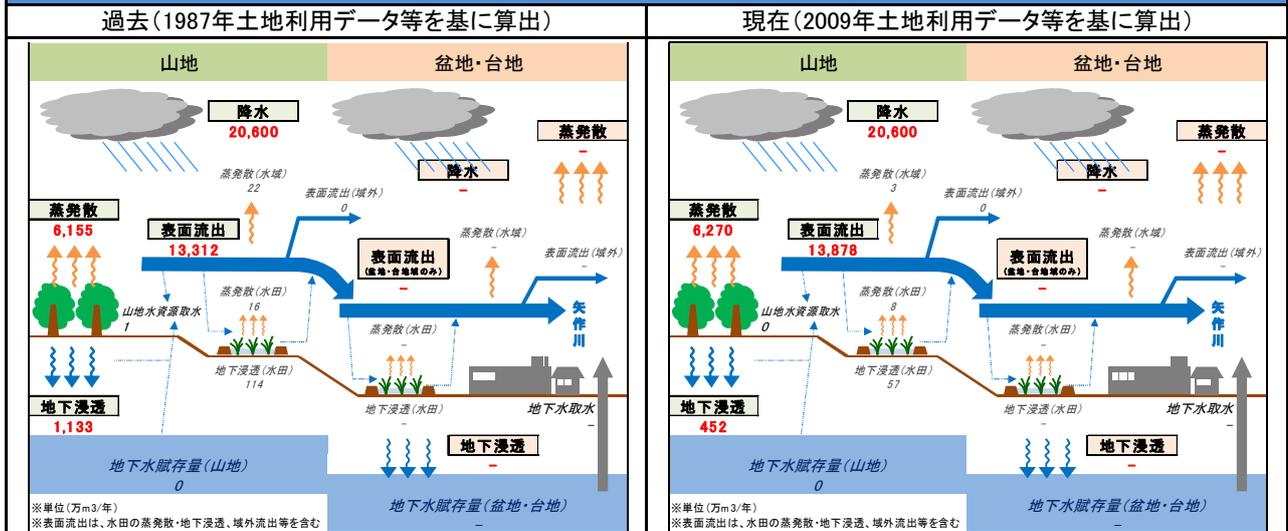
指標による水資源の評価



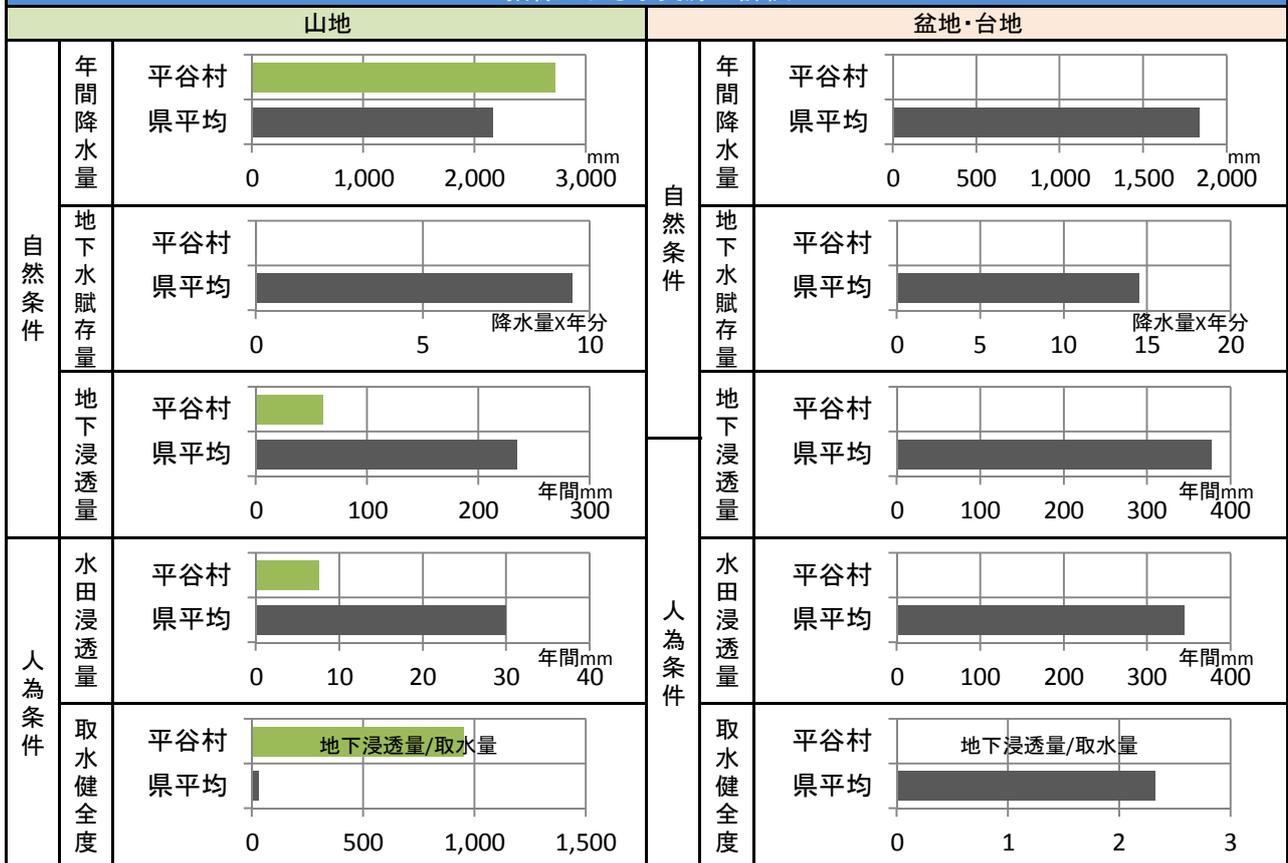
平谷村

| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|-------------|---|
| 集利水地域 | 【山地】域外流出(愛知県:矢作川) | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存はなく降水の多くは矢作川水系の河川へ流出する。この流出過程の表流水または浸透した地下水を利用してはいるが、その量は少なく、水収支バランスに課題はない。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



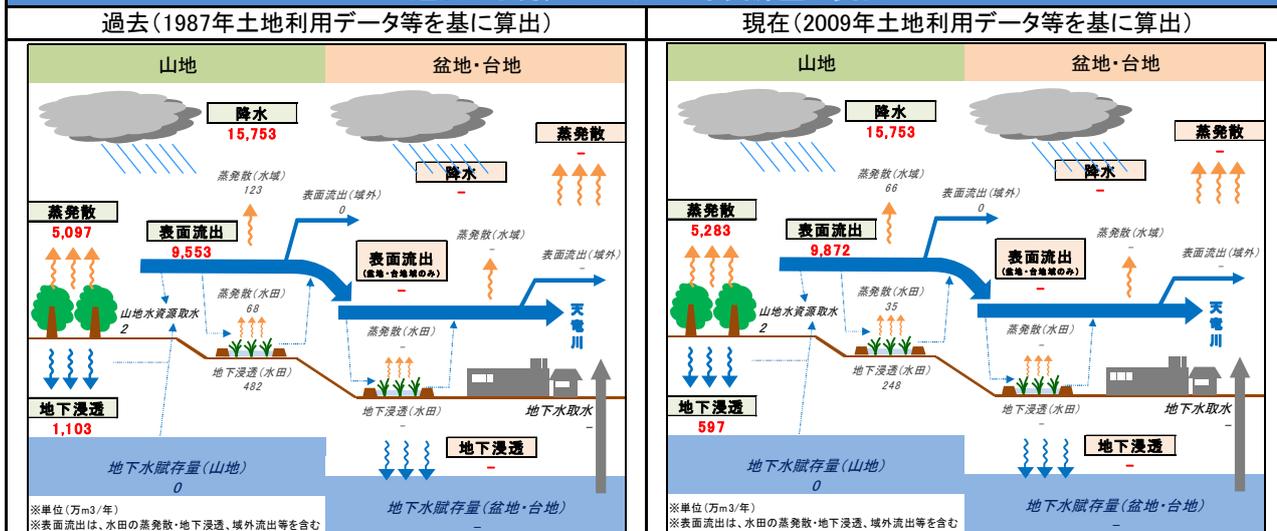
指標による水資源の評価



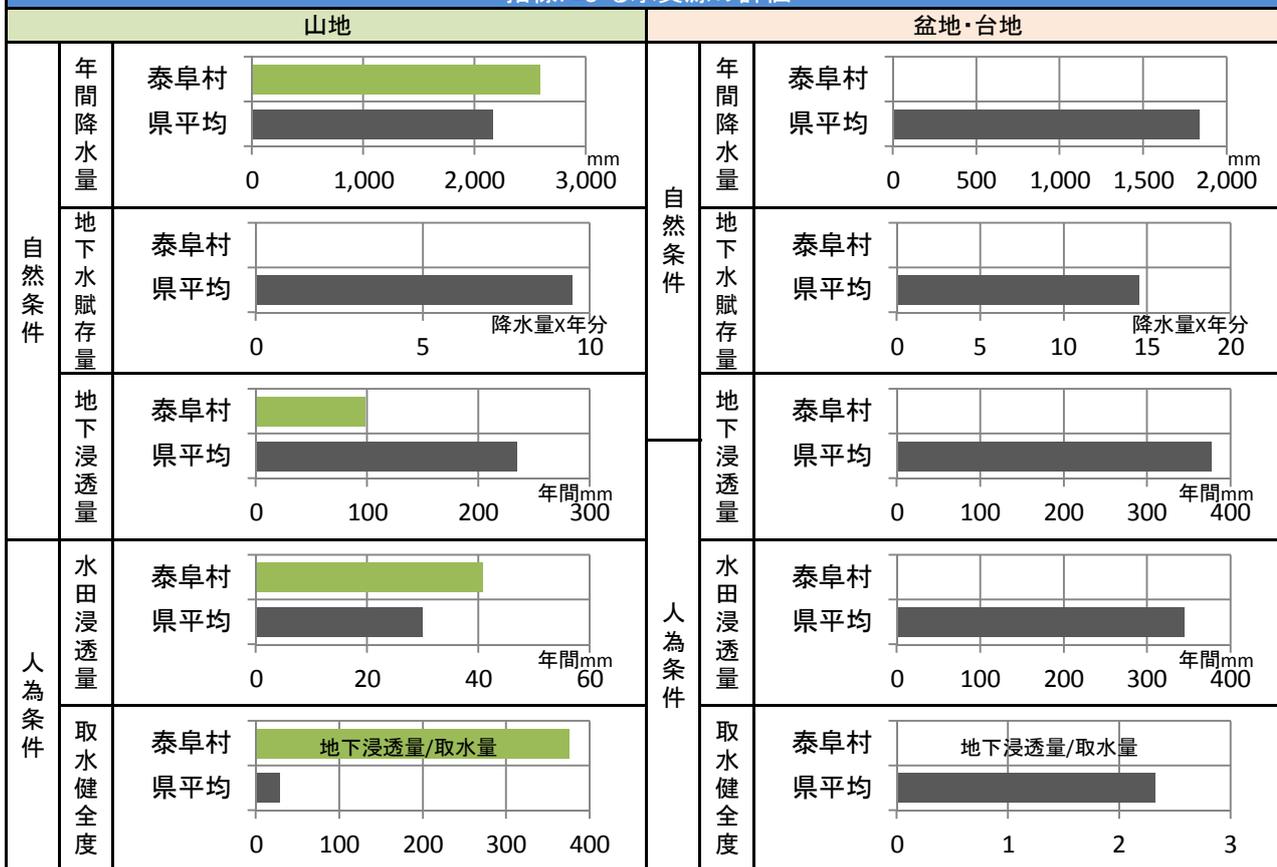
泰阜村

| | | | | |
|-------|---|-------------|--|--|
| 水文区特徴 | 飯伊 | 指標による水資源スコア | | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○降水量が多い ○地下浸透量が多い ○降水量減少の影響が顕在化しやすい ○取水量増大の影響が顕在化しにくい | | | |
| 集利水地域 | 【山地】天竜川左岸 | | | <p>山地の基盤は難透水のため地下水浸透は少なく地下水賦存はないが、表流水として下流へ流下する。山間部の平地には水田が広がり、単位面積あたりの水田浸透は県平均よりも多い。浸透の取水に対する比率は県平均に比べて非常に大きく、取水リスクは小さいと言える。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。</p> |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量</p> <p>【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量</p> <p>【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量</p> <p>【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量</p> <p>【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



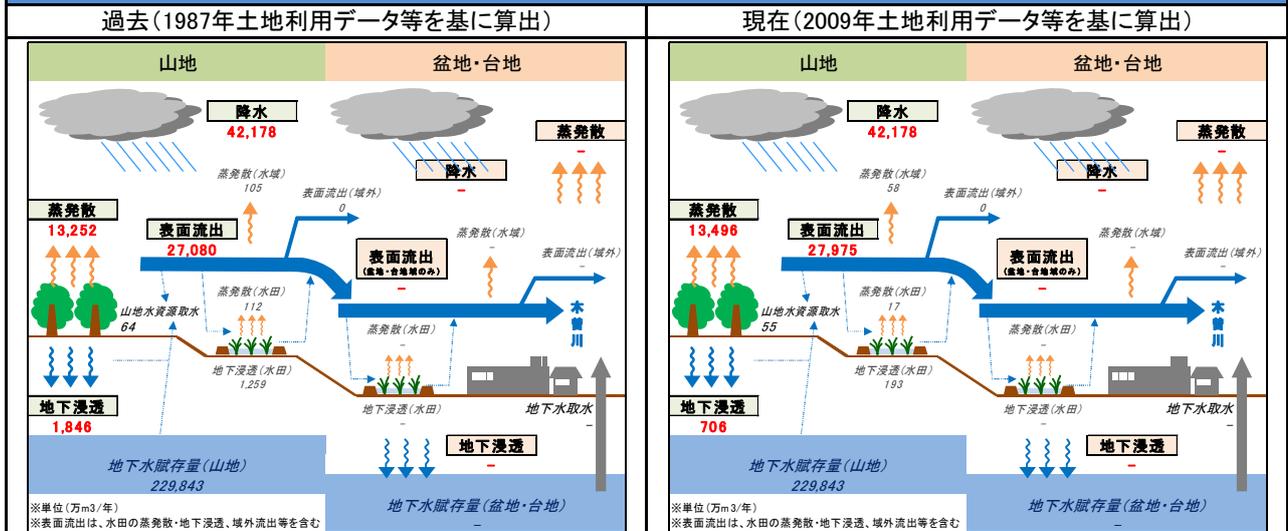
指標による水資源の評価



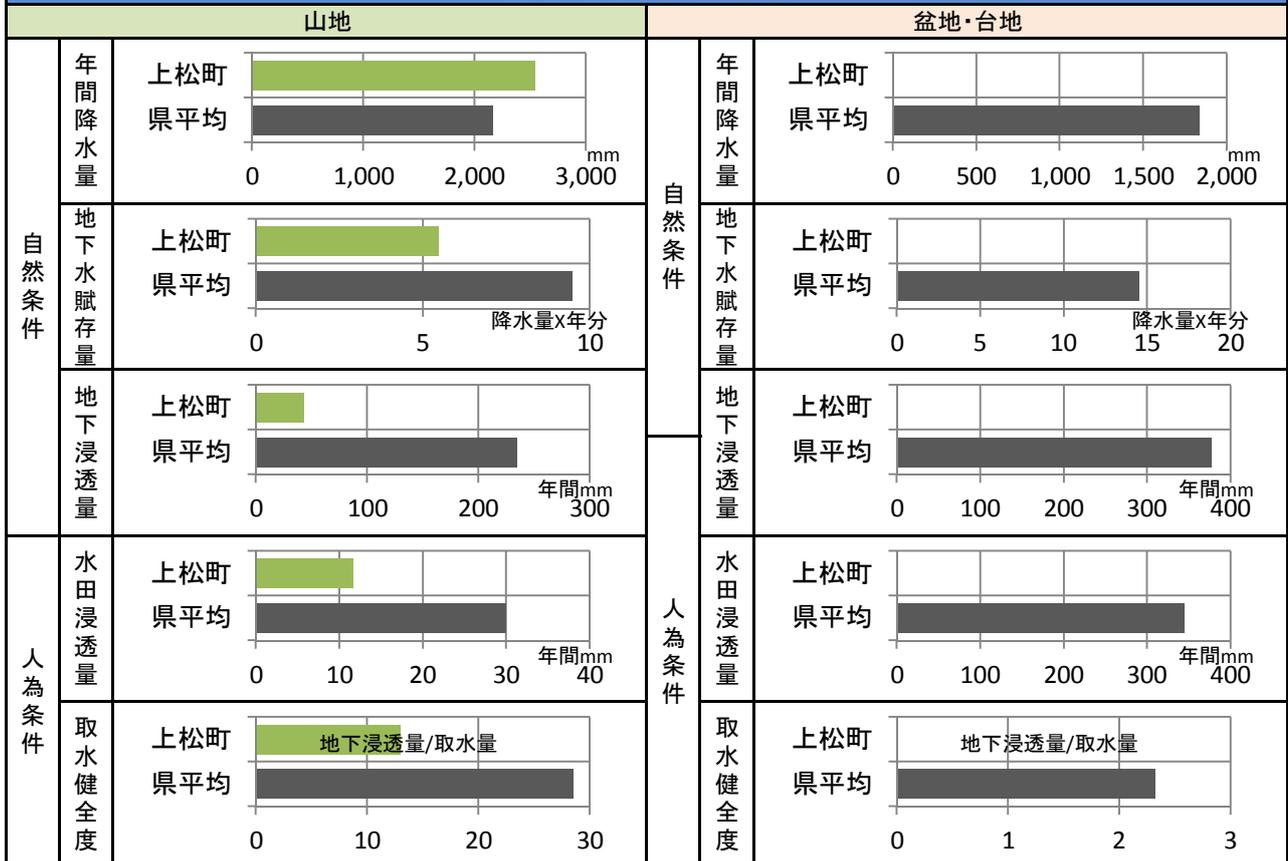
上松町

| 水文区特徴 | 木曾 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。また、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度が小さい)ものの、豊富な降水が表面流出として常時流下しているため、水資源の健全性が損なわれる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



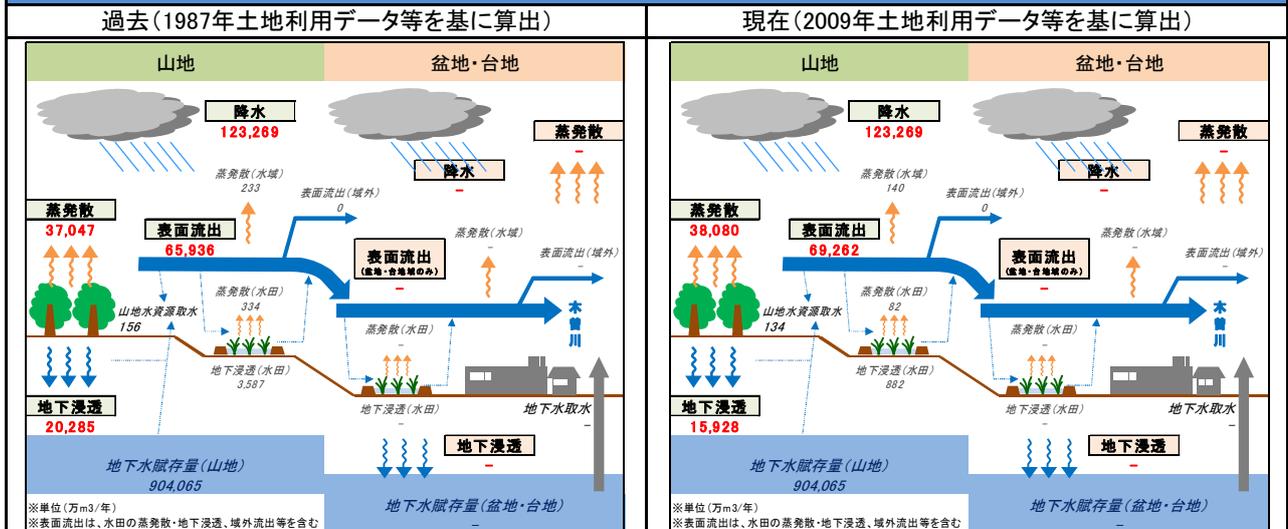
指標による水資源の評価



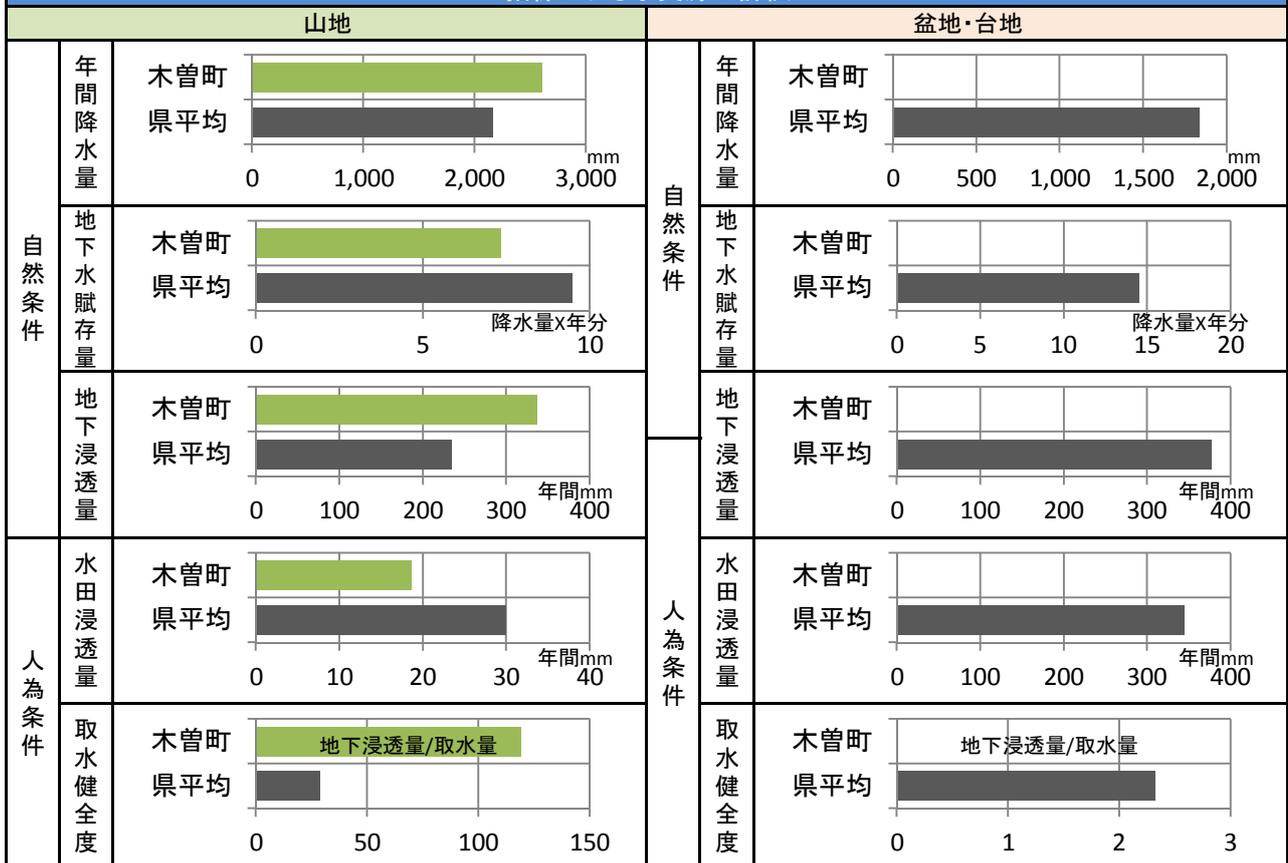
木曾町

| 木曾 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | 山地の一部は御嶽山の火山体からなり地下水が賦存する。残りの山地は難透水のため地下浸透は少なく、降水の多くは表流水として流出する。取水に対する浸透の割合は県平均よりも大きく、取水リスクは小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】木曾川右岸 【山地】木曾川左岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



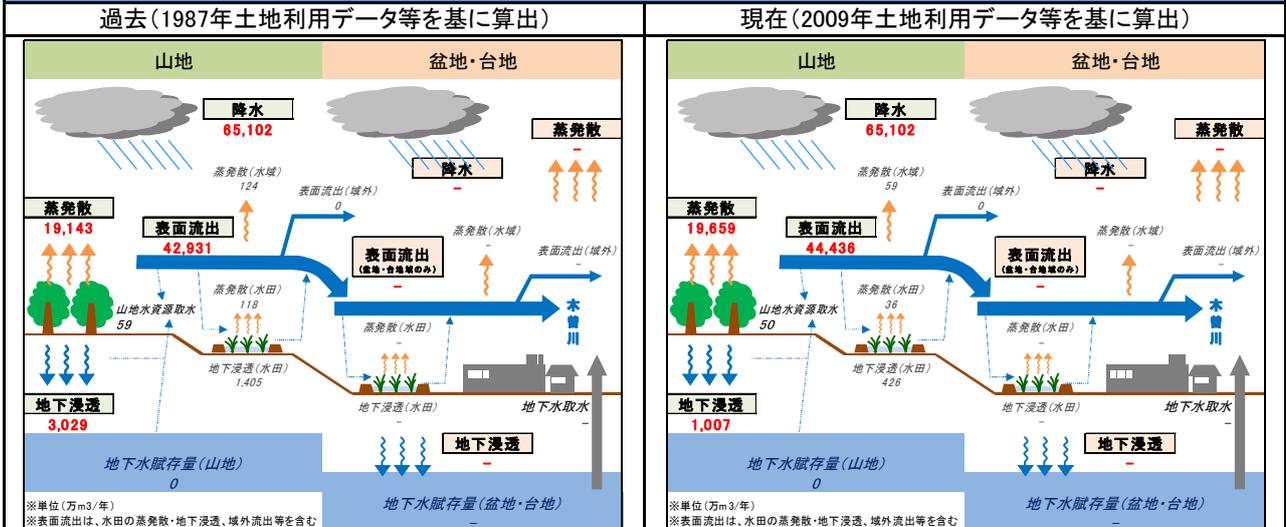
指標による水資源の評価



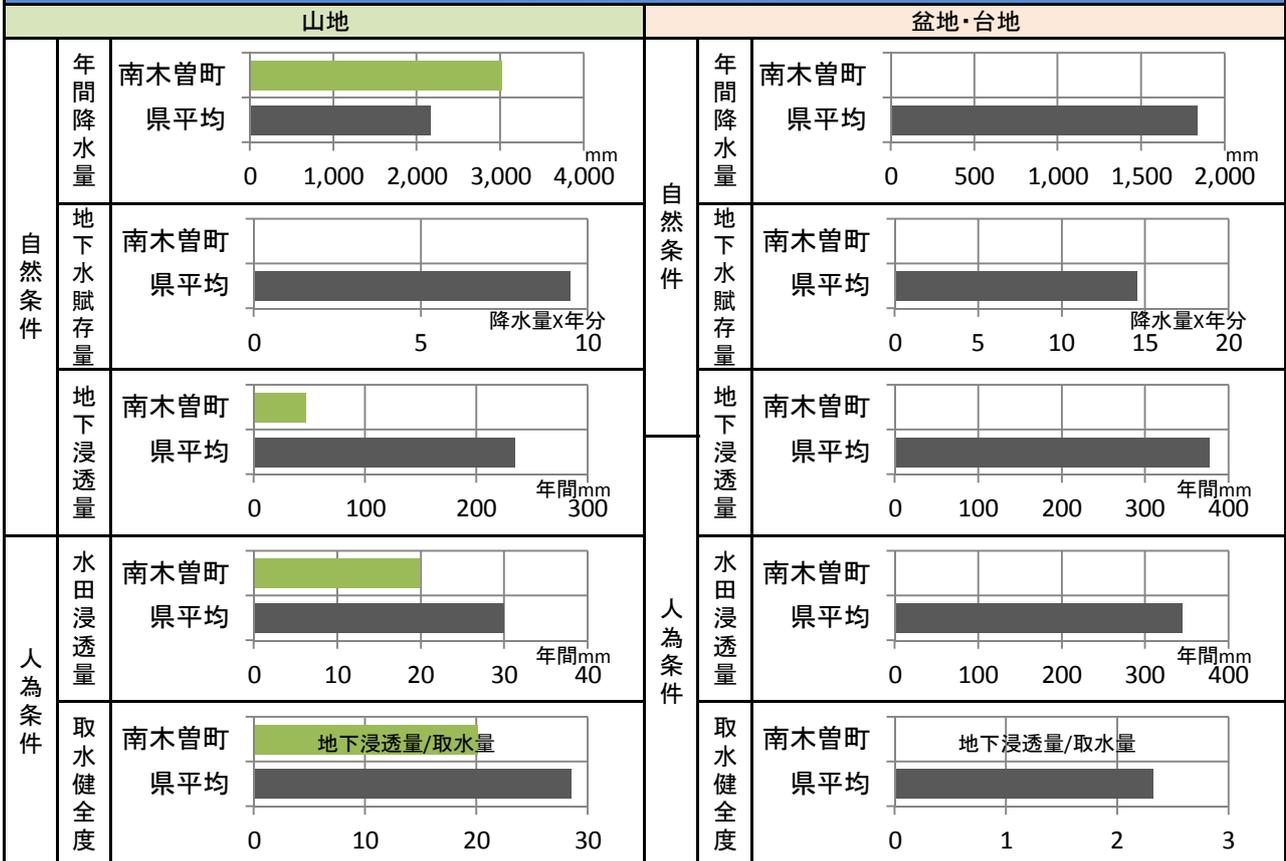
南木曾町

| 水文区特徴 | 木曾 | | 指標による水資源スコア | | 評価 |
|-------|---|------------|-------------|---|----|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。また、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度が小さい)ものの、豊富な降水が表面流出として常時流下しているため、水資源の健全性が損なわれる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 | |
| 集利水地域 | 【山地】木曾川右岸 【山地】木曾川左岸 | | | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



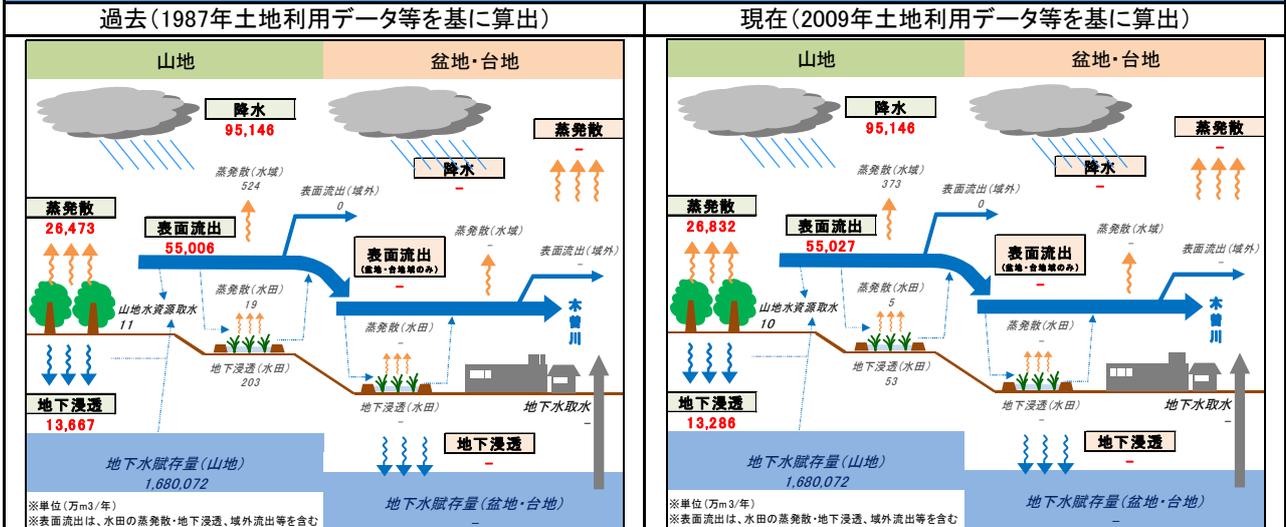
指標による水資源の評価



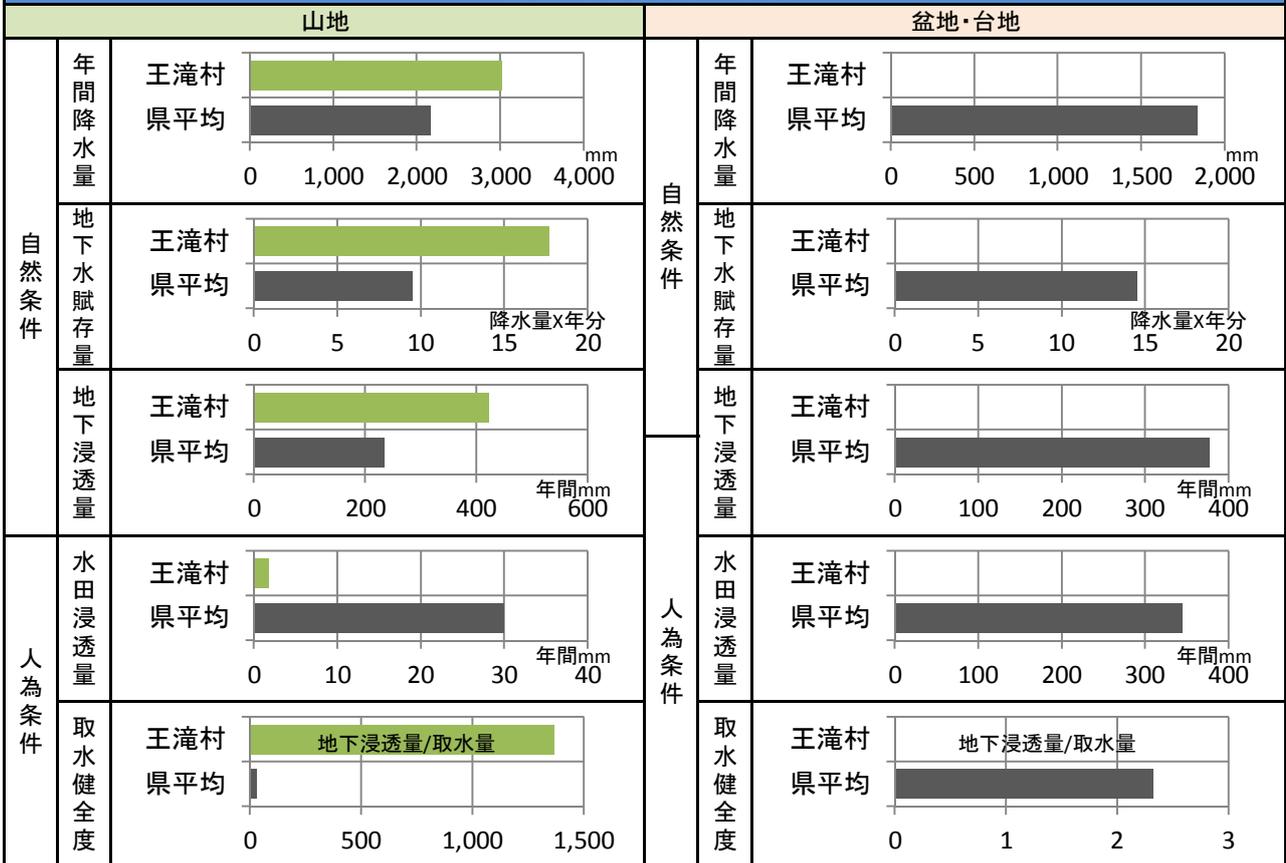
王滝村

| 水文区特徴 | 木曾 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | 山地の一部は御嶽山の火山体からなり地下水が賦存する。残りの山地は難透水のため地下浸透は少なく、降水の多くは表流水として流出する。取水に対する浸透の割合は県平均よりも非常に大きく、取水リスクはほとんどない。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



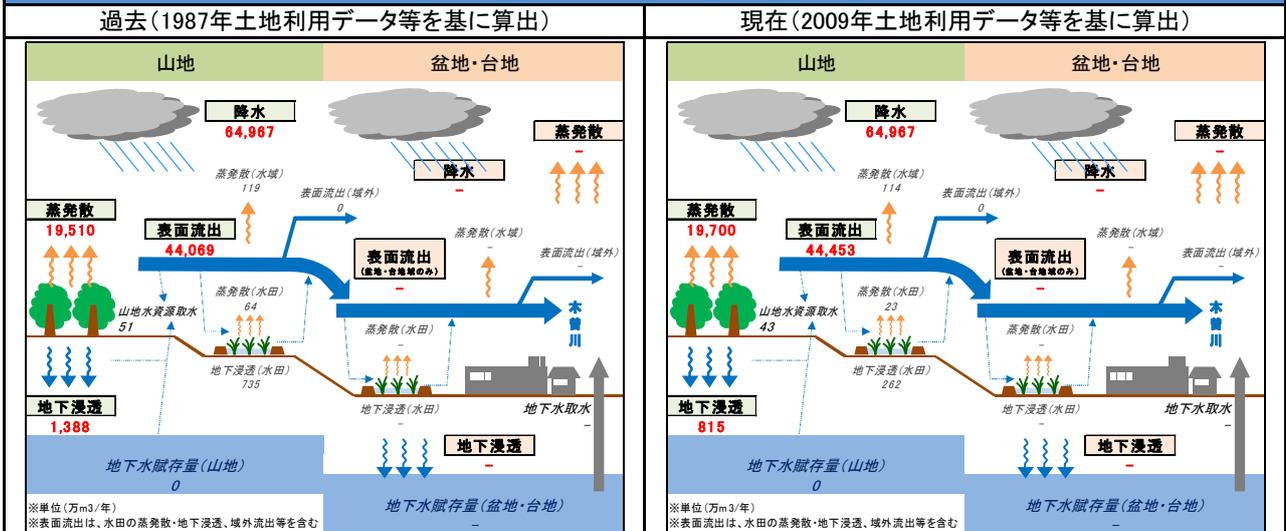
指標による水資源の評価



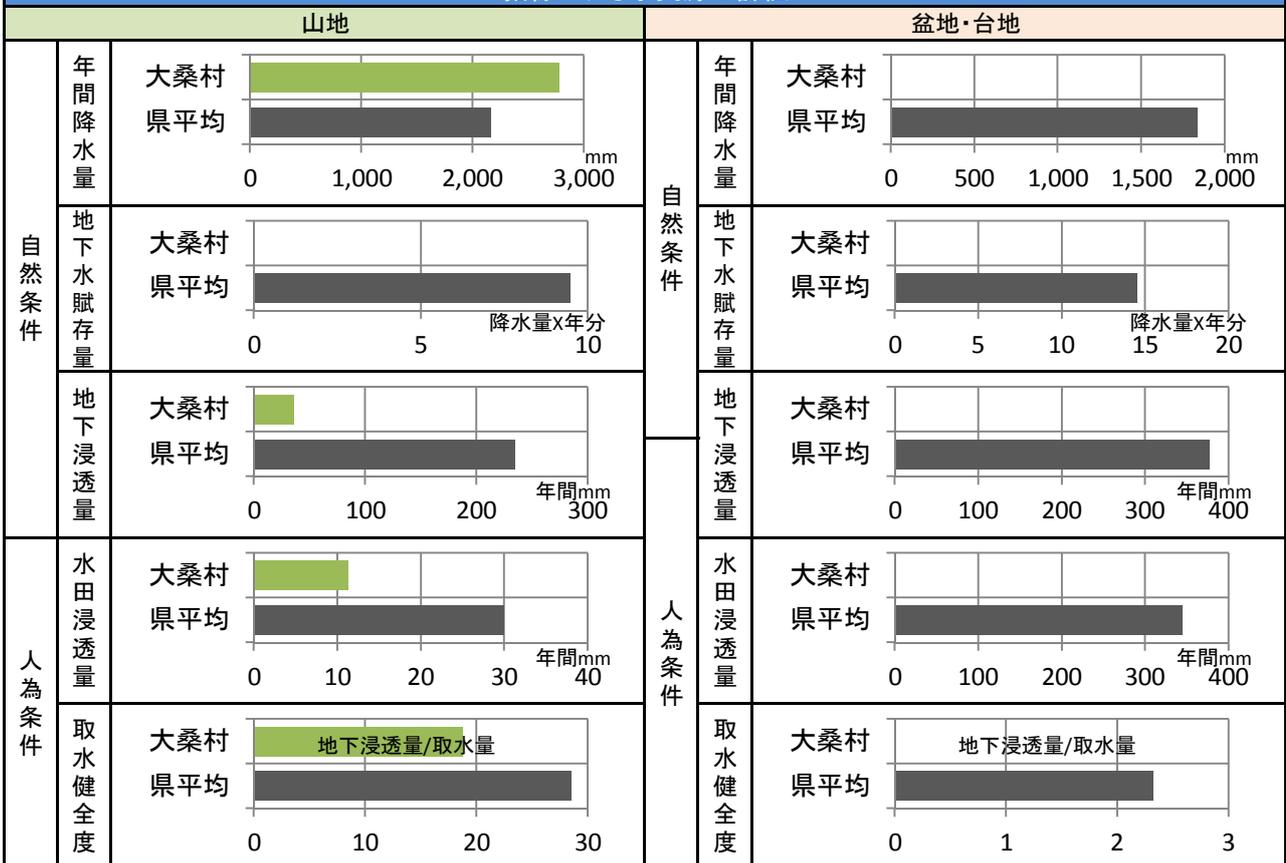
大桑村

| 水文区特徴 | 木曾 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。また、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度が小さい)ものの、豊富な降水が表面流出として常時流下しているため、水資源の健全性が損なわれる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



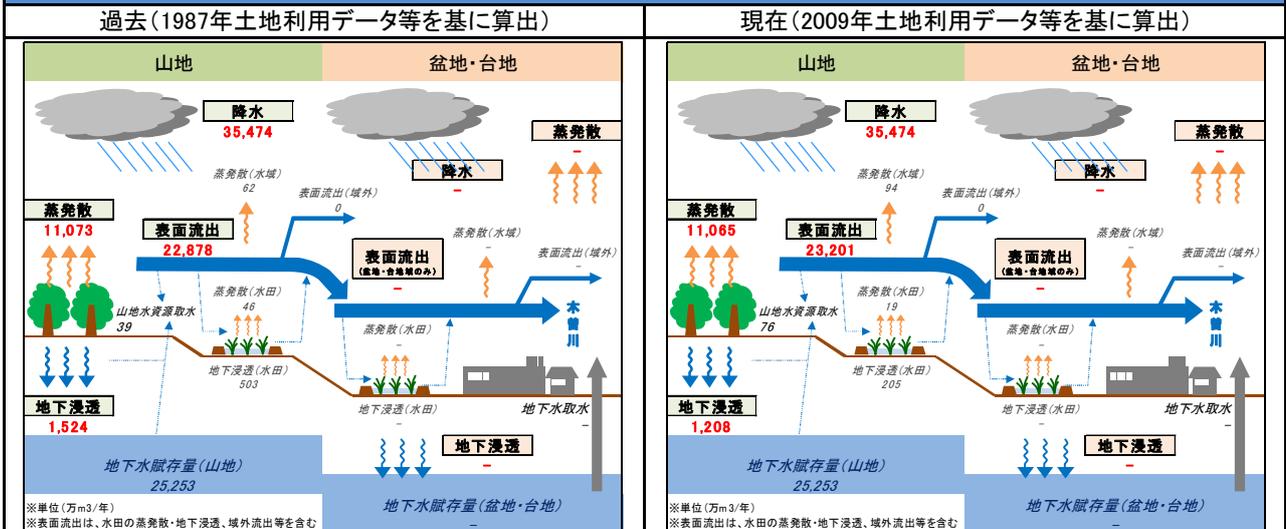
指標による水資源の評価



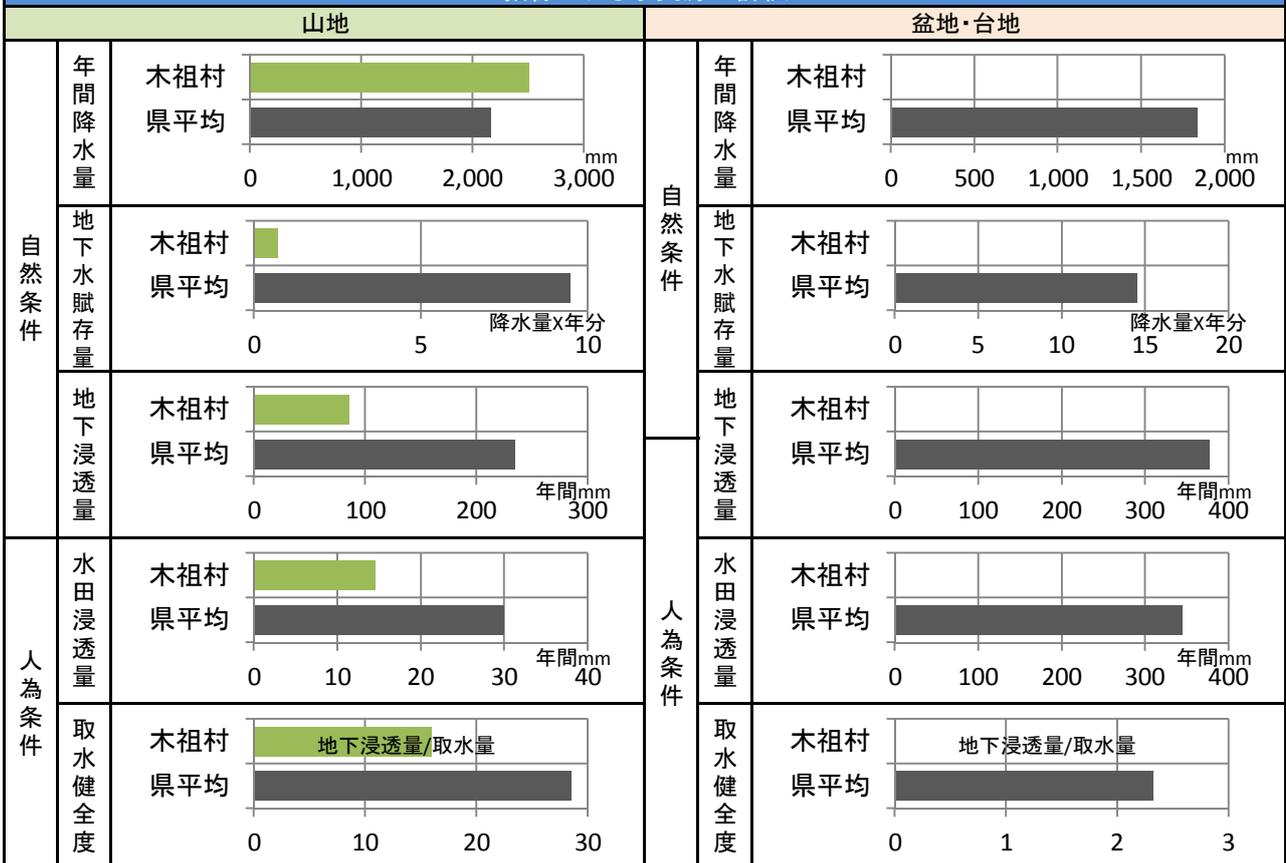
木祖村

| 木曾 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|---|
| 水文区特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ○森林の占有率が高い ○県内で最も降水量が多い地域 ○水利用は表流水、伏流水等が主 ○地下水利用は少ない | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。また、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度が小さい)ものの、豊富な降水が表面流出として常時流下しているため、水資源の健全性が損なわれる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| | 【山地】木曾川右岸 【山地】木曾川左岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



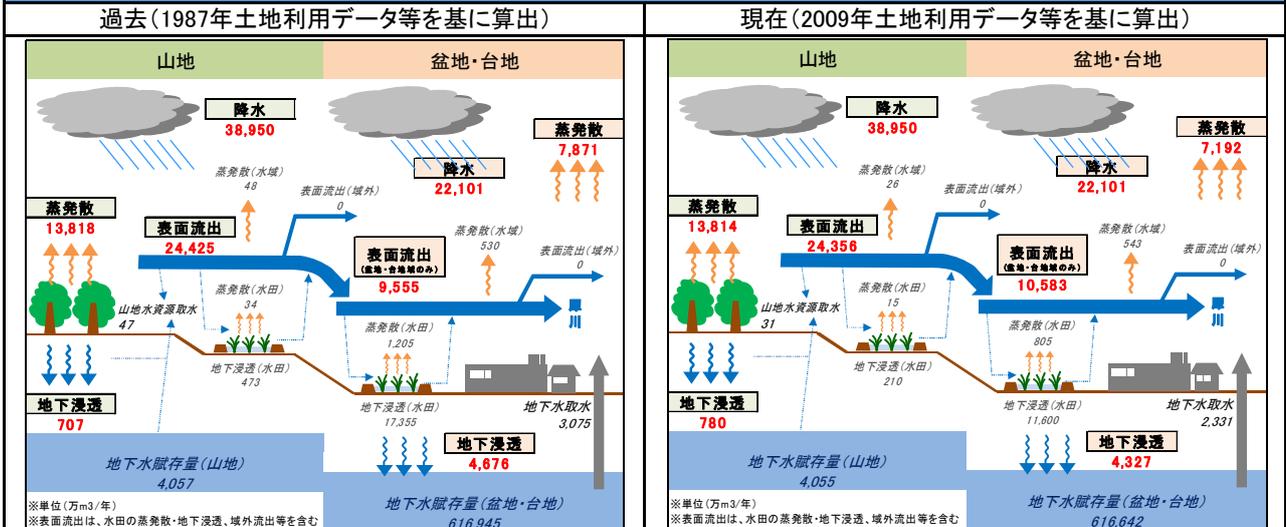
指標による水資源の評価



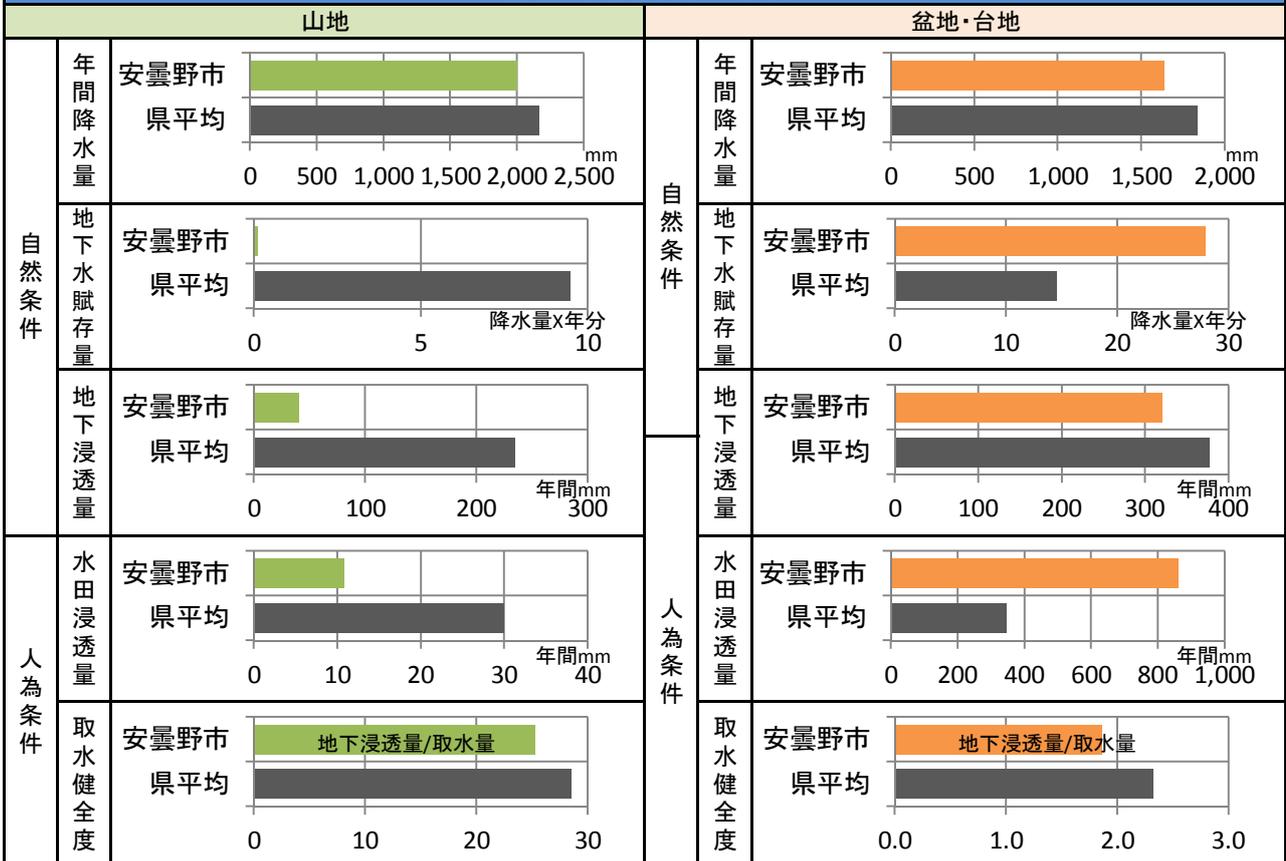
安曇野市

| | | | |
|-------|---|-------------|--|
| 水文区特徴 | 松本 ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標による水資源スコア | 評価 山地(北アルプス等)の基盤は難透水のため地下浸透、地下水賦存とも少ない。盆地・台地は厚い帯水層からなる松本盆地に位置し県他地域に比べて地下水賦存が非常に多い。また水田耕作が盛んで水田浸透も非常に多い。一方、水田浸透は過去に比べ減少している。松本盆地の最下流(湧出域)に位置するため、わさび田の枯渇等といった影響が顕在化しやすい。松本盆地内の市町村と連携し盆地全体での健全化に取り組んでいく必要がある。 |
| | 集利水地域 【山地】犀川右岸 【山地】犀川左岸 【山地】梓川左岸 【盆地・台地】松本盆地 | 指標1.0: 県平均 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



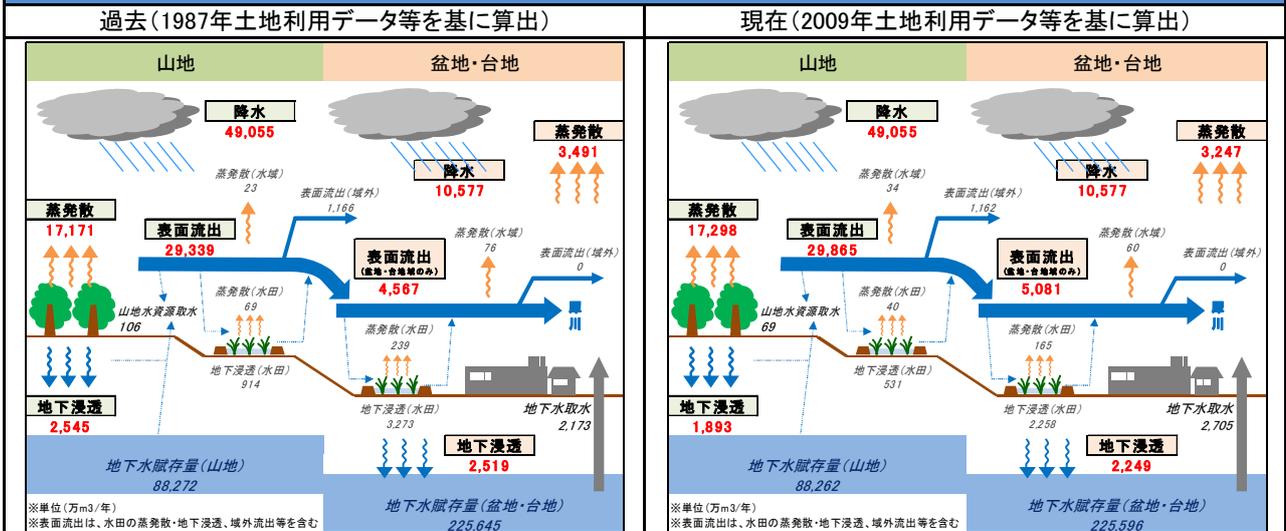
指標による水資源の評価



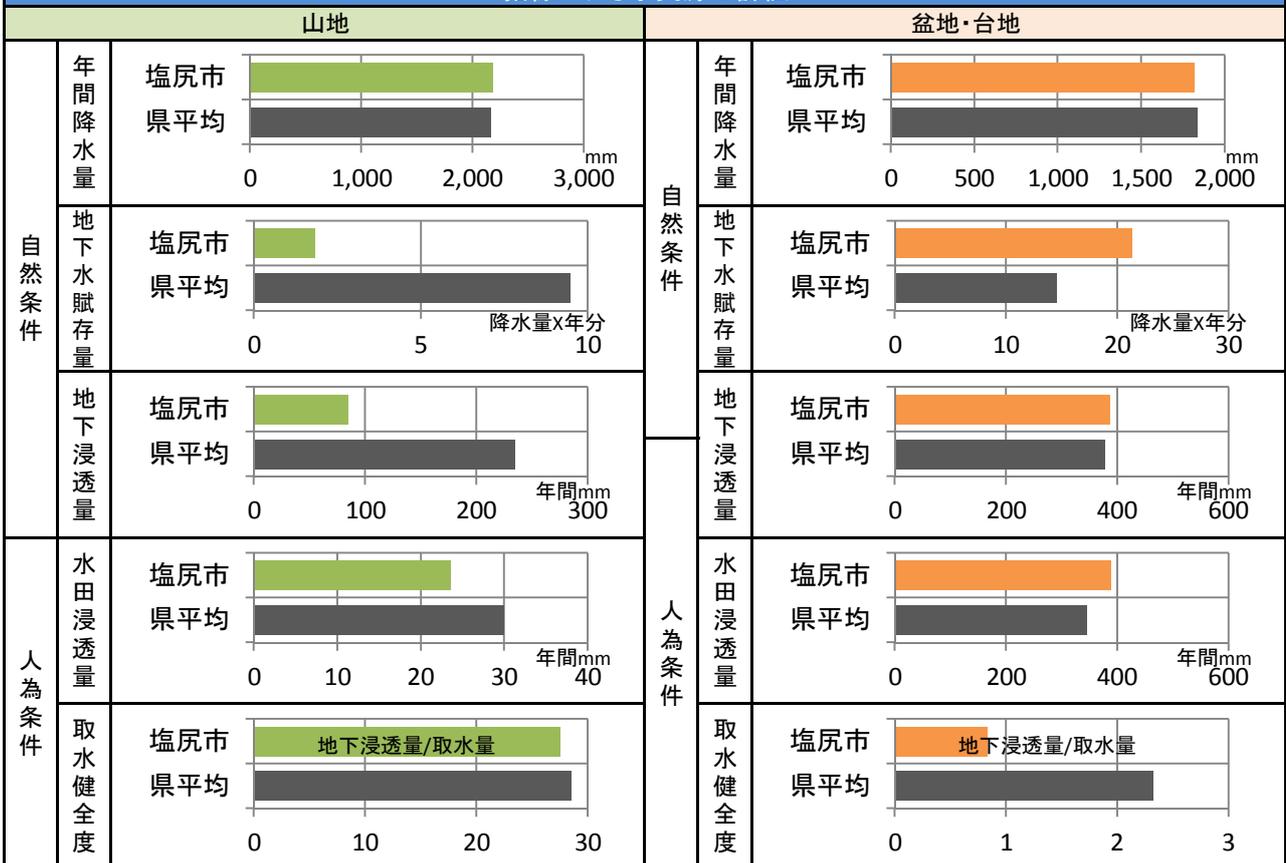
塩尻市

| | | | |
|-------|---|-------------|--|
| 水文区特徴 | 松本 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下水浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標1.0: 県平均 | <p>降水 — 山地 (緑) — 盆地・台地 (オレンジ)</p> <p>取水健全度, 地下水賦存, 地下水浸透, 水田浸透</p> |
| 集利水地域 | 【山地】梓川右岸 【山地】域外流出(上伊那:天竜川) 【盆地・台地】松本盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



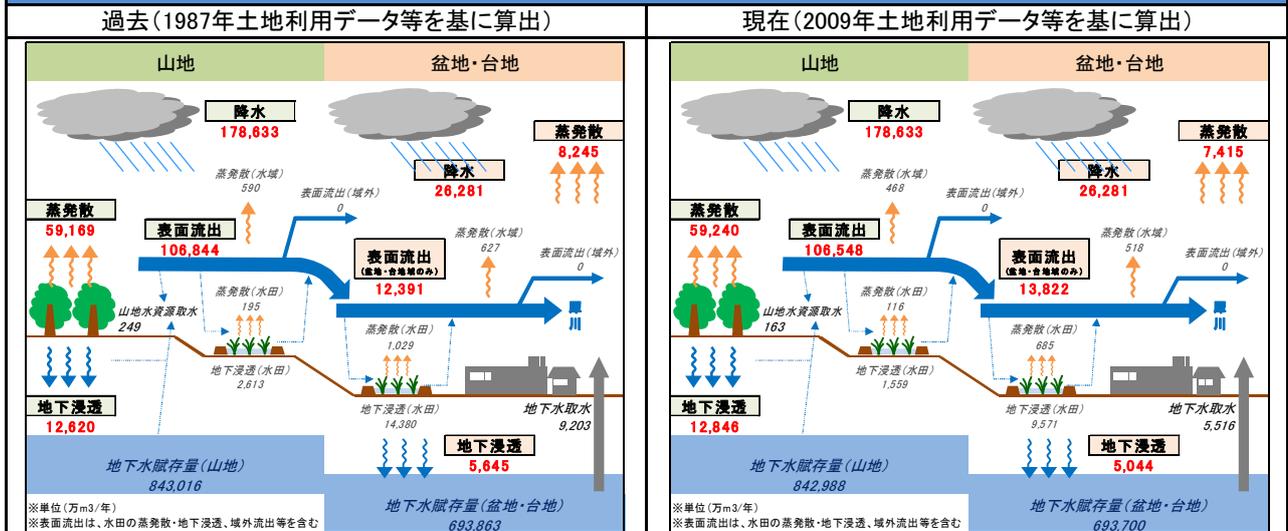
指標による水資源の評価



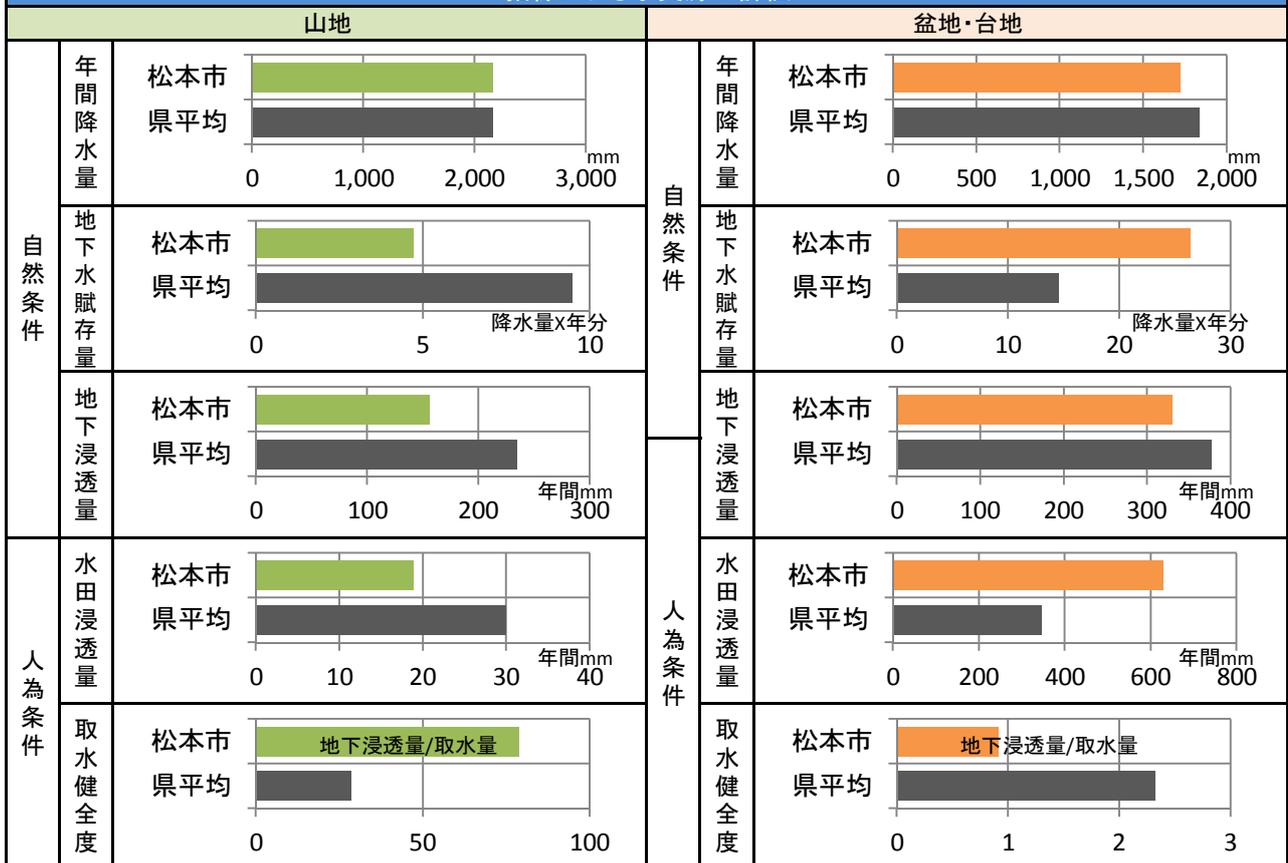
松本市

| 松本 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|-------------|--|
| 水文区特徴 | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標1.0: 県平均 | 山地は難透水のため地下水賦存、地下水浸透ともに少ない。盆地・台地は厚い帯水層からなる松本盆地に位置し県他地域に比べて地下水賦存が非常に多い。また水田耕作が盛んで水田浸透も多い。一方、取水は過去より減じているが地下浸透に対する比率が大きいため、取水健全度は小さい。取水による局所的な地下水障害に留意するとともに、松本盆地全体の水収支バランスを念頭に水資源保全に取り組んでいく必要がある。 |
| 集利水地域 | 【山地】犀川右岸 【山地】梓川右岸 【山地】梓川左岸 【盆地・台地】松本盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |
| | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



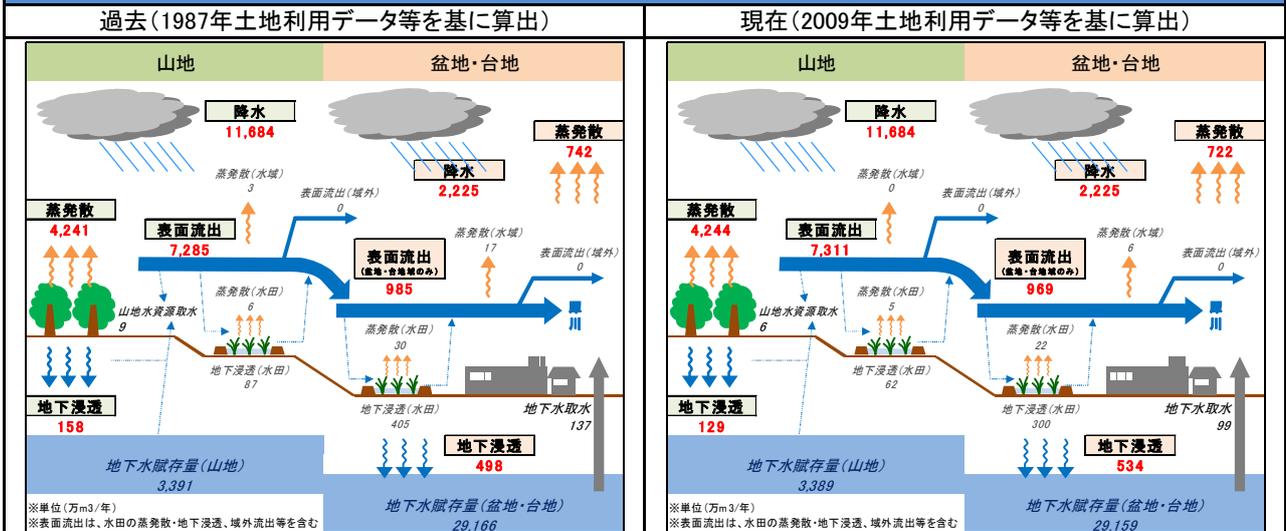
指標による水資源の評価



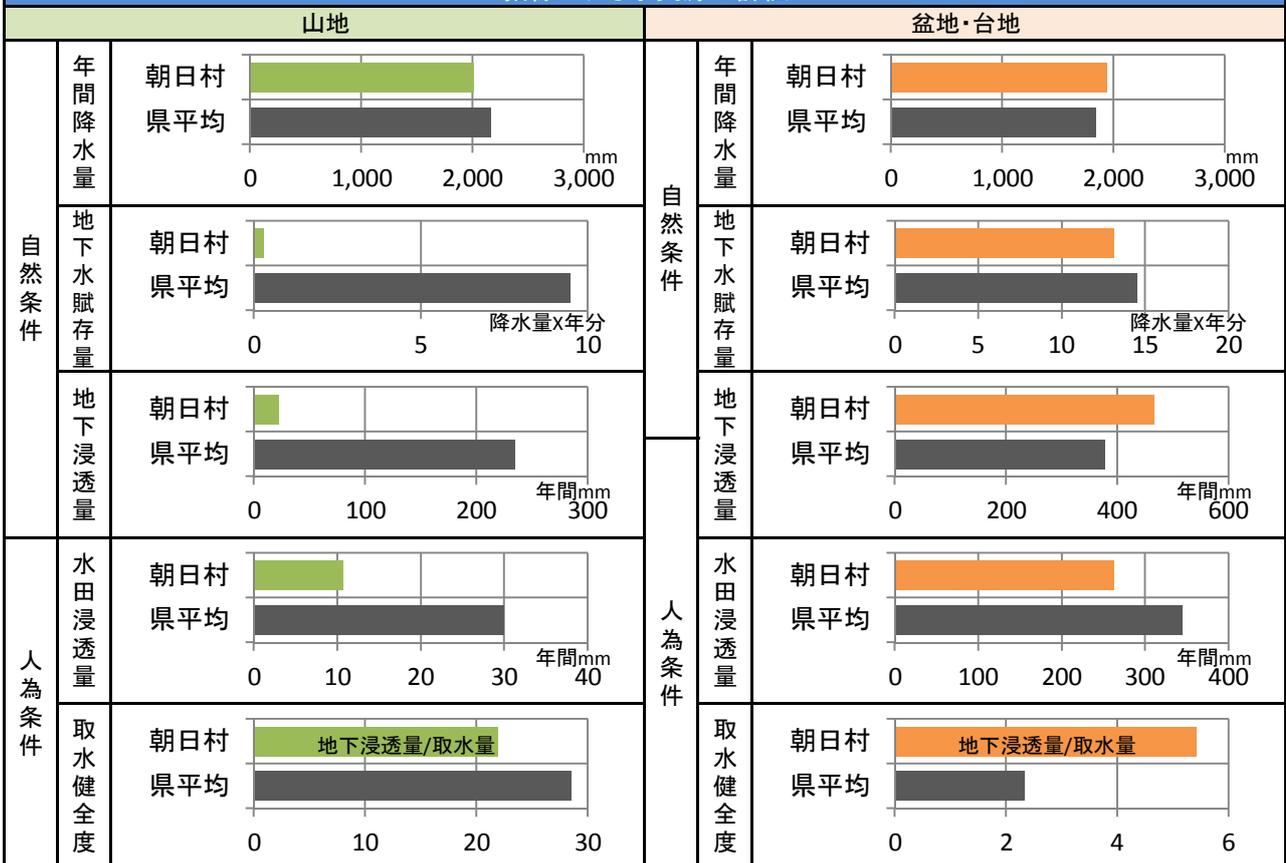
朝日村

| | | | |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | 松本 ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | 【山地】梓川右岸 【盆地・台地】松本盆地 | 指標1.0: 県平均 | 山地は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。盆地・台地は松本盆地に位置するものの縁辺部のため帯水層があまり厚くなく地下水賦存はそれほど多くない。ただし、地下浸透に対する取水がそれほど多くないため、現状では取水リスクは小さい。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



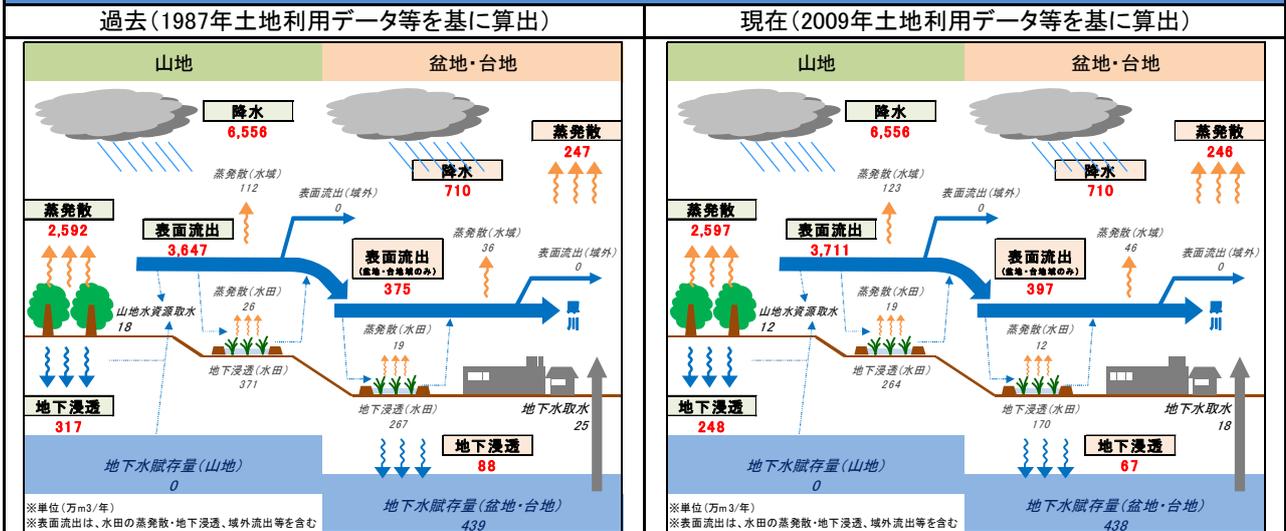
指標による水資源の評価



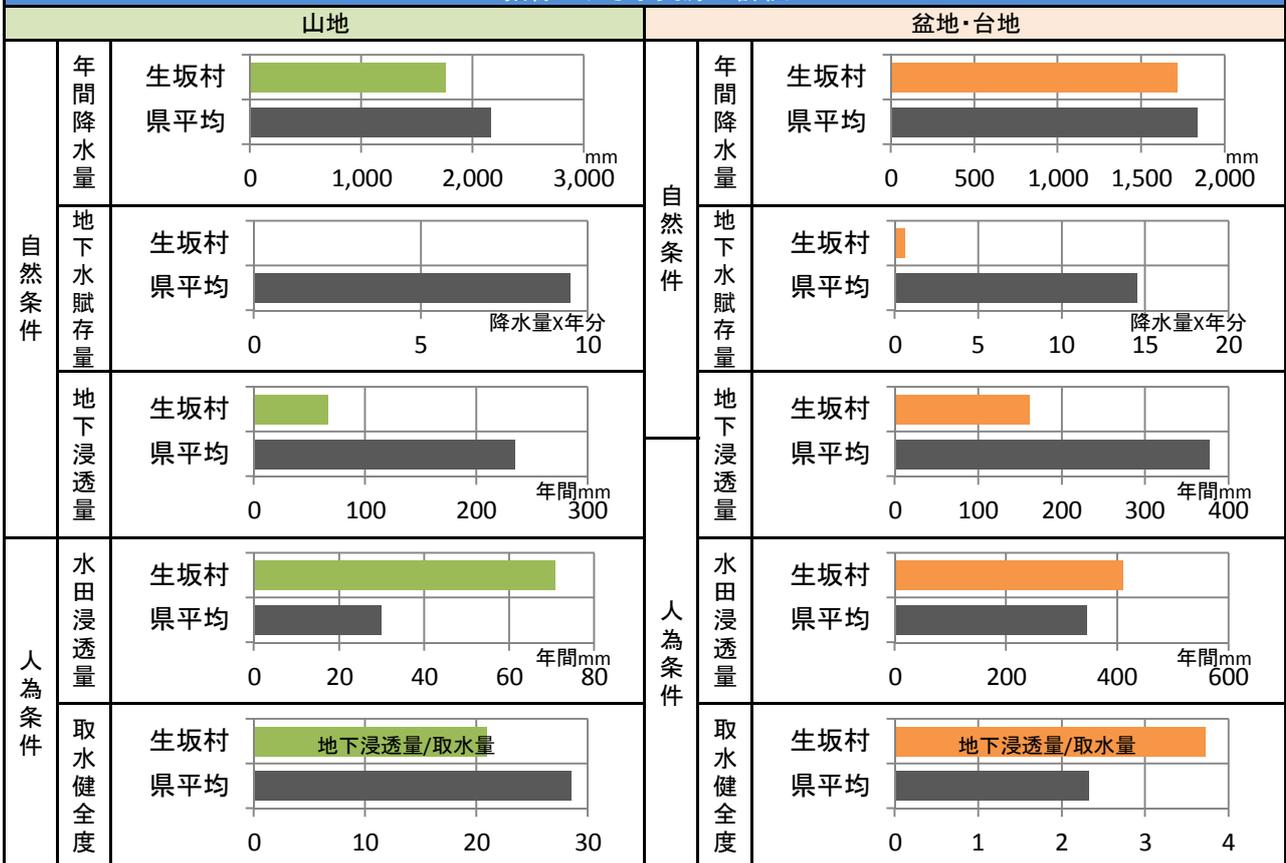
生坂村

| 松本 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|-------------|--|
| 水文区特徴 | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標1.0: 県平均 | 山地は難透水のため地下浸透は少なく地下水賦存はない。ただし、降水の多くは表流水として流下し地域の水資源となっている。現状では盆地・台地の取水が地下浸透に対し小さく(取水健全度が大きく)、地域としての健全性が不安定になる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】犀川右岸 【山地】犀川左岸 【盆地・台地】松本盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



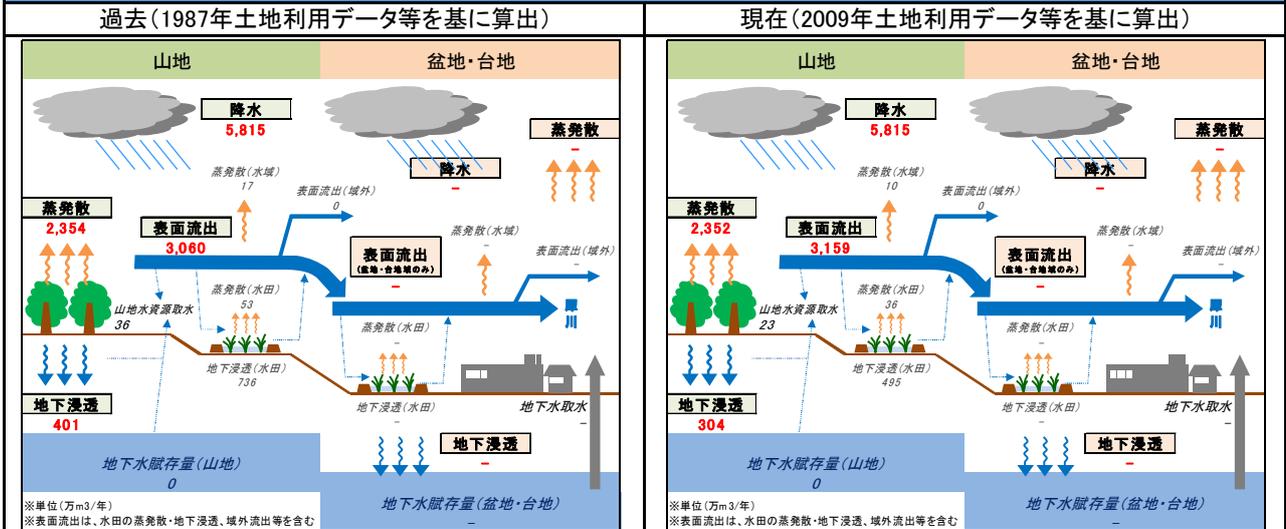
指標による水資源の評価



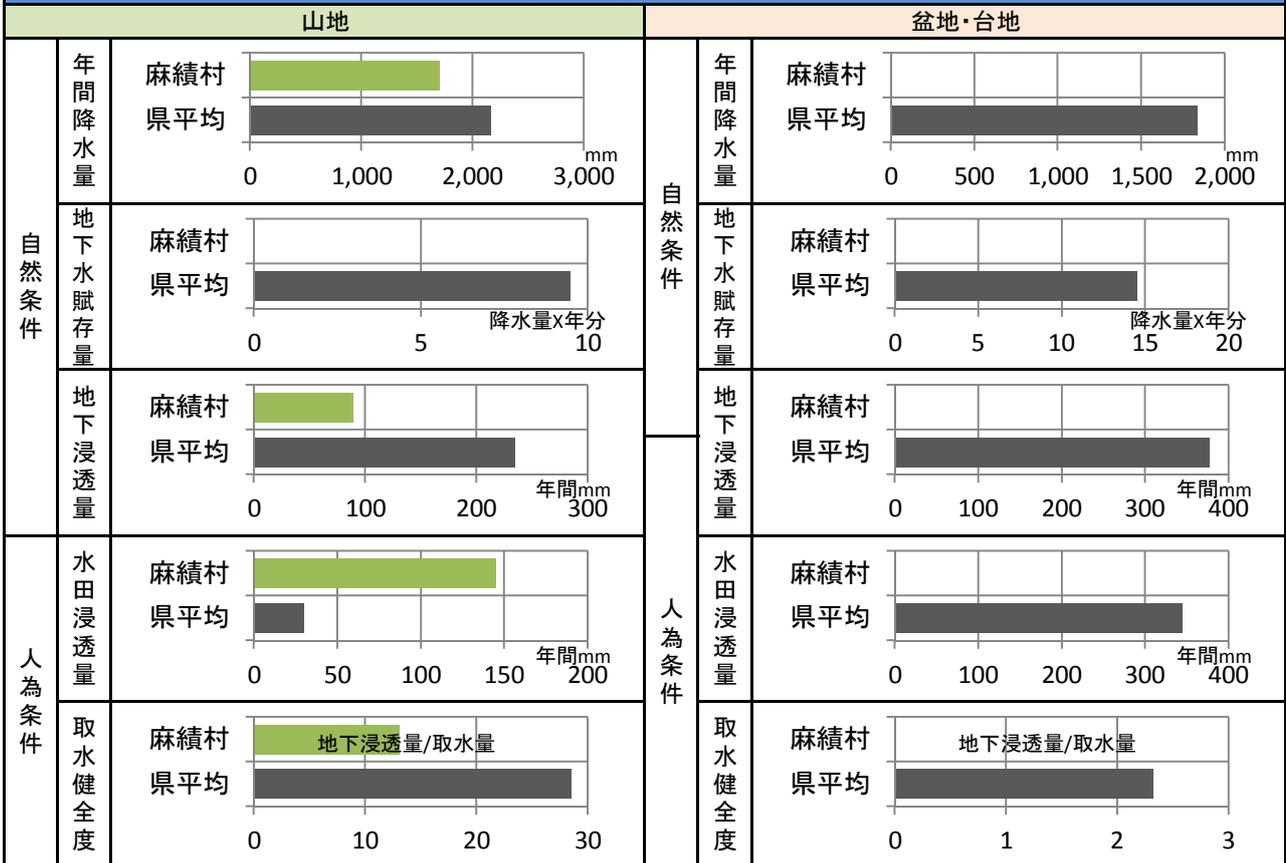
麻績村

| 水文区特徴 | 松本 | |
|-------|---|----|
| | 指標による水資源スコア | 評価 |
| 集利水地域 | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



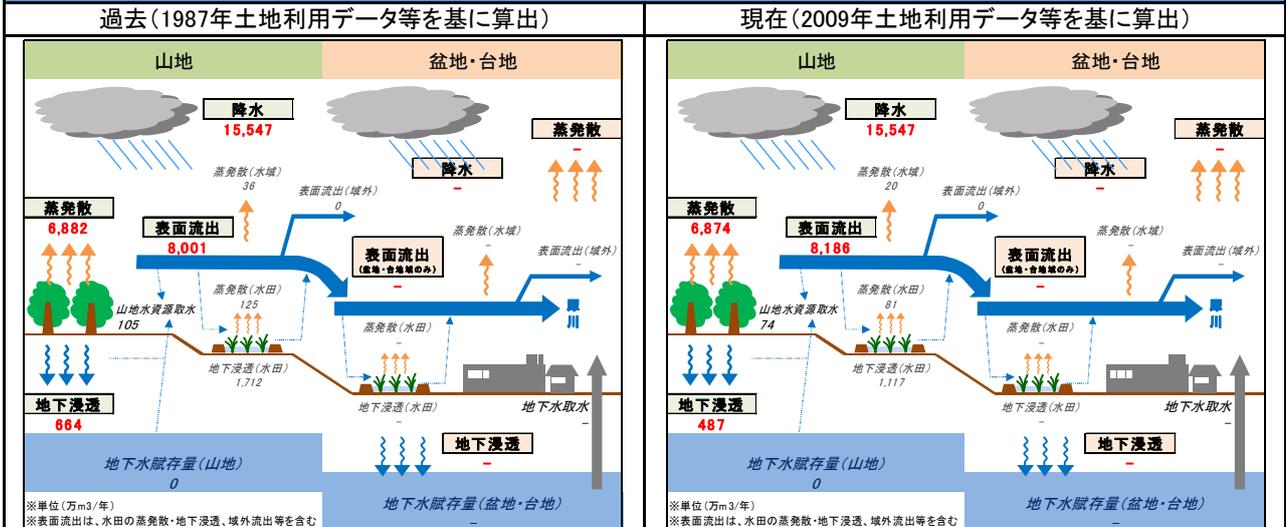
指標による水資源の評価



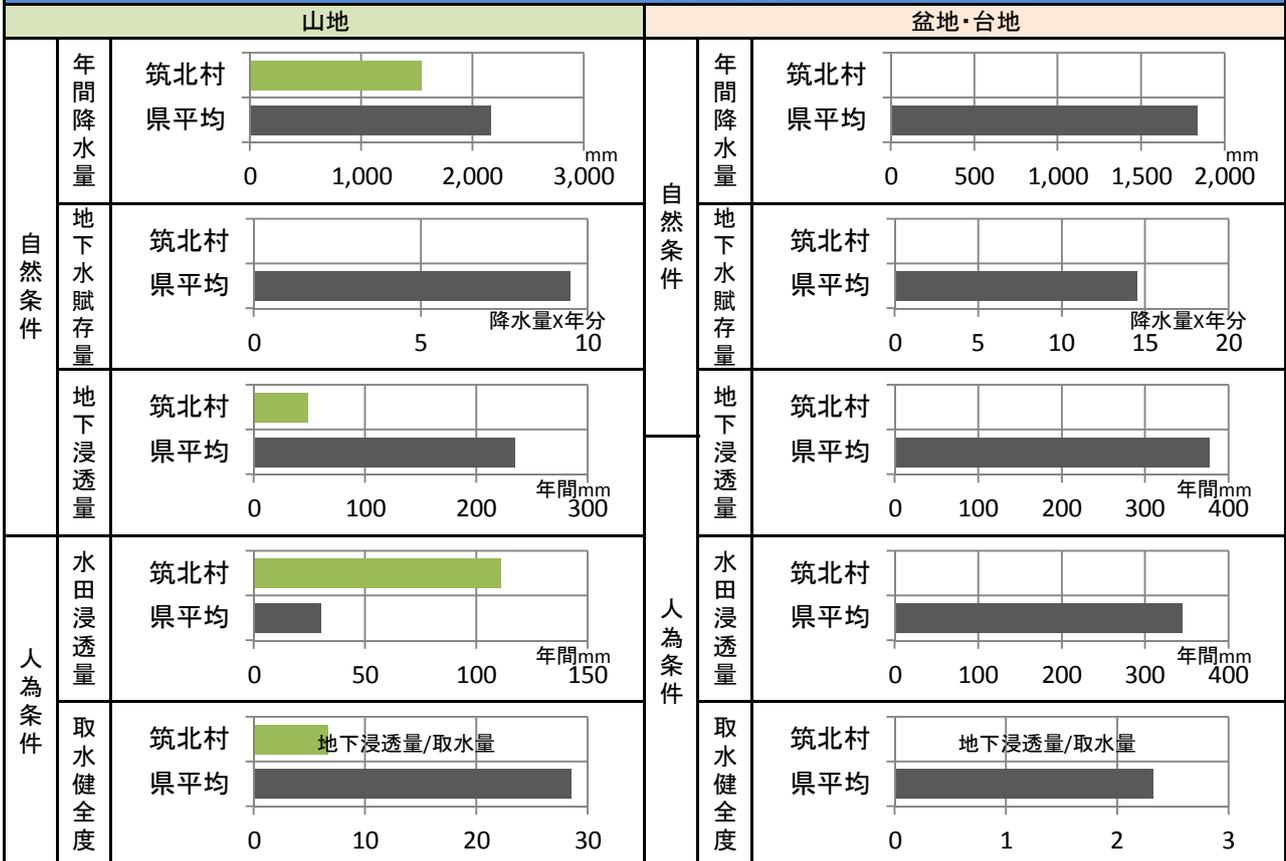
筑北村

| 水文区特徴 | 松本 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|-------------|----|
| | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】犀川右岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



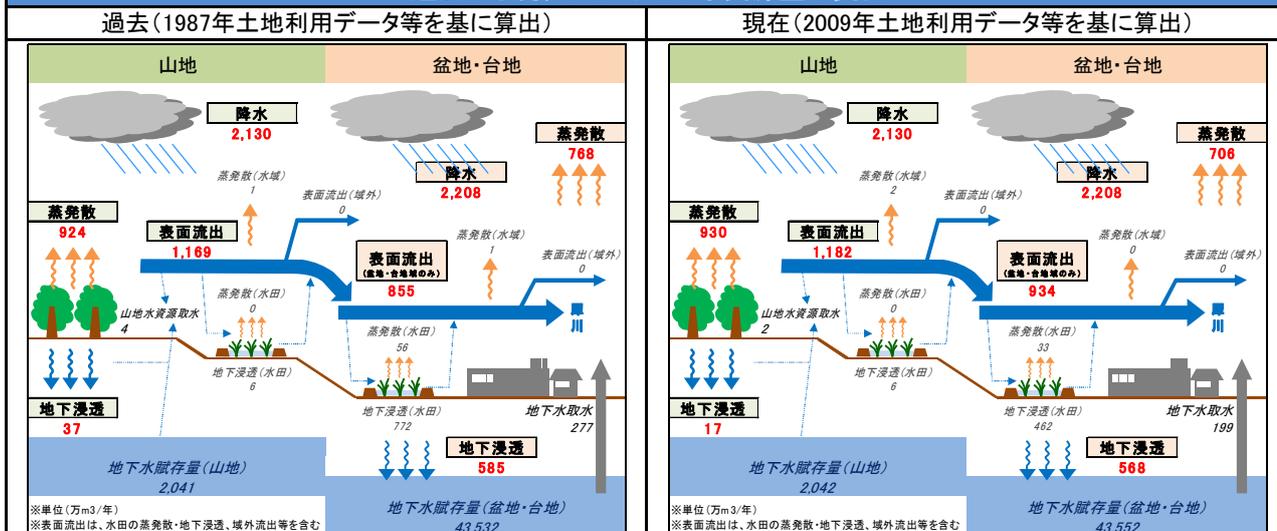
指標による水資源の評価



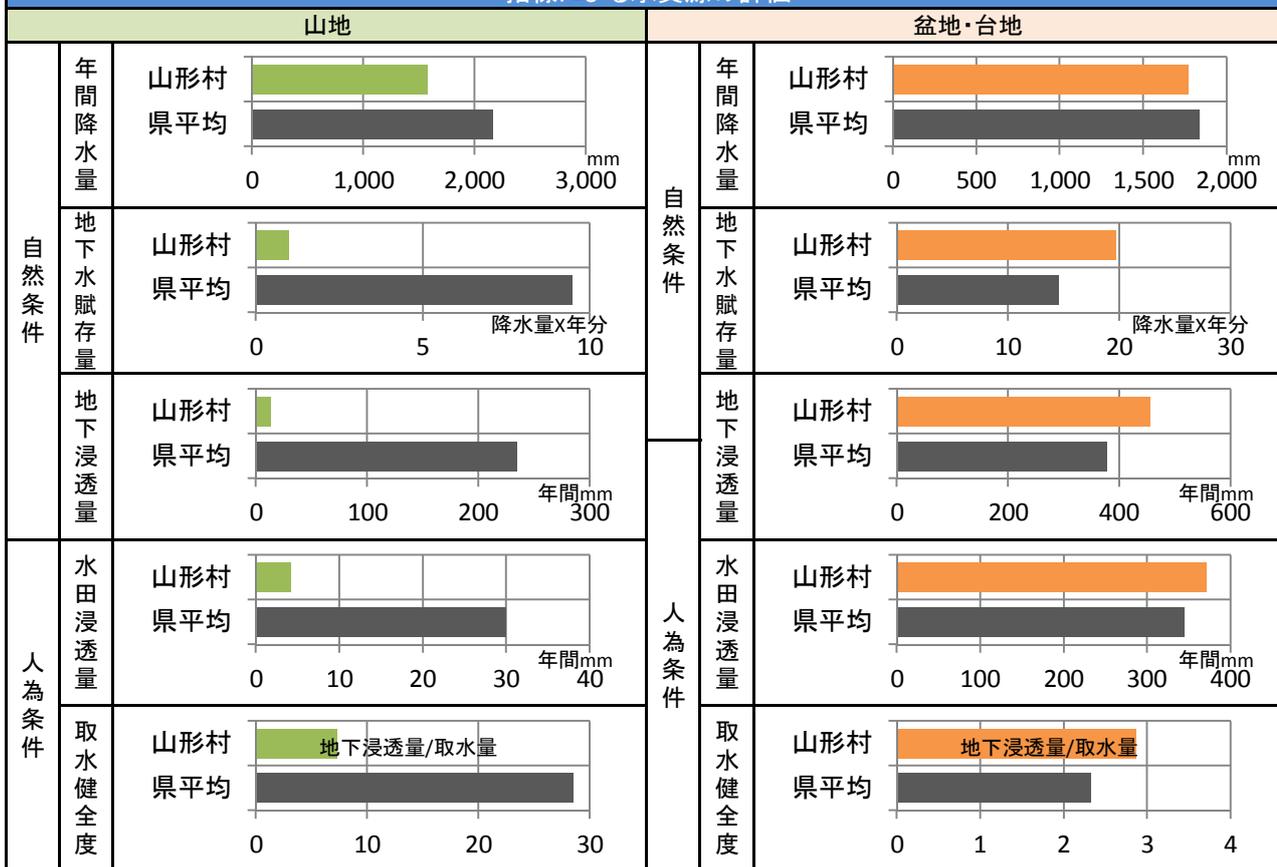
山形村

| | | | |
|-------|--|-------------|---|
| 水文区特徴 | 松本 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○地下水賦存量が多い○水田、河川由来の地下浸透量が多い○地下水取水量が多く、取水量増加の影響が顕在化しやすい○盆地の地下水賦存量の減少は水田面積の減少が主因とされている | | 山地は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。盆地・台地は松本盆地に位置するものの縁辺部のため帯水層があまり厚くなく、県平均は超えるものの地下水賦存はそれほど多くない。地下浸透に対する取水がそれほど多くないため、現状では取水リスクは小さい。 |
| 集利水地域 | 【山地】梓川右岸 【盆地・台地】松本盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



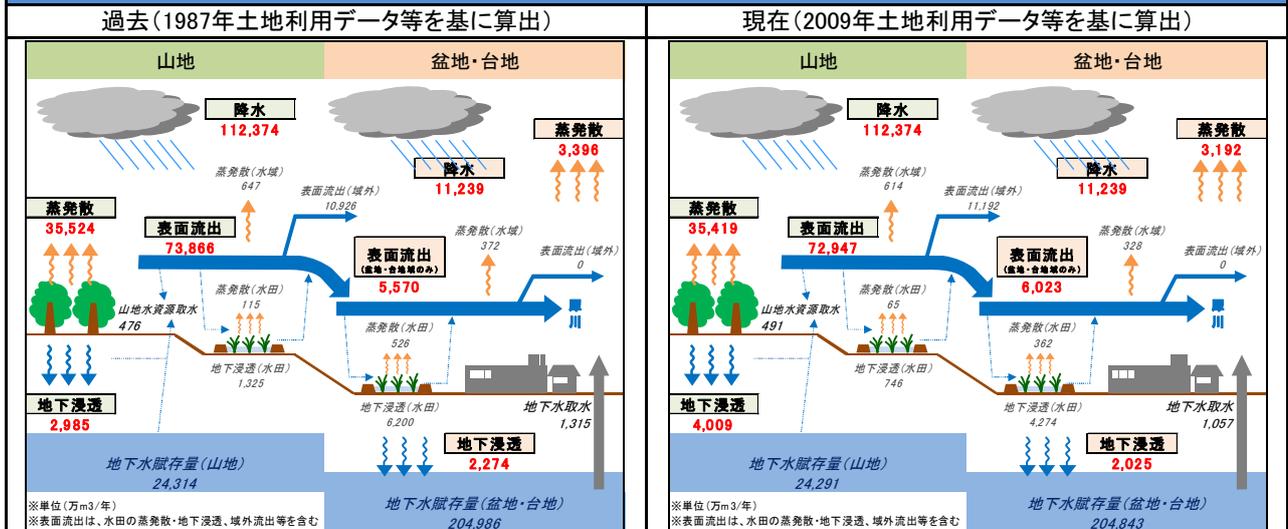
指標による水資源の評価



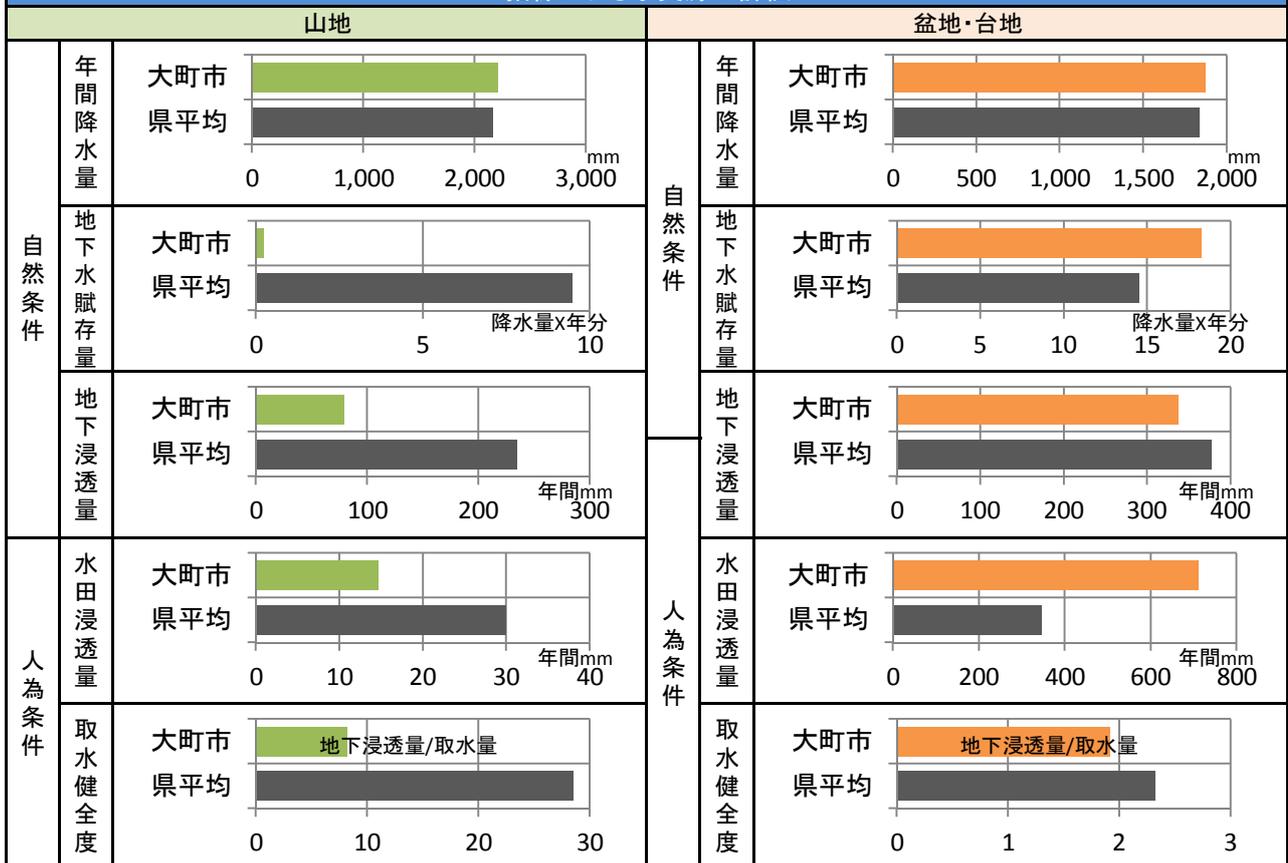
大町市

| 水文区特徴 | 大北 | | 指標による水資源スコア | | 評価 | |
|-------|--|-------------------|-------------|--|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○松本盆地の地下水の供給域 ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | <p>指標1.0: 県平均</p> | | <p>山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。厚い帯水層からなる松本盆地に位置するため、盆地・台地の地下水賦存は県平均よりも多く、特に水田浸透が多い。地下水取水は過去に比べ減少しているが、取水に対する地下浸透は県平均より小さく(取水健全度は小さく)、取水行為の拡大によるリスクに留意する必要がある。また、松本盆地の上流域に位置する行政として盆地全体の水収支バランスを念頭に水資源保全に取り組んでいく必要がある。</p> | | |
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> 【山地】高瀬川右岸 【山地】高瀬川左岸 【山地】域外流出(長野、松本) 【盆地・台地】松本盆地 | | | | | |
| スコア見方 | <ul style="list-style-type: none"> ※県平均を1.0として、値が大きいかほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



指標による水資源の評価



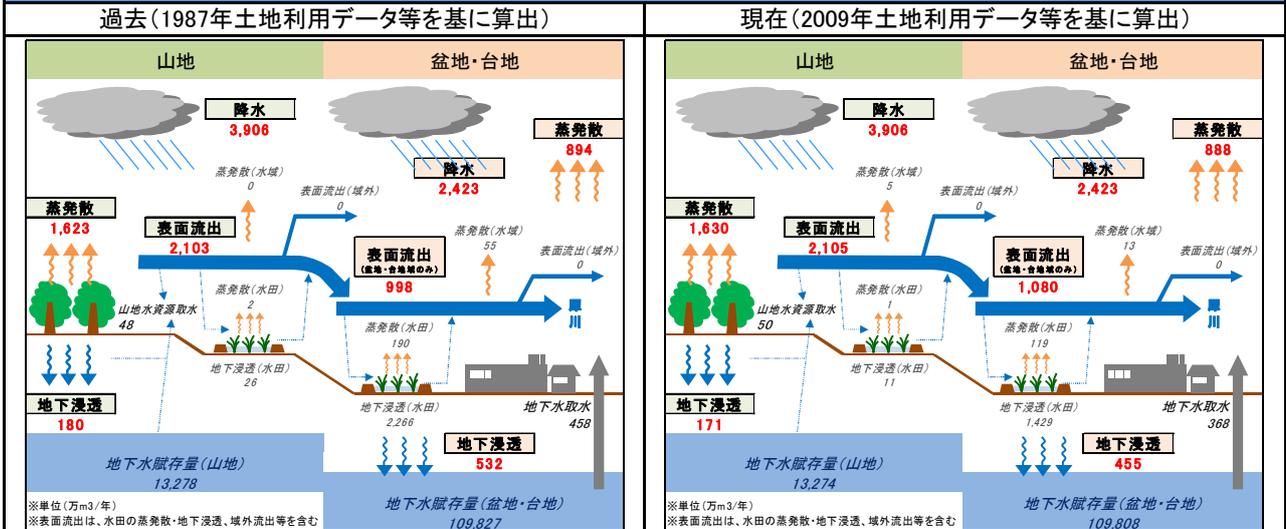
池田町

| 水文区特徴 | 大北 | |
|-------|------------------------------------|-------------|
| | ○松本盆地の地下水の供給域 ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標による水資源スコア |

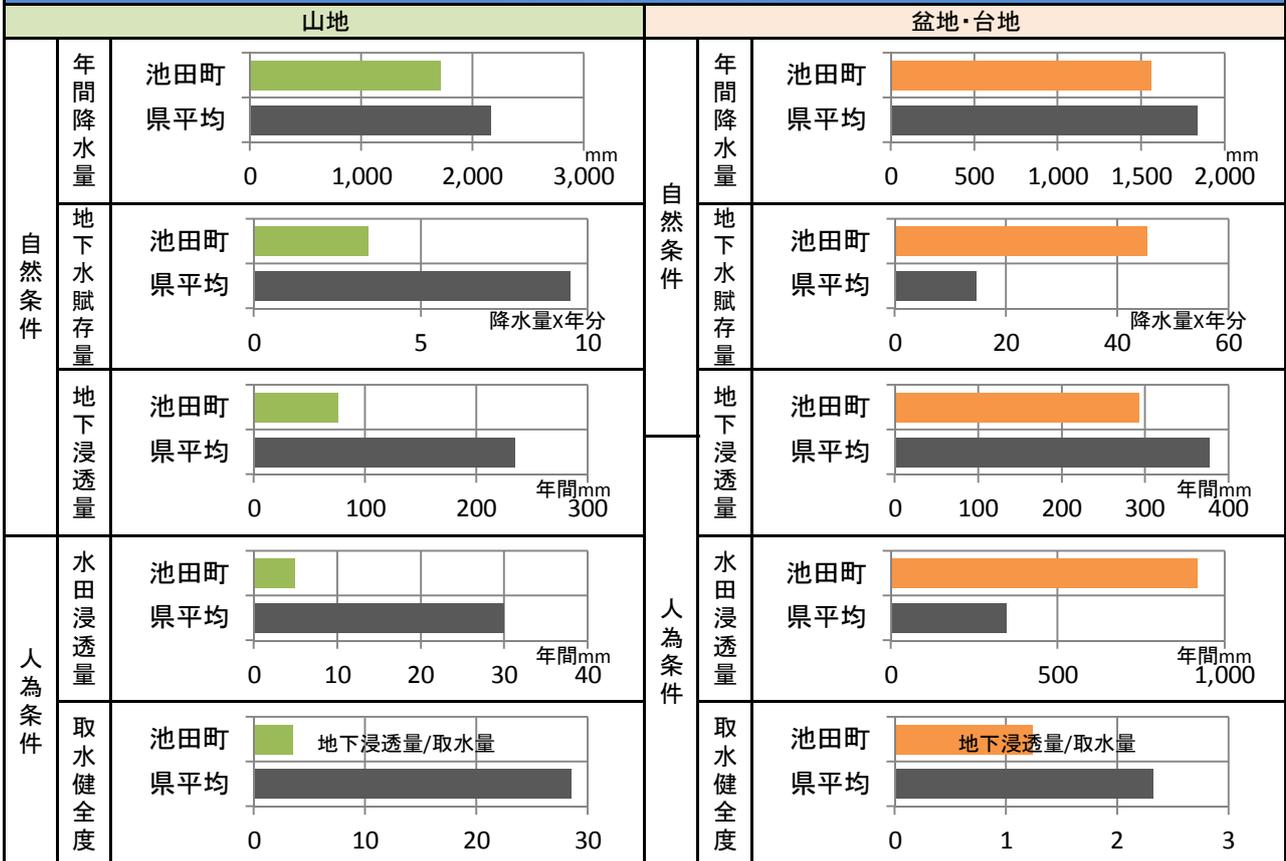
指標1.0: 県平均

山地は難透水のため地下水賦存、地下水浸透ともに少ない。盆地・台地は厚い帯水層からなる松本盆地に位置し県他地域に比べて地下水賦存が非常に多い。また水田耕作が盛んで水田浸透も多い。一方、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度は小さい)。実質は水田浸透による地下水転化が図られるものの、取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、松本盆地全体の水収支バランスを念頭に水資源保全に取り組んでいく必要がある。

過去から現在にかけての水資源量の変化



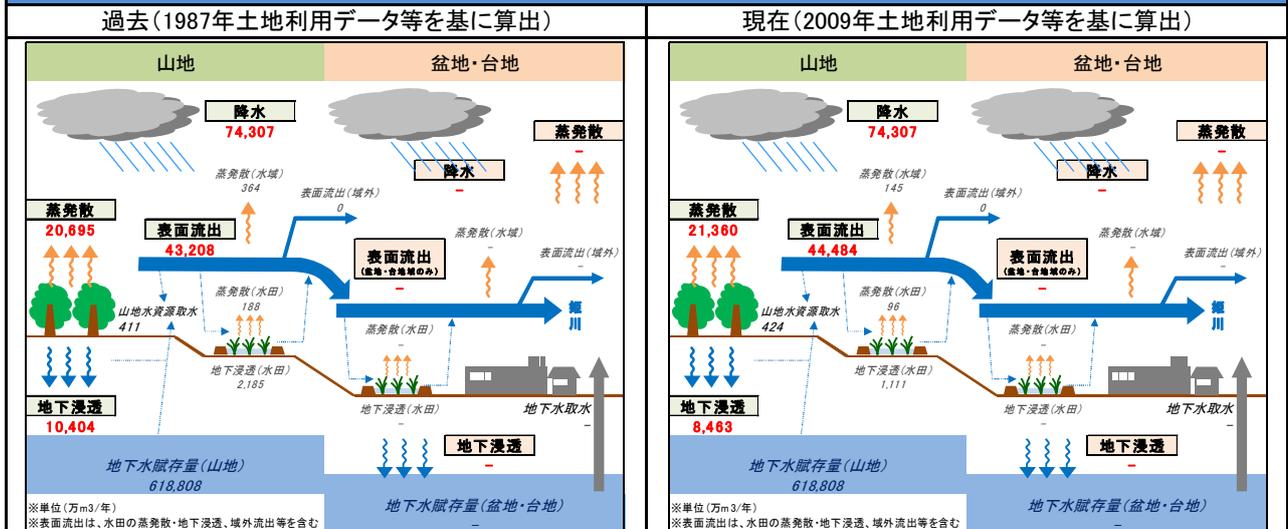
指標による水資源の評価



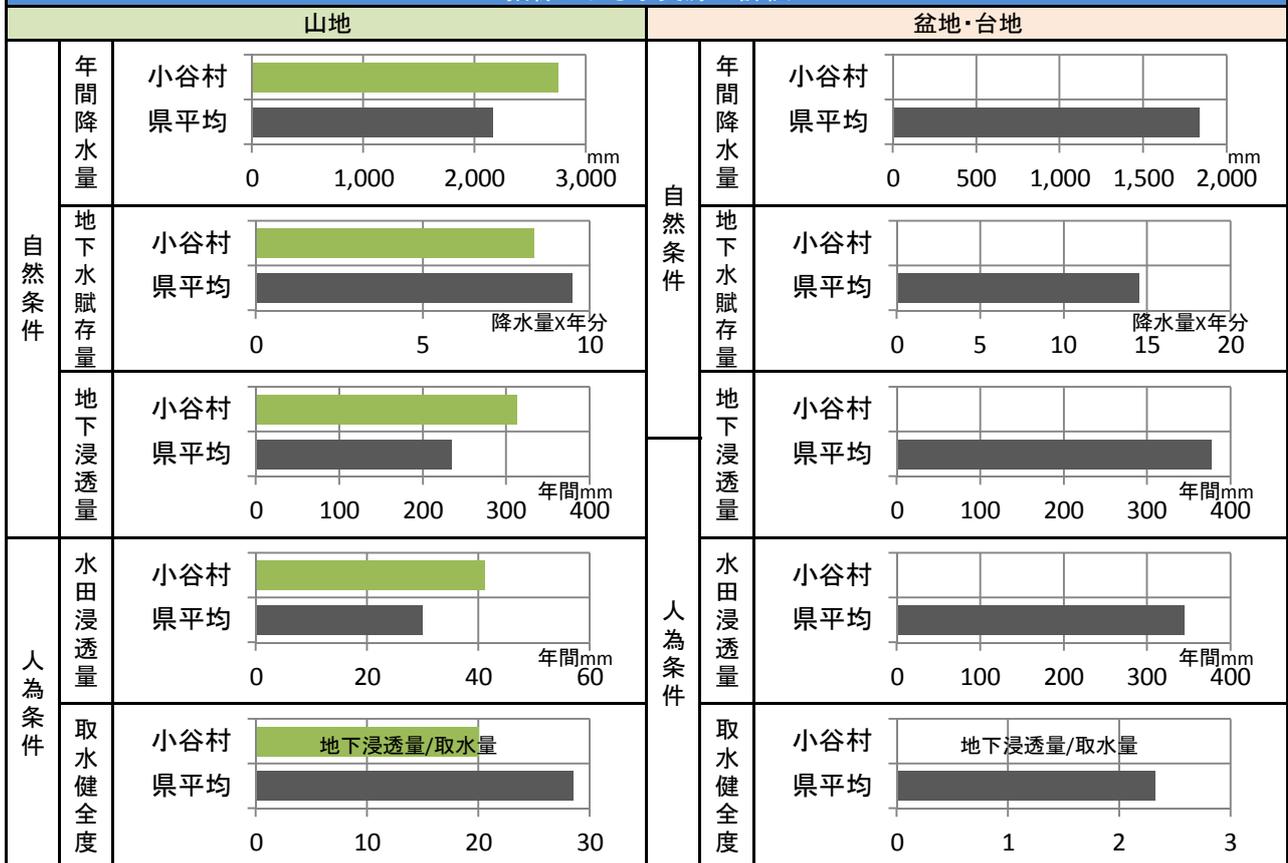
小谷村

| | | | |
|-------|---|----------------|---|
| 水文区特徴 | 大北 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○地下水資源は主に白馬盆地に賦存 ○少雨や水田減少の影響を受けにくい | 指標1.0: 県平均 | 森林の占有面積が大きいのが、一部に火山体が分布し、県平均と比べると地下水浸透、水田浸透が多い。山地での取水は県平均に比べると多いものの降水量が多く、これが表流水として常時流下・浸透しており地域の水資源となっているため、水不足にはなりにくい。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| 集利水地域 | 【山地】姫川右岸 【山地】姫川左岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



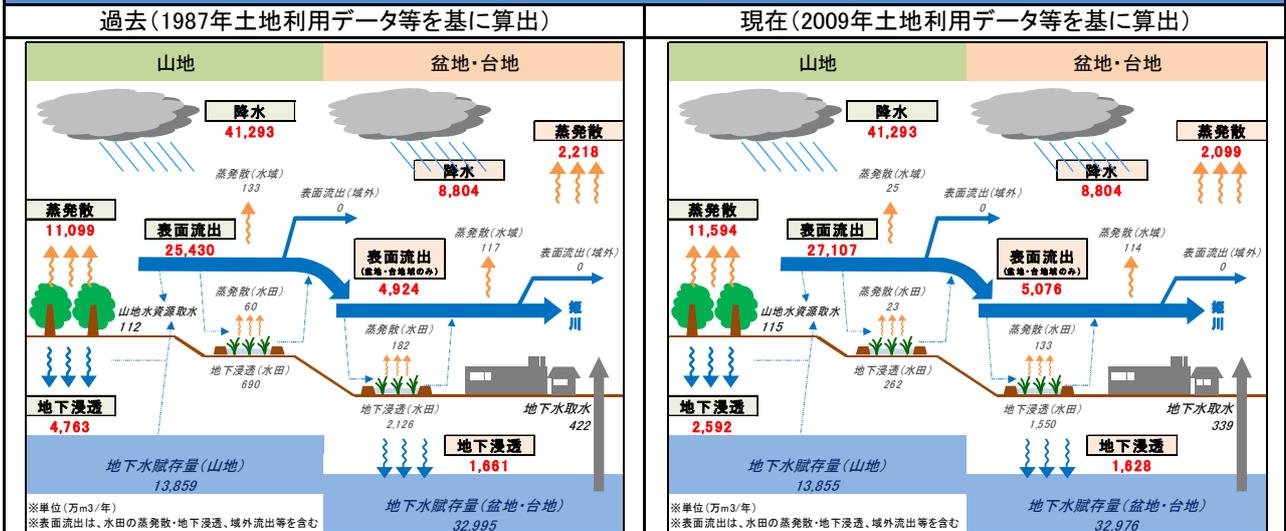
指標による水資源の評価



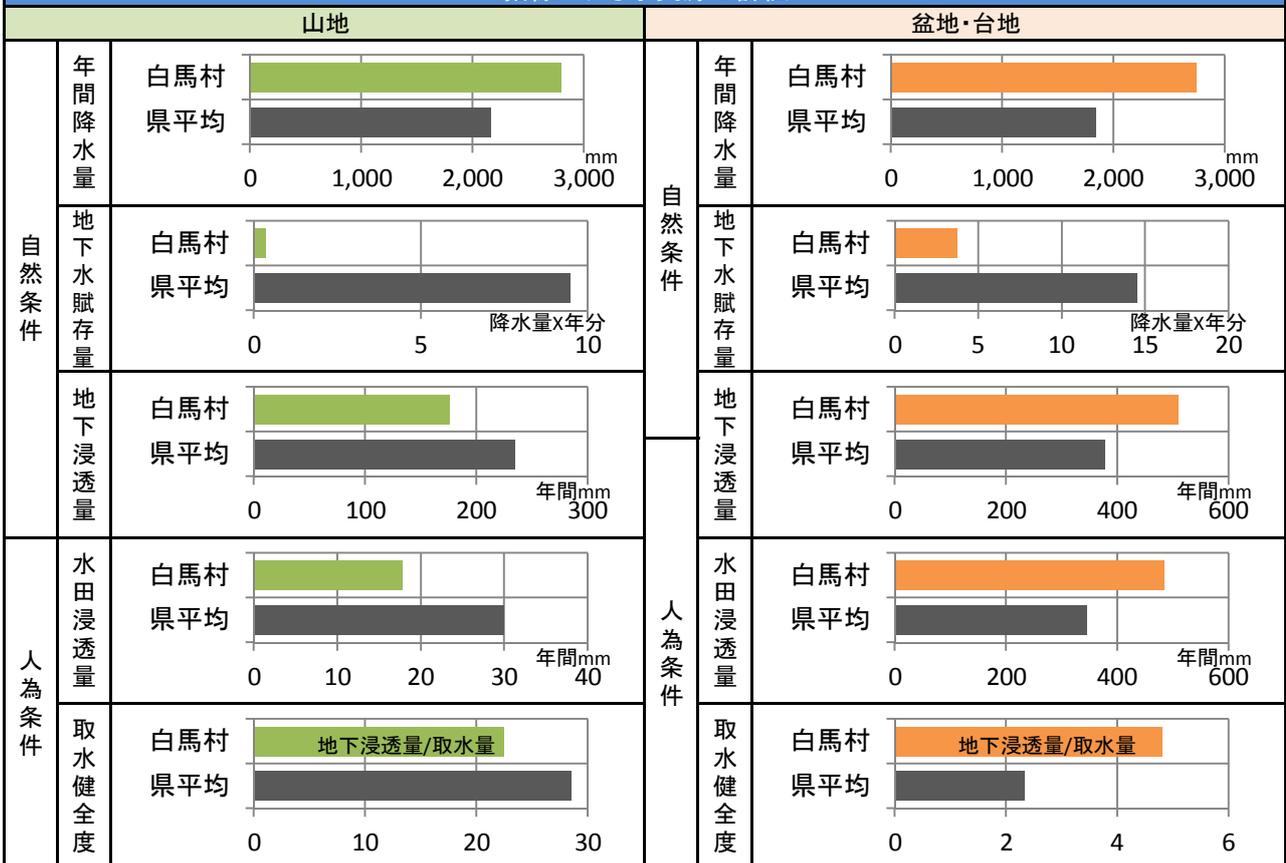
白馬村

| 水文区特徴 | 大北 | | | |
|-------|--|-------------|----|---|
| | ○地下水資源は主に白馬盆地に賦存 ○少雨や水田減少の影響を受けにくい | 指標による水資源スコア | 評価 | |
| 集利水地域 | 【山地】姫川右岸 【山地】姫川左岸 【盆地・台地】白馬盆地 | 指標1.0: 県平均 | | 山地の基盤は難透水のため地下浸透、地下水賦存とも少ない。盆地・台地の地下水賦存は県域に比べて少ないが、地下浸透、水田浸透はともに多い。現時点では取水に対する浸透の比率は大きく(取水健全度は大きく)、水不足等のリスクは少ない。地域の水資源を育む水源林の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



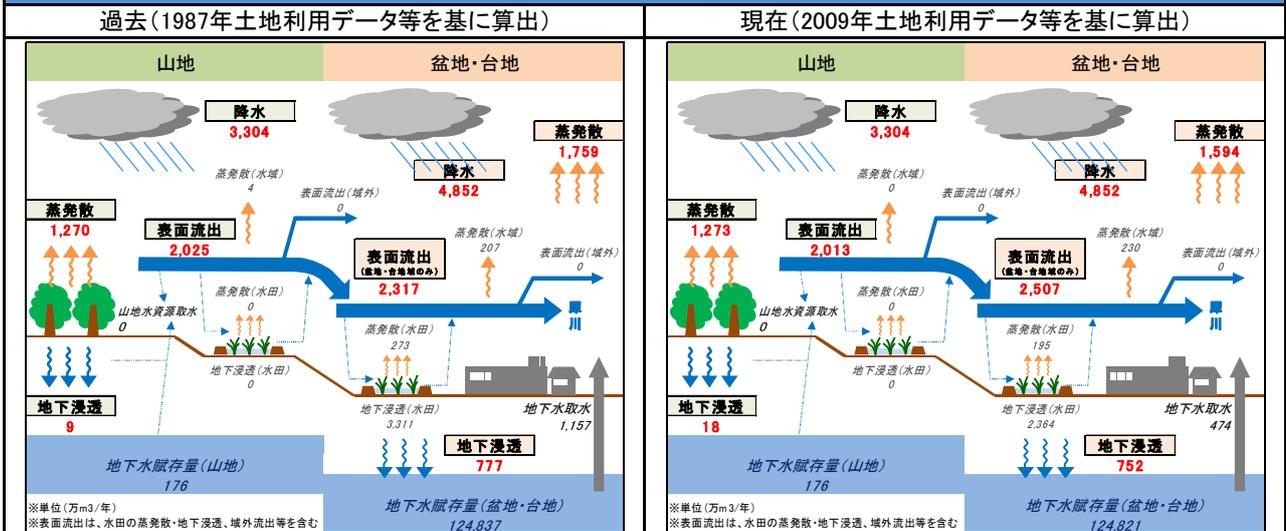
指標による水資源の評価



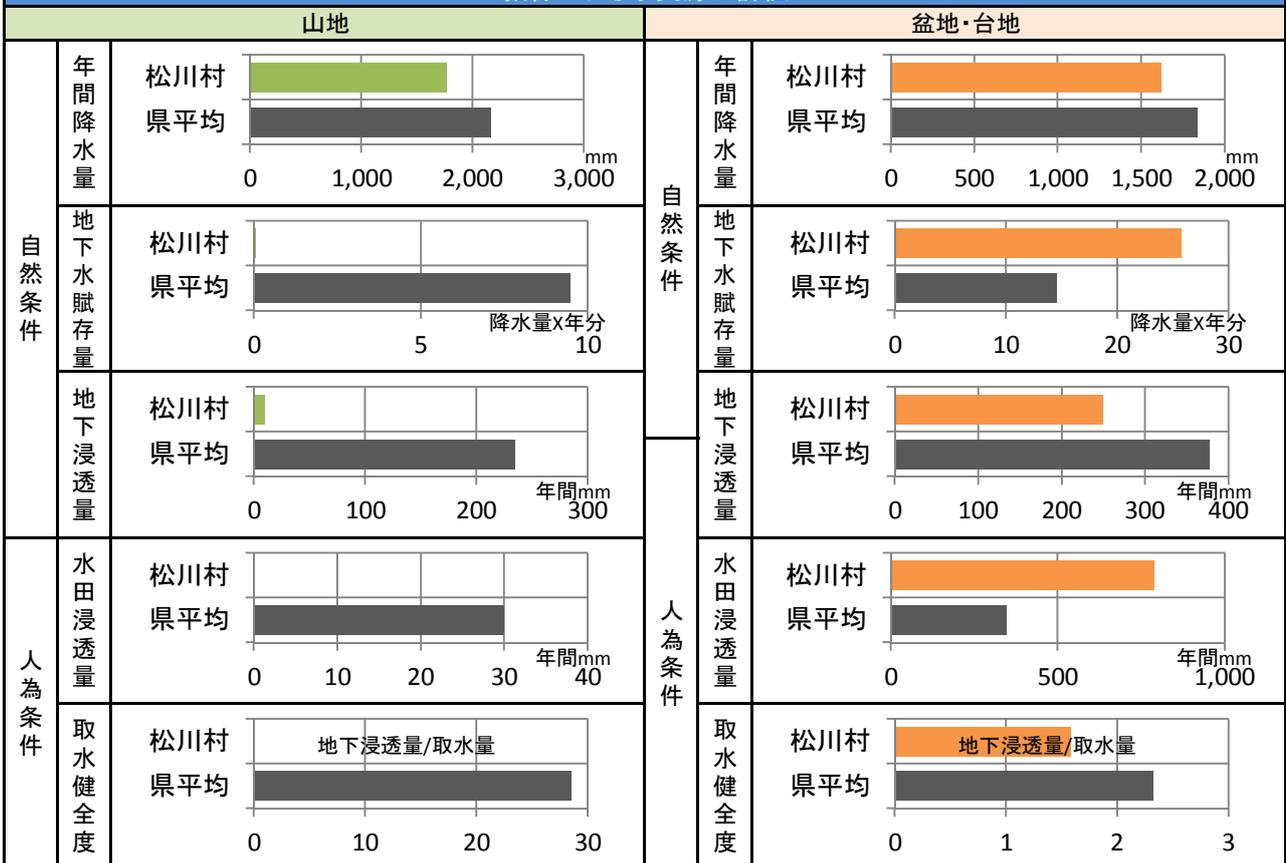
松川村

| 水文区特徴 | 大北 | | |
|---|---|-------------|--|
| | ○松本盆地の地下水の供給域 ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標による水資源スコア | |
| 集利水地域 | 【山地】高瀬川右岸 【盆地・台地】松本盆地 | 指標1.0: 県平均 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |
| <p>山地は難透水のため地下水賦存はなく地下水浸透も少ない。盆地・台地は厚い帯水層からなる松本盆地に位置し県他地域に比べて地下水賦存が非常に多い。また水田耕作が盛んで水田浸透も多い。一方、取水に対する地下浸透が小さい(取水健全度は小さい)。実質は水田浸透による地下水転化が図られるものの、取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。また、松本盆地全体の水収支バランスを念頭に水資源保全に取り組んでいく必要がある。</p> | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



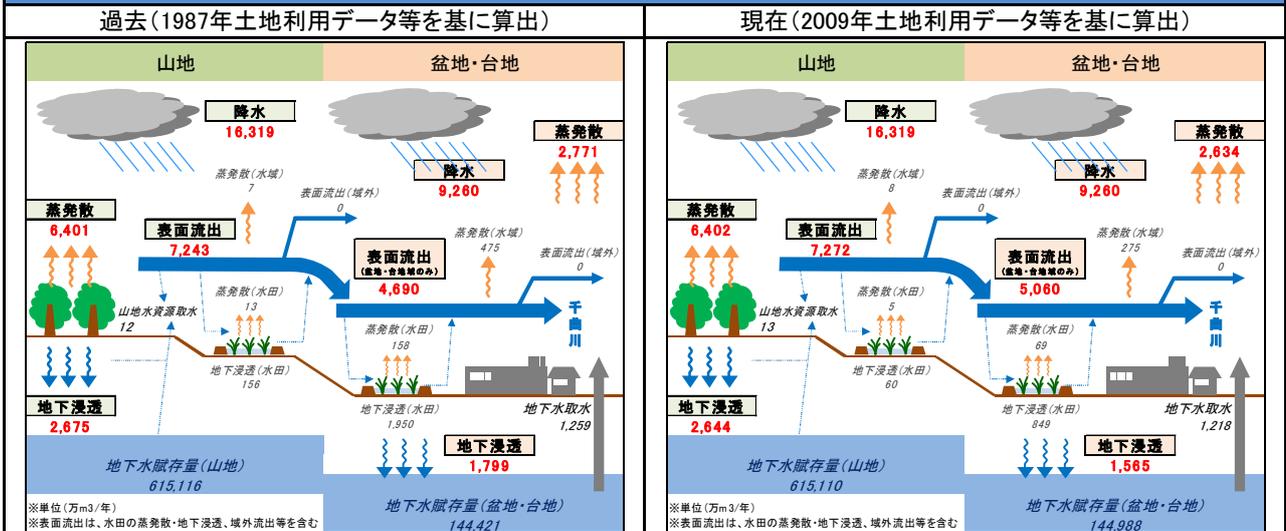
指標による水資源の評価



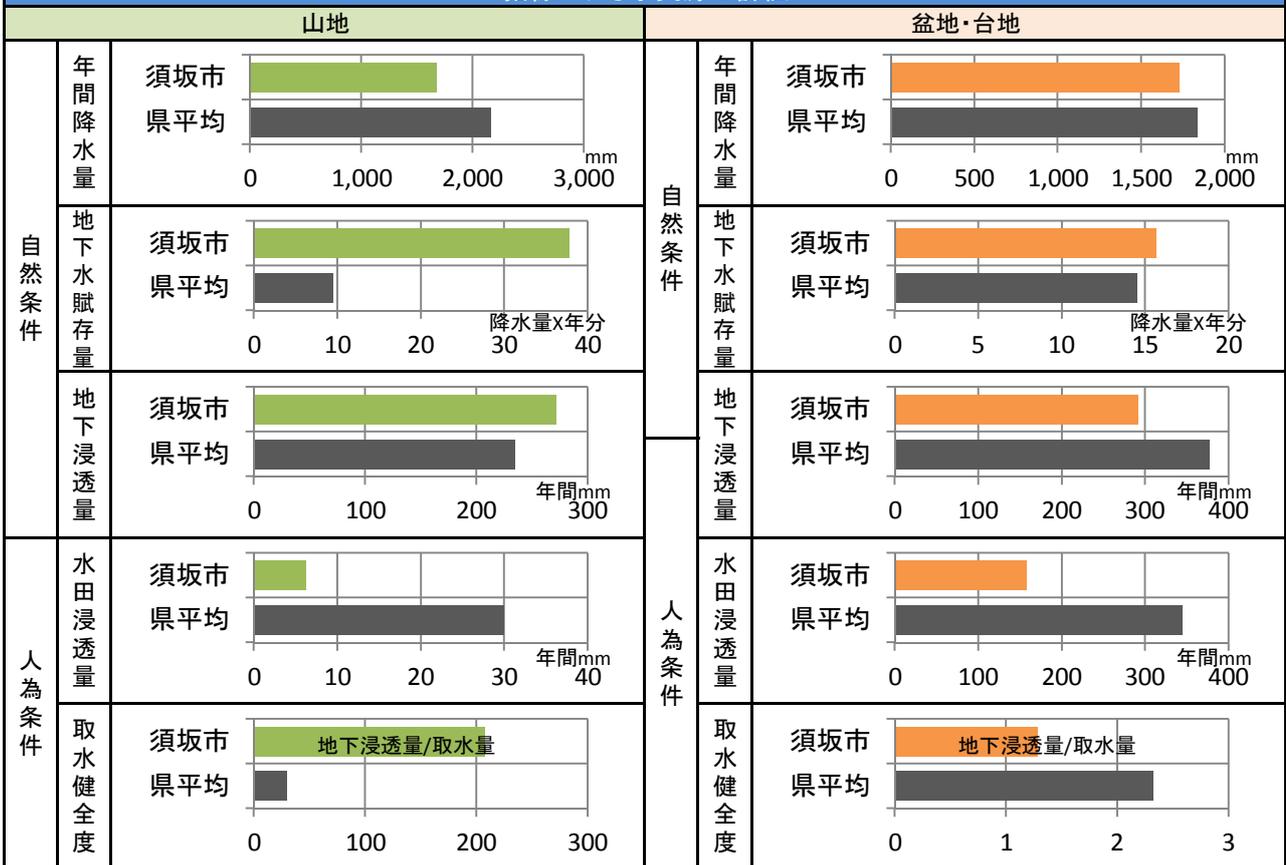
須坂市

| | | | |
|-------|---|-------------------|----|
| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | <p>指標1.0: 県平均</p> | |
| 集利水地域 | <p>【山地】千曲川右岸 【盆地・台地】長野盆地</p> | | |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいかほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



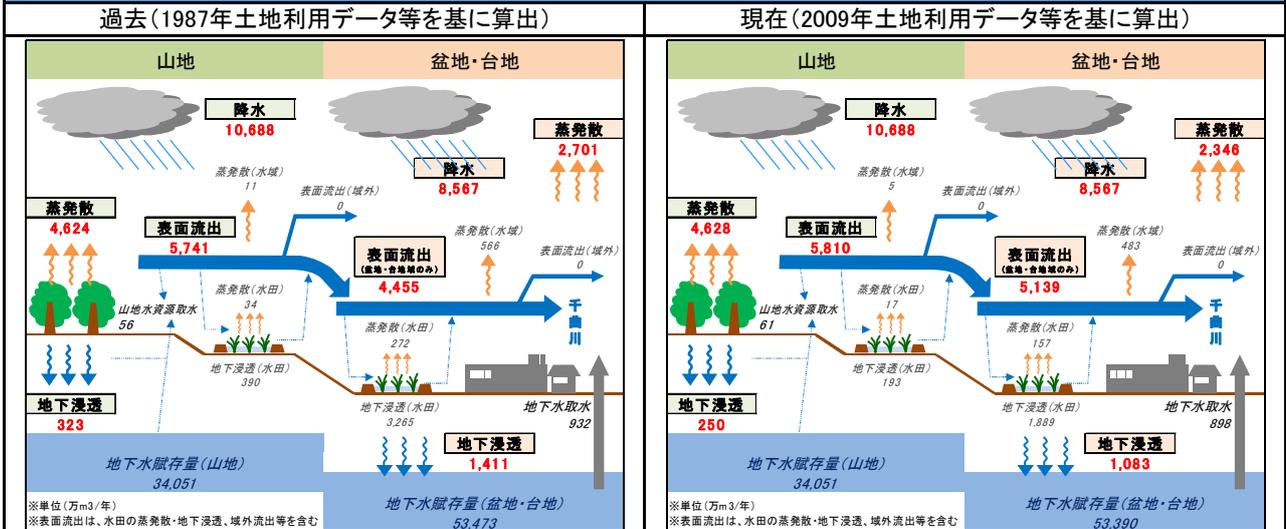
指標による水資源の評価



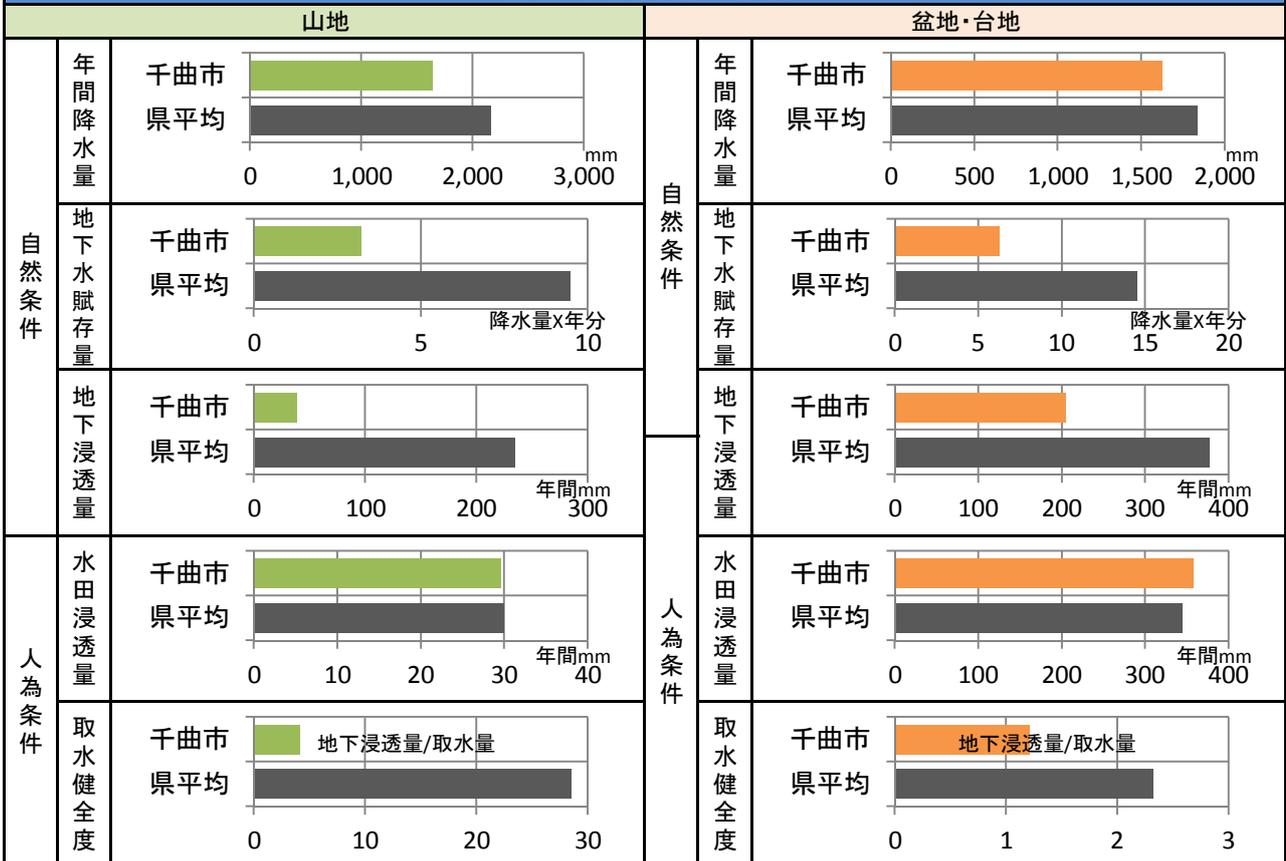
千曲市

| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|-------------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | <p>指標1.0: 県平均</p> | <p>山地の基盤は難透水のため地下水賦存、地下浸透ともに少ない。盆地・台地も県平均に比べ下回るスコアが多い。千曲川の近傍は水位が固定されるため取水による地下水障害は生じにくい。取水による局所的な地下水障害に留意しつつ、地域としての水収支バランスを図る必要がある。</p> |
| 集利水地域 | <p>【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】長野盆地</p> | | |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



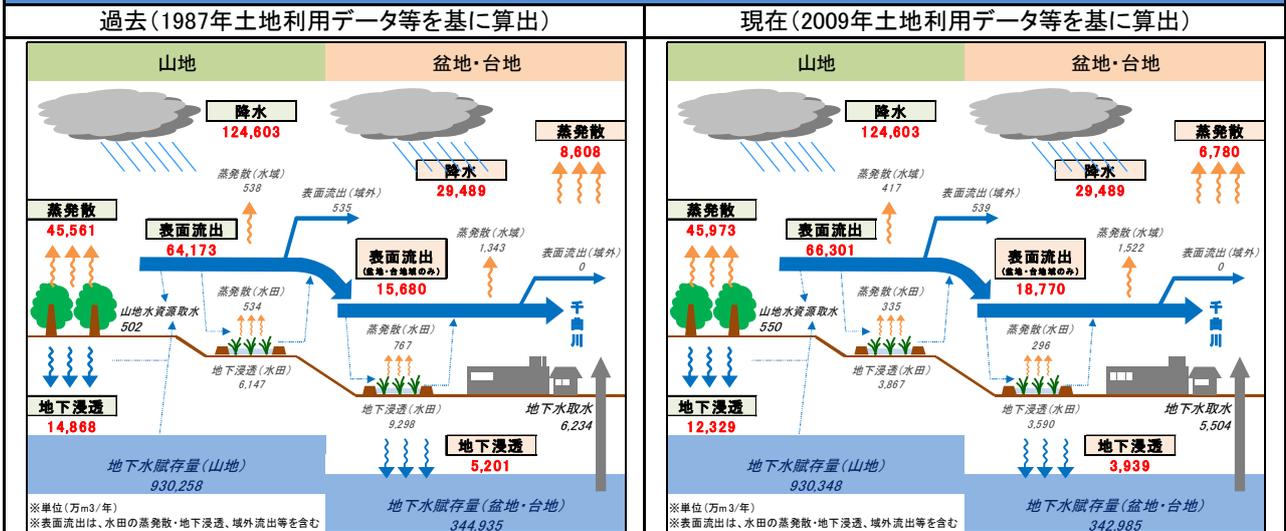
指標による水資源の評価



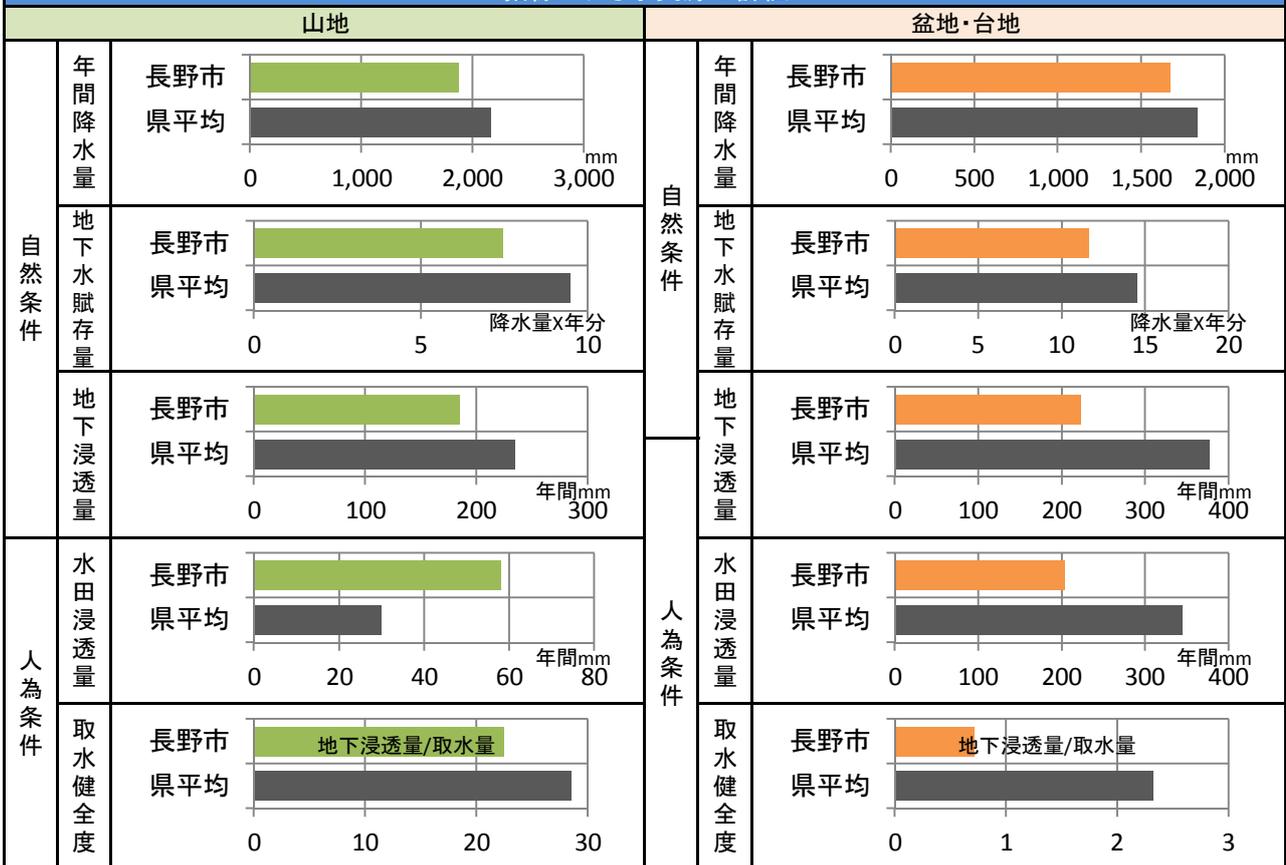
長野市

| 長野 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 山地および盆地・台地とも地下水賦存、地下水浸透は県平均に比べて少ない。特に盆地・台地（長野盆地）は市街化により水田浸透も急激に減少している。地下水取水は過去に比べ減少しているが、取水に対する地下浸透は県平均より小さく（取水健全度は小さく）、取水行為の拡大による地下水障害リスクに留意する必要がある。山間地では水資源を育む水源林の適切な管理も重要となる。 |
| | 【山地】千曲川右岸・左岸 【山地】犀川右岸・左岸 【山地】域外流出（新潟県：関川） 【盆地・台地】長野盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



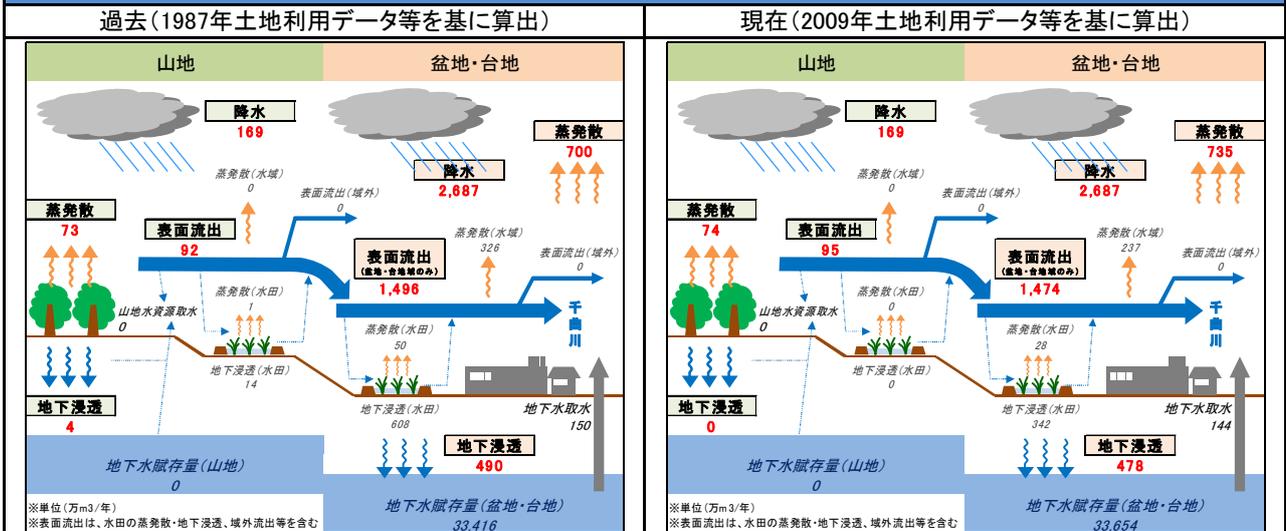
指標による水資源の評価



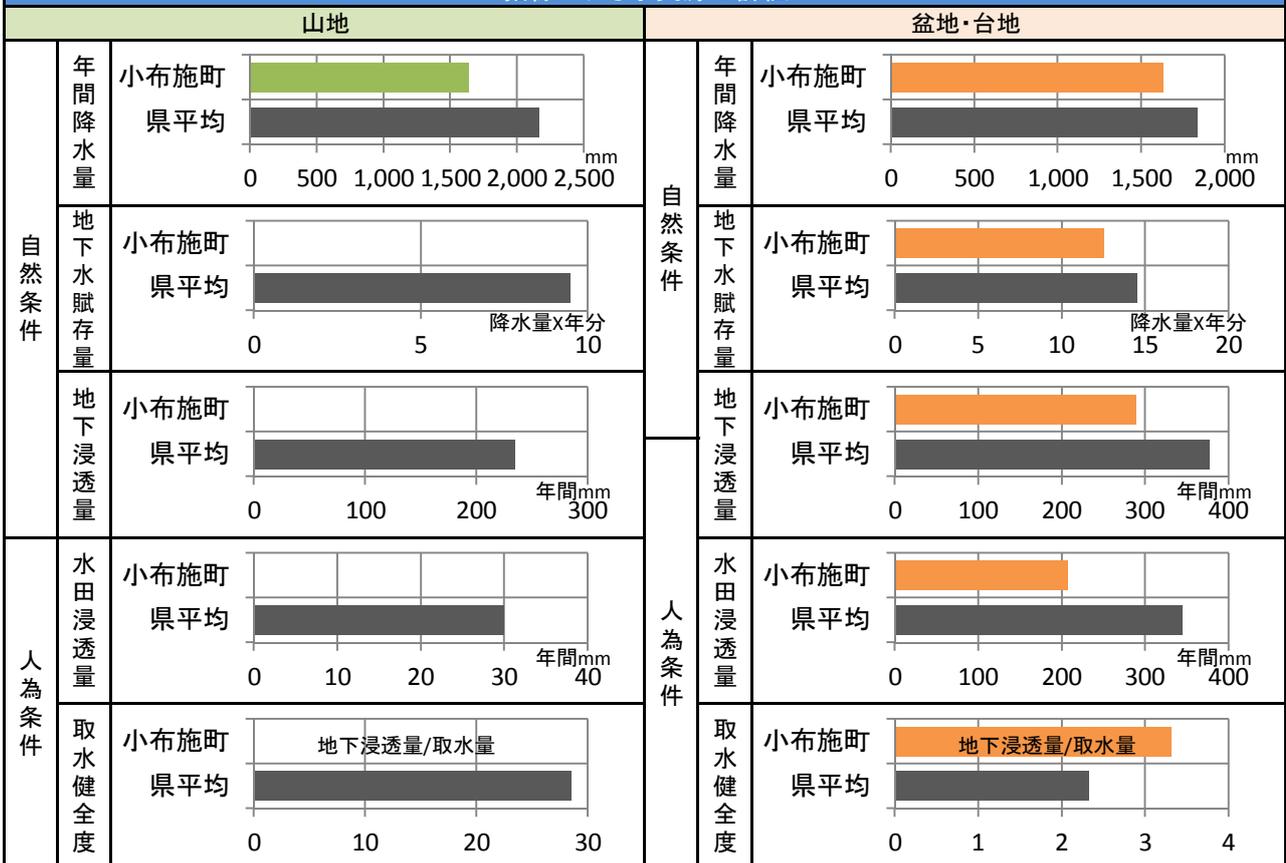
小布施町

| | | | |
|-------|--|-------------|----|
| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川右岸 【盆地・台地】長野盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



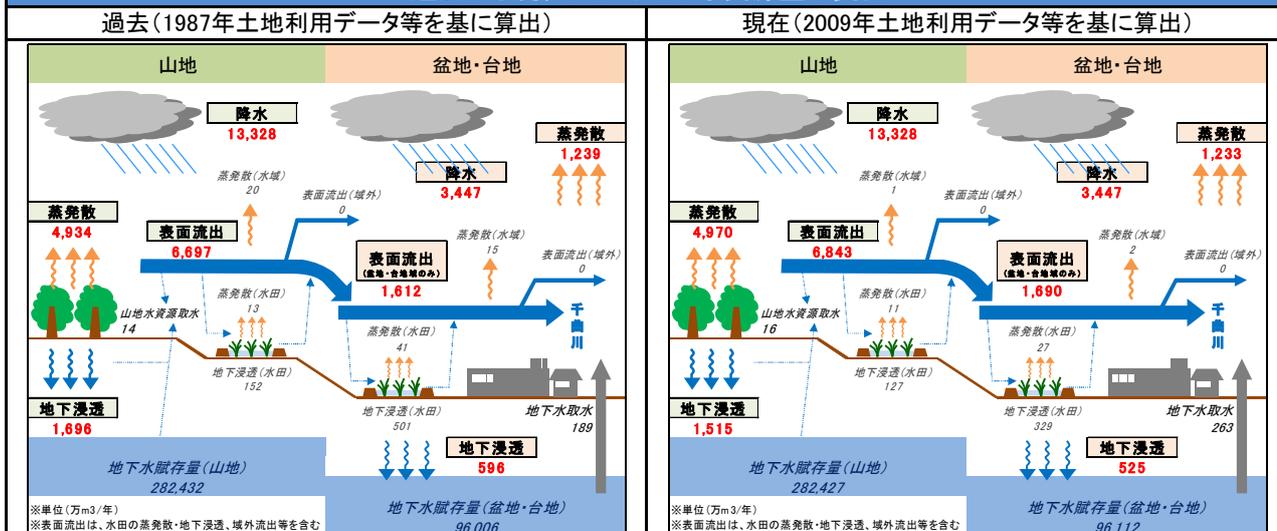
指標による水資源の評価



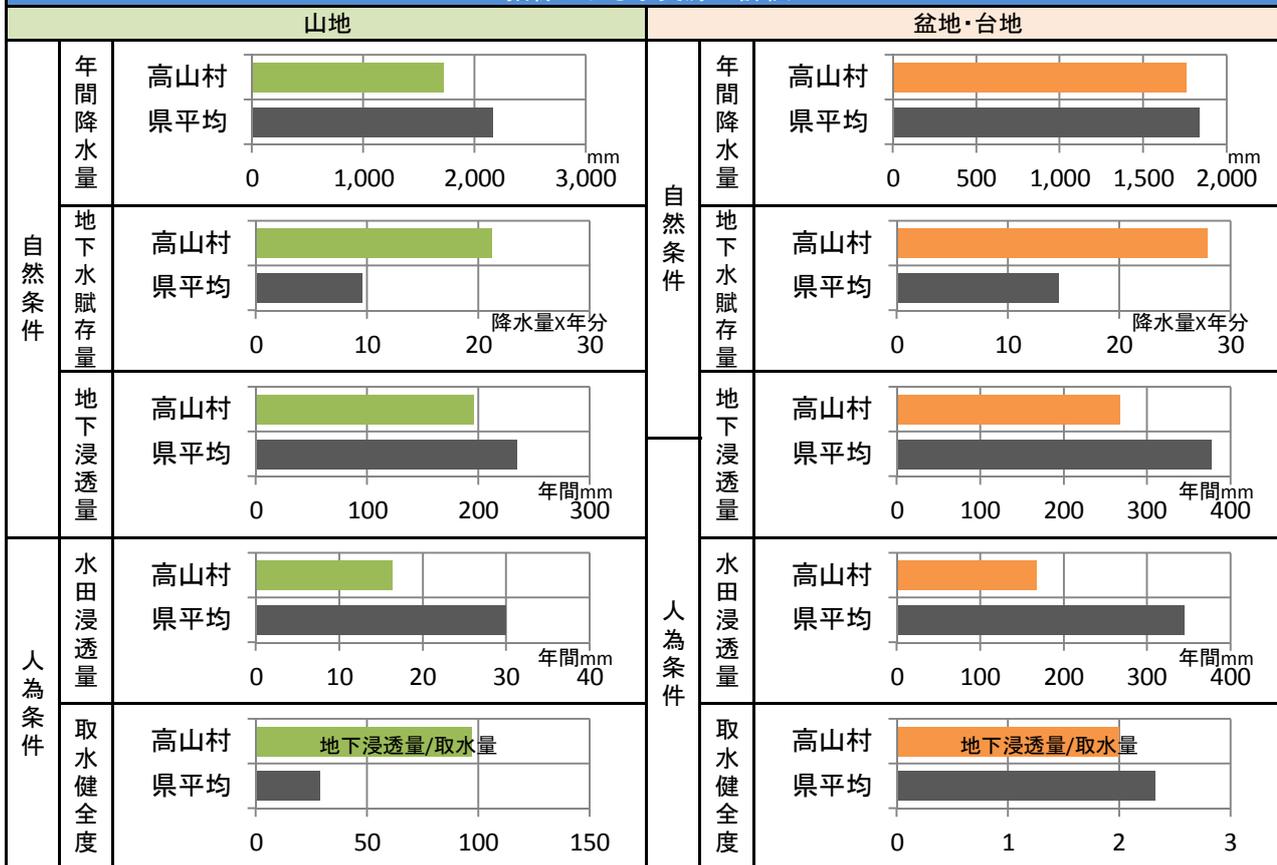
高山村

| 長野 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|--|----------------|--|
| 水文区特徴 | ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 地下水賦存は県平均よりも多いが、地下浸透、水田浸透は県平均より少ない。盆地・台地は長野盆地北部の東縁に位置し、地下水は須崎市へ流出する。過去に比べ地下水取水量が増加しており、取水健全度も県平均より小さいので、地域の水収支バランスの監視・維持と取水による局所的な地下水障害に留意する必要がある。 |
| | 【山地】千曲川右岸 【盆地・台地】長野盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



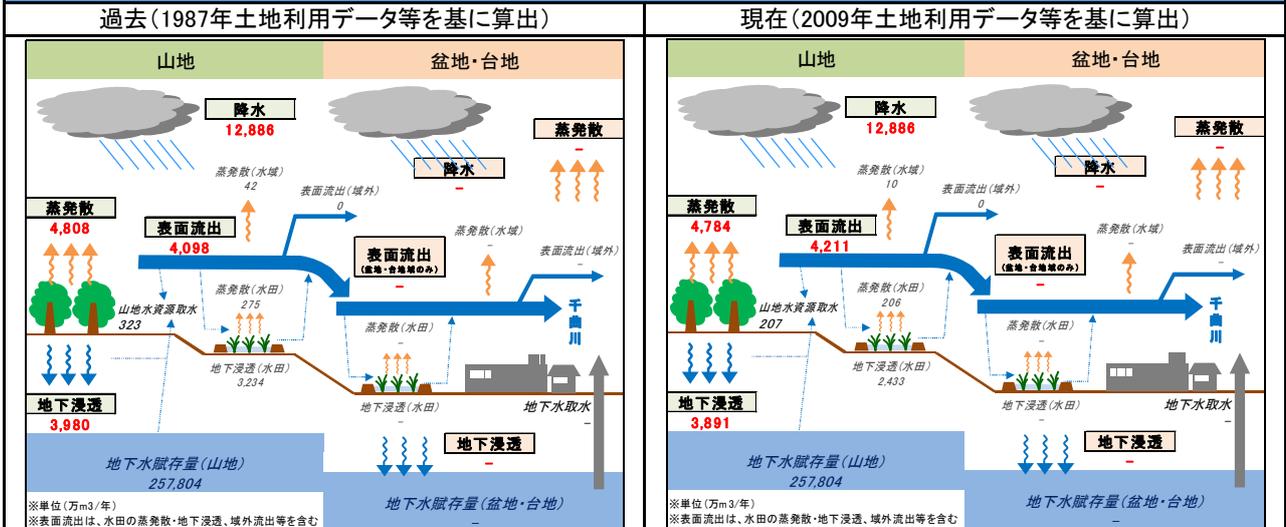
指標による水資源の評価



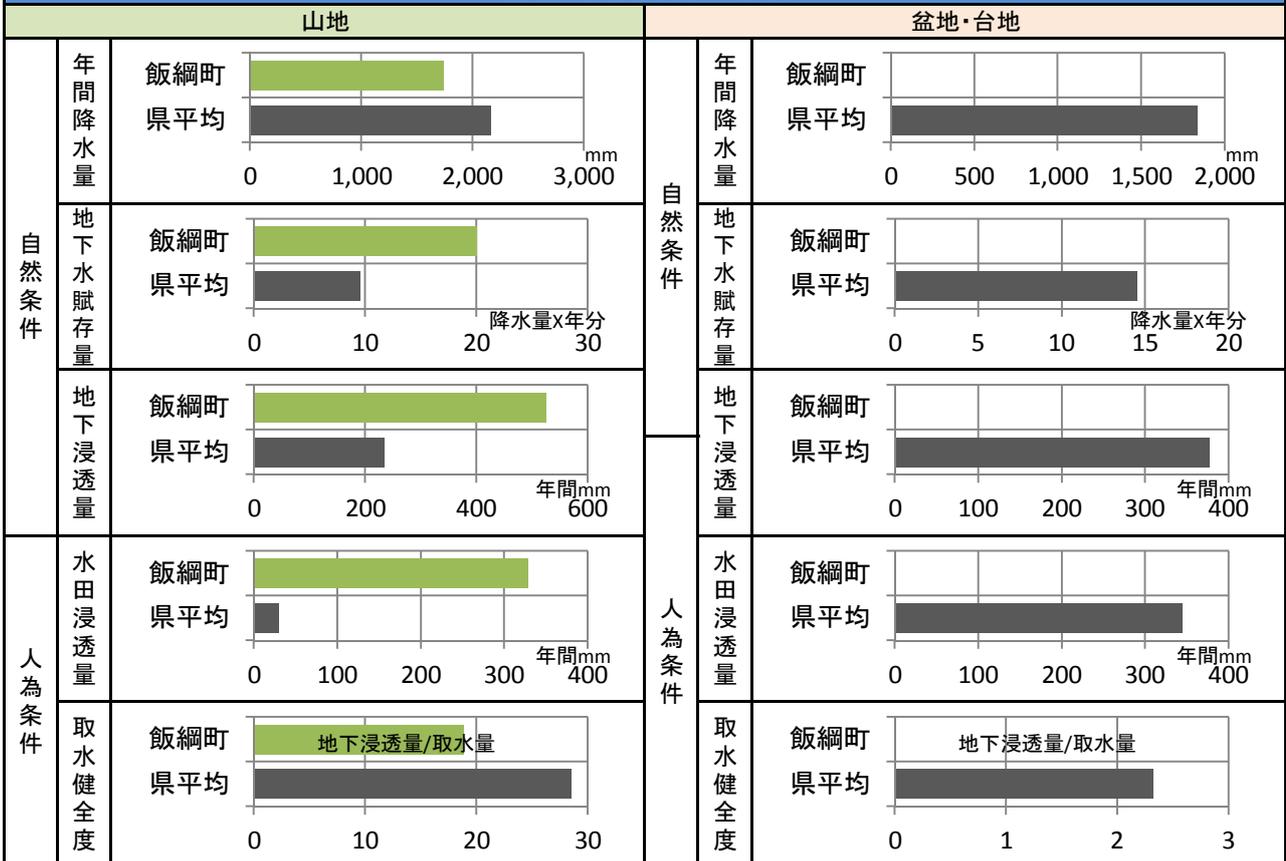
飯綱町

| | | | |
|-------|---|----------------|----|
| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川左岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



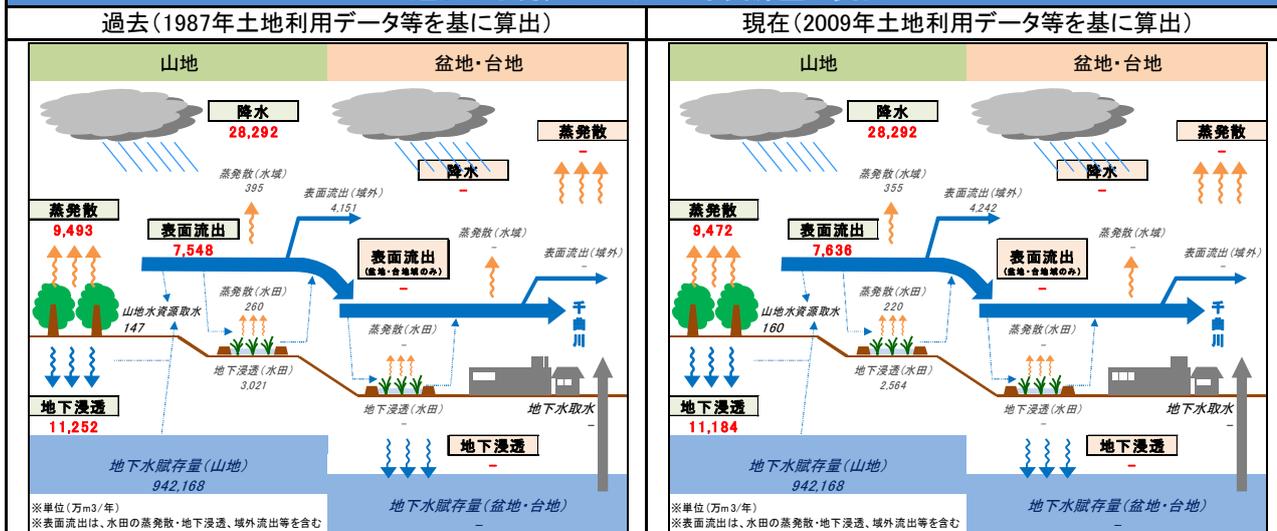
指標による水資源の評価



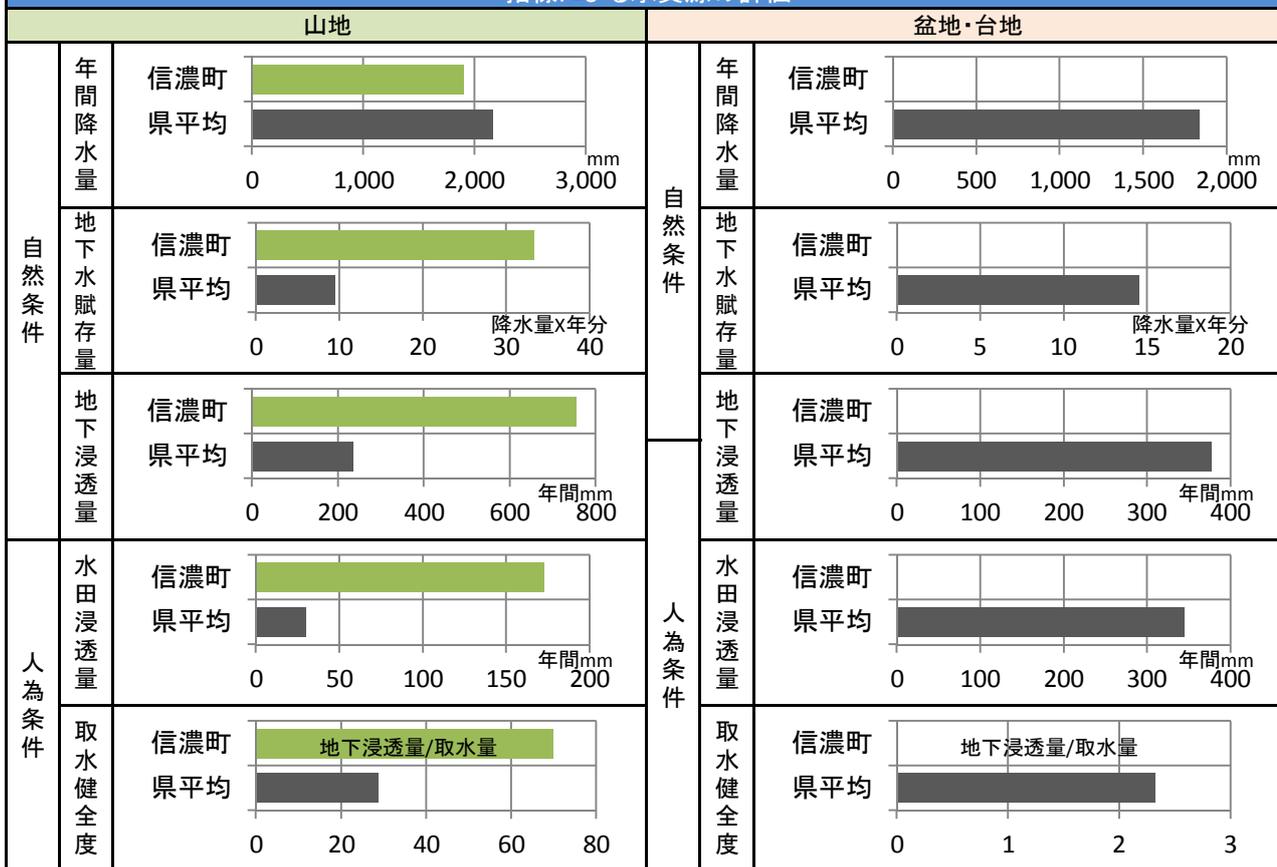
信濃町

| | | | |
|-------|---|-------------------|--|
| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | <p>指標1.0: 県平均</p> | <p>火山体に位置し地下水賦存、地下浸透ともに県平均より多い。また、水田浸透も県平均より多い。千曲川水系と関川水系の分水嶺に位置し、野尻湖を有する。現時点で地域としての水資源の健全性が不安定になる可能性は小さい。地域の水資源を育む水源林・水田管理が重要となる。</p> |
| 集利水地域 | <p>【山地】千曲川左岸 【山地】域外流出(新潟県:関川)</p> | | |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



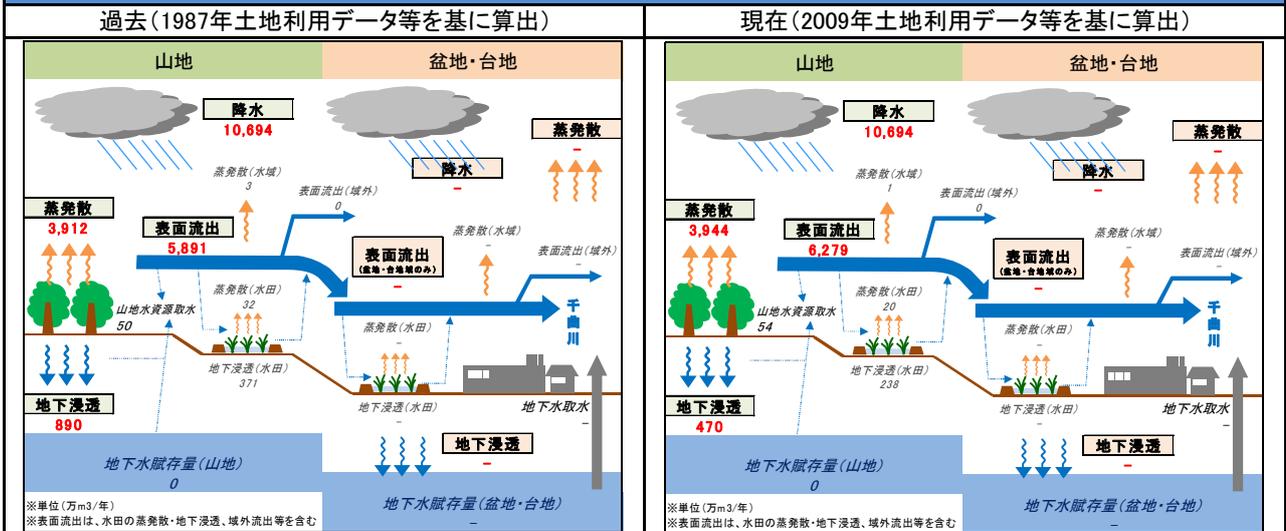
指標による水資源の評価



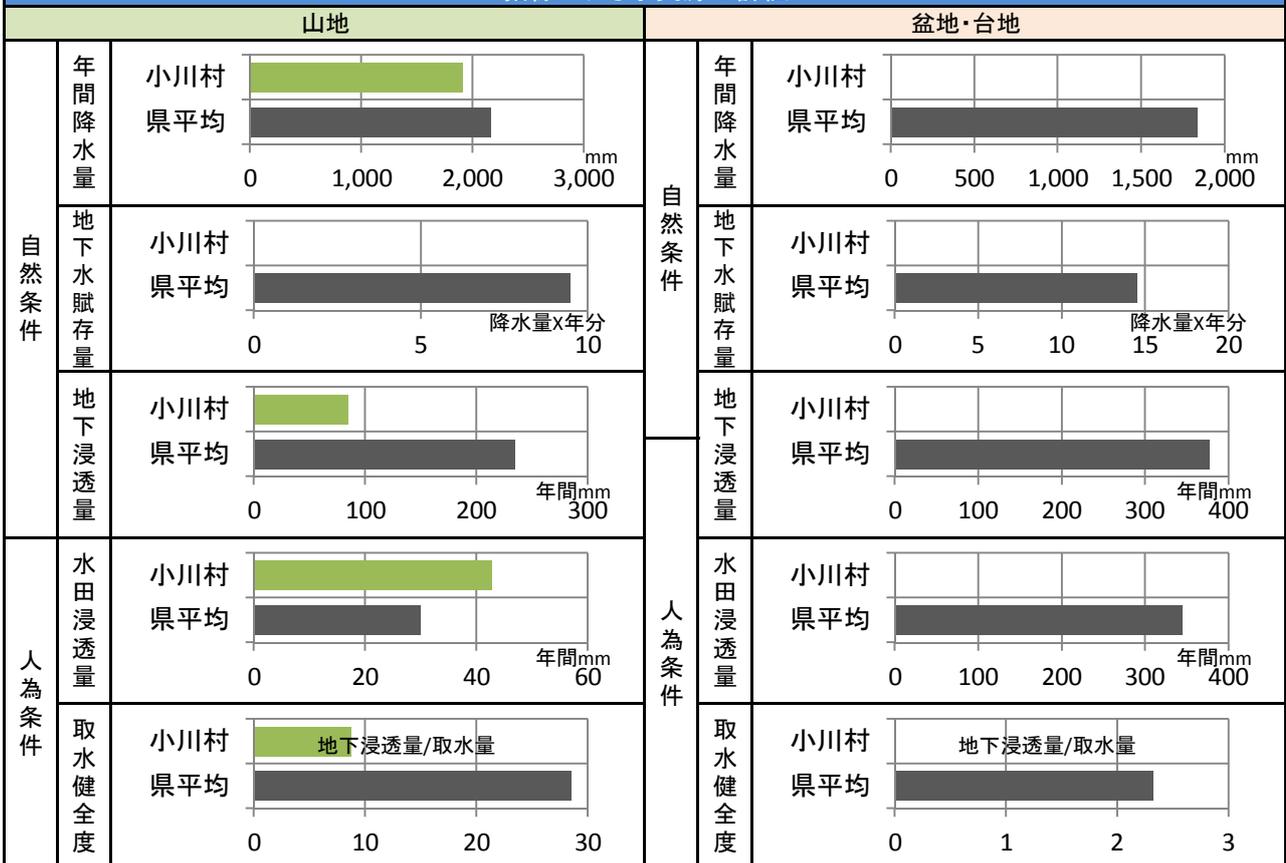
小川村

| 長野 | | 指標による水資源スコア | 評価 |
|-------|---|----------------|---|
| 水文区特徴 | ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | 指標1.0: 県平均 | 山地の基盤は難透水のため地下水浸透は少なく地下水も賦存していない。山間部の平地には水田が広がり、水田浸透は県平均よりも多い。山地での取水があり取水健全度は見かけ小さいが、表流水からなる山地水資源は豊富で取水リスクは小さい。地域の水資源を育む水源林・水田の適切な管理が重要である。 |
| | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川左岸 | | |
| スコア見方 | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



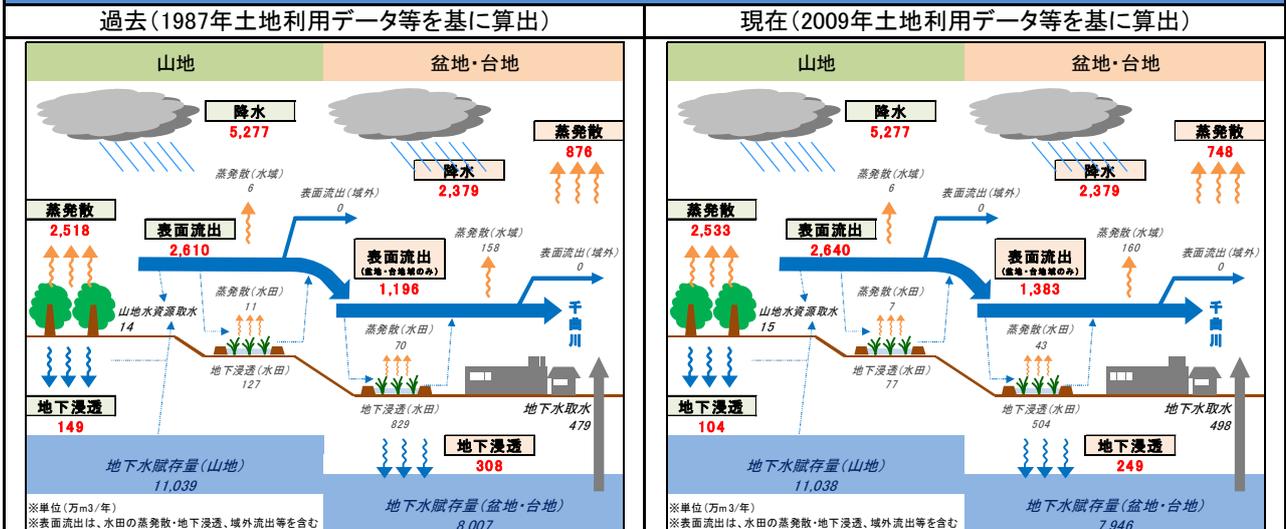
指標による水資源の評価



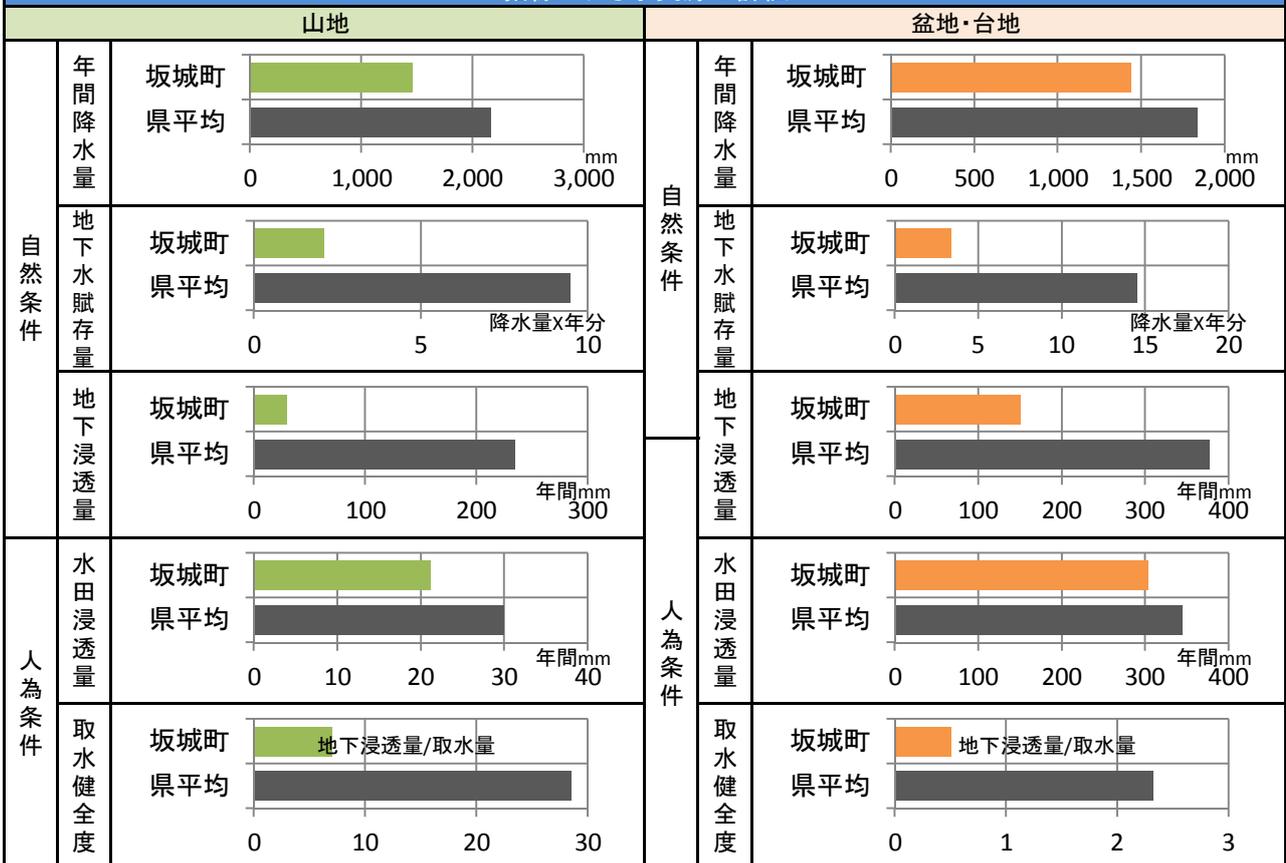
坂城町

| | | | |
|-------|---|-------------------|----|
| 水文区特徴 | 長野 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長野盆地は市街化が進み浸透量減少 ○地下水取水量が多い ○取水量増加の影響が顕在化しやすい | <p>指標1.0: 県平均</p> | |
| 集利水地域 | <ul style="list-style-type: none"> 【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】長野盆地 | | |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる</p> <ul style="list-style-type: none"> 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下水浸透】 地域内の地下水浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



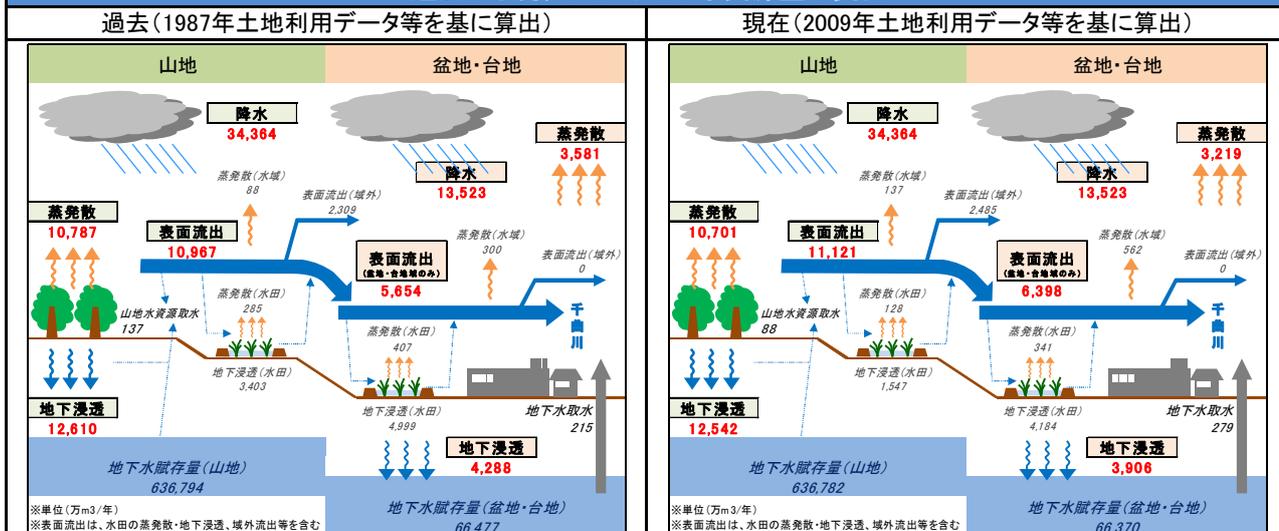
指標による水資源の評価



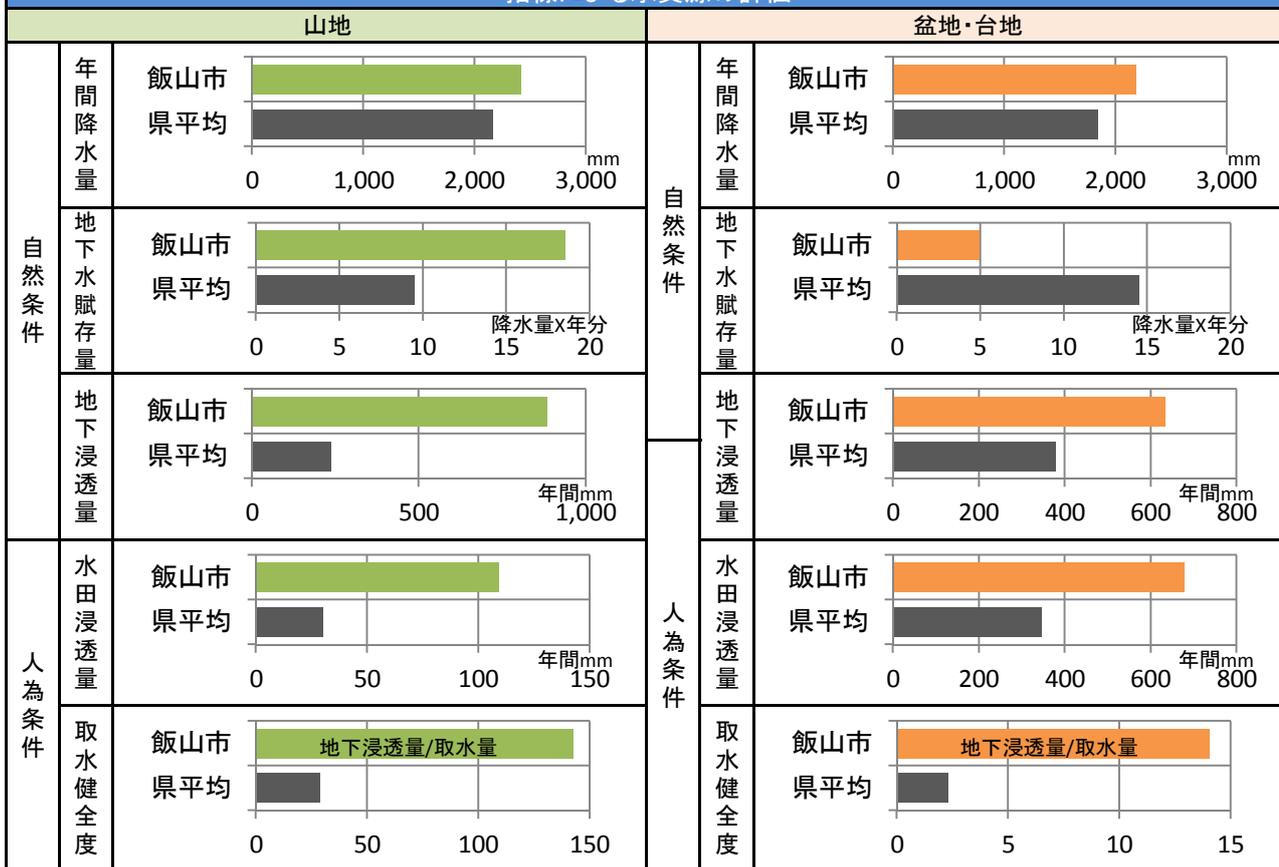
飯山市

| | | | |
|-------|---|-------------|----|
| 水文区特徴 | 北信 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【山地】域外流出(新潟県:関川) 【盆地・台地】飯山盆地 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



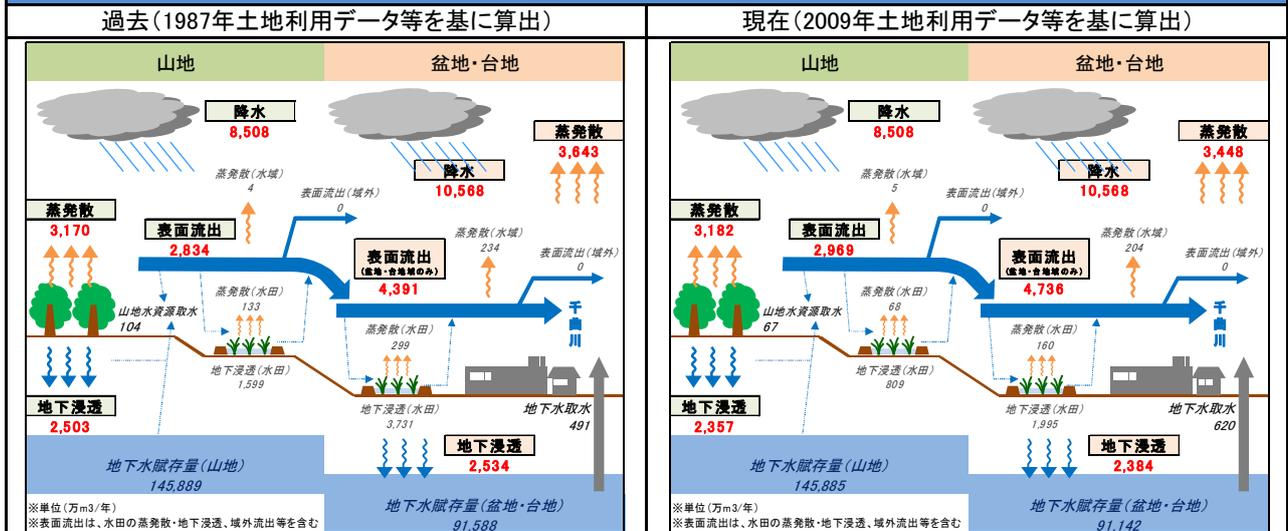
指標による水資源の評価



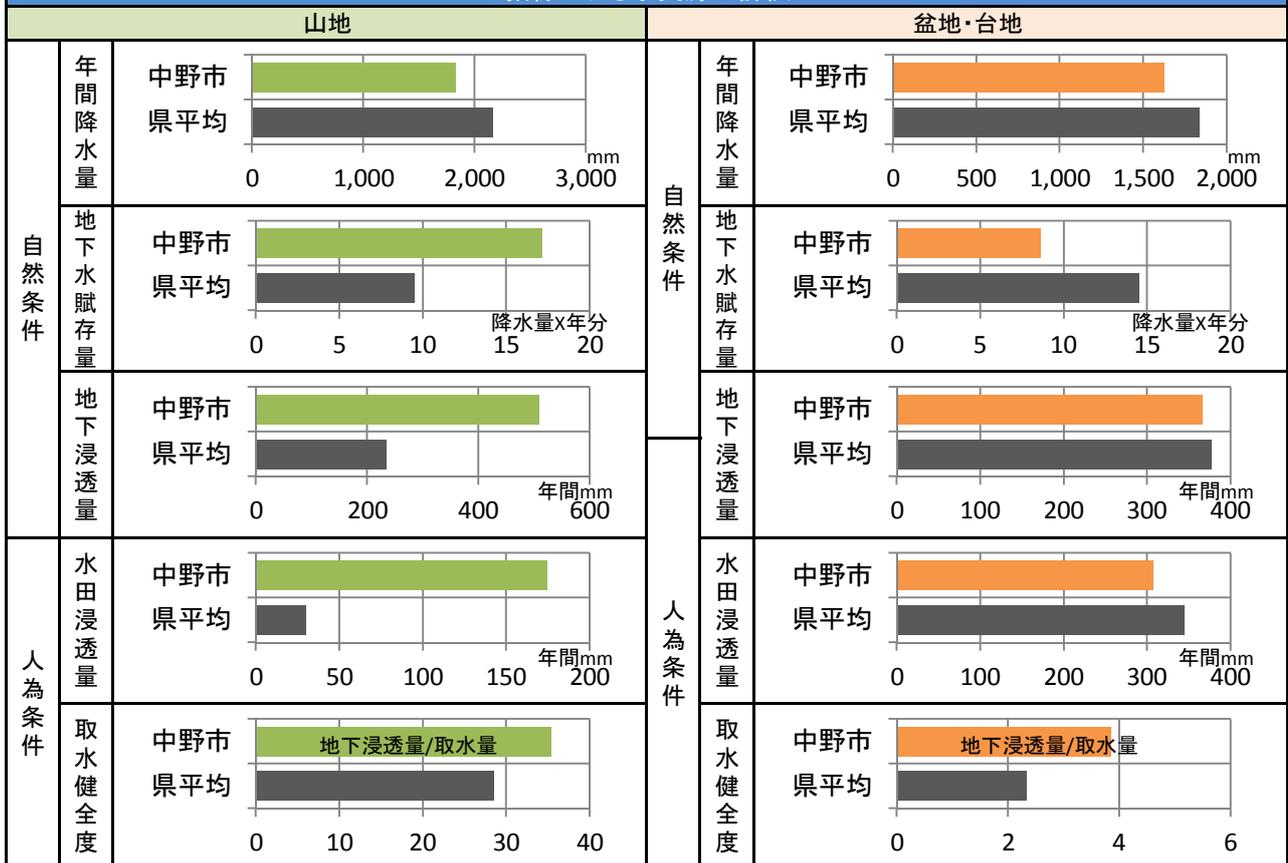
中野市

| 水文区特徴 | 北信 | | 指標による水資源スコア | | 評価 | |
|-------|--|--|-------------------|---|----|--|
| | 集利水地域 | <p>○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る</p> <p>【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【盆地・台地】飯山盆地</p> | <p>指標1.0: 県平均</p> | <p>山地は火山体からなり、地下水賦存、地下浸透、水田浸透は全て県平均よりも大きい。一方、盆地・台地の地下水賦存は県平均に比べ小さい。現状では取水健全度は良好で地下水障害のリスクは小さいが、過去に比べ水田減少に伴う水田浸透が減少している。地域の水循環の一翼を担う水田耕作を継続していく等により、水資源を保全する必要がある。</p> | | |
| スコア見方 | <p>※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる</p> <p>【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率</p> | | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



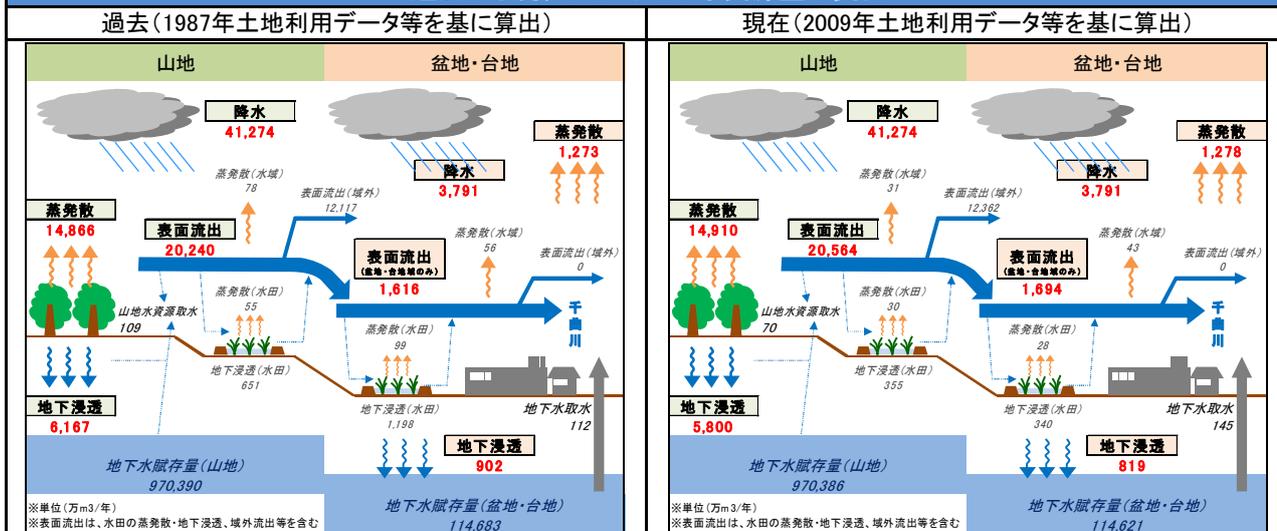
指標による水資源の評価



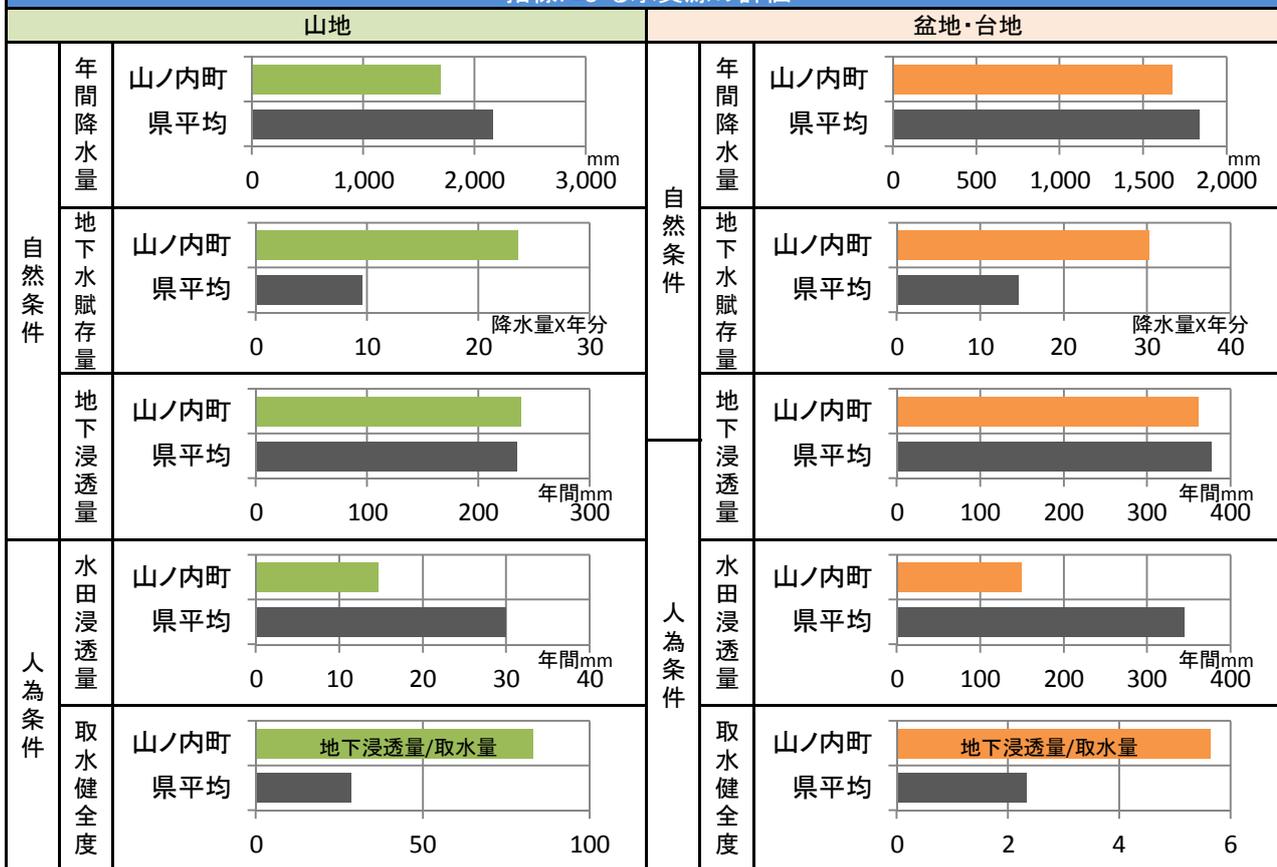
山ノ内町

| 水文区特徴 | 北信 | | 指標による水資源スコア | | 評価 | |
|-------|--|--|---|------------|----|--|
| | 集利水地域 | ○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る | 【山地】千曲川右岸 【山地】域外流出(新潟県:中津川) 【盆地・台地】飯山盆地 | 指標1.0: 県平均 | | 山地の一部は火山体からなり地下水賦存、地下浸透ともに県平均より多い。一方、盆地・台地の地下水賦存は県平均より多いが、地下浸透、水田浸透は少ない。特に水田面積が過去に比べ減少しているため、水田からの水資源供給機能が大きく低下している。ただし、現状では取水が少ないため、水資源管理上のリスクは小さい。取水の監視と水田機能の回復等に取組み水資源を保全する必要がある。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



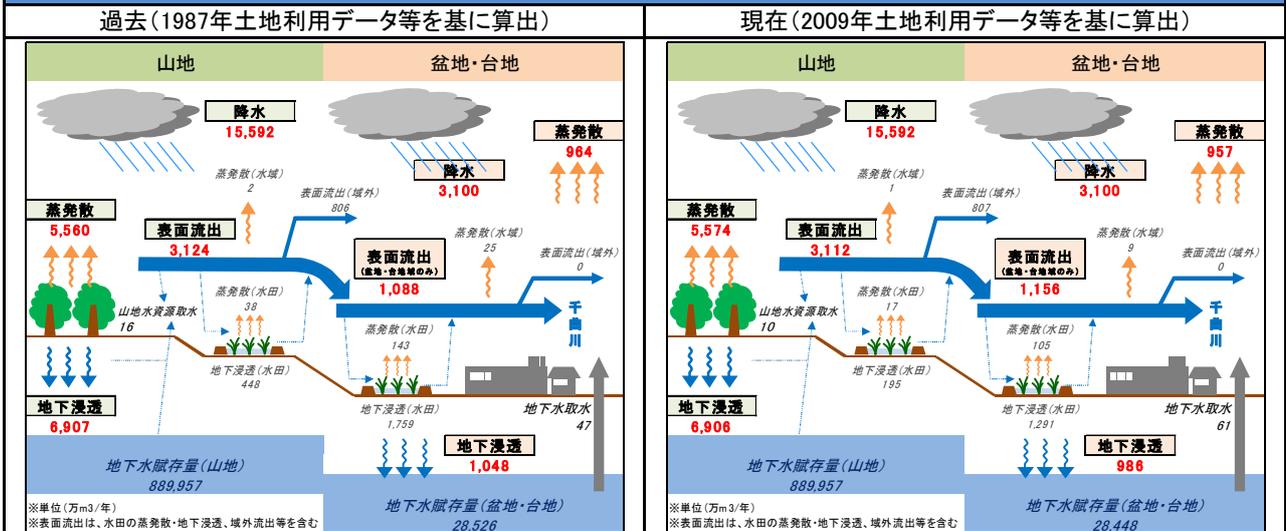
指標による水資源の評価



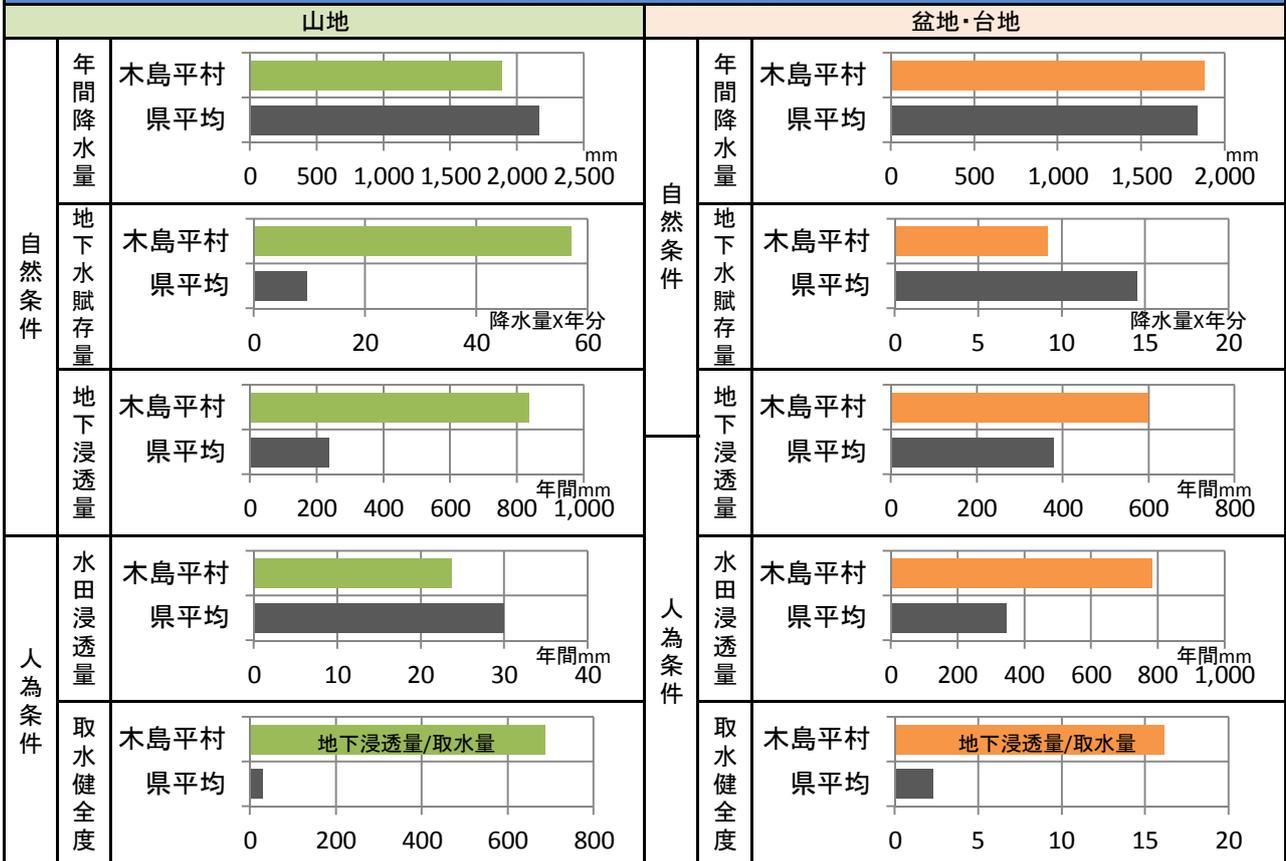
木島平村

| 水文区特徴 | 北信 | | 指標による水資源スコア | | 評価 |
|-------|--|--|---|------------|----|
| | 集利水地域 | ○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る | 【山地】千曲川右岸 【山地】域外流出(新潟県:中津川) 【盆地・台地】飯山盆地 | 指標1.0: 県平均 | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいくほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



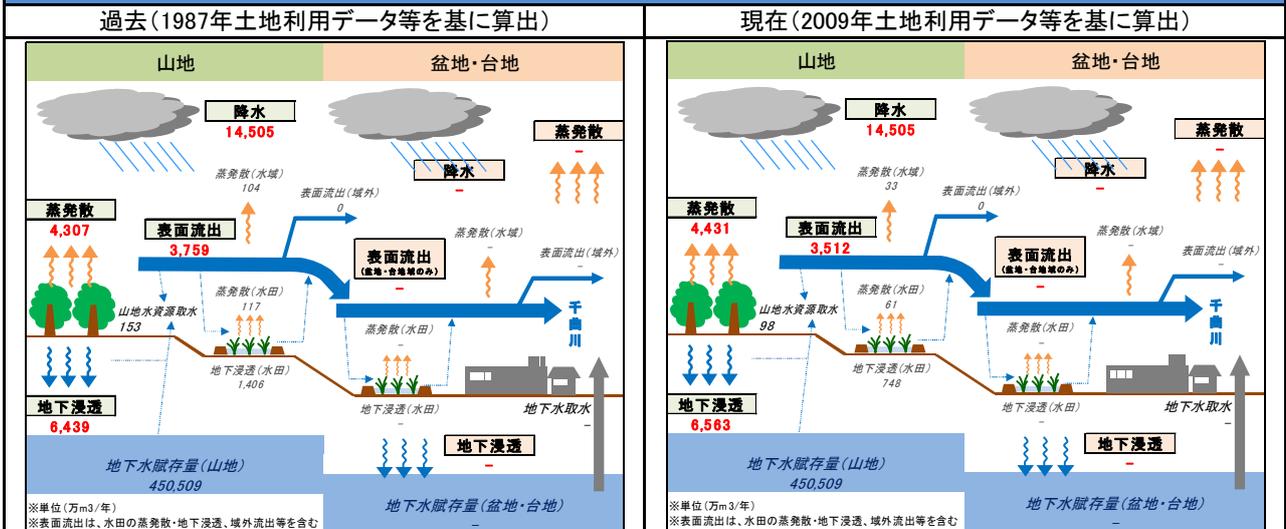
指標による水資源の評価



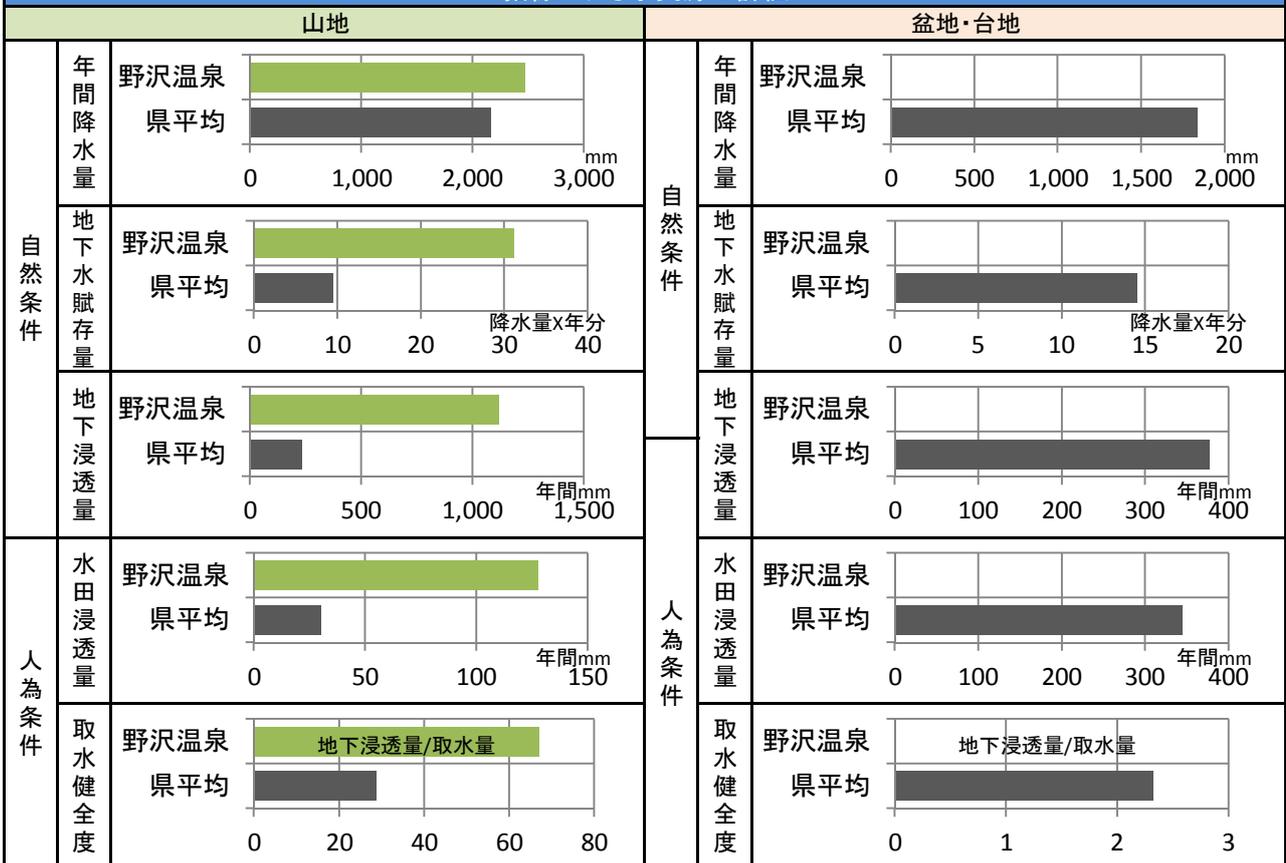
野沢温泉村

| | | | |
|-------|---|-------------|----|
| 水文区特徴 | 北信 | 指標による水資源スコア | 評価 |
| | ○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る | 指標1.0: 県平均 | |
| 集利水地域 | 【山地】千曲川右岸 | | |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



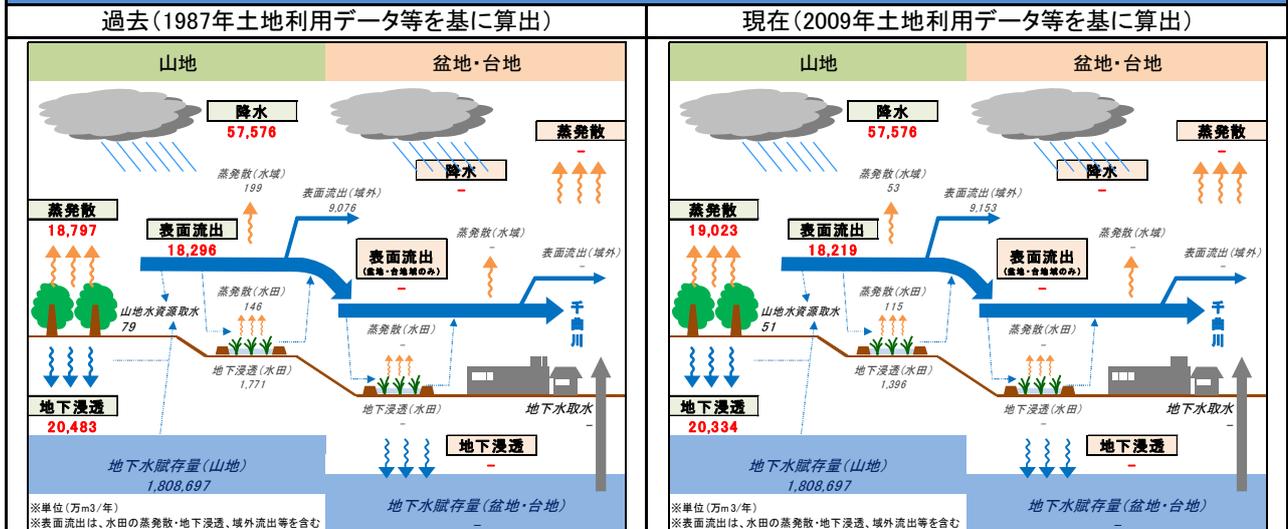
指標による水資源の評価



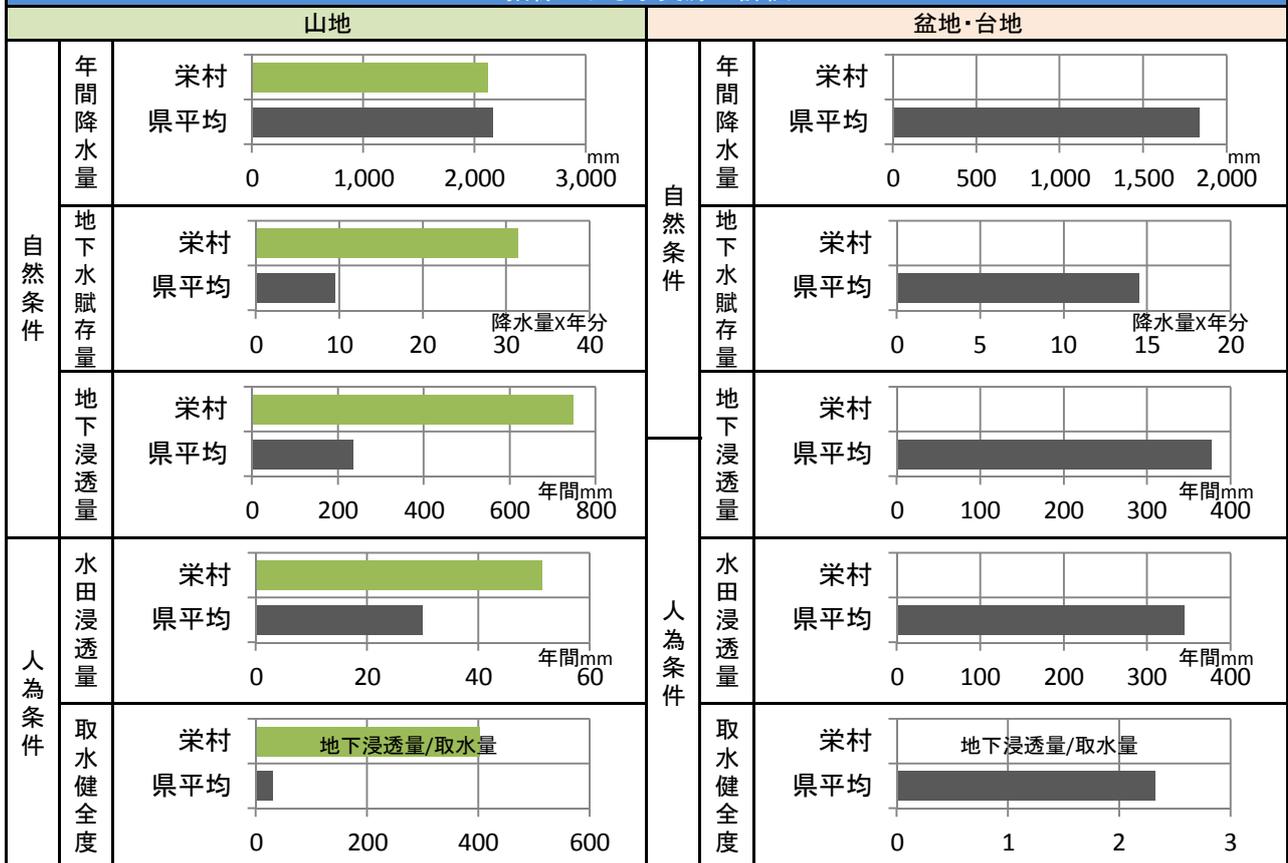
栄村

| 水文区特徴 | 北信 | | 指標による水資源スコア | | 評価 | |
|-------|---|--|---|------------|----|--|
| | 集利水地域 | ○火山体の水資源が盆地の水資源を支えている○飯山盆地等は水田が多く、水田は地域の地下水の主要な供給源○千曲川右岸で水利用の需要が多い○地下水の流動経路は表流水に似る | 【山地】千曲川右岸 【山地】千曲川左岸 【山地】域外流出(新潟県:中津川) | 指標1.0: 県平均 | | 村域は山地に位置する。山地の大部分は火山体からなり地下水賦存、地下浸透も多く、水田浸透も多い。取水に対する浸透量の比率が大きい(取水健全度が大きい)ため、水不足のリスクは少なく、水資源は豊富な地域である。地域の水資源を育む水源林・水田の適切な管理が重要である。 |
| スコア見方 | ※県平均を1.0として、値が大きいほど健全といえる 【降水】 地域における年間降水量 【地下水賦存】 地域内の地下水賦存量 【地下浸透】 地域内の地下浸透量 【水田浸透】 地域内の水田からの浸透量 【取水健全度】 取水に対する浸透の比率 | | | | | |

過去から現在にかけての水資源量の変化



指標による水資源の評価



平成27年 3月

